

石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

図面リスト

A棟：4 建具改修

原図サイズ A 3

原図サイズ A 3

原図サイズ A 3

原図サイズ A 3

原図サイズ A 3

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
		A 3			A 3			A 3			A 3			A 3
	共通事項			A 棟： 1 内部改修			A 棟： 1 内部改修			A 棟： 3 建具改修			外 構	
01	図面リスト 1		A：1-01	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）平面図	1/100	A：1-46	A 棟 内部改修（2階射場廻り）現況平面図	1/100	A：3-01	A 棟 建具改修 1階建具配置図	1/200	A：5-01	外構改修 外構平面図	1/400
02	建築工事特記仕様書（その1）		A：1-02	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）天井伏図	1/100	A：1-47	A 棟 内部改修（2階射場廻り）現況天井伏図	1/100	A：3-03	A 棟 建具改修 2階建具配置図	1/200	A：5-02	外構改修 基礎リスト（機械基礎A）現況図	1/100
03	建築工事特記仕様書（その2）		A：1-03	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）改修内容 1		A：1-48	A 棟 内部改修（2階的場廻り）現況平面図	1/100	A：3-03	A 棟 建具改修 建具表 1（金属製建具）	1/100	A：5-03	外構改修 基礎リスト（機械基礎A）配置計画図	1/100
04	建築工事特記仕様書（その3）		A：1-04	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）改修内容 2		A：1-49	A 棟 内部改修（2階的場廻り）現況天井伏図	1/100	A：3-04	A 棟 建具改修 建具表 2（金属製建具）	1/100	A：5-04	外構改修 基礎リスト（機械基礎A）発電機基礎	1/ 50
05	建築工事特記仕様書（その4）		A：1-05	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）現況展開図 1	1/100	A：1-50	A 棟 内部改修（2階的場廻り）天井改修リスト		A：3-05	A 棟 建具改修 建具表 3（金属製建具）	1/100	A：5-05	外構改修 基礎リスト（機械基礎A）油庫基礎	1/ 50
06	建築工事特記仕様書（その5）		A：1-06	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）現況展開図 2	1/100	A：1-51	A 棟 内部改修（2階）改修内容 1		A：3-06	A 棟 建具改修 建具表 4（金属製建具）	1/100	A：5-06	外構改修 基礎リスト（機械基礎B）	1/ 50
07	設計概要・工事概要		A：1-07	A 棟 内部改修（1階玄関廻り）家具図 1	1/ 50	A：1-52	A 棟 内部改修（2階）改修内容 2		A：3-07	A 棟 建具改修 建具表 5（Hレゾ-ス）	1/100	A：5-07	外構改修 基礎リスト（機械基礎C・D・E）	1/ 50
08	案内図		A：1-08	A 棟 内部改修（1階更衣室他）現況平面図	1/100	A：1-53	A 棟 内部改修（2階）改修内容 3		A：3-08	A 棟 建具改修 建具表 6（木製建具）	1/100			
09	配置図		A：1-09	A 棟 内部改修（1階更衣室他）改修平面図	1/100	A：1-54	A 棟 内部改修（2階矢取口）家具図	1/ 50	A：3-09	A 棟 建具改修 建具表 7（木製建具）	1/100		仮設計画図	
			A：1-10	A 棟 内部改修（1階更衣室他）現況天井伏図	1/100	A：1-55	A 棟 内部改修（2階便所・湯沸かし）平面図	1/ 50		B 棟		A：6-01	仮設計画図（外部足場）	1/400
				A 棟 内部改修（1階更衣室他）改修内容			A 棟 内部改修（2階トイレ・湯沸かし）改修内容					A：6-02	仮設計画図（外部足場リスト）	
			A：1-11	シャワーブース撤去図	1/ 50	A：1-56	乾燥二重床 詳細図	1/ 5	B-01	B 棟（スポーツ練習場）既存図	1/200			
			A：1-12	A 棟 内部改修（1階便所・洗面所）平面詳細図	1/ 50	A：1-57	A 棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 1		B-02	B 棟（スポーツ練習場）改修内容				
	A 棟： O 現況図			A 棟 内部改修（1階便所・洗面所）改修内容	1/ 50	A：1-58	A 棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 2			C 棟				
A：0-01	A 棟 既存図（1階平面図）		A：1-13	乾燥二重床 詳細図	1/ 5	A：1-59	A 棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 3		C-01	C 棟（遠的場・射場）既存図	1/200			
A：0-02	A 棟 既存図（2階平面図）		A：1-14	A 棟 内部改修（1階更衣室他）現況展開図 1	1/100	A：1-60	A 棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 4		C-02	C 棟（遠的場・射場）改修内容				
A：0-03	A 棟 既存図（屋根伏図）		A：1-15	A 棟 内部改修（1階更衣室他）現況展開図 2	1/100	A：1-61	A 棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 5		C-03	C 棟（遠的場・射場）屋根改修図 1	1/ 10			
A：0-04	A 棟 既存図（立面図）北面・東面		A：1-16	A 棟 内部改修（1階更衣室他）現況展開図 3	1/100	A：1-62	A 棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 6		C-04	C 棟（遠的場・射場）屋根改修図 1	1/ 10			
A：0-05	A 棟 既存図（立面図）南面・西面		A：1-17	A 棟 内部改修（管理通路階段取付）平面図	1/100					D 棟				
			A：1-18	A 棟 内部改修（管理通路階段取付部）天井伏図	1/100		A 棟： 2 外部改修		D-01	D 棟（遠的場・的場）既存図	1/200			
			A：1-19	A 棟 内部改修（管理通路階段取付）平面詳細図	1/ 30	A：2-01	A 棟 外部改修概要		D-02	D 棟（遠的場・的場）改修内容				
			A：1-20	A 棟 内部改修（管理通路階段取付）断面詳細図	1/ 30	A：2-02	A 棟 外部改修 立面図 1（改修概要）	1/200	D-03	D 棟（遠的場・的場）屋根改修図 1	1/ 10			
			A：1-21	A 棟 内部改修（剣道場）現況平面図	1/100	A：2-03	A 棟 外部改修 立面図 2（改修概要）	1/200	D-04	D 棟（遠的場・的場）屋根改修図 2	1/ 10			
			A：1-22	A 棟 内部改修（剣道場）現況天井伏図	1/100	A：2-04	A 棟 外部改修（軒天） 1階天井伏図	1/200		E 棟				
			A：1-23	A 棟 内部改修（剣道場）改修内容 天井改修リスト		A：2-05	A 棟 外部改修（軒天） 2階天井伏図	1/200	E-01	E 棟（倉庫）既存図	1/200			
			A：1-24	A 棟 内部改修（剣道場）現況展開図 1	1/100	A：2-06	A 棟 外部改修（軒天） 改修リスト		E-02	E 棟（倉庫）改修内容				
			A：1-25	A 棟 内部改修（剣道場）現況展開図 2	1/100	A：2-07	A 棟 外部改修（屋根） 1階屋根伏図	1/200		F 棟				
			A：1-26	A 棟 内部改修（剣道場）現況展開図 3	1/100	A：2-08	A 棟 外部改修（屋根） 2階屋根伏図	1/200	F-01	F 棟（相撲控室）既存図	1/200			
			A：1-27	A 棟 内部改修（剣道場）鋼製床システム平面図	1/100	A：2-09	A 棟 外部改修（屋根） 立面図 1（樋改修）	1/200	F-02	F 棟（相撲控室）改修内容				
			A：1-28	A 棟 内部改修（剣道場）鋼製床システム詳細図	1/100	A：2-10	A 棟 外部改修（屋根） 立面図 2（樋改修）	1/200	F-03	F 棟（相撲控室）屋根改修図 1	1/ 10			
			A：1-29	A 棟 内部改修（剣道場）コートライン図	1/100	A：2-11	A 棟 外部改修（屋根）屋根改修リスト		F-04	F 棟（相撲控室）屋根改修図 2	1/ 10			
			A：1-30	A 棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁展開図 1	1/100	A：2-12	A 棟 外部改修（屋根）軒樋・豎樋改修リスト			G 棟				
			A：1-31	A 棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁展開図 2	1/100	A：2-13	A 棟 外部改修（屋根）2階3通り軒樋改修図 1	1/ 50	G-01	G 棟（相撲場）既存図	1/200			
			A：1-32	A 棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁詳細図 1	1/ 15	A：2-14	A 棟 外部改修（屋根）2階3通り軒樋改修図 2	1/ 50	G-02	G 棟（相撲場）改修内容				
			A：1-33	A 棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁詳細図 2	1/ 10	A：2-15	A 棟 外部改修（屋根）屋根C改修詳細図	1/ 30	G-03	G 棟（相撲場）屋根改修図 1	1/ 10			
			A：1-34	A 棟 内部改修（柔道場）現況平面図	1/100	A：2-16	A 棟 外部改修（屋根）屋根C-2改修詳細図	1/ 30	G-04	G 棟（相撲場）屋根改修図 2	1/ 10			
			A：1-35	A 棟 内部改修（柔道場）現況天井伏図	1/100	A：2-17	A 棟 外部改修（屋根）豎樋M＋N受け・取付平面図	1/ 50		H 棟				
			A：1-36	A 棟 内部改修（柔道場）改修内容・天井伏図リスト		A：2-18	A 棟 外部改修（屋根）豎樋M＋N受け梁取付矩計図	1/ 50	H-01	H 棟（屋外便所）既存図	1/200			
			A：1-37	A 棟 内部改修（柔道場）現況展開図 1	1/100	A：2-19	A 棟 外部改修（屋根）屋根A詳細図 1	1/ 10	H-02	H 棟（屋外便所）改修内容				
			A：1-38	A 棟 内部改修（柔道場）現況展開図 2	1/100	A：2-20	A 棟 外部改修（屋根）屋根A詳細図 2	1/ 10	H-03	H 棟（屋外便所）内装改修	1/ 10			
			A：1-39	A 棟 内部改修（柔道場）現況展開図 3	1/100	A：2-21	A 棟 外部改修（屋根）屋根B詳細図 1	1/ 10	H-04	H 棟（屋外便所）屋根改修図 1	1/ 10			
			A：1-40	A 棟 内部改修（柔道場）鋼製床システム平面図	1/100	A：2-22	A 棟 外部改修（屋根）屋根B詳細図 2	1/ 10	H-05	H 棟（屋外便所）屋根改修図 2	1/ 10			
			A：1-41	A 棟 内部改修（柔道場）鋼製床システム詳細図	1/ 10	A：2-23	A 棟 外部改修（屋根）屋根C詳細図	1/ 10						
			A：1-42	A 棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁展開図 1	1/100	A：2-24	A 棟 外部改修（屋根）屋根C-2詳細図	1/ 10						
			A：1-43	A 棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁展開図 2	1/100	A：2-25	A 棟 外部改修（屋根）屋根C-2詳細図 2	1/ 10						
			A：1-44	A 棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁詳細図 1	1/ 15	A：2-26	A 棟 外部改修 階段詳細図	1/ 50						
			A：1-45	A 棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁詳細図 2	1/ 10									

石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

令和8年4月

仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

富吹市石和町小石和700番地 石和清流館

2. 敷地面積

m²

3. 工事項目

・新築 ・増築 ・改築 ○その他（内外装・外構改修）
鉄骨造2階建て 鉄骨造平屋建てスポーツ施設
内部改修 A棟（清流館本体） G棟（相談棟） H棟の内装改修（屋外壁所棟）
外部改修 A～H棟 外壁塗装改修（シーリング打ち換え含む） 屋根カバー工法による葺き替え
建具改修 シャッター交換他
外構改修 舗装 園路 機械基礎
体育機器設置 体育機器設置（レスリングマット他）

発生材処理

5. 工事範囲

※「3. 工事項目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事項目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事項目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目	建築	電気設備 機械設備	特記事項

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（令和 4 年度版）〔令和 3 年 5 月改定〕・同標準詳細図による。
また、改修工事に關しては国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（平成 28 年度版）〔平成 28 年 6 月改定〕による。
工事関係提出書類等については「工事関係提出書類一覧表」（営繕課ホームページ掲載）を熟読し通読の無いように提出すること。（以下の内容にはこの資料と重複する項目があるが特に留意すべき事項として記載されている。）

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と○印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（5）特記事項に記載の（別・）は（ 5.3.7 ）による別図「各部配図」の当該項目を示す。
（6）5印は「図等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

章

項目

特記事項

1 一般共通事項

1 適用基準等

○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版）
○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版）
○修繕工事写真撮影要領 令和5年改定
○建築工事標準詳細図令和4年版
○建築物解体工事共通仕様書令和4年版
※適用する

2 工事実績情報の登録（CORINS）

3 品質計画等

・建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事
※風速（V₅₀＝ 30 ）
※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
※積雪区分 H12積雪氷厚1455等 別表（ ）

○総合施工計画書、工程別施工計画書
施工に先立ち作成し、監理者、監督員の承認を受ける。

4 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要 ・不要

5 条件明示項目

・現場説明書による

6 発生材の処理等

※現場説明書による ○構外搬出適切処理

7 建築材料等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の項目を満たすものとする。
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（3）安定的な供給が可能であること
（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（5）製造又は施工の記録があり、その信頼性があること
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。
メーカー建材・製品・電気及び機械設備機器類の施工については、営繕協会工事共通仕様書によるほか、メーカー仕様に基づき責任施工とし、メーカー立会いのもと施工状況を確認し、完成を監理者に提出する事、完成届け受理後、監理者は検査を行うが、メーカー建材・製品・機器類の瑕疵については、監理者は責任を負わない事とする。

9 化学物質を放散する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。
1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集塵材、単層紙間材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り建材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
2）保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
3）接着剤はフルトン・ブチル及びフルトン・エーテルヘキシルを含有しない難燃・発煙性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③旧JISのE-0規格品
④旧JASのF-0-0規格品

9 特別な材料の工法

10 技能士

11 化学物質の濃度測定

12 完成図等

13 完成写真

14 設備工事の取り合い

15 設計GL

16 工事写真

17 足場その他

18 養生

3 仮設間仕切り

4 監督職員事務所

5 工事用水

6 工事用電力

7 特記事項

改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の指名、資格証明を添付すること。
なお、防水工事及び塗装工事については技能士の活用を必須とする。

適用工事種別	技能検定の職種
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗装防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金
外壁改修工事	・左官 ・タイル張り ・塗装（建築塗装作業） ・樹脂接着材注入施工
建具改修工事	○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（間隔下地工事作業） ・表装（壁紙作業） ・左官 ○建築大工 ・タイル張り
塗装改修工事	○塗装（建築塗装作業）
新築改修工事	・鉄筋施工 ・型枠施工 ・とび
ブロック、ALC工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
石工事	・石材施工（石張り施工）
舗装工事	・道間

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、報告すること。
測定はバッチ型空気採取器により行う。
養生前の測定 ○行う ・行わない
測定対象室 ・図示 ○図による

測定箇所数 ・図示 ○箇所
報告の様式等については、現場説明書による。

※作成する ・作成しない (1.8.1～3) (表1.8.1)
※完成図 提出部数 ※各2部 ・3部
(A3縮小版 黒表紙金文字製本 及び 電子媒体(CD-R))
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・3部（発注者用・返却用・監理者確認用）
※施工図 提出部数 ※1部 ・3部（発注者用・返却用・監理者確認用）
※保全に関する資料 提出部数 ※2部 部（発注者保管用・施設管理者保管用）

下記のものも監督職員に提出する。ただし、原画は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原画の大きさ（mm）
・カラー ※キャビネ板 ※付いた機 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ板）提出）	外部（ ） 内部（ ）	※ 3 2	※100×125以上 ・
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ） 内部（ ）	※ 2	
・電子データ （7枚以上10枚以上）	外部（ ） 内部（ ）	※ 3	※428mm以上 ※350dpi以上

100×125以上の原画を使う場合は、監督職員にあらかじめ付いた機を提出し承認を受ける。
電子データは、フィルムスキャンのうえ800dpi（フルカラー）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承認する建築写真専門業者とする。

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

※図示 ・設計GL＝現実GL

内外部足場	種別	※きつたつ、足場板等	枠組足場、枠組横足場、移動式足場
外部足場	種別	・枠組足場、枠組横足場 ・移動式足場 ・きつたつ、足場板等 ○さび腐蝕足場	[2.2.1] [表2.2.1]
材料、撤去材等の運搬	防塵シートによる養生 ○行う ・行わない	[2.2.1] [表2.2.2]	
・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種			

既存部分の養生	※ビニルシート等 ・	[2.3.1]
既存家具等の養生	※ビニルシート等 ・行わない（対象物なし）	
固定家具等の移動	※行わない ・行う（図示）	

仮設間仕切り等の種別	種別	下地	仕上材（厚さ mm）	完てん材	塗装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0 ・ ）			※無し
・B種	・木下地	※せつこうボード（※9.5 ・ ）	厚さ mm	・片面	
○C種	単管下地	防炎シート			
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度			※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度			・有り

・既存建物内の一部を使用する ・構内に設置する ・設けない	[2.4.1]
・受注者事務所内に併設する（20㎡程度）	
・規模及び仕上りの程度は現場説明書による。	

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償）	
構内既存の施設 ※利用できる ○利用できる（※有償 ・無償）	

直接仮設、共通仮設は、分離発注されている、電気設備工事、機械設備工事と共用する。	
--	--

1 アスファルト防水

2 改質アスファルトシート防水

3 合成高分子ルーフィングシート防水

4 塗膜防水

5 断気装置

6 シーリング

防水改修工事

改質アスファルトシート防水

合成高分子ルーフィングシート防水

塗膜防水

断気装置

シーリング

改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の指名、資格証明を添付すること。
なお、防水工事及び塗装工事については技能士の活用を必須とする。

適用工事種別	技能検定の職種
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗装防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金
外壁改修工事	・左官 ・タイル張り ・塗装（建築塗装作業） ・樹脂接着材注入施工
建具改修工事	○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ・内装仕上げ施工（間隔下地工事作業） ・表装（壁紙作業） ・左官 ○建築大工 ・タイル張り
塗装改修工事	○塗装（建築塗装作業）
新築改修工事	・鉄筋施工 ・型枠施工 ・とび
ブロック、ALC工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
石工事	・石材施工（石張り施工）
舗装工事	・道間

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、報告すること。
測定はバッチ型空気採取器により行う。
養生前の測定 ○行う ・行わない
測定対象室 ・図示 ○図による

測定箇所数 ・図示 ○箇所
報告の様式等については、現場説明書による。

※作成する ・作成しない (1.8.1～3) (表1.8.1)
※完成図 提出部数 ※各2部 ・3部
(A3縮小版 黒表紙金文字製本 及び 電子媒体(CD-R))
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・3部（発注者用・返却用・監理者確認用）
※施工図 提出部数 ※1部 ・3部（発注者用・返却用・監理者確認用）
※保全に関する資料 提出部数 ※2部 部（発注者保管用・施設管理者保管用）

下記のものも監督職員に提出する。ただし、原画は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原画の大きさ（mm）
・カラー ※キャビネ板 ※付いた機 （他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ板）提出）	外部（ ） 内部（ ）	※ 3 2	※100×125以上 ・
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ） 内部（ ）	※ 2	
・電子データ （7枚以上10枚以上）	外部（ ） 内部（ ）	※ 3	※428mm以上 ※350dpi以上

100×125以上の原画を使う場合は、監督職員にあらかじめ付いた機を提出し承認を受ける。
電子データは、フィルムスキャンのうえ800dpi（フルカラー）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承認する建築写真専門業者とする。

設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

※図示 ・設計GL＝現実GL

内外部足場	種別	※きつたつ、足場板等	枠組足場、枠組横足場、移動式足場
外部足場	種別	・枠組足場、枠組横足場 ・移動式足場 ・きつたつ、足場板等 ○さび腐蝕足場	[2.2.1] [表2.2.1]
材料、撤去材等の運搬	防塵シートによる養生 ○行う ・行わない	[2.2.1] [表2.2.2]	
・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種			

既存部分の養生	※ビニルシート等 ・	[2.3.1]
既存家具等の養生	※ビニルシート等 ・行わない（対象物なし）	
固定家具等の移動	※行わない ・行う（図示）	

仮設間仕切り等の種別	種別	下地	仕上材（厚さ mm）	完てん材	塗装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0 ・ ）			※無し
・B種	・木下地	※せつこうボード（※9.5 ・ ）	厚さ mm	・片面	
○C種	単管下地	防炎シート			
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度			※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度			・有り

・既存建物内の一部を使用する ・構内に設置する ・設けない	[2.4.1]
・受注者事務所内に併設する（20㎡程度）	
・規模及び仕上りの程度は現場説明書による。	

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償）	
構内既存の施設 ※利用できる ○利用できる（※有償 ・無償）	

直接仮設、共通仮設は、分離発注されている、電気設備工事、機械設備工事と共用する。	
--	--

防水改修工事の種類

施工箇所

新規防水層の種類

仕上り塗料等

使用分

防水改修工事の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料等	使用分
・P O S工法		・S-F 1 ・S-M 1	・カラー	※非歩行
・S 4 S工法		・S-F 2 ・S-M 2	・シルバー	※歩行
・S 3 S工法				
・M 4 S工法		・S-M 1 ・S-M 2		
・P O S 1工法		・S 1-F 1 ・S 1-M 1		
・S 3 S 1工法		・S 1-F 2 ・S 1-M 2		
・S 4 S 1工法		・S 1-M 3		
・M 4 S 1工法				

断気装置 ※設けない ・設ける

断気装置 ※設けない ・設けない

目地処理 P Cコンクリートの場合（ ）

防水改修工事の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料等	使用分
・P O X工法		・X- 1	・シルバー	
・L 4 X工法	外周下流し	○X- 2	・カラー	

既存塗膜防水層表面の仕上り塗装（L 4 X工法の場合） ※除去する

断気装置 ※設けない ・設ける

種 類	材 質	設置数量
・平面部断気型	・ポリエチレン樹脂 ・A B S樹脂 ・ステンレス ・鉄板 ・メーカー仕様による	メーカー仕様による
・立上り部断気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・鋼	（ ） m ² 当たり1箇所

シーリング改修工事の種類

シーリング改修工事の種類

シーリング材の種類、施工箇所

※下表以外は、改修標仕3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
サッシュ廻り 水切り 窓戸 食物廻り	MS-2
外壁ジョイント部	MS-2

P C B含有シーリング調査

・1次分析（P C B含有分析の要否判定）
工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種について判定を行うこと。
なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、P C B含有分析が必要な場合は監督職員と協議する。

・2次分析（P C B含有分析）
P C Bの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。
1）採取箇所 計 箇所
2）採取方法 分析機関の指定する方法により採取する
3）分析方法 G C-E C D法による（JIS K 0114）
シーリングにP C Bが含有していた場合の措置
1）除去方法 関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、P C Bが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

概要

工期

作成者

承認

工事名称

図面名称

石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

特記仕様書（その1）

縮尺

図番

02

摘要 		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
				図面名称 特記仕様書 （その２）	図番 03
			承認		
T・L・A・W・R					

6
内装改修工事

31	トイレブース	表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き） ・ポリエステル樹脂系化粧板 足形状 ※幅木型 ・足金物型	(20.2.5)																																				
32	階段滑止め	材 理 ステンレス SUS304 形 状 既製品 両端フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビル製） ・無し 幅（mm） 約35 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法	(20.2.6)																																				
33	階段手すり	<table><tr><th>種 別</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>※集成材クリアッカー仕上げ （市販品 径 約45mm） ・ビル製ハンドレール（幅 約50mm）</td><td></td></tr></table>	種 別	施工箇所	※集成材クリアッカー仕上げ （市販品 径 約45mm） ・ビル製ハンドレール（幅 約50mm）																																		
種 別	施工箇所																																						
※集成材クリアッカー仕上げ （市販品 径 約45mm） ・ビル製ハンドレール（幅 約50mm）																																							
34	看板及び ホワイトボード	<table><tr><th>種 類</th><th>寸法（mm）</th><th>色 彩</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・看板</td><td>※横付け</td><td>※緑 ・黒 ※黒 ・黒 ※黒 ・黒</td><td>※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分</td></tr><tr><td>・ホワイト ボード</td><td>※ほうろう</td><td>※白</td><td>※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分</td></tr></table>	種 類	寸法（mm）	色 彩	備 考	・看板	※横付け	※緑 ・黒 ※黒 ・黒 ※黒 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	・ホワイト ボード	※ほうろう	※白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	(20.2.8)																								
種 類	寸法（mm）	色 彩	備 考																																				
・看板	※横付け	※緑 ・黒 ※黒 ・黒 ※黒 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分																																				
・ホワイト ボード	※ほうろう	※白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分																																				
35	表示	衝突防止表示 ※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・ ） （・両面 ・片面） ・無し 表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による 誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他は具通詳細図による。 製造所 監督職員の承認する製造所	(20.2.10)																																				
36	ブラインド	・既存再使用する（養生方法： ） ・新設する <table><tr><th>形 式</th><th>種 類</th><th>スラットの材質</th><th>スラットの幅（mm）</th></tr><tr><td>※横型</td><td>・ギヤ式 ※コード式 ・操作棒式</td><td>※アルミニウム合金製</td><td>※25</td></tr><tr><td>・縦型</td><td>・1本操作コード ・2本操作コード</td><td>・アルミスラット ・タロススラット</td><td>・80 ・100</td></tr></table>	形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅（mm）	※横型	・ギヤ式 ※コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・タロススラット	・80 ・100	[2.3.1] [5.1.6] (20.2.12)																								
形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅（mm）																																				
※横型	・ギヤ式 ※コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25																																				
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・タロススラット	・80 ・100																																				
37	ロールスクリーン	防炎性能 ※有り 製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する <table><tr><th>施工箇所</th><th>装 置</th><th>性 能</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>電動 手引</td><td>（防炎性能）</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>	施工箇所	装 置	性 能	備 考		電動 手引	（防炎性能）			・	・			・	・			・	・		(20.2.13)																
施工箇所	装 置	性 能	備 考																																				
	電動 手引	（防炎性能）																																					
	・	・																																					
	・	・																																					
	・	・																																					
38	カーテン	・既存再使用する（養生方法： ） ・新設する <table><tr><th>施工箇所</th><th>形 式</th><th>装 置</th><th>ひだの種類</th><th>性 能</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>片引</td><td>電動</td><td>ひも引</td><td>手引</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>	施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考		片引	電動	ひも引	手引			・	・	・	・			・	・	・	・			・	・	・	・			・	・	・	・		2.3(1) [5.1.6] (20.2.14)
施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考																																		
	片引	電動	ひも引	手引																																			
	・	・	・	・																																			
	・	・	・	・																																			
	・	・	・	・																																			
	・	・	・	・																																			
39	カーテンレール	・既存再使用する ・新設する 材 理 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形 式 ・片引き ・引分け（※横溝用は300mm以上の召合せの要除けとする） （開き戸）（引違型）	[5.1.6] (20.2.14)																																				
40	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	・既存再使用する ・新設する ・市販品（アルミニウム製 押出し型材） 溝幅×深さ（mm） ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・ 色彩 ※白－1 ・白－2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・図示	[5.1.6]																																				
41	天井点検口	材 質 アルミニウム製（※鋼線タイプ ・目地タイプ）																																					
42	床点検口	材 質 アルミニウム製（受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製）																																					
43	鋼製書架及び物品棚	<table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th><th>耐荷重による種類</th></tr><tr><td>・鋼製書架</td><td>JIS S 1039の規格による</td><td>水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ</td></tr><tr><td>・鋼製物品棚</td><td>JIS S 1040の規格による</td><td>※1種 ・2種 ・3種</td></tr></table>	種 類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ	・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種																												
種 類	規格等	耐荷重による種類																																					
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ																																					
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種																																					
44	くつみきマット	市販品 材 質 ・強化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠） ・硬質アルミニウム製（受枠と合） ・ステンレス製（受枠と合）																																					
45	洗し台ユニット	<table><tr><th>種 類</th><th>寸法（L×W×mm）</th><th>適用内容</th><th>規格・品質等</th></tr><tr><td>・洗し台</td><td>・1200 ・1500 ・1800</td><td>トラップ付 バックガード有り</td><td>※優良住宅部品</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>・600 ・700 ・</td><td>バックガード無し</td><td>（セクショナルキッチンⅠ型）</td></tr><tr><td>・調理台</td><td>・450</td><td>バックガード有り</td><td>・木製セクショナルキッチン</td></tr><tr><td>・つり戸棚</td><td>・1200 ・900 ・600 ・450</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・水切り棚</td><td>・1200 ・900 ・600</td><td>ステンレス製 ※1段式</td><td>※市販品</td></tr></table>	種 類	寸法（L×W×mm）	適用内容	規格・品質等	・洗し台	・1200 ・1500 ・1800	トラップ付 バックガード有り	※優良住宅部品	・コンロ台	・600 ・700 ・	バックガード無し	（セクショナルキッチンⅠ型）	・調理台	・450	バックガード有り	・木製セクショナルキッチン	・つり戸棚	・1200 ・900 ・600 ・450			・水切り棚	・1200 ・900 ・600	ステンレス製 ※1段式	※市販品													
種 類	寸法（L×W×mm）	適用内容	規格・品質等																																				
・洗し台	・1200 ・1500 ・1800	トラップ付 バックガード有り	※優良住宅部品																																				
・コンロ台	・600 ・700 ・	バックガード無し	（セクショナルキッチンⅠ型）																																				
・調理台	・450	バックガード有り	・木製セクショナルキッチン																																				
・つり戸棚	・1200 ・900 ・600 ・450																																						
・水切り棚	・1200 ・900 ・600	ステンレス製 ※1段式	※市販品																																				
46	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※電化発泡シート張り ・																																					
47	洗面カウンター	材 理 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石 奥行（mm） ・約450 ・約600																																					
48	収納家具	材質 形状・寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・第三種	(12.2.2) (19.7.2)																																				

49	防煙垂れ壁	・固定式 <table><tr><th>材質</th><th>厚さ（mm）</th><th>高さ（mm）</th><th>備考</th></tr><tr><td>※網入り樹脂ガラス</td><td>※6.8</td><td>※500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・可動式 <table><tr><th>材質</th><th>厚さ（mm）</th><th>高さ（mm）</th><th>備考</th></tr><tr><td>・垂直降下式（巻取り型）</td><td>※不燃布（不燃認定品）</td><td>※500・800</td><td>ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）</td></tr><tr><td>・回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※500</td><td>表面仕上げ</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>・</td><td>・800</td><td>※天井材張り</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 降下機構 検知器連動及び手動開放装置（埋込型）	材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考	※網入り樹脂ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	・コンロ台	・	・	・	材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考	・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ	・コンロ台	・	・800	※天井材張り	・コンロ台	・	・	・																														
材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考																																																													
※網入り樹脂ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																													
・コンロ台	・	・	・																																																													
材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考																																																													
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）																																																													
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ																																																													
・コンロ台	・	・800	※天井材張り																																																													
・コンロ台	・	・	・																																																													
50	フェンス	・ビル被覆エキスパンドフェンス																																																														
51	屋外掲示板	照明器具 ・有り ・無し 再塗装 ・図示 ・無し																																																														
52	エキスパンション・ジョイント金物	材質 ・アルミ ・ステンレス クリアランス 50 ・100 ・150 ・200 ・図示 耐火性能 ・有り（ ） ・無し ※ただし肉厚4.0mm以上 防水型 ※外部 適用する ※内部 適用しない																																																														
53	サイン	使用材料及び製品で、JIS又はJASの規格のあるものは、それぞれの規格に適合するものとする ・案内札、指示板、銘板、入居者名板、サイン表示板等は図示による。 ・取付け位置、取付け方法は図示による。																																																														
54	塗装改修工事	① 材料 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。 建築物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・第三種 ② 下地調整 [7.2.2～7] [表7.2.1～7] <table><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整の種別</th><th>備 考</th></tr><tr><td>木部</td><td>・R A種 ※R B種</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・R A種 ※R B種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>・R A種 ※R B種</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>亜鉛めっき面（鋼製鉄具）</td><td>※R B種 ・R C種</td></tr><tr><td>モルタル、プラスター面</td><td>・R A種 ※R B種</td><td rowspan="2">（2－U E）、（2－A B E）及び（2－F U E）は除く</td></tr><tr><td>コンクリート、ALCパネル面</td><td>・R A種 ※R B種</td></tr><tr><td>せつこうボード、その他ボード面</td><td>・R A種 ※R B種</td><td></td></tr></table> 既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※行わない ・行う（補修範囲及び補修方法は図示） [表7.2.4～6] ③ 新規鉄面の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.4.4] [表7.4.2] ④ 新規木部の塗りの種別 ・A種（外部） ・B種（内部）（塗り替え） [7.4.3] [表7.4.1] ⑤ 新規鉄面の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.5.2] [表7.5.1] ⑥ 新規木部の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.6.2] [表7.6.1] ⑦ 新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.6.3] [表7.6.2] ⑧ 耐候性塗料塗り（DP） [7.9.2～3] [表7.9.1～2] <table><tr><th>下地の種類</th><th>種 別</th><th>上塗材の等級</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・1級 ・2級</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・C種</td><td>・3級</td></tr><tr><td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・A種 ・B種</td><td>・1級 ・2級</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・C種</td><td>・3級</td></tr></table> [7.8.9] [表7.8.3] <table><tr><th>下地の種類</th><th>種 別</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート及び押出成形セメント版面</td><td>・A－1種 ・A－2種</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・B－1種 ・B－2種</td></tr><tr><td></td><td>・C－1種 ・C－2種</td><td></td></tr></table> ⑨ 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 ・C種 [7.9.2～5] [表7.9.1～4] ⑩ 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 ・C種 [7.10.2] [表7.10.1] ⑪ 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.12.2] [表7.12.1] ⑫ 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.13.2] [表7.13.1] ⑬ 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 [7.15.2] [表7.15.1] ⑭ 下地調整 [7.2.2～7] [表7.2.1～7] <table><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整</th><th>下塗り</th><th>中塗り・上塗り</th><th>備 考</th></tr><tr><td>既存鉄鋼面</td><td>R B種 [表7.2.2]</td><td>JIS K 5551又は JASS108-109</td><td>JIS K 5656又は JIS K 5659</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>既存PP面</td><td>R C種 [表7.2.2]</td><td>プライマー</td><td>JIS K 5659又は JIS K 5659</td></tr></table> ※塗装仕様については、塗料メーカーの仕様を原則とし、監督員と協議すること。	下地面の種類	下地調整の種別	備 考	木部	・R A種 ※R B種		鉄鋼面	・R A種 ※R B種	亜鉛めっき面	・R A種 ※R B種		亜鉛めっき面（鋼製鉄具）	※R B種 ・R C種	モルタル、プラスター面	・R A種 ※R B種	（2－U E）、（2－A B E）及び（2－F U E）は除く	コンクリート、ALCパネル面	・R A種 ※R B種	せつこうボード、その他ボード面	・R A種 ※R B種		下地の種類	種 別	上塗材の等級	備 考	鉄鋼面	・A種 ・B種	・1級 ・2級		・C種	・3級	亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種	・1級 ・2級		・C種	・3級	下地の種類	種 別	備 考	コンクリート及び押出成形セメント版面	・A－1種 ・A－2種		・B－1種 ・B－2種		・C－1種 ・C－2種		下地面の種類	下地調整	下塗り	中塗り・上塗り	備 考	既存鉄鋼面	R B種 [表7.2.2]	JIS K 5551又は JASS108-109	JIS K 5656又は JIS K 5659		既存PP面	R C種 [表7.2.2]	プライマー	JIS K 5659又は JIS K 5659	
下地面の種類	下地調整の種別	備 考																																																														
木部	・R A種 ※R B種																																																															
鉄鋼面	・R A種 ※R B種																																																															
亜鉛めっき面	・R A種 ※R B種																																																															
亜鉛めっき面（鋼製鉄具）	※R B種 ・R C種																																																															
モルタル、プラスター面	・R A種 ※R B種	（2－U E）、（2－A B E）及び（2－F U E）は除く																																																														
コンクリート、ALCパネル面	・R A種 ※R B種																																																															
せつこうボード、その他ボード面	・R A種 ※R B種																																																															
下地の種類	種 別	上塗材の等級	備 考																																																													
鉄鋼面	・A種 ・B種	・1級 ・2級																																																														
	・C種	・3級																																																														
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種	・1級 ・2級																																																														
	・C種	・3級																																																														
下地の種類	種 別	備 考																																																														
コンクリート及び押出成形セメント版面	・A－1種 ・A－2種																																																															
	・B－1種 ・B－2種																																																															
	・C－1種 ・C－2種																																																															
下地面の種類	下地調整	下塗り	中塗り・上塗り	備 考																																																												
既存鉄鋼面	R B種 [表7.2.2]	JIS K 5551又は JASS108-109	JIS K 5656又は JIS K 5659																																																													
既存PP面	R C種 [表7.2.2]	プライマー	JIS K 5659又は JIS K 5659																																																													

8-1
耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

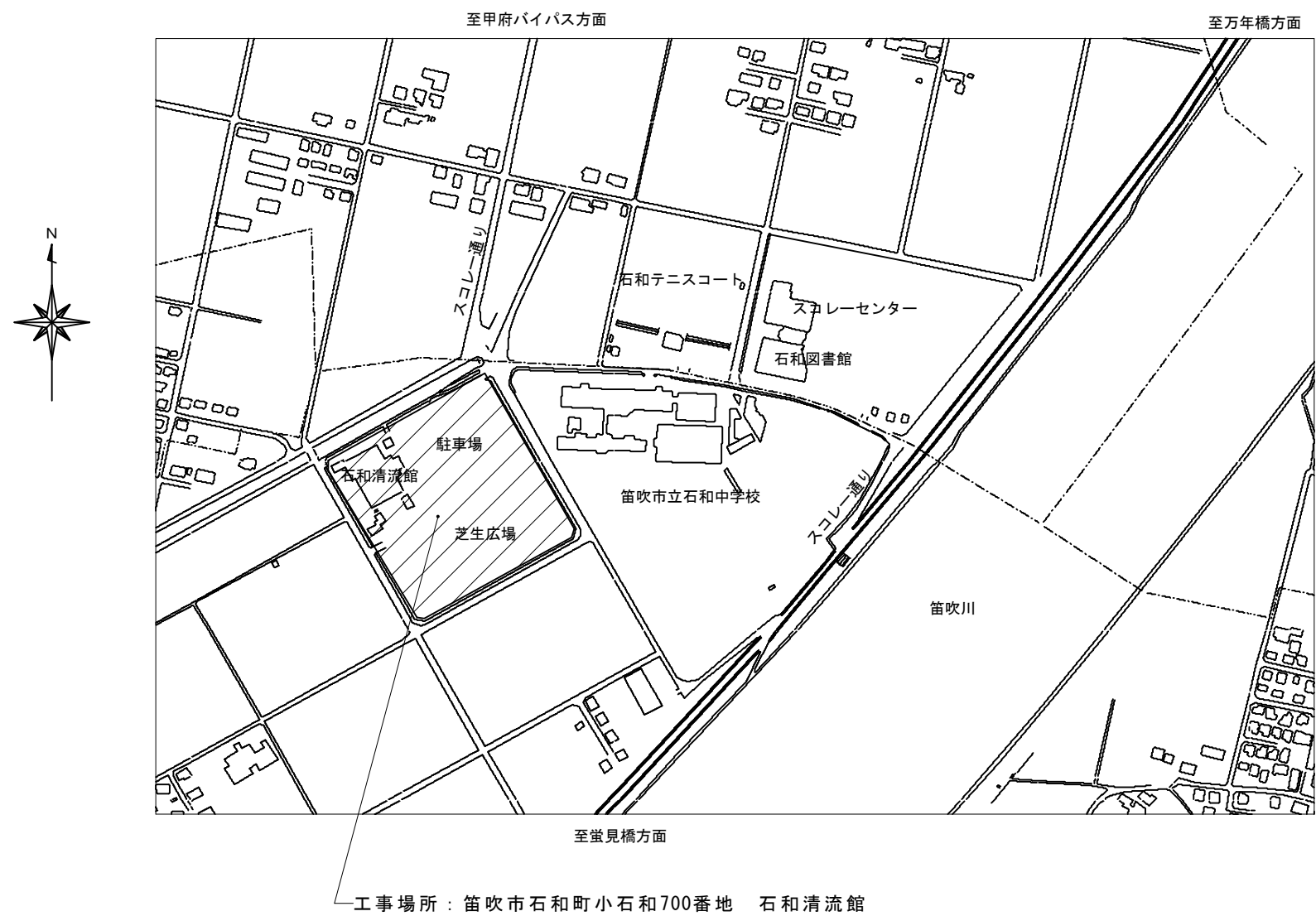
1	鉄筋の種類	[8.2.1] [表8.2.1] <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名（mm）</th></tr><tr><td>・S2025A</td><td>※D16以下</td></tr><tr><td>・S2045</td><td>※D19以上</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 網目の形状、寸法及び鉄筋の径 [8.2.2] <table><tr><th>網目の形状、寸法（たて×よこ）</th><th>鉄筋の径または呼び（mm）</th><th>規格</th></tr><tr><td>※100×100</td><td>※6.0</td><td rowspan="2">JIS S 3551による</td></tr><tr><td>・150×150</td><td>・6.0</td></tr></table> 継手工法 [8.3.4] [表8.3.3] <table><tr><th>継手方法</th><th>呼び名（mm）</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ガス圧接</td><td>D19以上</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・重ね継手</td><td>D16以下</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地處から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 <table><tr><th>施工箇所</th><th>改修種別 表8.3.6の欄に加える寸法（mm）</th></tr><tr><td>柱、梁、壁及び底などの外気に接する打ち面</td><td>※10</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 柱の配筋 帯筋の絡立ての形の種別 [8.3.4] [図8.3.4] ・H形 ・W－I形 ※W－Ⅱ形 圧接部の確認試験 [8.3.9] ※超音波探傷試験 ・引張試験 レディミクストコンクリートの種別 [8.1.3] [表8.1.1] ※Ⅰ種 ・Ⅱ種 普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.3] <table><tr><th>設計基準強度f_c（N/mm^2）</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>※21</td><td>下記以外全て</td></tr><tr><td>・18</td><td>捨てコンクリート、押さえコンクリート</td></tr></table> 軽量コンクリートの設計基準強度 [8.10.1] [表8.10.1] <table><tr><th>設計基準強度f_c（N/mm^2）</th><th>気乾単位容積質量（t/m^3）</th><th>種 別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>※21</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>・</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></table> スランブ [8.1.4] <table><tr><th>スランブ（cm）</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>※18</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・</td></tr></table> セメントの種類 [8.2.3] [表8.2.3] ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種（捨てコンクリート） 普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 <table><tr><th>水和熱</th><th>7d</th><th>352 J/g以下</th></tr><tr><td></td><th>28d</th><th>402 J/g以下</th></tr></table> 混和材料 混和材料の種類 [8.2.5] ※混和剤 ・混和材 柱底等の均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2) [8.2.10] ※無収縮モルタル ・標準表7.10.21によるB種 グラウト材 [8.2.10] ※無収縮グラウト材 無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による 無収縮グラウト材 プレミックス及び現場調合形 <table><tr><th>混和材</th><td>セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。</td></tr><tr><th>セメント</th><td>JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><th>砂</th><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</td></tr></table> 無収縮グラウトの品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値） <table><tr><th>コンシステンシー</th><td>Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒</td></tr><tr><th>ブリージング</th><td>練り混ぜ2時間後のブリージング率： 2.0%以下</td></tr><tr><th>凝結時間</th><td>凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内</td></tr><tr><th>無収縮性</th><td>材齢 7日 収縮しないこと</td></tr><tr><th>圧縮強度</th><td>材齢 3日 20 N/mm^2以上 材齢28日 40.0 N/mm^2以上</td></tr><tr><th>付着強度</th><td>材齢28日 2.5 N/mm^2以上</td></tr><tr><th>塩化物質</th><td>0.30kg/m³以下</td></tr><tr><th>試験方法</th><td>1)日本道路公団規格（JHS）の「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。なお、プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。 2)塩化物質は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書9（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</td></tr></table>	種類の記号	呼び名（mm）	・S2025A	※D16以下	・S2045	※D19以上	・	・	網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄筋の径または呼び（mm）	規格	※100×100	※6.0	JIS S 3551による	・150×150	・6.0	継手方法	呼び名（mm）	適用箇所	・ガス圧接	D19以上		・重ね継手	D16以下	・	・	・	施工箇所	改修種別 表8.3.6の欄に加える寸法（mm）	柱、梁、壁及び底などの外気に接する打ち面	※10	・	・	設計基準強度 f_c （ N/mm^2 ）	適用箇所	※21	下記以外全て	・18	捨てコンクリート、押さえコンクリート	設計基準強度 f_c （ N/mm^2 ）	気乾単位容積質量（ t/m^3 ）	種 別	適用箇所	※21	-	-	-	・	-	-	-	スランブ（cm）	適用箇所	※18		・	水和熱	7d	352 J/g以下		28d	402 J/g以下	混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。	セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	コンシステンシー	Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒	ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率： 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内	無収縮性	材齢 7日 収縮しないこと	圧縮強度	材齢 3日 20 N/mm^2 以上 材齢28日 40.0 N/mm^2 以上	付着強度	材齢28日 2.5 N/mm^2 以上	塩化物質	0.30kg/m ³ 以下	試験方法	1)日本道路公団規格（JHS）の「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。なお、プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。 2)塩化物質は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書9（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	8-1 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事	11	無筋コンクリート	<p>(6.14.3)</p> <table> <tr> <th>種 類</th><th>設計基準強度（N/mm^2）</th><th>スランブ（cm）</th><th>軽骨材の最大寸法</th><th>適用箇所</th></tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td><td>※18</td><td>※15又は18</td><td>※25mm</td><td rowspan="2"></td></tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td><td>-</td><td>-</td><td>・20mm</td></tr> </table> <p>設計基準強度（N/mm^2） [8.9.1～2] [8.9.4]</p> <p>・27 30 33 36</p> <p>適用箇所（ ）</p> <p>混和材料 [8.9.3]</p> <p>※混和剤 ※高性能A E減水剤標準形又は遅延形</p>	種 類	設計基準強度（ N/mm^2 ）	スランブ（cm）	軽骨材の最大寸法	適用箇所	※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25mm		・軽量コンクリート	-	-	・20mm	12	高い強度のコンクリート	<p>製作工場の加工能力 [8.1.5]</p> <p>・監督職員の承認する製作工場 ・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鉄構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 入熱、バキューム度の溶接条件 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※図示</p> <p>※適用する (7.1.4)</p>	13	鉄骨製作工場	<p>鋼材の材質 [8.2.7] [表8.2.5]</p> <table> <tr> <th>種類の記号</th><th>適用箇所</th><th>規格等</th></tr> <tr> <td>※構造用による</td><td>-</td><td>※JIS規格による ※JIS規格による</td></tr> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	種類の記号	適用箇所	規格等	※構造用による	-	※JIS規格による ※JIS規格による	-	-	-	-	-	-	14	施工管理技術者		15	鋼材		16	スカラップ	<p>※改良型スカラップ ・</p>	17	高力ボルト	<p>高力ボルトの適用 [8.2.8]</p> <p>※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト</p>	18	鉄骨工作仮組	<p>・行う ※行わない [8.12.9]</p>	19	溶接部の試験	<p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8.14.11～12]</p> <p>※行う</p>	20	錆止め塗料	<p>耐火被覆材の接着する面の塗装 [8.16.3]</p> <p>・行う（※JIS K 5622 ・ ） ※行わない</p>	21	耐火被覆材	<p>[8.17.2～7]</p> <table> <tr> <th>種 別</th><th>所要性能及び適用構造区分</th></tr> <tr> <td>・耐火材</td><td rowspan="2">・乾式収付けロックウール ・半乾式収付けロックウール ・湿式ロックウール ・1時間耐火構造</td></tr> <tr> <td>収付け</td></tr> <tr> <td>-</td><td>-</td></tr> <tr> <td>・耐火板張り</td><td>-</td></tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td><td>-</td></tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td><td>-</td></tr> </table>	種 別	所要性能及び適用構造区分	・耐火材	・乾式収付けロックウール ・半乾式収付けロックウール ・湿式ロックウール ・1時間耐火構造	収付け	-	-	・耐火板張り	-	・耐火材巻付け	-	・ラス張りモルタル塗り	-
種類の記号	呼び名（mm）																																																																																																																																																														
・S2025A	※D16以下																																																																																																																																																														
・S2045	※D19以上																																																																																																																																																														
・	・																																																																																																																																																														
網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄筋の径または呼び（mm）	規格																																																																																																																																																													
※100×100	※6.0	JIS S 3551による																																																																																																																																																													
・150×150	・6.0																																																																																																																																																														
継手方法	呼び名（mm）	適用箇所																																																																																																																																																													
・ガス圧接	D19以上																																																																																																																																																														
・重ね継手	D16以下																																																																																																																																																														
・	・	・																																																																																																																																																													
施工箇所	改修種別 表8.3.6の欄に加える寸法（mm）																																																																																																																																																														
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打ち面	※10																																																																																																																																																														
・	・																																																																																																																																																														
設計基準強度 f_c （ N/mm^2 ）	適用箇所																																																																																																																																																														
※21	下記以外全て																																																																																																																																																														
・18	捨てコンクリート、押さえコンクリート																																																																																																																																																														
設計基準強度 f_c （ N/mm^2 ）	気乾単位容積質量（ t/m^3 ）	種 別	適用箇所																																																																																																																																																												
※21	-	-	-																																																																																																																																																												
・	-	-	-																																																																																																																																																												
スランブ（cm）	適用箇所																																																																																																																																																														
※18																																																																																																																																																															
・																																																																																																																																																															
水和熱	7d	352 J/g以下																																																																																																																																																													
	28d	402 J/g以下																																																																																																																																																													
混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。																																																																																																																																																														
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																														
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。																																																																																																																																																														
コンシステンシー	Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒																																																																																																																																																														
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率： 2.0%以下																																																																																																																																																														
凝結時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内																																																																																																																																																														
無収縮性	材齢 7日 収縮しないこと																																																																																																																																																														
圧縮強度	材齢 3日 20 N/mm^2 以上 材齢28日 40.0 N/mm^2 以上																																																																																																																																																														
付着強度	材齢28日 2.5 N/mm^2 以上																																																																																																																																																														
塩化物質	0.30kg/m ³ 以下																																																																																																																																																														
試験方法	1)日本道路公団規格（JHS）の「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。なお、プレミックス形と現場調合形と混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。 2)塩化物質は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書9（規定）「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																																																																																																																																																														
種 類	設計基準強度（ N/mm^2 ）	スランブ（cm）	軽骨材の最大寸法	適用箇所																																																																																																																																																											
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25mm																																																																																																																																																												
・軽量コンクリート	-	-	・20mm																																																																																																																																																												
種類の記号	適用箇所	規格等																																																																																																																																																													
※構造用による	-	※JIS規格による ※JIS規格による																																																																																																																																																													
-	-	-																																																																																																																																																													
-	-	-																																																																																																																																																													
種 別	所要性能及び適用構造区分																																																																																																																																																														
・耐火材	・乾式収付けロックウール ・半乾式収付けロックウール ・湿式ロックウール ・1時間耐火構造																																																																																																																																																														
収付け																																																																																																																																																															
-	-																																																																																																																																																														
・耐火板張り	-																																																																																																																																																														
・耐火材巻付け	-																																																																																																																																																														
・ラス張りモルタル塗り	-																																																																																																																																																														
2	鉄筋の種類	[8.2.1] [表8.2.1] <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び名（mm）</th></tr><tr><td>・S2025A</td><td>※D16以下</td></tr><tr><td>・S2045</td><td>※D19以上</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> 網目の形状、寸法及び鉄筋の径 [8.2.2] <table><tr><th>網目の形状、寸法（たて×よこ）</th><th>鉄筋の径または呼び（mm）</th><th>規格</th></tr></table>	種類の記号	呼び名（mm）	・S2025A	※D16以下	・S2045	※D19以上	・	・	網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄筋の径または呼び（mm）	規格																																																																																																																																																		
種類の記号	呼び名（mm）																																																																																																																																																														
・S2025A	※D16以下																																																																																																																																																														
・S2045	※D19以上																																																																																																																																																														
・	・																																																																																																																																																														
網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄筋の径または呼び（mm）	規格																																																																																																																																																													

8-1 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事	22	既存コンクリート面の目視し	適用範囲 ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面 ・ 目視らしの範囲 ※柱・梁端 打継ぎ面又は接合面全面の3/4以上 ※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度 ・ 目視らしの程度 ※平均深さ5～10mm（最大深さ10～15mm）程度の凹部を施す	[8.19.3] [8.20.3]	特記仕様 追記	① 工事実績情報	工事実績情報（工事カルテ）の登録を行うこと。（請負工事費が 500 万円以上）												
	23	あと施工アンカーの材料	あと施工アンカーの材料 ・金属系アンカー（耐震補強用） ※接着系アンカー 接着剤の品質 ※有機系 アンカー筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ・金ねじボルト	[8.2.4]		② 技能士	技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の氏名・資格証明を添付すること。 ただし防水にかかわる工事については必ず技能士を活用すること。												
	24	あと施工アンカーの穿孔	穿孔前の確認及び配管等の探索 範囲 ※あと施工アンカー施工部分全て ・図示 方法 ※探査器により探索し、配管等の位置の墨出しを行う ・はつり出しによる	[8.11.2]		③ 工事写真	工事写真については箇状市の提出要領による												
	25	施工確認試験	アンカー筋引行（確認強度は図示による）	[8.11.5]		④ 工事進捗状況報告書	工事進捗状況報告書を提出すること。（提出日は毎月末、PDFデータとしインターネットメールでの提出） 毎月末までの進捗状況を定検課指定の書式により、翌月 1 日までに提出すること。												
	26	断熱材兼用型枠	<table><tr><th>種 類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>品質等</th></tr><tr><td>・断熱材兼用型枠</td><td>・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系</td><td>※壁（図示の範囲） ・</td><td>※40以下 断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝導率 ＝0.676以上 (m²・k/ w)</td></tr><tr><td colspan="4">製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの</td></tr></table>	種 類		施工箇所	厚さ (mm)	品質等	・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝導率 ＝0.676以上 (m ² ・k/ w)	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの				[19.9.2] [19.9.3]	⑤ 火災保険	火災保険の加入期間は工期に 14 日以上の日を加えた日までとする。 (原則として全ての工事において加入、契約書 27 条)
	種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等															
	・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝導率 ＝0.676以上 (m ² ・k/ w)															
	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの																		
	8	高炉セメントB種	高炉セメントB種を以下の部位に使用すること。 ・ ①ラップルコンクリート ・ ②捨てコンクリート ・ ③場所打ちコンクリート杭地盤 ・ ④外構工事等に伴う地中部分のコンクリート工造物	⑥ 現場への搬入路		現場への搬入路は、破壊のないよう留意し、もし破壊した場合は速やかに復旧すること。													
	9	再生資源の利用促進	環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。（建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。）	⑦ グリーン購入法		「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき、「山梨グリーン購入の推進を図るための方針」により定められた方針に準じては、同法判断基準を満たすものの採用に努め、建設機械については原則使用すること。 また、採用が困難な場合は理由書添付して報告すること。(コスト、納期、使用部位への適応性) 再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板） 陶磁器質タイル 高炉セメント フライアッシュセメント 再生加酸アスファルト混合物 再生骨材 小粒丸太材（間伐材） 排出ガス対策型建設機械 ※高炉セメント、フライアッシュセメントは鉄筋コンクリート道には使用しない。 ※再生加酸アスファルト混合物は路床のみに使用する。（プラントから 40 km以内の現場） 次の製品に関しては判断基準を満たすものから選定すること。 提示板 裏板 ホワイトボード カーテン カーペット また工事完了後、その実績を文書にて報告すること。													
10	高度技術・創意工夫・社会性等実施状況	このことについて、請負者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 この提出は工事評定の対象工事とする。（請負工事 500 万円以上。）	⑧ 現場への搬入路	現場への搬入路は、破壊のないよう留意し、もし破壊した場合は速やかに復旧すること。															
11	工事施工実施計画書	次の工事施工実施計画書を提出すること。軽微な工事は必要としない。 ○ 総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの。） ○ 工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による。） このなかで、安全対策・使用材料・施工体制（下請け施工者の責任者）も明らかにすること。	⑨ 再生資源の利用促進	環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。（建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。）															
12	施工体制台帳等	適正な下請負契約を確認するため、下請契約を締結したときは次の書類を提出すること。 施工体制台帳 受注者は、下請契約を締結したときは、国土交通省令に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。 施工体系図 受注者は、国土交通省令に従って、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が集まりやすい場所および公表がしやすい場所に掲げるとともにその写しを監督員に提出しなければならない。 施工体制台帳等の変更時の取置 施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合は、その都度速やかに監督員に提出しなければならない。 添付書類等については直轄技術管理課ホームページ http://www.pref.yamanashi.jp/gi/jutsukanri/sekoutaisaishichouchecklist.html 「施工体制台帳を提出する際に用いるチェックリストの運用」を参照	⑩ 高度技術・創意工夫・社会性等実施状況	このことについて、請負者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 この提出は工事評定の対象工事とする。（請負工事 500 万円以上。）															
13	建設副産物実地調査（センサス）の対象工事	請負金額 100 万円以上の工事については、建設副産物実地調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告書式（計画書・実施書）（E×o×1 添式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1 部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。 （以前より使用していたC R E D A sを使用した様式での提出は430 センサスに対応していないため不可） 工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1 部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD、FD等）により監督員に提出するものとする。 なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。 ※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101createdsitop.htm	⑪ 工事施工実施計画書	次の工事施工実施計画書を提出すること。軽微な工事は必要としない。 ○ 総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの。） ○ 工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による。） このなかで、安全対策・使用材料・施工体制（下請け施工者の責任者）も明らかにすること。															
14	不当要求及び工事結算の排除	暴力団等からの不当要求及び工事結算の排除 ①、請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事結算を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力をを行うこと。 ②、この場合において、工程等を変更せざるをえなくなったときは、速やかに発注者と協議すること。 ③、請負者が①の報告等を怠った場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止を行うこととする。	⑫ 建設副産物実地調査（センサス）の対象工事	請負金額 100 万円以上の工事については、建設副産物実地調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告書式（計画書・実施書）（E×o×1 添式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1 部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。 （以前より使用していたC R E D A sを使用した様式での提出は430 センサスに対応していないため不可） 工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1 部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD、FD等）により監督員に提出するものとする。 なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。 ※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101createdsitop.htm															

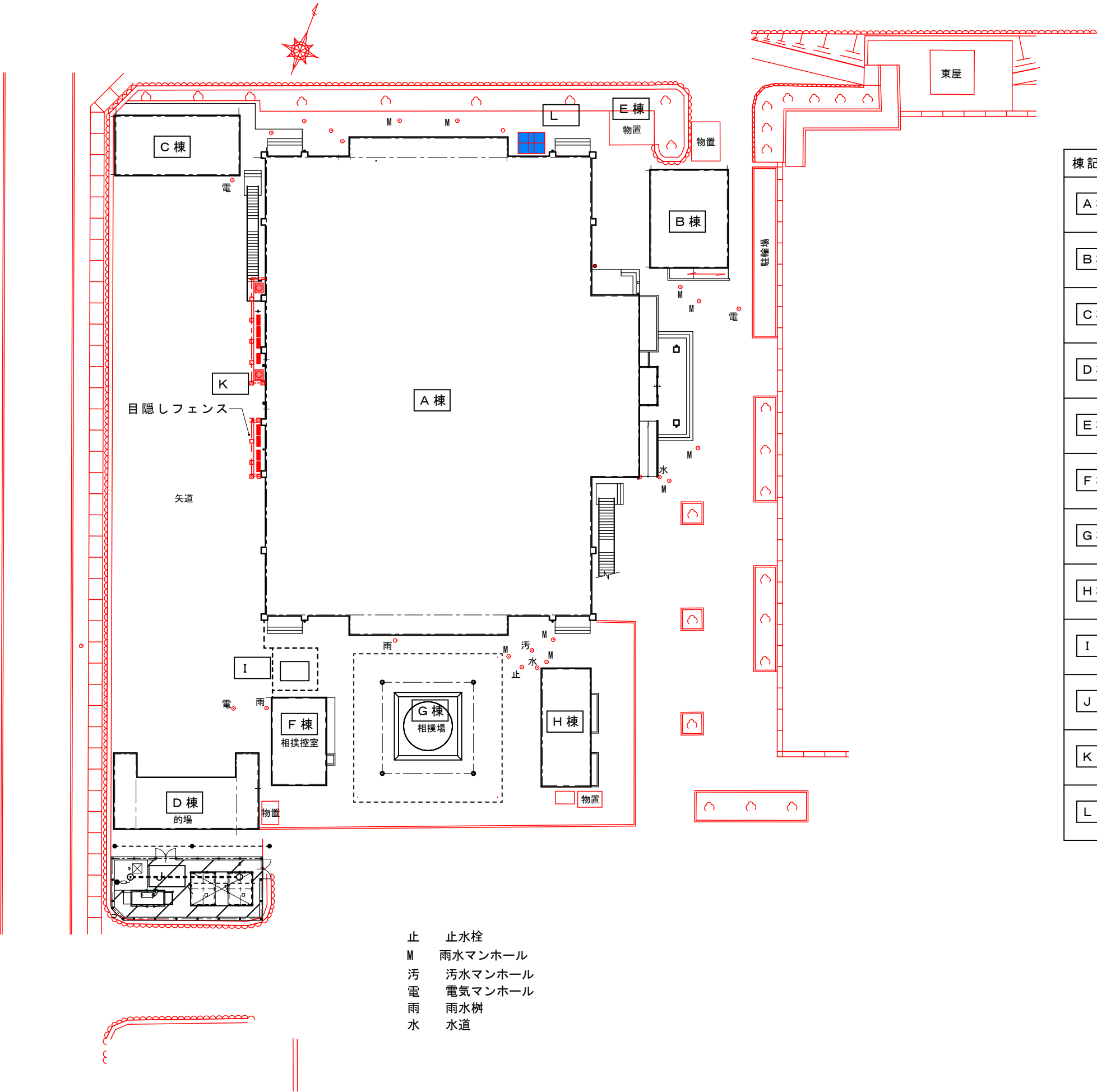
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25	15	地中埋設物	地中埋設物について、図面及び現地により、詳細に調査すること。 施設利用者等の安全に十分に配慮すること。 ワンダーレスポンスについて（工事費 5000 万円以上） 1. この工事は、ワンダーレスポンス取付対象工事とする。 「ワンダーレスポンス」とは受注者からの質問、協議への回答を、原則「1 日（ 24 時間）以内」に回答することである。 2. 受注者は、余裕を排した最適な工程を、作業ごとの開通、進捗状況把握ができる方法により作成し、監督員と協議する。 3. 効果・課題等を把握するため、フォローアップ調査に協力すること。									
	16	施設利用者等の安全	主任技術者又は監理技術者の専任について（請負工事費 3500 万円以上、建築一式は 7000 万円以上） 1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 2. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「完成検査結果通知書」等）に依り日付）とする。									
	17	ワンダーレスポンス	「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工程の如何にかかわらず、末端の下請負者まで反映させた、「下請負体系図」を作成し、速漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、速滞なく監督員へ提出するものとする。 また、提出した「下請負体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更し、速滞なく監督員へ提出するものとする。 なお、提出は打合せによるものとする。ただし、メールによる提出も可能とし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。									
	18	技術者の専任	本工事において、原則「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（昭和 62 年 3 月 30 日建設省経機第 58 号）」に基づき、低騒音型建設機械を使用する。 なお、低騒音型建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械に関する規程（平成 9 年建設省令第 1536 号 最終改正平成 20 年国土交通省令第 361 号）」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。 また、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。									
	19	下請負体系図の作成及び提出	当該公共が公共工事労務費調査の対象となった場合には、監督員の指示によりこれに協力しなければならぬ。工期経過後においても同様とする。									
	20	低騒音型建設機械の使用	内装材撤去については、下地<断熱材、打ち込み木根除く>・仕上げすべて撤去となるため、解体工事と同等の方法を用いることができる。									
	21	公共事業労務費調査	既存構造物は破壊しないよう留意し、万が一破壊した場合は速やかに監督員に報告し復旧を行うこと。									
	22	内装撤去について	1. ゴム製品等の品質確認等 東洋ゴム化工品(株)ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料を用いる場合には、契約時点 で用社が製造するゴム製品等に対して受注社が指定した第三者(東洋ゴム化工品(株)ニッタ化工品(株)と資本金・人事面で関係がない者)によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。なお、必要な品質証明書は、以下の試験および検査において、製品に応じた必要な規格について取得するものとする。									
	23	敷地内の既存構造物等	第三者による品質証明書類を提出し監督員の確認を得た場合であっても、のちに製品不良等が判明した場合の受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。									
	24	その他										
25	化学物質の濃度測定	測定対象化学物質 ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン ・その他（ ） 測定時期 ※工事完了検査前 測定方法 ※1箇所あたり2 測定バッチ（ホルムアルデヒド用、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン用） 測定室 ※居室（ 1 ） 測定係所数 以下の数に準ずる <table><tr><th>室の床面積 (㎡) : A</th><th>A≦50</th><th>50<A≦200</th><th>200<A≦500</th><th>500<A</th></tr><tr><th>測定係所数</th><td>1 係所</td><td>2 係所</td><td>3 係所</td><td>4 係所</td></tr></table> 測定結果の報告 「測定結果報告書」を監督職員に提出すること。（書式は監督職員の指示による） 測定結果が基準値を超えた場合の措置 原因究明の報告書及び措置方法の計画書を提出し、監督職員の承認を得ること。	室の床面積 (㎡) : A	A≦50	50<A≦200	200<A≦500	500<A	測定係所数	1 係所	2 係所	3 係所	4 係所
室の床面積 (㎡) : A	A≦50	50<A≦200	200<A≦500	500<A								
測定係所数	1 係所	2 係所	3 係所	4 係所								

設計概要	工 事 名 称		石和清流館整備工事（建築主体）（債務）										
	建築主 住所・氏名		笛吹市石和町市部 7 7 7 笛吹市長 山下政樹										
	構造 工事種別		鉄骨造平屋建て及び2階建て、又木造平屋建て 改修										
	敷 地 の 地 名 地 番		山梨県笛吹市石和町小石和700番地 石和清流館										
	用途地域等		無指定										
	床面積		棟別面積表（配置図参照）										
	建築面積		棟別面積表（配置図参照）										
工事の概要	A 棟 B 棟 C 棟 D 棟 E 棟 F 棟 G 棟 H 棟 合計 8 棟及び外構の整備												
	A 棟	外部改修	基礎部	モルタル浮き部改修 タイル浮き部改修									
				クラック補修									
				基礎立ち上がり面塗装									
	外壁部		外壁版目地部及び窓周りシーリングの打ち換え										
			クラック補修										
			外壁面吹付塗装改修										
	軒天部		既存ケイカル版損傷箇所補修の上塗装										
			一部（ルーフデッキ屋根部）撤去の上【新設】										
	破風鼻隠		ケレンの上塗装（D P）										
	外部鉄部												
	屋外階段		鉄部D P 塗装										
	屋根部		屋根：カバー工法による葺き替え・一部（ルーフデッキ屋根）撤去の上葺き替え										
			瓦棟：撤去→屋根同材棟葺き										
			軒樋：全取り換え 一部新設										
			縦樋：全取り換え 一部新設（排水経路変更）										
	屋上防水		既存シート防水＋人工芝撤去の上ウレタン防水＋ゴムチップ舗装										
			的場の安土；撤去の上再構築										
			ルーフドレン部：改修用ドレン挿入										
	内部改修		柔道場 剣道場	床（畳共）：全撤去の上柔道用床組・柔道用畳敷き									
				床・壁・天井断熱材挿入									
				壁・天井：撤去の上【新設】									
	A 棟		内部改修	1 階 その他室	床・壁・天井への断熱材挿入								
					床・壁の仕上げ撤去及び【新設】								
					天井：下地～仕上撤去及び【新設】								
					更衣室内シャワールーム撤去								
		便所 1 ～ 2 階		床：バリアフリー化 乾式床とする									
				便器洋式化（機械設備） 壁・天井仕上げ改修									
		2 階 廊下 射場		床 ；下地・フローリング共撤去の上【新設】									
				壁 ；仕上げ撤去の上【新設】									
				天井：一部下地共撤去一部仕上げのみ撤去の上【新設】									
				床・壁の仕上げ撤去及び【新設】									
				天井：下地～仕上撤去及び【新設】									
				更衣室内シャワールーム撤去									
	建具改修	金属製建具 シャッター 木製建具	不具合建具修繕 スチールドア塗装 網戸交換 カーテン交換										
2 階射場シャッター：交換													
塗装 撤去・新設 引き戸レール改修													
B 棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：塗装改修 外壁：シーリング打設替えの上塗装										
	内部改修												
C 棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装										
	内部改修		建具修繕 シャッター全交換 シャッター交換による取り付け部分改修										
D 棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装										
	内部改修		建具修繕 シャッター：交換										
E 棟	外部改修	屋根・外壁	外壁：シーリング差し替えの上塗装										
	内部改修												
F 棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装										
	内部改修												
G 棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装										
	内部改修		天井張替え 鉄部：D P 塗装 土俵改修										
H 棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：塗装改修 外壁：シーリング差し替えの上塗装										
	内部改修		内装仕上げ改修 便器洋式化（機械設備）										
外 構	一部インターロッキング舗装新設（屋外トレへのアプローチ・遠的場へのアプローチ												
	遠的場矢道グラウンド整備 機械基礎（電気設備用 機械設備用）												
	他												

摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
							承認	図面名称 設計概要・工事概要	図番 07



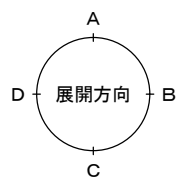
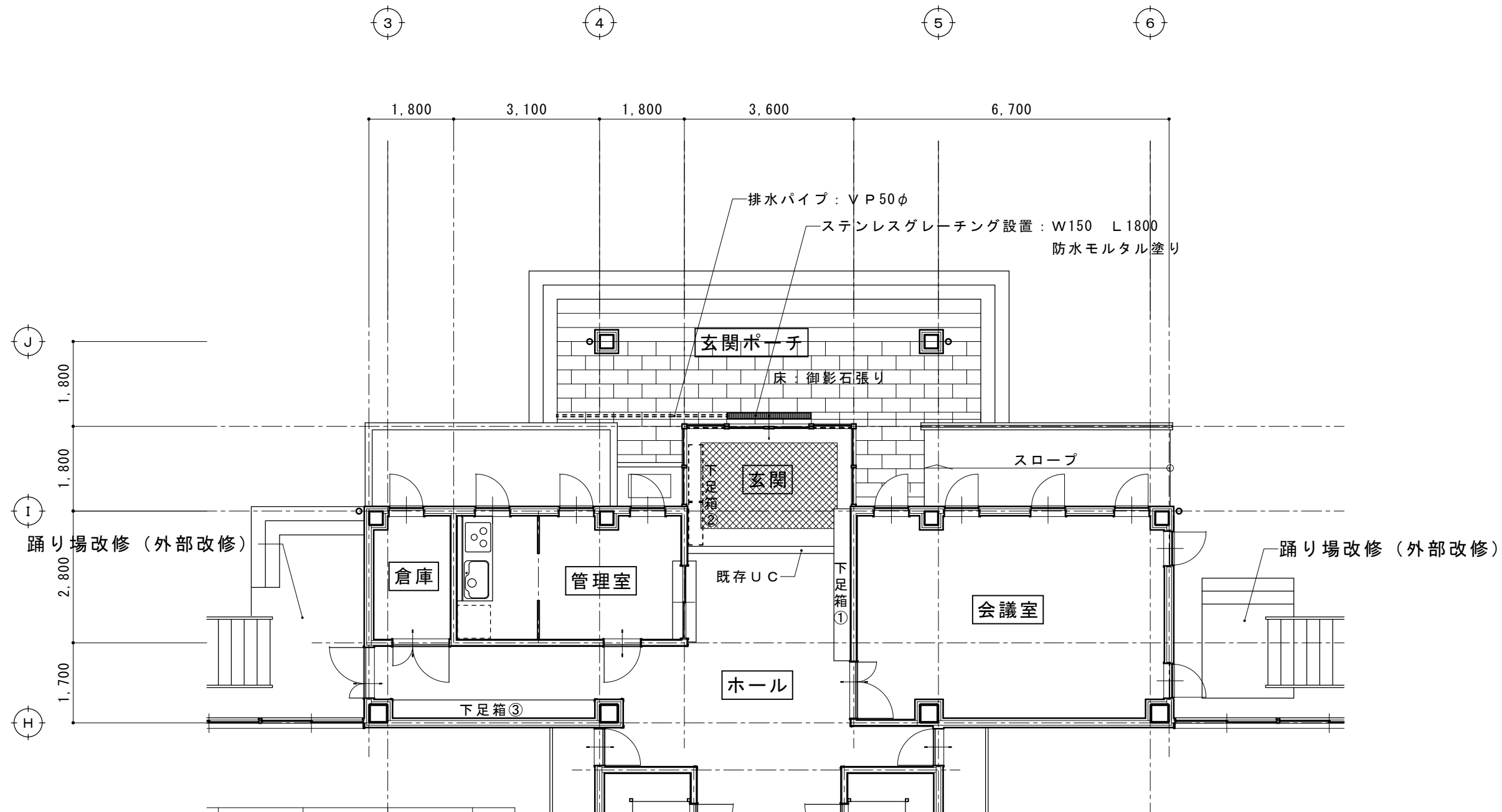
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
						承認	図面名称 案内図	図番 08



棟記号	用途	構造	階数	面積
A 棟	武道場 柔道場・剣道場 弓道場	鉄骨造	2 階建て	延べ面積：2,010.94 m ² 建築面積：1,580.89 m ²
B 棟	スポーツ練習場 トレーニングルーム	木造	平屋建て	延べ面積：66.10 m ² 建築面積：66.10 m ²
C 棟	弓道場（遠的） 射場	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：63.80 m ² 建築面積：63.80 m ²
D 棟	弓道場（遠的） 的場	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：72.65 m ² 建築面積：72.65 m ²
E 棟	物置	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：13.00 m ² 建築面積：13.00 m ²
F 棟	相撲控室	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：40.00 m ² 建築面積：40.00 m ²
G 棟	相撲場	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：174.24 m ² 建築面積：174.24 m ²
H 棟	屋外便所	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：49.50 m ² 建築面積：49.50 m ²
I 棟	変圧器置き場 キュービクル			
J 棟	発電機置場 非常用発電機 200KVA 油庫（72時間対応）			
K 棟	A C 屋外機置場			
L 棟	屋内消火栓タンク置場			

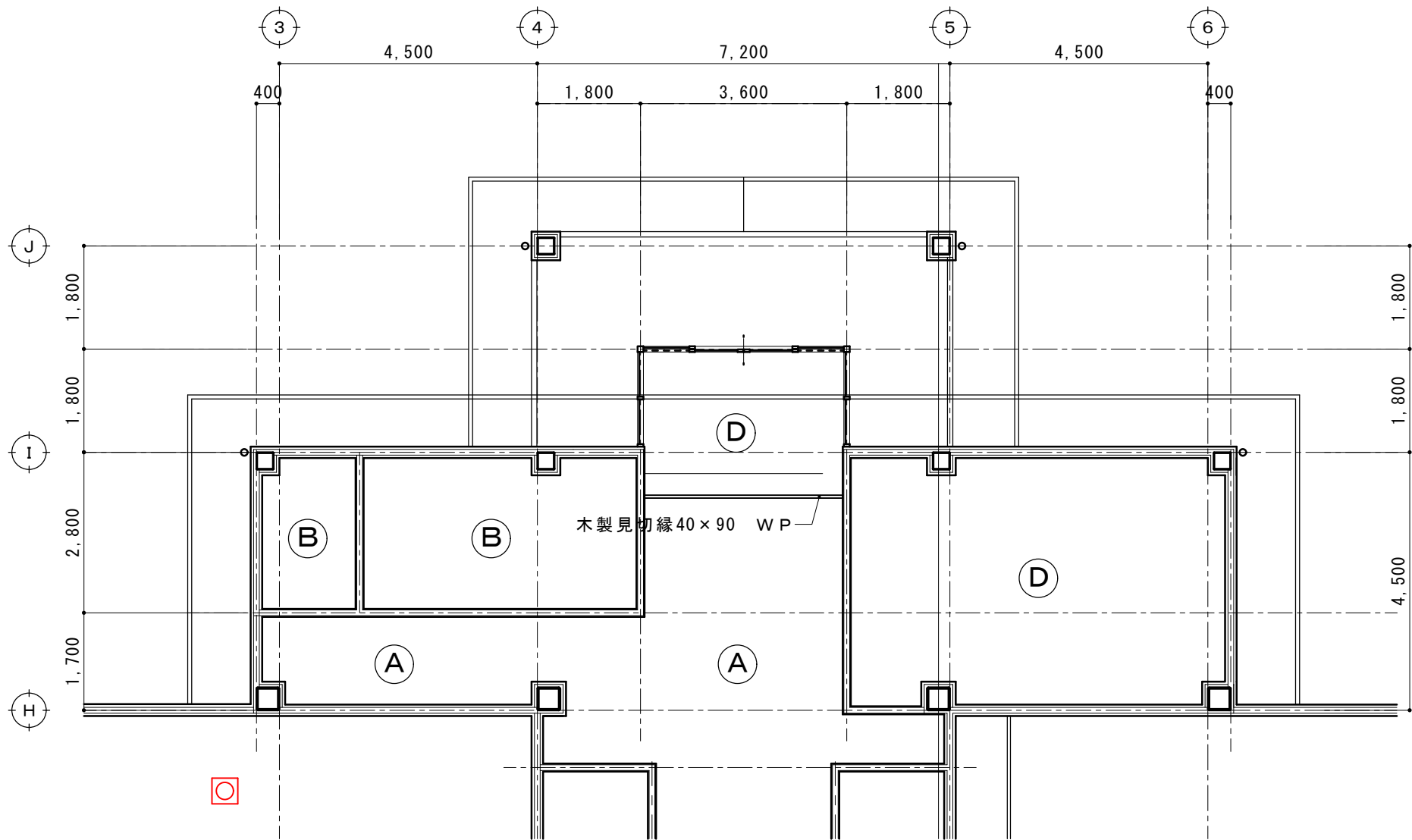
止 止水栓
M 雨水マンホール
汚 汚水マンホール
電 電気マンホール
雨 雨水樹
水 水道

概要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/400
						承認	図面名称 全体配置図	図番 09



現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（1階玄関廻り）平面図	縮尺 1/100
						図番 A : 1-01
				承認		



天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	L G S下地 G B R 9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	L G S下地 G B R 9.5 ビニルクロス張り	(全撤去) (全撤去)	
	改修	L G S下地 G B R 9.5 ビニルクロス張り (中級品)		
B	既存	L G S下地 G B D 9.5 塩ビ天井見切縁		
	撤去	L G S下地 G B D 9.5 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	L G S下地 G B D 9.5 塩ビ天井見切縁		

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
D	既存	L G S下地 G B R 9.5 ロックウール吸音板 t 15 木製廻り縁		
	撤去	L G S下地 G B R 9.5 ロックウール吸音板 t 15 塩ビ廻り縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	L G S下地 G B R 9.5 ロックウール吸音板 t 15 塩ビ廻り縁		

摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（1階玄関廻り）天井伏図	図番 A：1-02

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
玄関ポーチ	既存	御影石 t 20本磨き			L G S下地 G B R 9. 5 岩綿吸音板 t 15	塩ビ製	
	撤去	御影石部分撤去（グレーチング設置・排水パイプ設置部）			L G S下地 G B R 9. 5 撤去なし 岩綿吸音板 t 15 撤去なし	塩ビ製	床：御影石部分撤去
	改修	撤去した御影石を使用する。加工の上張工			L G S下地 G B R 9. 5 改修なし 岩綿吸音板 t 15 改修なし	塩ビ製	ステンレス製グレーチング新設 150×1800 溝内：防水モルタル塗り 排水パイプ V P 50φ

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
玄関	既存	ポーチ一部：御影石 t 20本磨き 中央部：モルタル金コテ押さえ下地泥落としマット（塩ビ） t 15	御影石 H150	下地：L G S 腰壁：化粧合板張り F L +1, 550まで 壁：G B R 12. 5 ビニルクロス	L G S下地 G B R 9. 5 岩綿吸音板 t 15	塩ビ製	下足箱① ② ③
	撤去	中央部：仕上げ泥落としマット（塩ビ） t 15	御影石 H150 撤去なし	下地：L G S 撤去なし 腰壁：化粧合板張り 全撤去 壁：G B R 12. 5及びビニルクロス張り 全撤去	L G S下地 G B R 9. 5 撤去 岩綿吸音板 t 15 撤去	塩ビ製 撤去	下足箱① ② ③ 撤去
	改修	中央部：仕上げ泥落としマット（塩ビ） t 15	御影石 H150 既存のまま	壁：G B F 15 ビニルクロス張り（中級品） 出隅：木製コーナービート H：1, 800 U C塗装	L G S下地の上 G B D 9. 5張り 岩綿吸音板 t 15 張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	下足箱 新① 新② 新③ 設置

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
ホール廊下	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t 2. 0	ソフト巾木 H：100	下地：L G S 腰壁：化粧合板張り F L +1, 550まで 壁：G B R 12. 5 ビニルクロス	L G S下地 G B R 9. 5 ビニルクロス張り	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t 2. 0撤去	ソフト巾木 H：100 撤去 撤去	下地：L G S 撤去なし（階段設置部分：撤去 詳細図参照） 腰壁：化粧合板張り 全撤去 壁：G B R 12. 5及びビニルクロス張り 全撤去	L G S下地 G B R 9. 5 撤去 ビニルクロス撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	長尺塩ビシート t 2. 0張り	ソフト巾木 H：100 改修	下地：L G S（階段設置部分：新規 W100 詳細図参照） 壁：G B F 15 ビニルクロス張り（中級品） 出隅：木製コーナービート H：1, 800 U C塗装	L G S下地 G B R 9. 5 張り ビニルクロス張り（中級品） 天井伏図参照	塩ビ製 新設	管理室カウンター U C 塗装 中央部ホール ベンチ U C 塗装

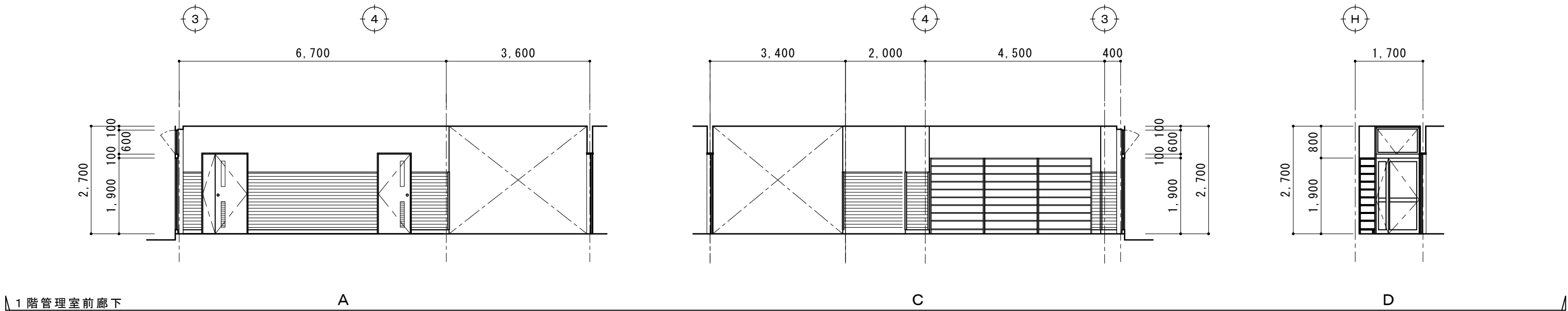
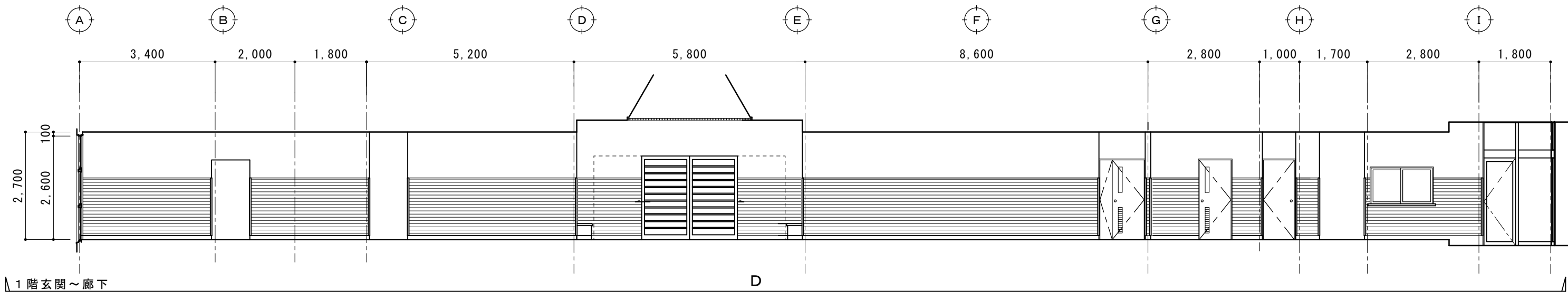
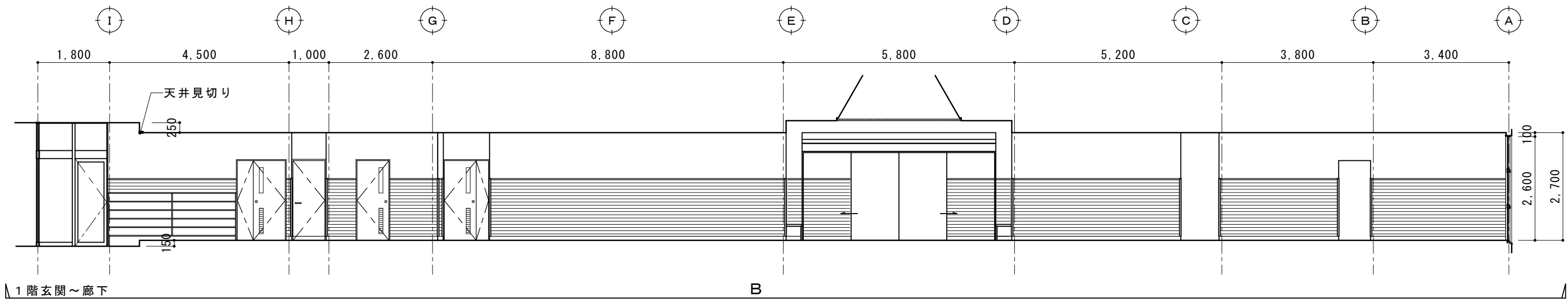
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
管理室	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t 2. 0	ソフト巾木 H：100	下地：L G S 壁：G B R 12. 5 ビニルクロス	L G S下地 G B D 9. 5	塩ビ製	流し台・ガス台 パーテーション：改修なし
	撤去	長尺塩ビシート t 2. 0撤去	ソフト巾木 H：100 撤去	壁：ビニルクロス張り全撤去	L G S下地 撤去 G B D 9. 5 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	長尺塩ビシート t 2. 0張り	ソフト巾木 H：100 改修	壁：ビニルクロス張り（中級品）	L G S下地 張り G B D 9. 5 張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
会議室	既存	モルタル金コテ押さえ下地 タイルカーペット	ソフト巾木 H：100	下地：L G S 壁：G B R 12. 5 ビニルクロス	L G S下地 G B R 9. 5 岩綿吸音板 t 15	塩ビ製	
	撤去	モルタル金コテ押さえ下地 撤去なし タイルカーペット 撤去なし	ソフト巾木 H：100 撤去	ビニルクロス張り全撤去	L G S下地 G B R 9. 5 撤去 岩綿吸音板 t 15 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	モルタル金コテ押さえ下地 既存のまま タイルカーペット 既存のまま	ソフト巾木 H：100 改修	ビニルクロス張り（中級品）	L G S下地 G B R 9. 5 張り 岩綿吸音板 t 15 張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	

概要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（1階玄関廻り）改修内容 1	縮尺
						図番 A：1-03
				承認		

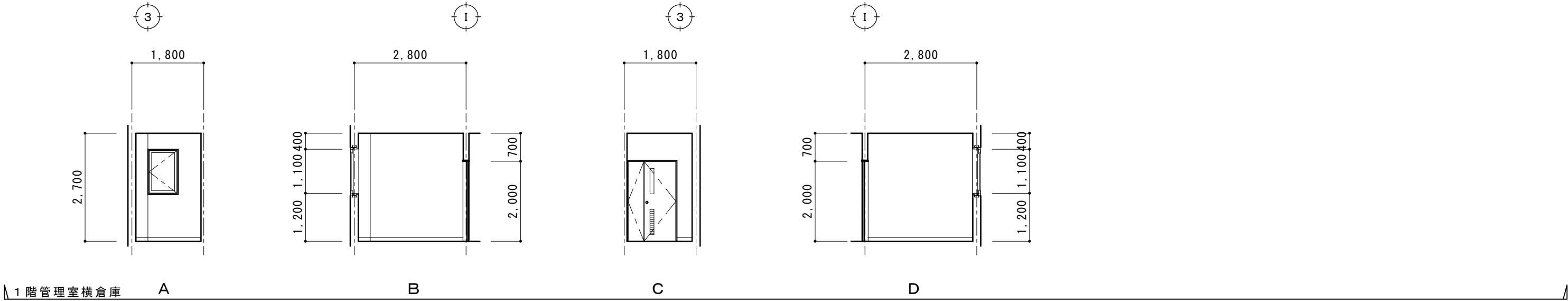
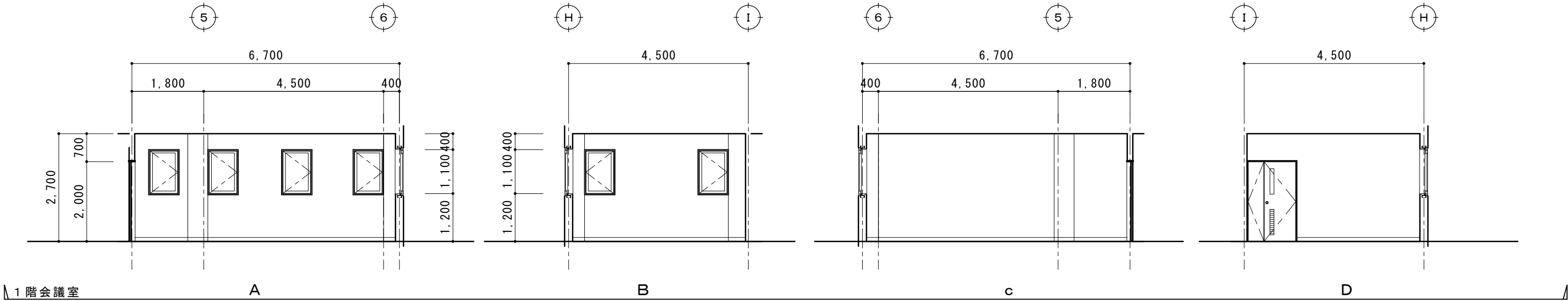
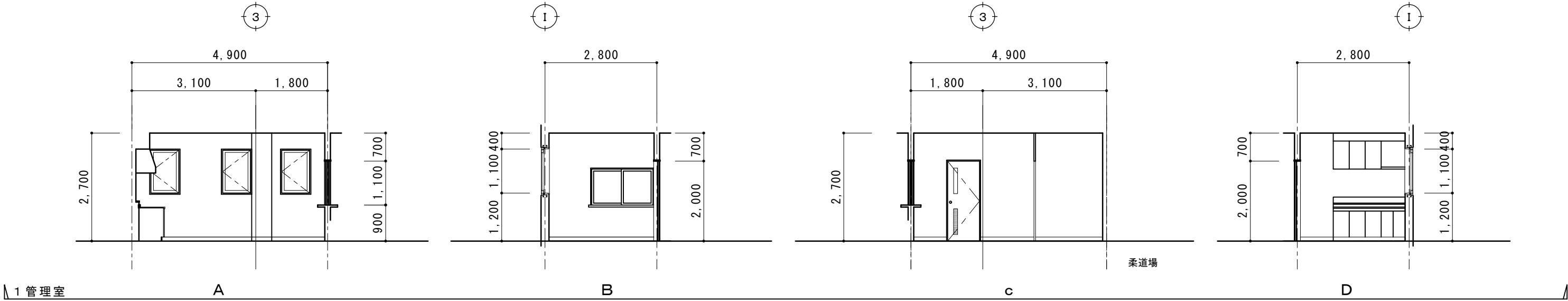
室 名		床	巾木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
倉 庫	既 存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t 2. 0	ソフト巾木 H : 100	下地 : L G S 壁 : G B R 12. 5 ビニルクロス	L G S 下地 G B D 9. 5	塩 ビ 製	
	撤 去	 長尺塩ビシート t 2. 0撤去	ソフト巾木 H : 100	 ビニルクロス張り全撤去	L G S 下地 撤去 G B D 9. 5 撤去	塩 ビ 製	スチール棚 900×300×1800 移動・再設置
	改 修	 長尺塩ビシート t 2. 0張り	ソフト巾木 H : 100	 ビニルクロス張り（中級品）	L G S 下地 張り G B D 9. 5 張り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	

摘 要		T I M E	作 成 者	工 事 名 称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮 尺
			承認	図 面 名 称 A 棟 内部改修（１階玄関廻り）改修内容 2	図 番 A : 1-04



現況図

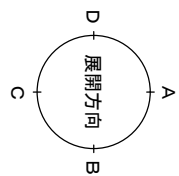
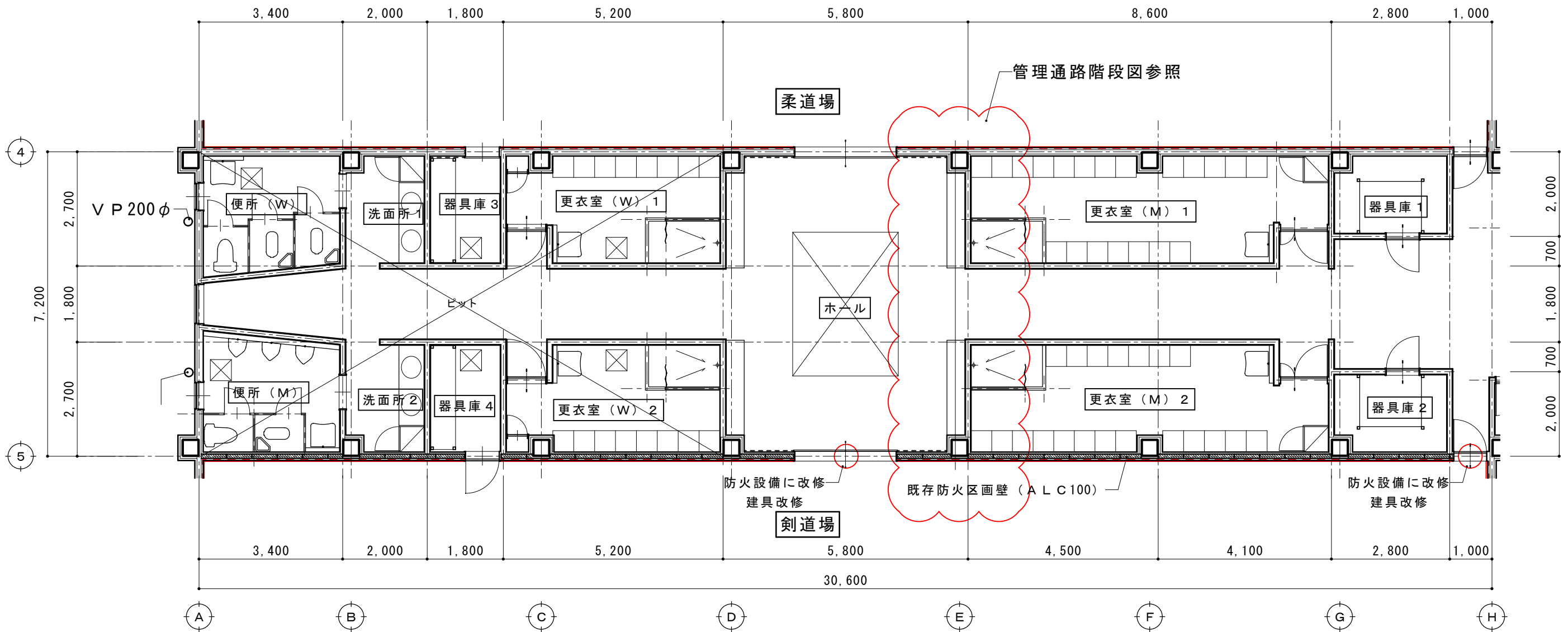
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（1階玄関廻り）現況展開図 1	図番 A : 1-05



現況図

摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
							承認	図面名称 A 棟 内部改修（1 階玄関廻り）現況展開図 2	図番 A : 1-06

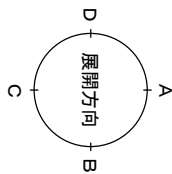
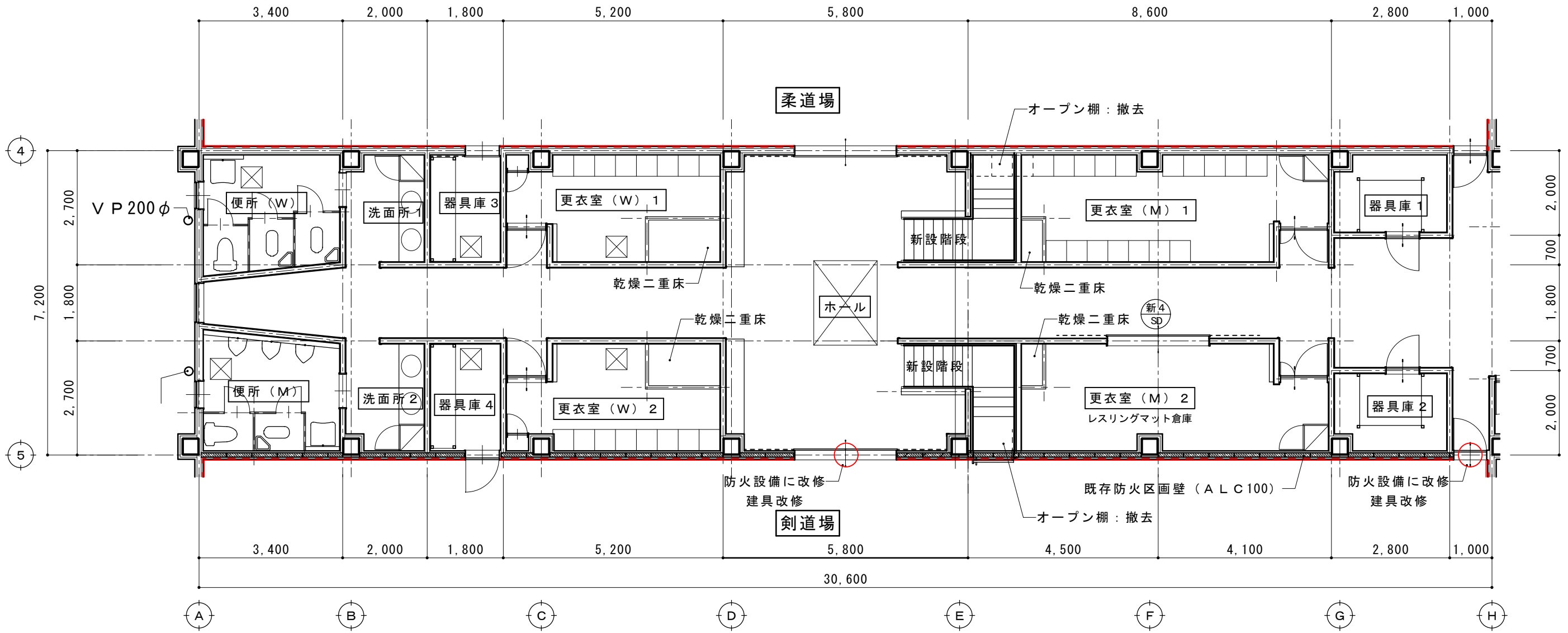
			改修					
下駄箱 ①	撤去	化粧合板フラッシュ	下駄箱 新①	新設	メラミン化粧合板フラッシュ			
			改修					
下駄箱 ②	撤去	鋼製家具（オープン棚）	下駄箱 新②	新設	メラミン化粧合板フラッシュ			
下駄箱 ③	撤去	化粧合板フラッシュ	下駄箱 新③	新設	メラミン化粧合板フラッシュ			
摘要			T I M E			工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		
						図面名称 A棟 内部改修（1階玄関廻り）家具図 1		
			承認			縮尺 1/ 50		
						図番 A : 1-07		



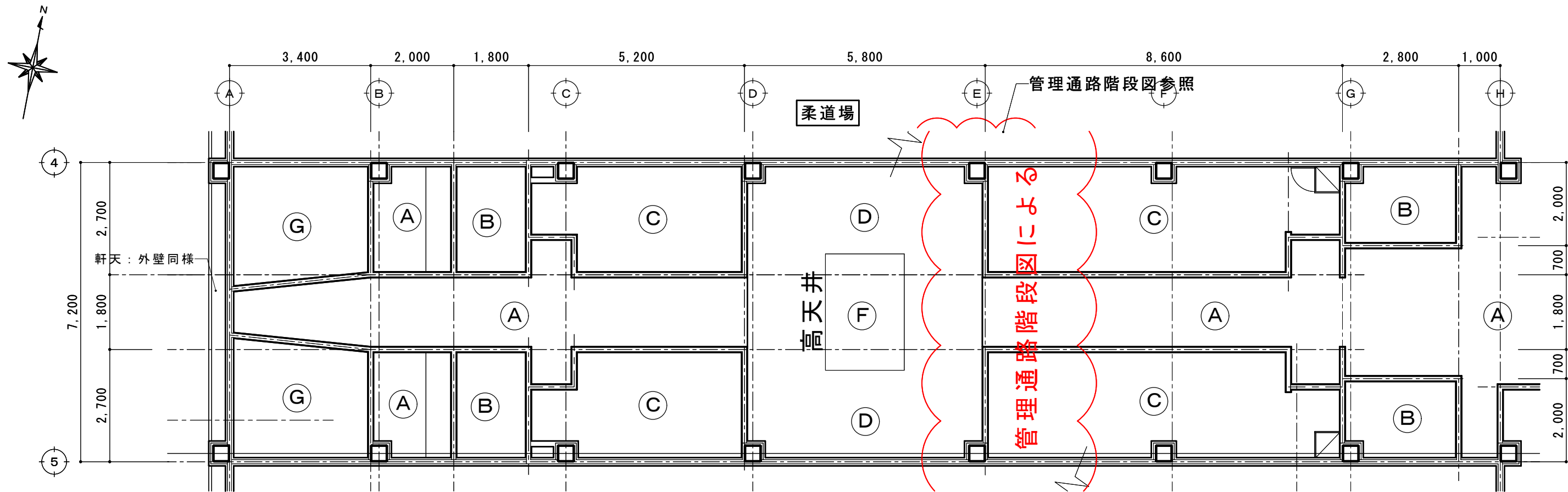
断熱材挿入位置を示す（開口部上下壁を含む）特記仕様書に示す

現況図

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A 棟 内部改修（1 階更衣室他）現況平面図	



摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（1階更衣室他）改修平面図	図番 A：1-09



天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考	天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り			D	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り	(全撤去)			撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り				改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		
B	既存	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁			G	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)			撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁				改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
C	既存	LGS下地 フレキシブルボード t6 AEP塗装 塩ビ天井見切縁			F	既存	塩ビ製ルーバー		
	撤去	LGS下地 フレキシブルボード t6 アスベストあり 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)			撤去	塩ビ製ルーバー	(全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁				改修	開口 (階段設置図参照)		

現況図

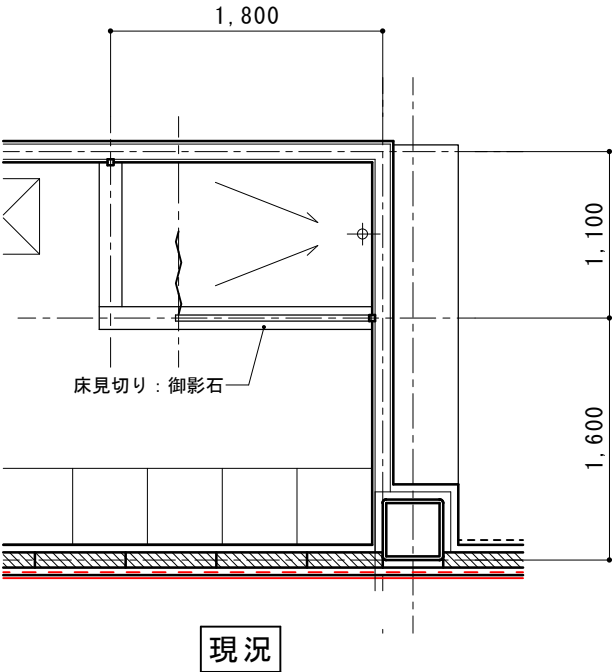
概要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 内部改修（1階更衣室他）現況天井伏図	図番	A：1-10
			承認				

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
更衣室（M）1	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5 壁：ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 フレキシブルボードt6（アスベストあり）	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5 一部撤去 壁：ビニルクロス張り 全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 フレキシブルボードt6（アスベストあり）撤去	塩ビ製	シャワーブース撤去 木製オープン棚一部撤去900×500×1900 2台
	改修	長尺塩ビシート t2.0張り	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5（破損個所：張替え） 階段設置部 下地：LGS下地GBR12.5 壁：ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 撤去 GBD9.5 天井伏図参照	塩ビ製	シャワーブース床面： 乾式置床の上長尺塩ビシート t2.0

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
更衣室（M）2 レスリングマット倉庫	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5 壁：ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 フレキシブルボードt6（アスベストあり）	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5 一部撤去 壁：ビニルクロス張り 全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 フレキシブルボードt6（アスベストあり）撤去	塩ビ製	シャワーブース撤去 木製オープン棚一部撤去900×500×1900 10台
	改修	長尺塩ビシート t2.0張り	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5（破損個所：張替え） 階段設置部 下地：LGS下地GBR12.5 壁：ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 撤去 GBD9.5 天井伏図参照	塩ビ製	シャワーブース床面： 乾式置床の上長尺塩ビシート t2.0

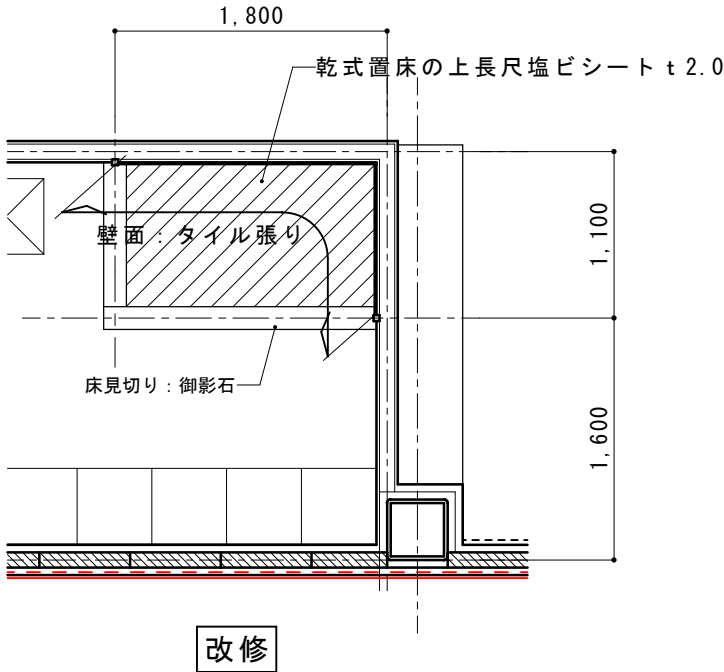
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
器具庫1～4	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H：100	下地：LGS下地GBR12.5 壁：EP塗り	LGS下地 GBD9.5	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去なし	ソフト巾木 H：100		LGS下地 GBD9.5 撤去	塩ビ製	
	改修	長尺塩ビシート 改修なし	ソフト巾木 H：100	改修なし	LGS下地の上 GBD9.5	塩ビ製	

シャワーブース撤去改修平面図 S=1/50



現況

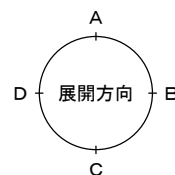
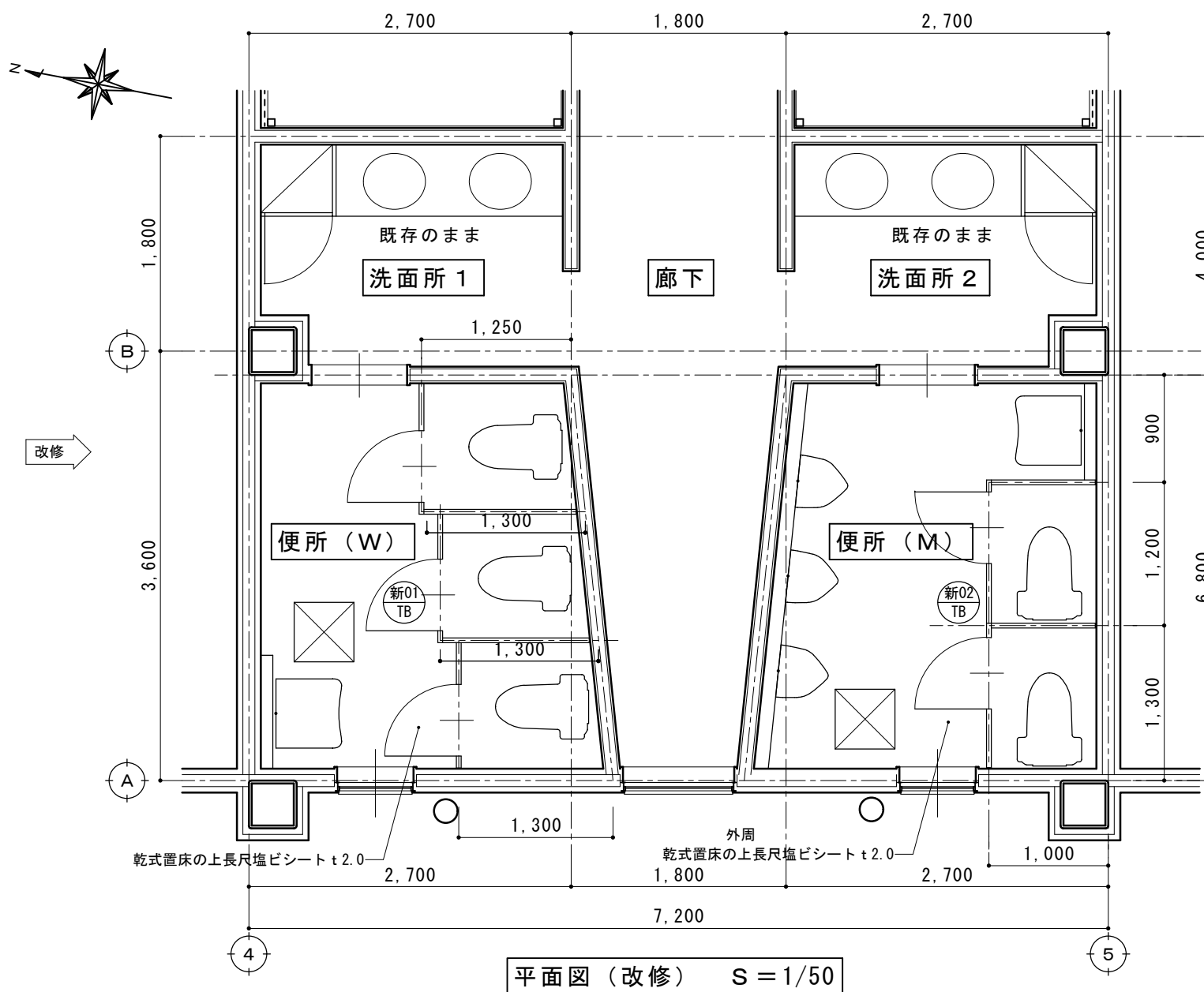
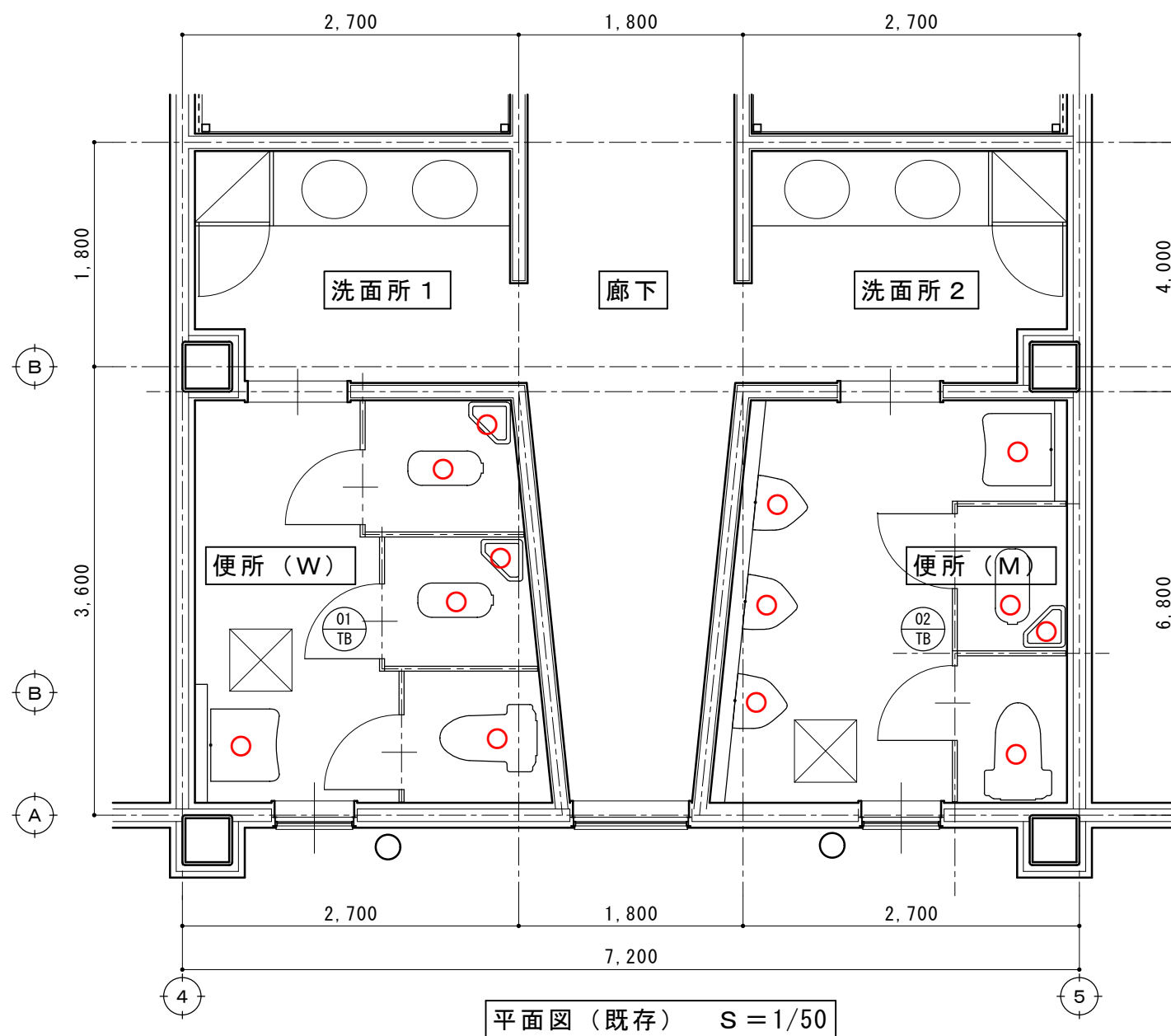
シャワーカーテン
シャワーブース > 撤去



改修

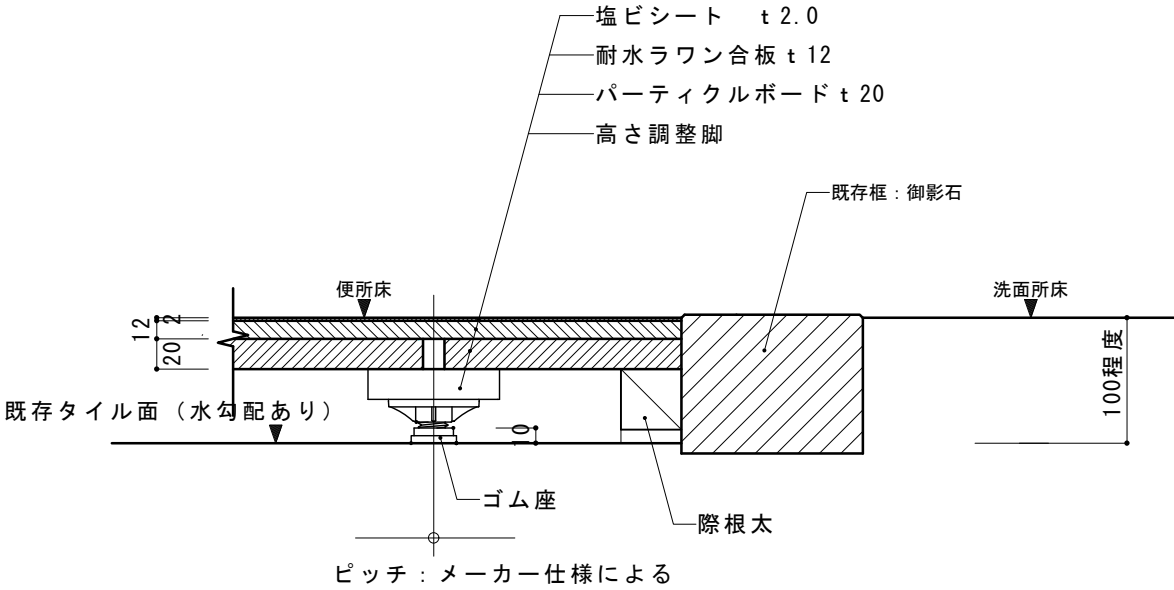
壁面：タイル張り部分→既存タイルの上GBR12.5張り ビニルクロス張り（中級品）

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（1階更衣室他）改修内容	縮尺
								図番 A：1-11
						承認		



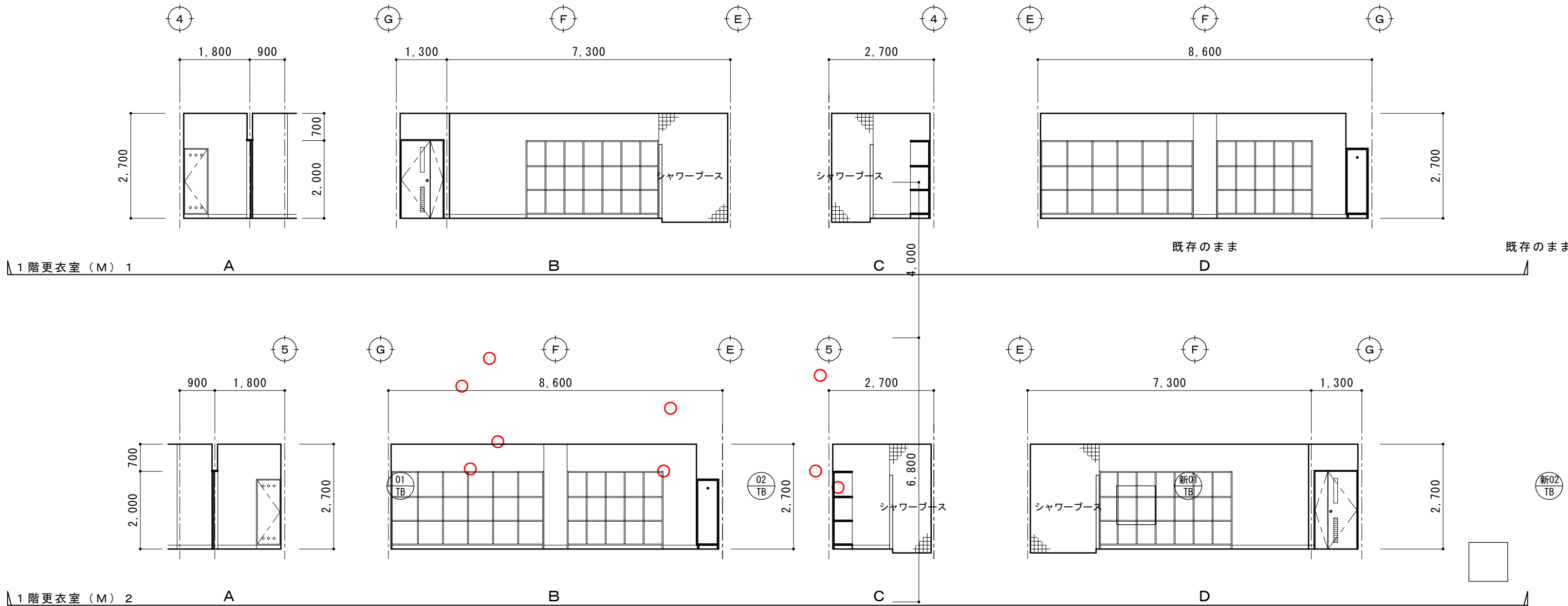
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
						承認		
						図面名称 A 棟 内部改修（1階便所・洗面所）平面詳細図	図番 A：1-12	

室名		床	巾木	壁	天井	天井高さ	備考
便 所 （W・M）	既存	モルタル＋防水下地 100角磁器質タイル張り		L G S＋メタルラスの＋モルタル塗りの上 陶器質タイル張り （200×100）	L G S＋G B R 9. 5の上 ビニルクロス張り	2, 500	○ 撤去改修（機械設備）
	撤去	モルタル＋防水下地 （撤去無） 100角磁器質タイル張り （撤去無）		L G S＋メタルラスの＋モルタル塗りの上 （撤去無） 陶器質タイル張り （200×100） （浮いている部分のみ撤去）	L G S＋G B R 9. 5の上 （撤去） ビニルクロス張り （撤去）		
	改修	乾燥二重床（仕様：別図記載） ビニル床シート張り	ビニル巾木 h 100	化粧ケイカル版張り t 6. 0 目地：シーリング（MS 2）	L G S＋G B D 9. 5	2, 400	床下点検口（アルミ枠）450角
洗面所 （W・M）	既存	モルタル金鍍押さえの上 ビニル床シート張り t 2. 0	ビニル巾木 h 100	L G S＋G B R 12. 5の上 ビニルクロス張り	L G S＋G B R 9. 5の上 ビニルクロス張り	2, 400	
	撤去	モルタル金鍍押さえの上 （撤去無） ビニル床シート張り t 2. 0 （撤去）	ビニル巾木 h 100 （撤去）	L G S＋G B R 12. 5の上 （撤去無） ビニルクロス張り （撤去）	L G S＋G B R 9. 5の上 （撤去） ビニルクロス張り （撤去）		
	改修	ビニル床シート張り t 2. 0	ビニル巾木 h 100	ビニルクロス張り（中級品）	L G S＋G B D 9. 5	2, 400	



乾燥二重床 詳細図 S = 1/5

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（1階便所・洗面所）改修内容	縮尺 1/ 5
								図番 A：1-13
						承認		

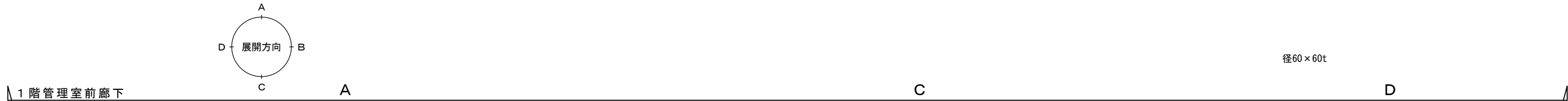


平面図（既存） S = 1/50

平面図（改修） S = 1/50

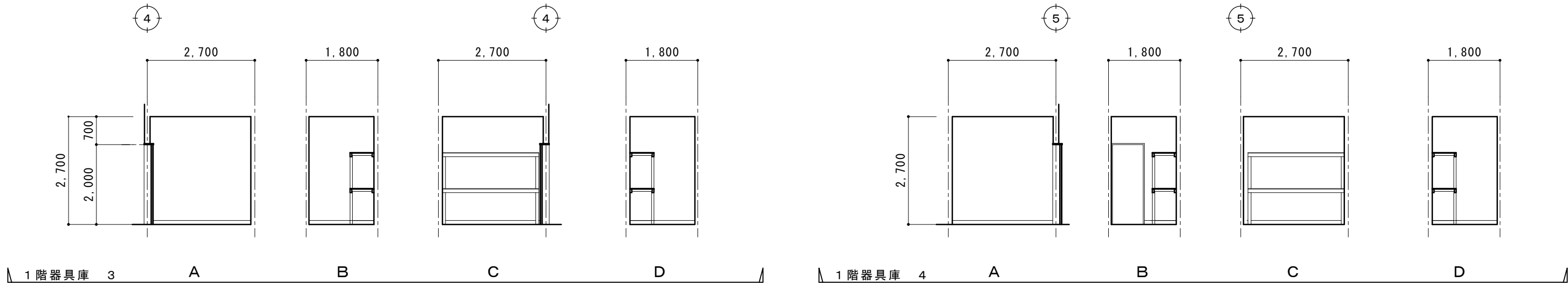
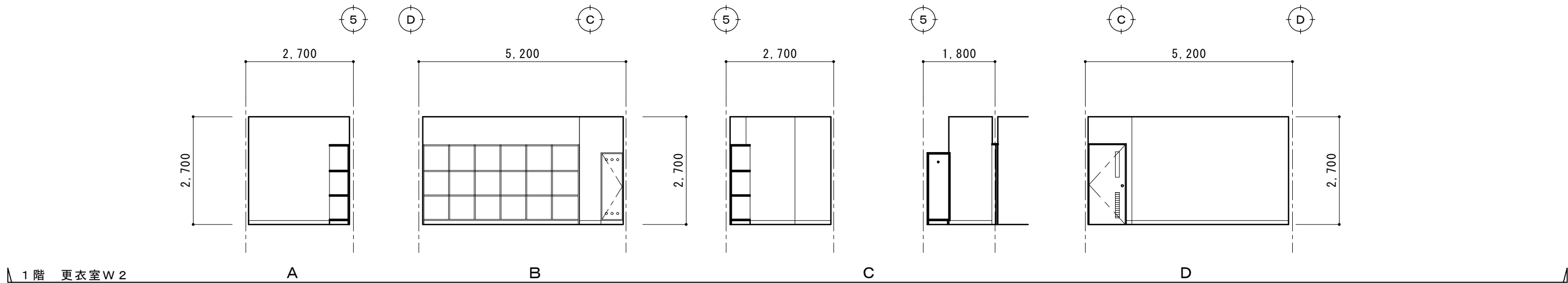
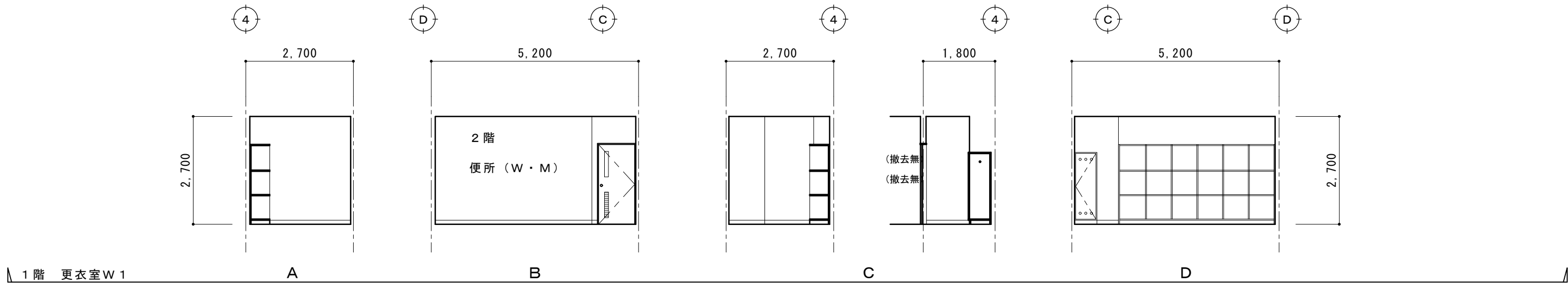
柔道場用2重コイルスプリング

径60×60t



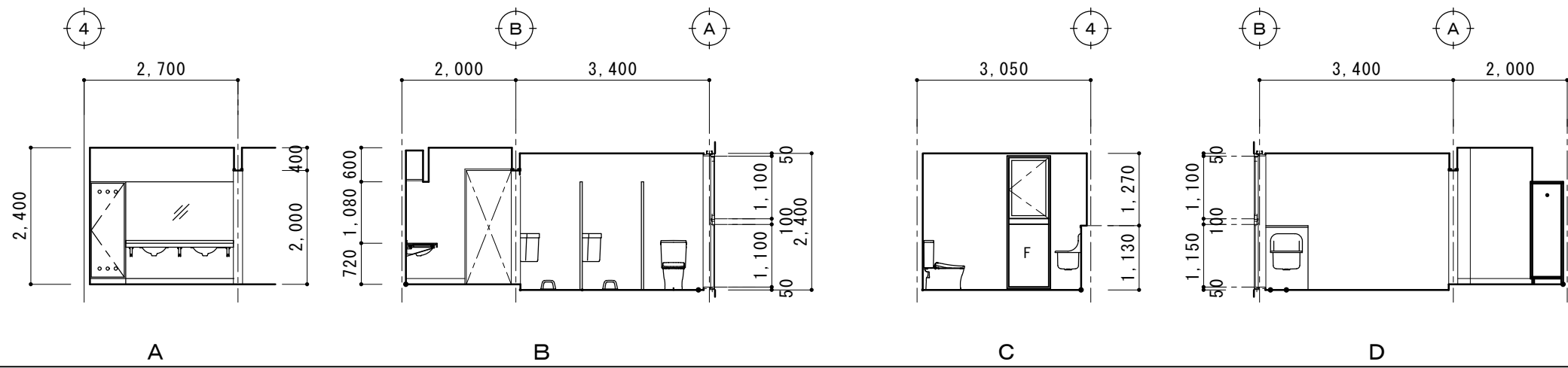
現況図

摘要		摘要			T I M E					作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）				縮尺 1/100	
												図面名称 A 棟 内部改修（1 階更衣室他）現況展開図 1				図番 A : 1-14	
										承認							

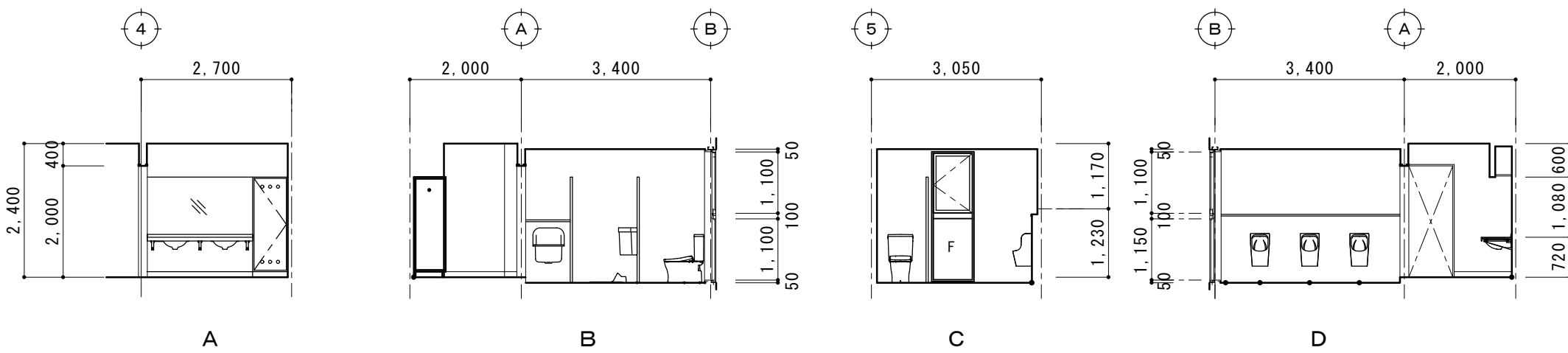


現況図

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
						承認	図面名称 A棟 内部改修（1階更衣室他）現況展開図 2	図番 A：1-15



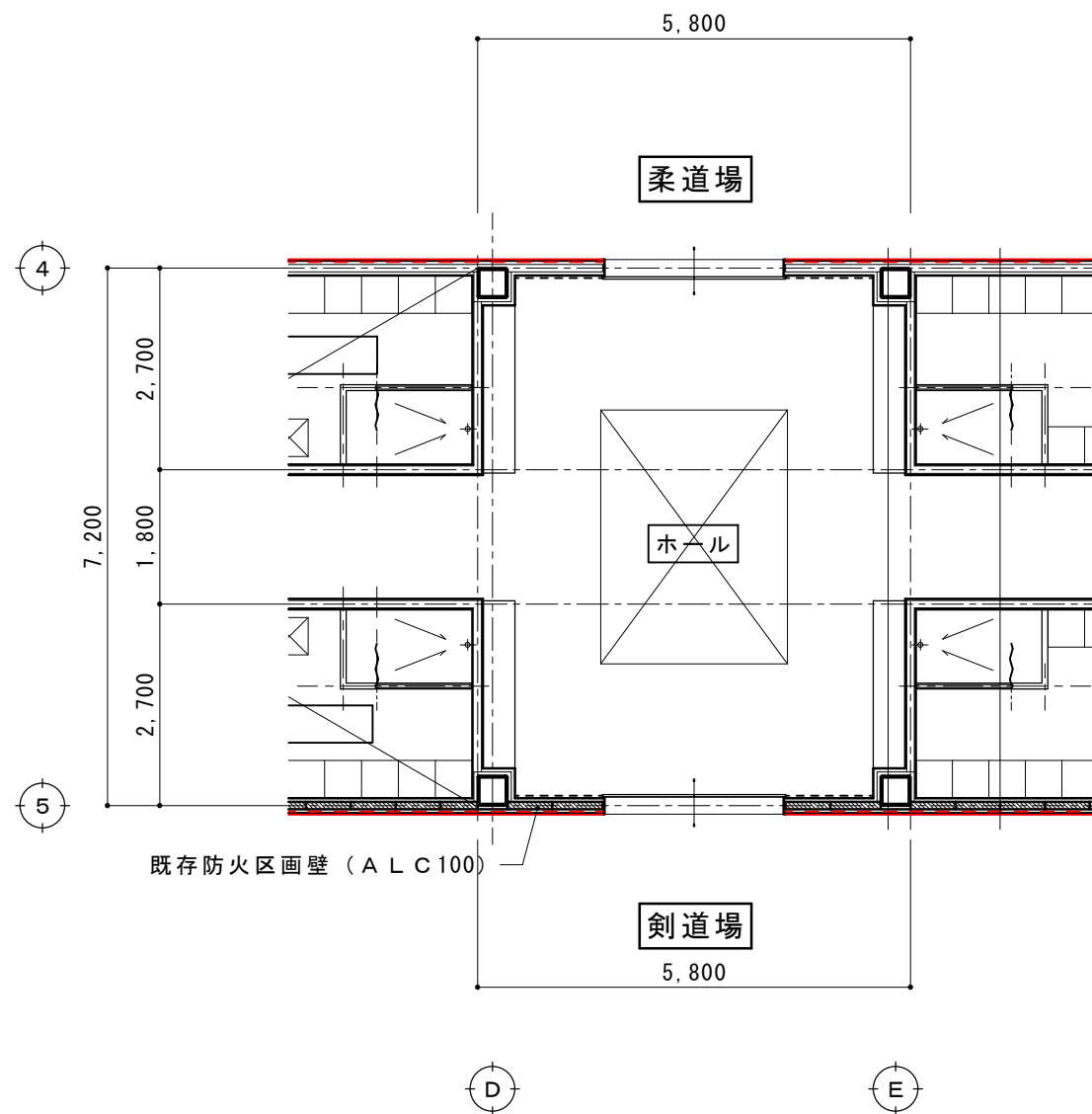
洗面所・便所 (W)



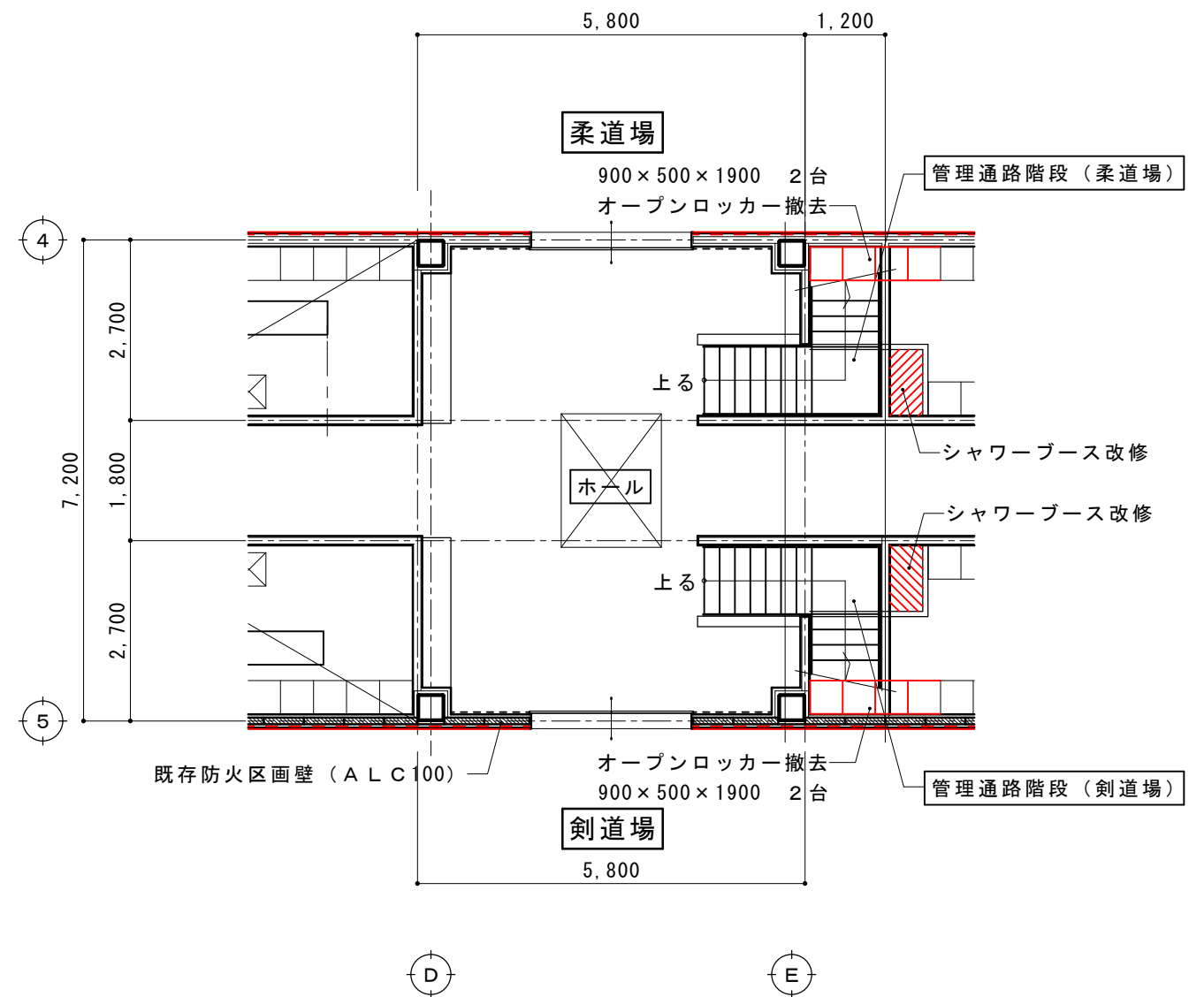
洗面所・便所 (M)

現況図

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
						承認	図面名称 A棟 内部改修（1階トイレ・洗面所）現況展開図 3	図番 A : 1-16

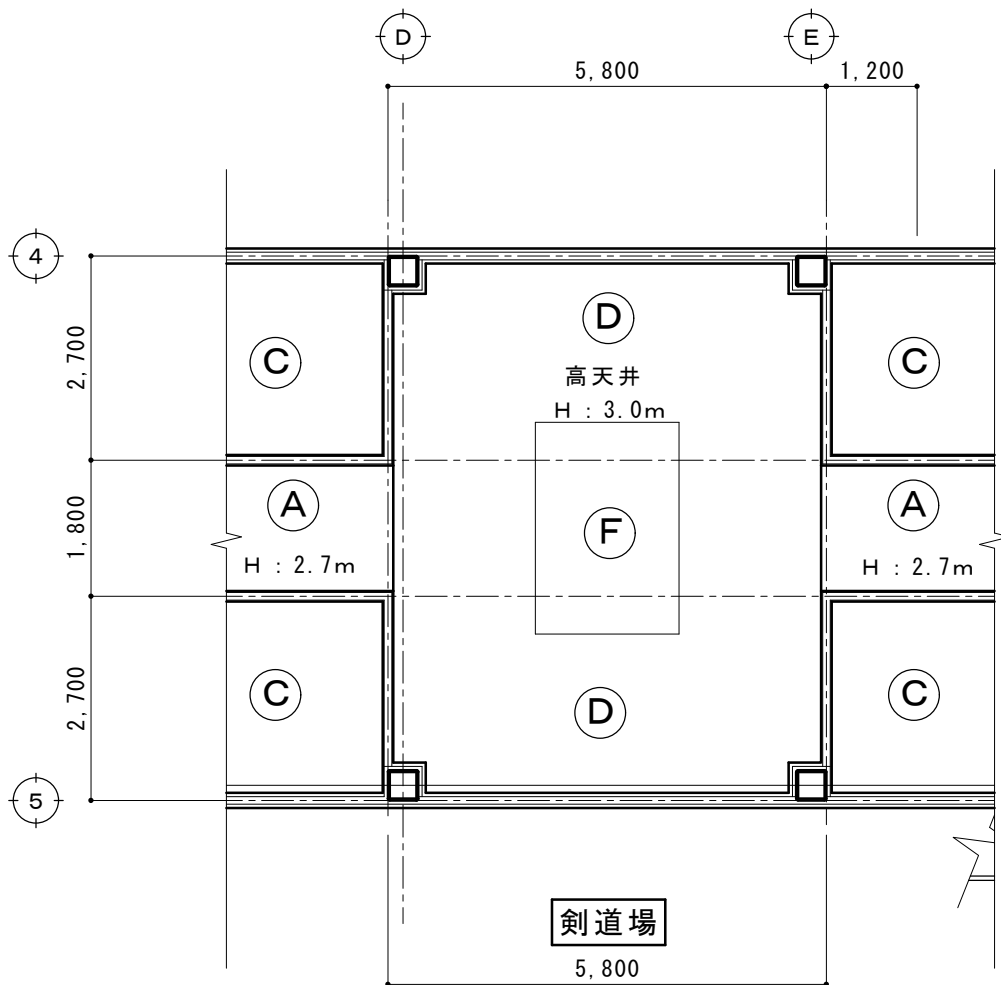


現況平面図 S = 1/100

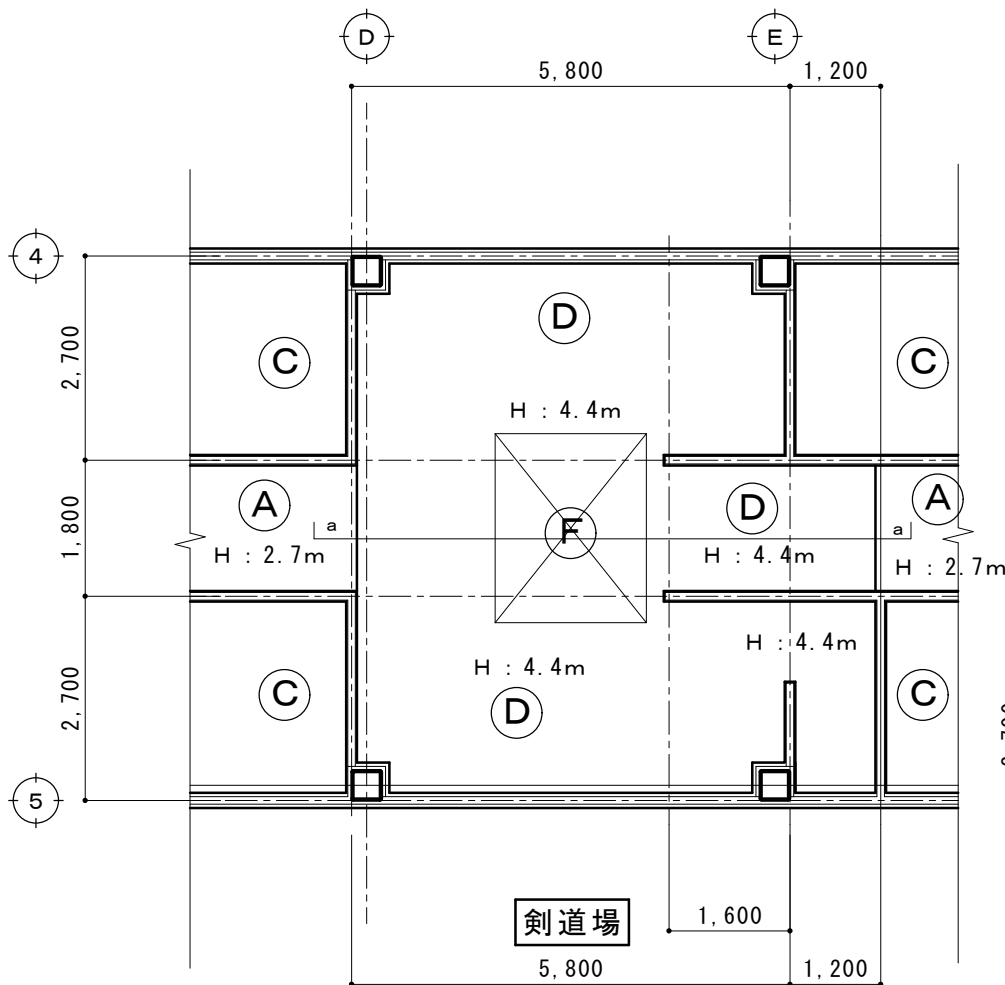


管理通路階段設置平面図 S = 1/100

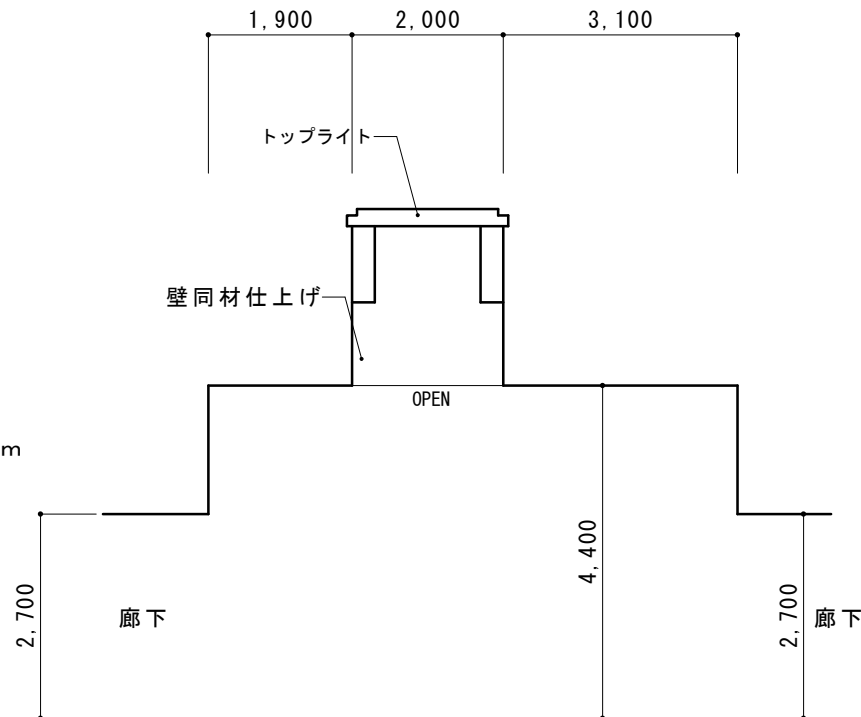
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（管理通路階段取付）平面図	図番 A : 1-17



現況天井伏図 S = 1/100



改修天井伏図 S = 1/100

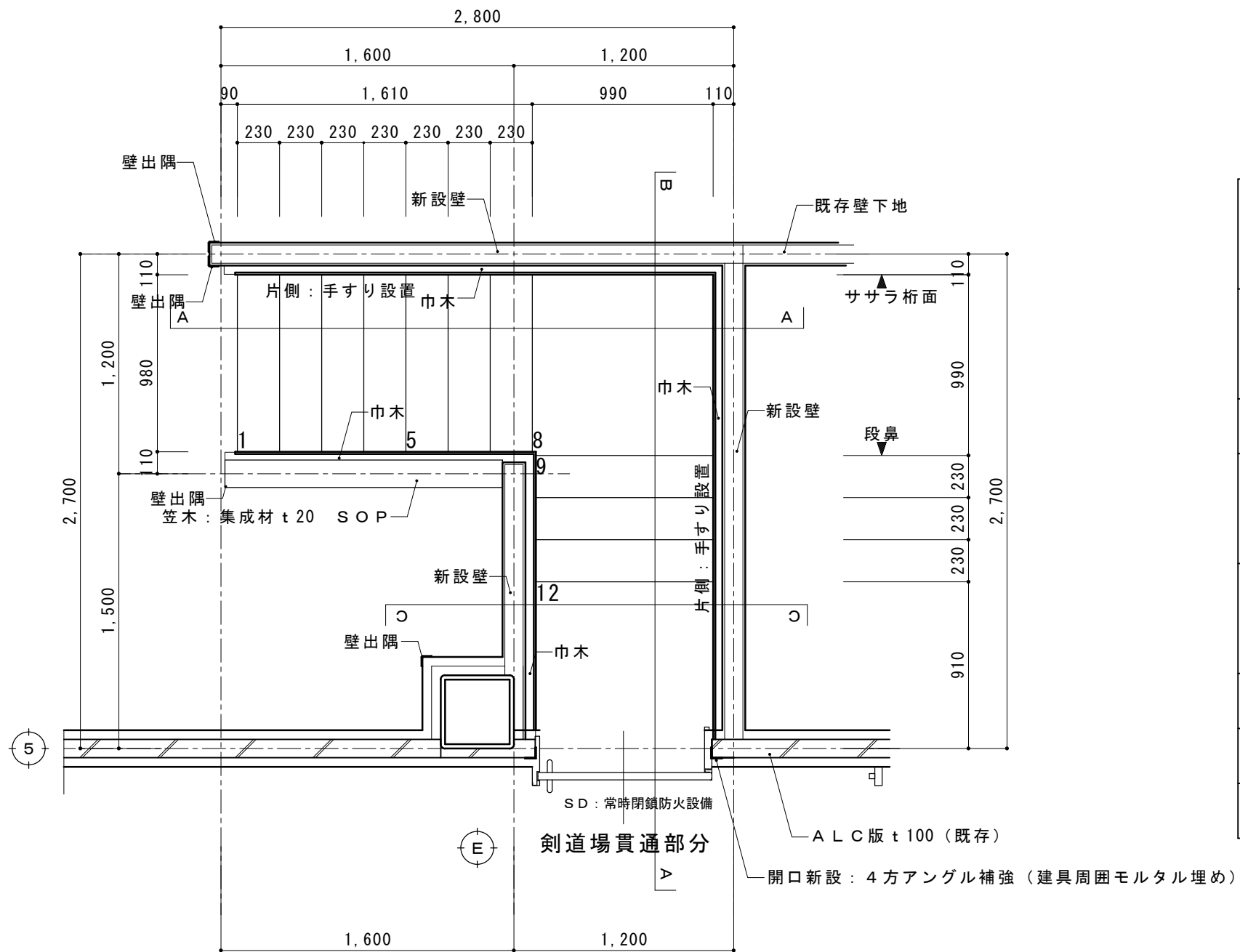


改修 a - a 断面図 S = 1/100

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		木部: WP塗装
C	既存	LGS下地 フレキシブルボード t6 AEP塗装 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 フレキシブルボード t6 アスベストあり 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
D	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		
F	既存	塩ビ製ルーバー		
	撤去	塩ビ製ルーバー	(全撤去)	
	改修	開口 (ルーバーなし)		

摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
							承認	図面名称 A 棟 内部改修（管理通路階段取付部）天井伏図	図番 A：1-18



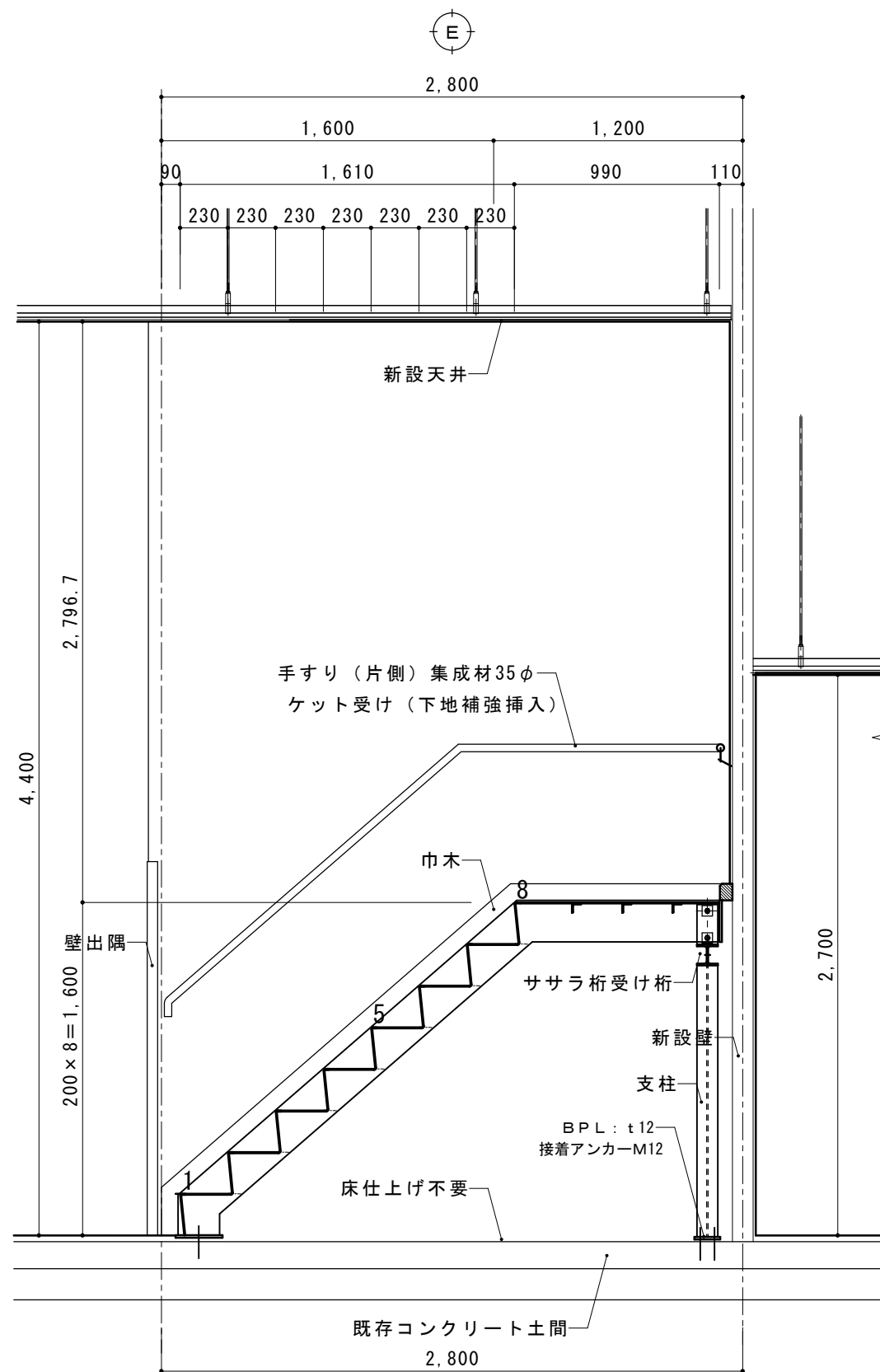
管理通路階段（剣道場）平面詳細図 S=1/30

管理通路階段（2箇所）仕様

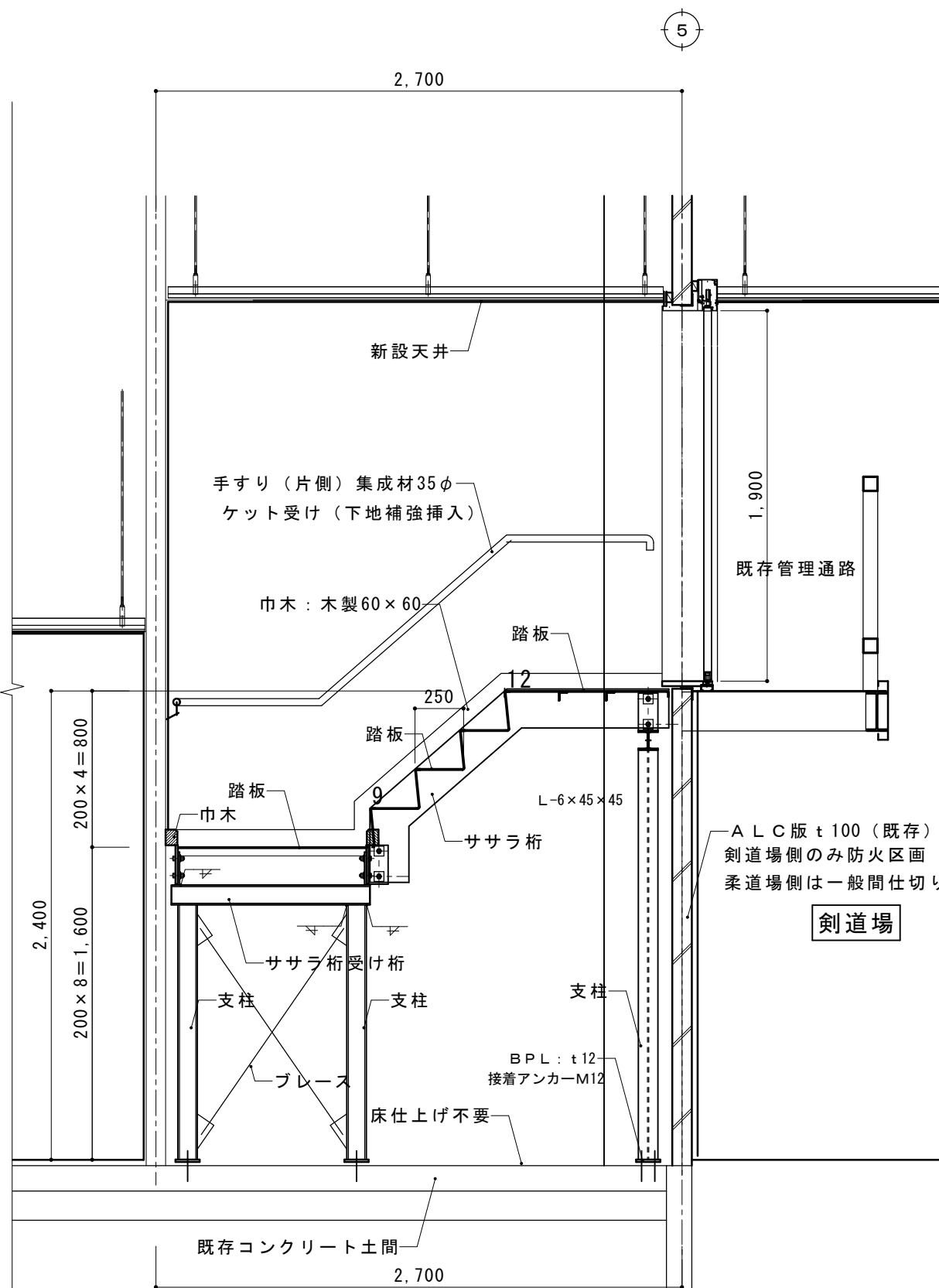
管理通路階段（柔道場）
管理通路階段（剣道場）

特記事項	剣道場側貫通部分：防火区画となっている（既存ALC版t100） 開口補強（アングル）新規SD（防火設備）廻りモルタル埋め 柔道場側貫通部分：一般間仕切り（LGS100）
ササラ桁	鋼板：t12×200 SOP塗装 ササラ桁受けとの接合 GPL-9 2-M12 既存土間コンクリートとの接合 BPL t12 接着系アンカー2-12RN
踏板	縞鋼板t4.5曲げ加工（ササラ桁に溶接）SOP塗装
ササラ桁受け桁	H-100×100×6×8 SOP 既存土間コンクリートとの接合 BPL t12 接着系アンカー2-12RN
ブレース	M12 SOP GPL 6 1-M16 SOP
新設壁	軽量鉄骨壁下地 100型 @300の上GBF t15
巾木（階段部）	木製：W60×H80 WP
壁出隅	木製コーナーガード設置 木製28×28 高さFL+1,800 WP

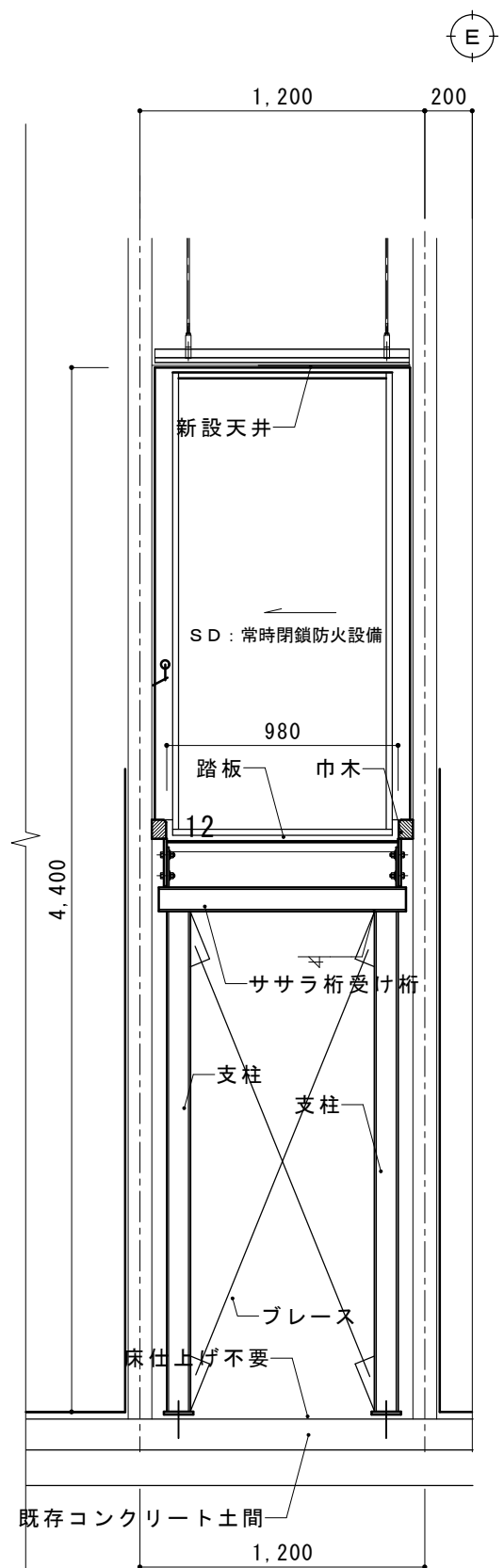
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（管理通路階段取付）平面詳細図	縮尺 1/ 30
								図番 A：1-19
						承認		



A - A 断面図

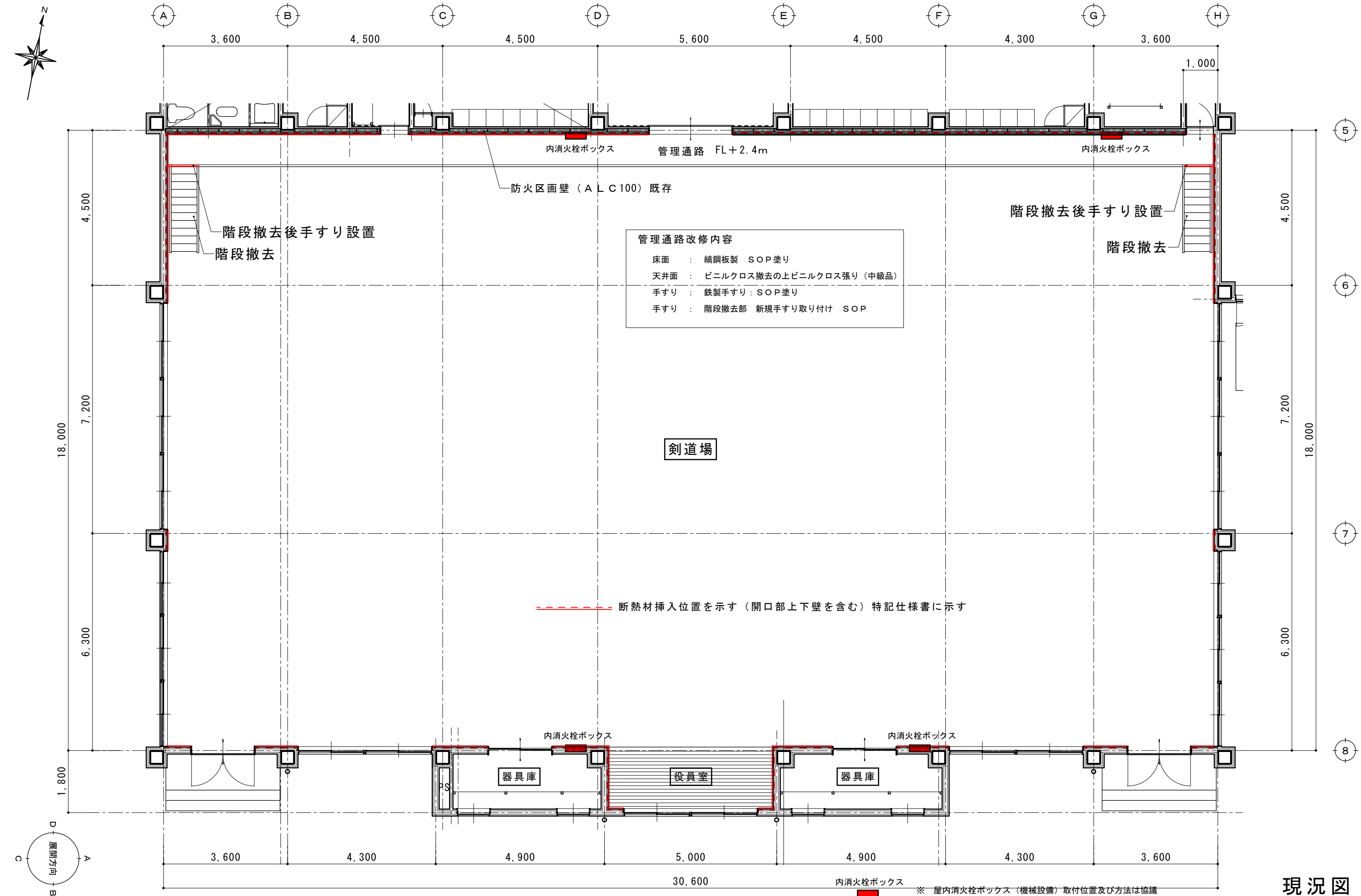


B - B 断面図



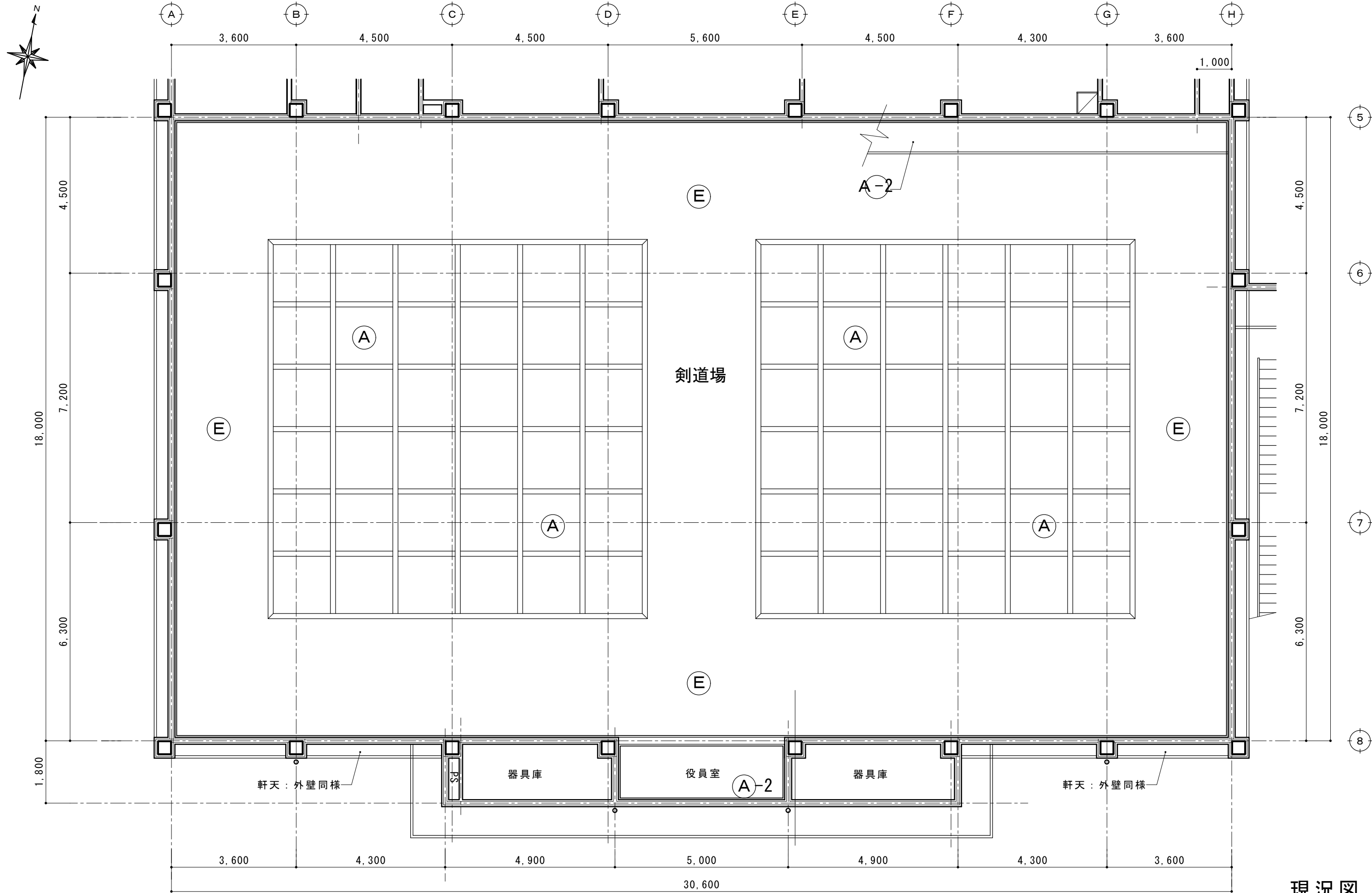
C - C 断面図

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 30
					承認	図面名称 A棟 内部改修（管理通路階段取付）断面詳細図	図番 A : 1-20



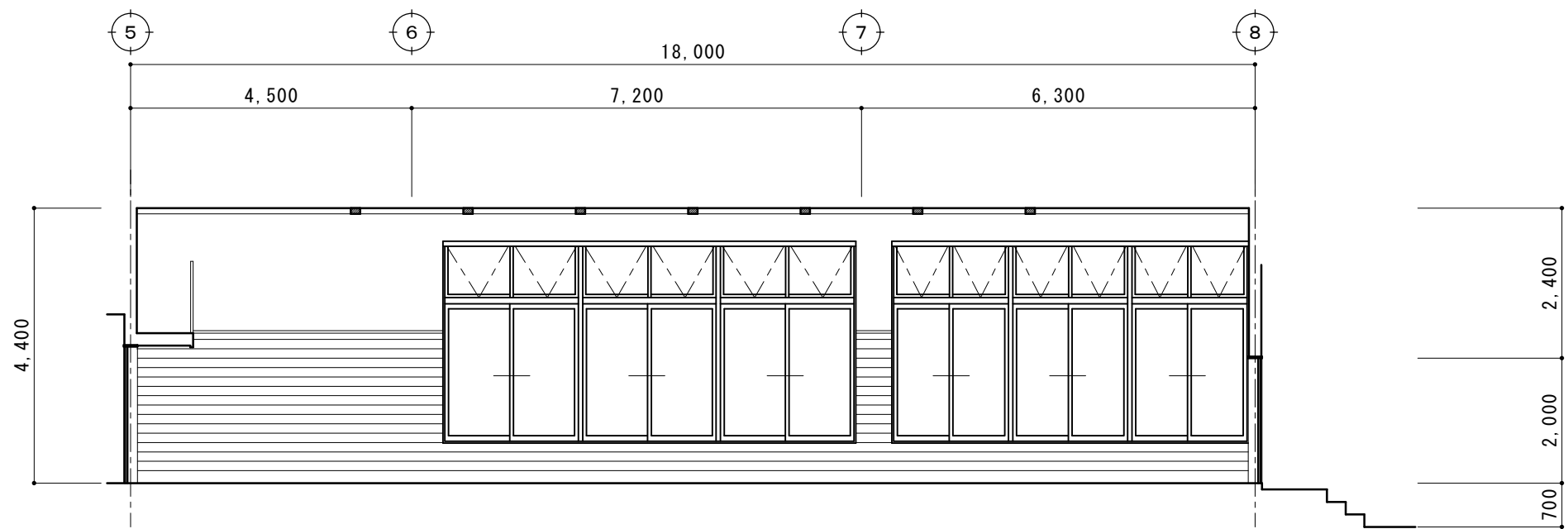
現況図

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況平面図	縮尺 1/100 図番 A : 1-21
					承認		

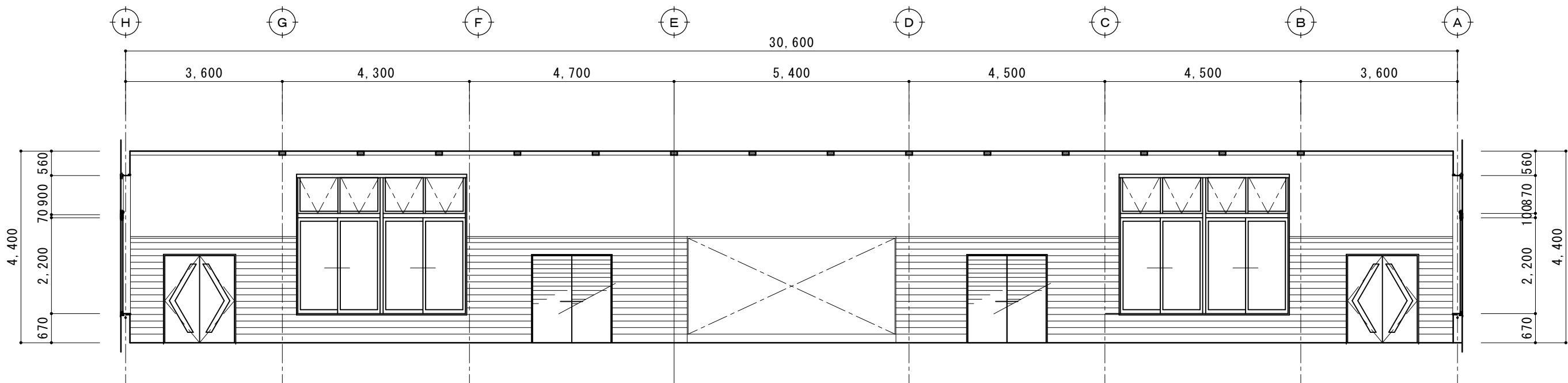


現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況天井伏図	図番 A : 1-22



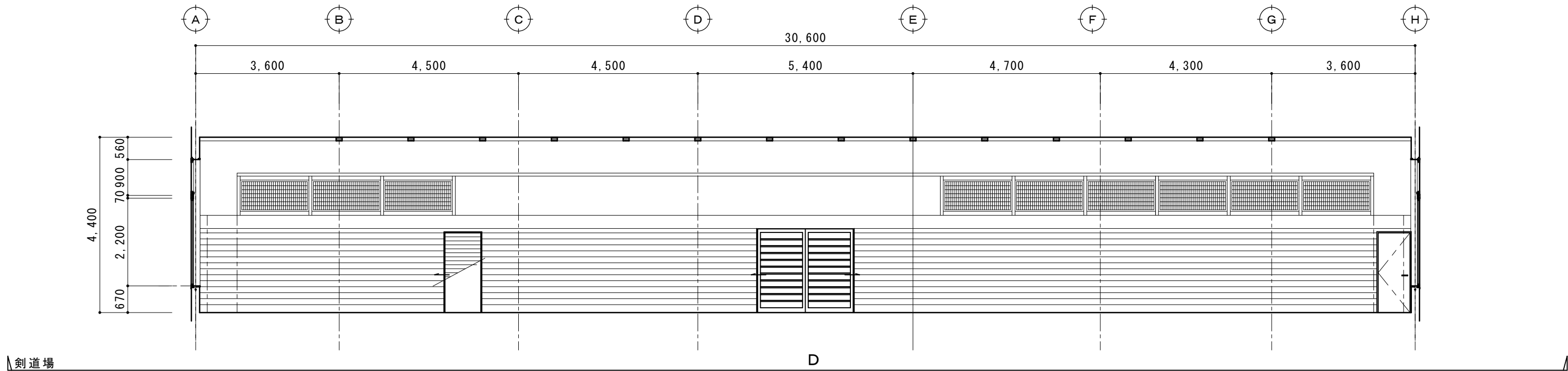
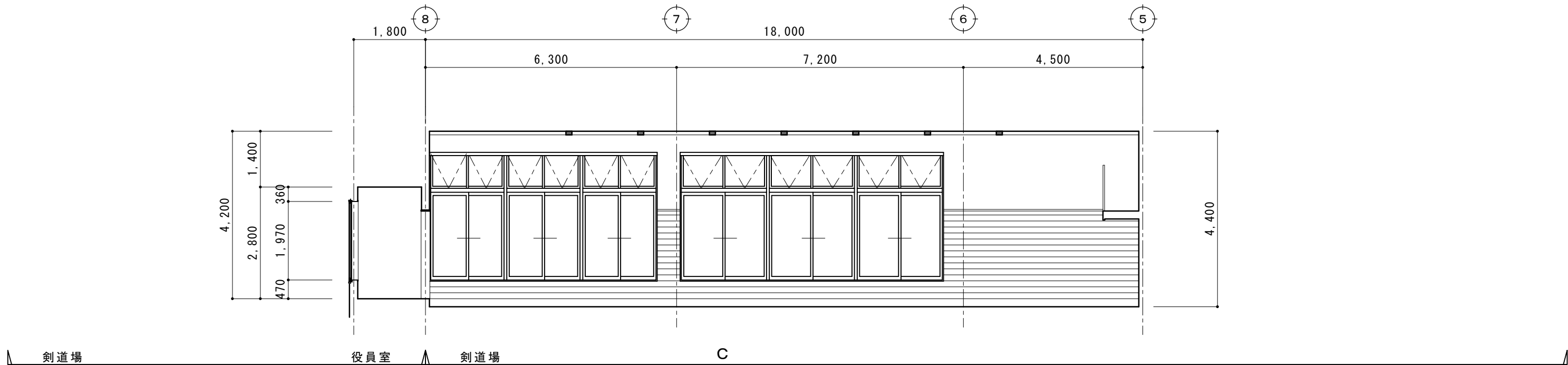
A



B

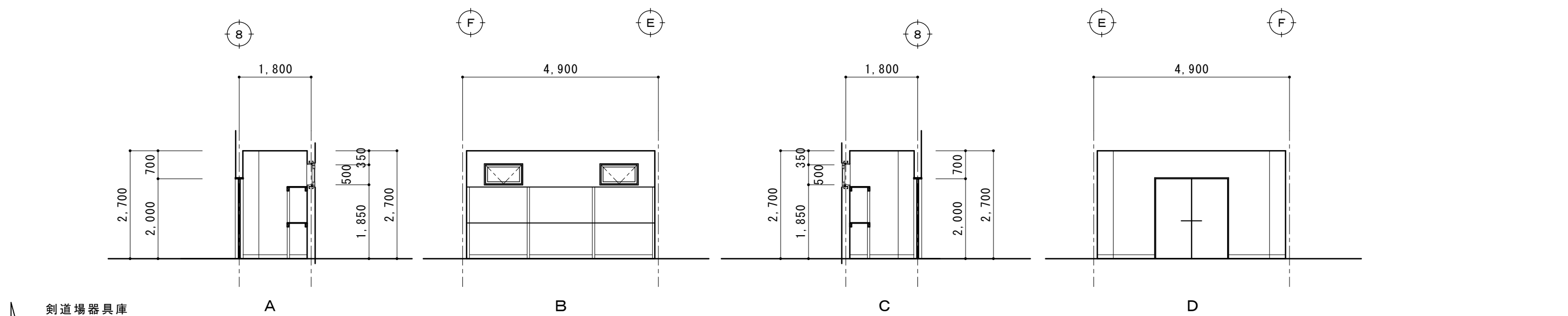
現況図

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況展開図 1	図番 A : 1-24



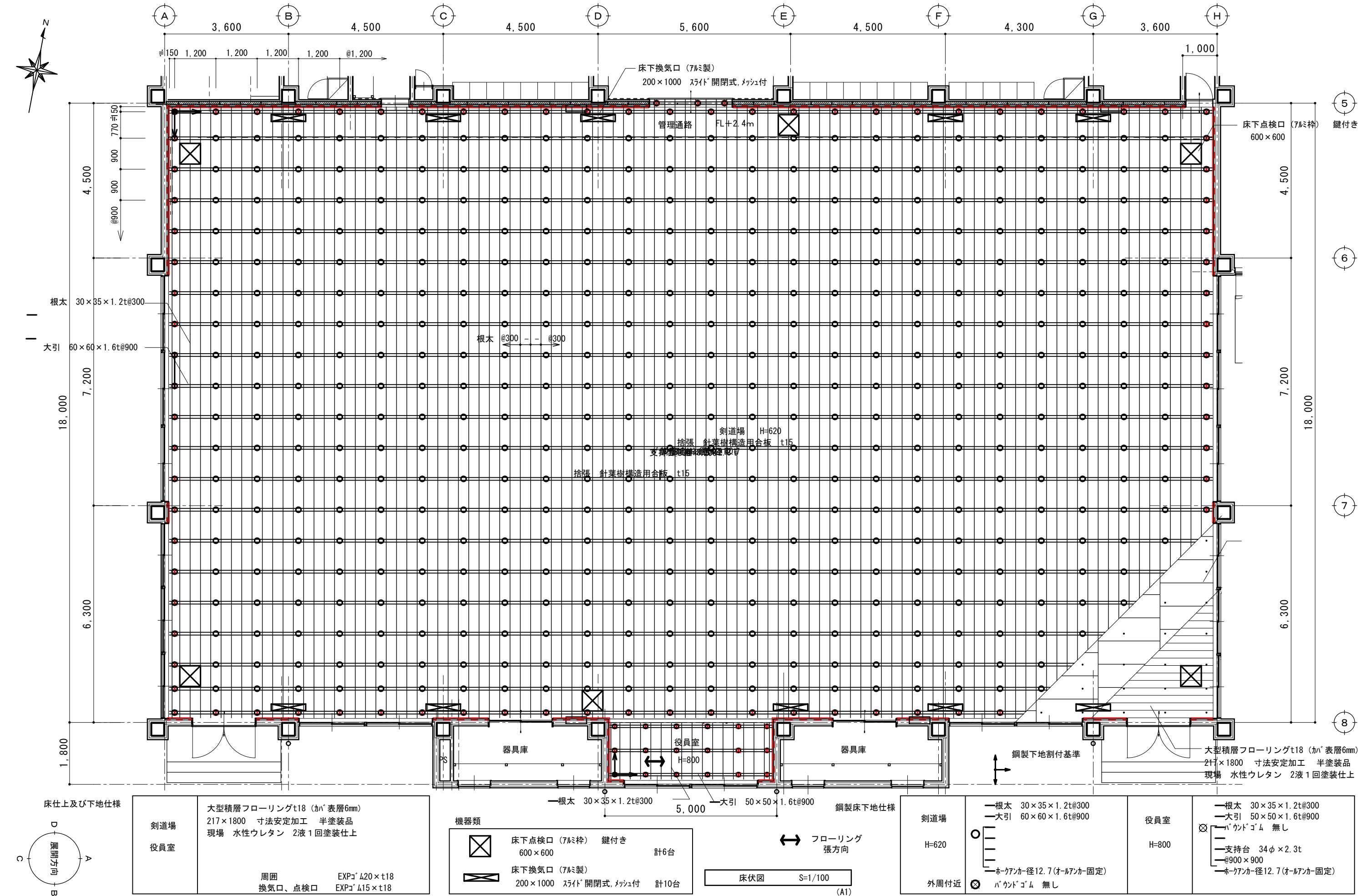
現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況展開図 2	図番 A : 1-25

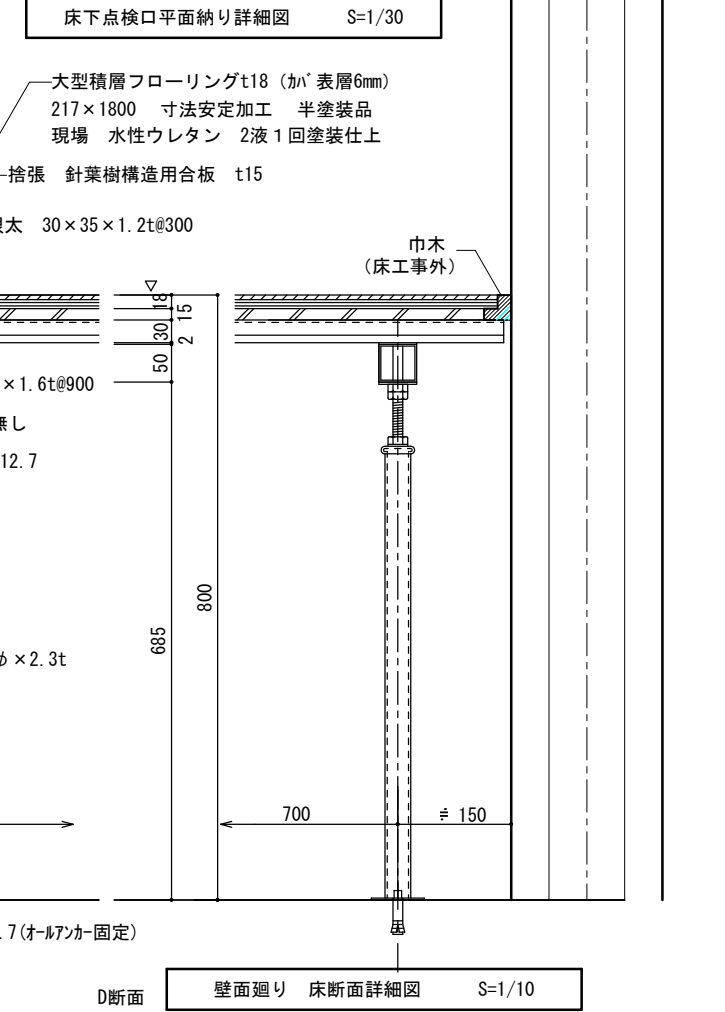
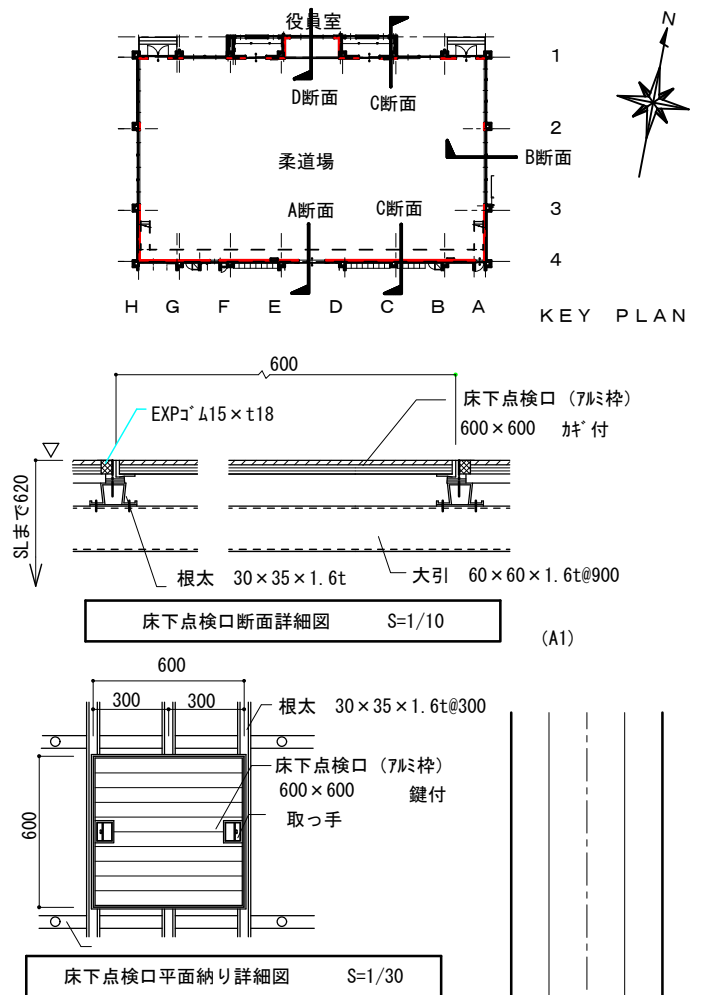


現況図

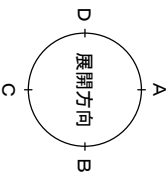
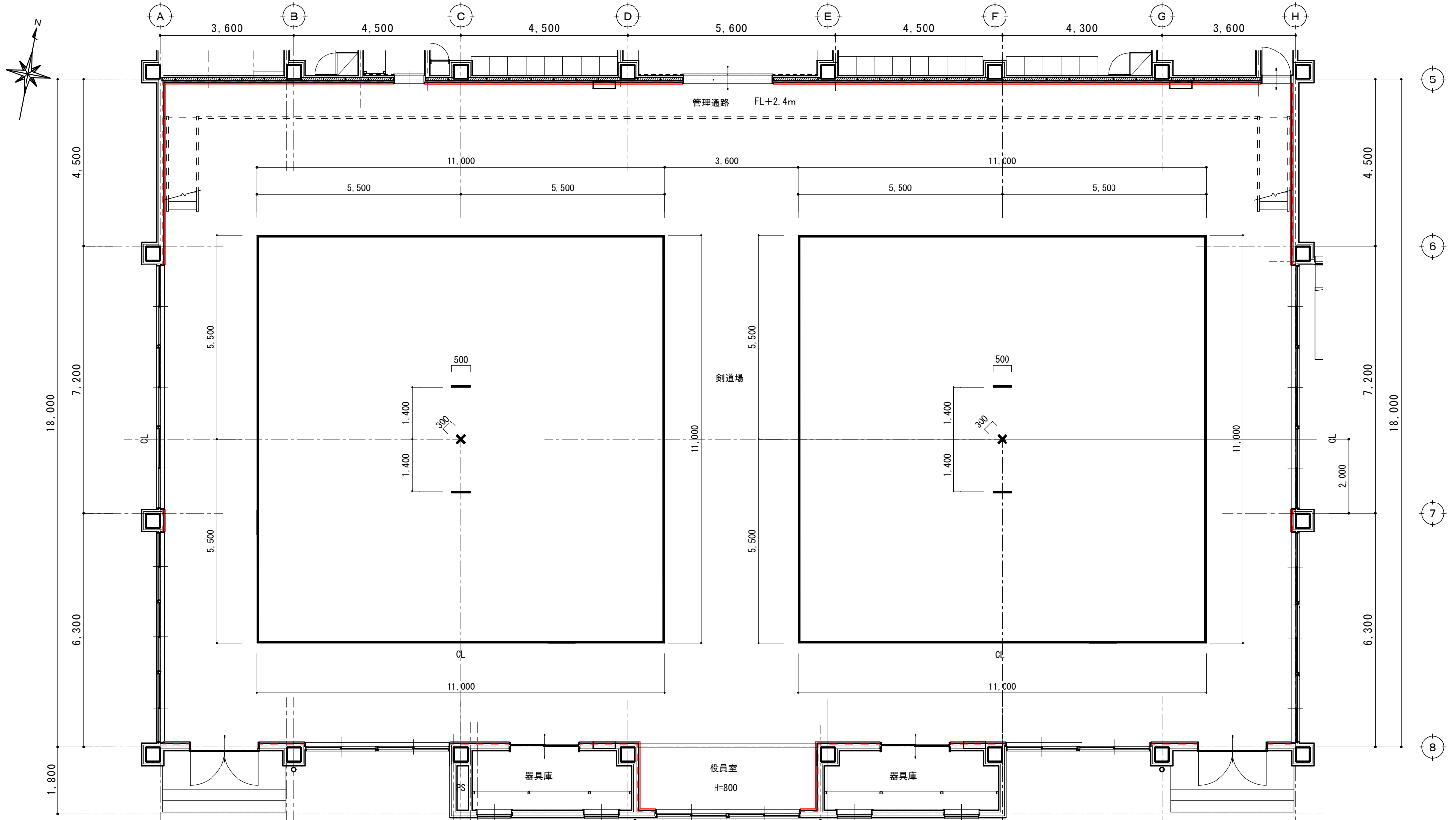
摘要		T I M E	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 内部改修（剣道場）現況展開図 3	図番	A：1-26



摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）鋼製床システム平面図	図番 A：1-27

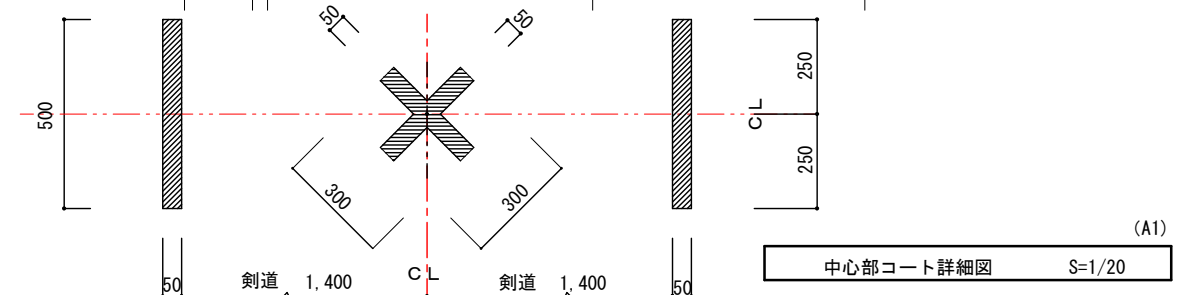


摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
							承認	図面名称 A 棟 内部改修（剣道場）鋼製床システム詳細図



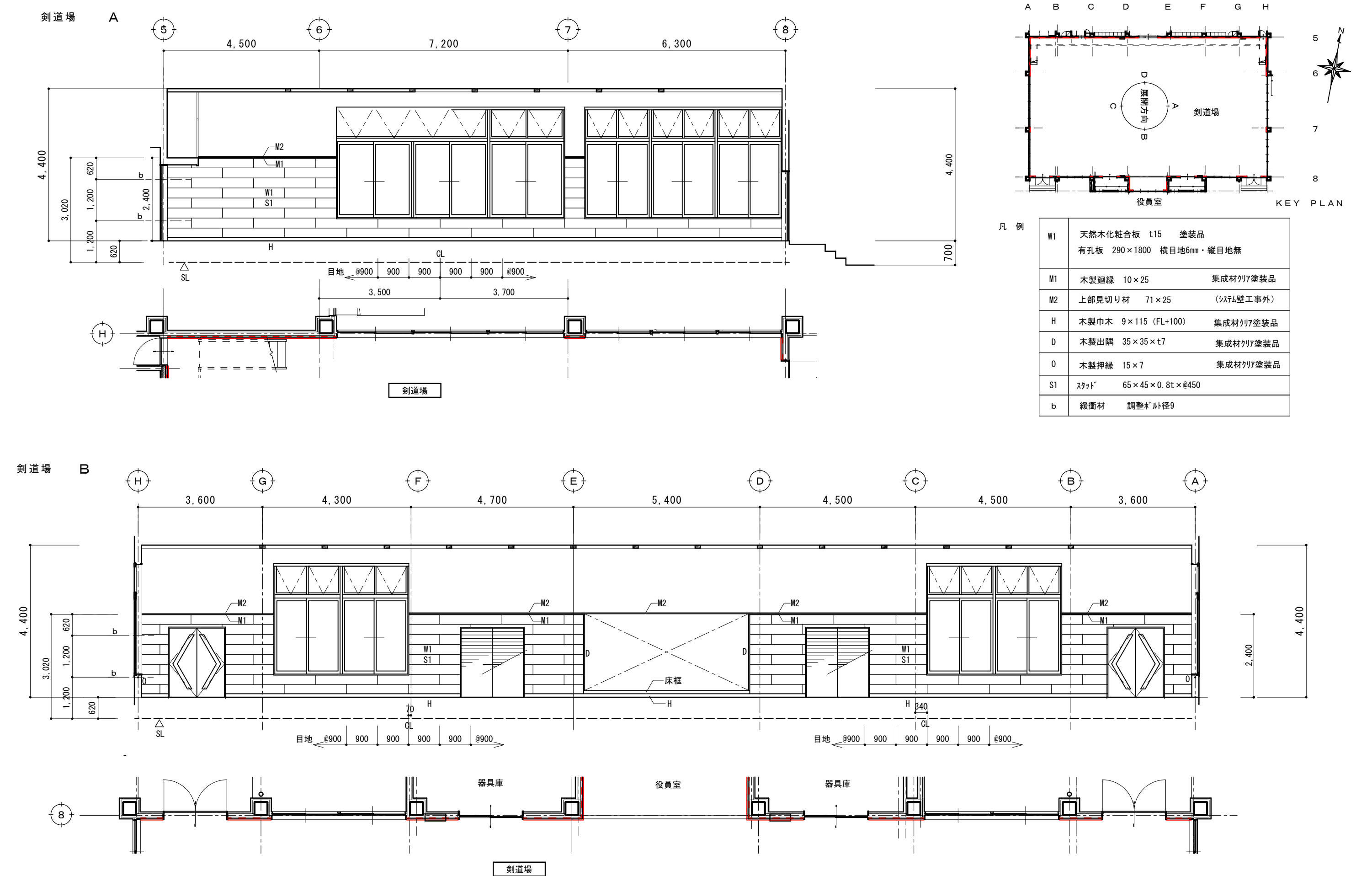
コートライン内訳表				
項目	コートサイズ (mm)	色	数量	備考
剣道	11,000 × 11,000 (外寸)	白	2	実線 ライン巾50mm

剣道 コートライン図 S=1/100 (A1)



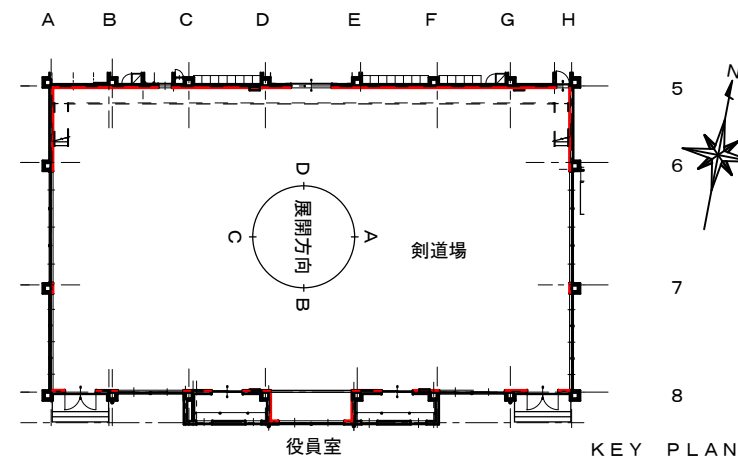
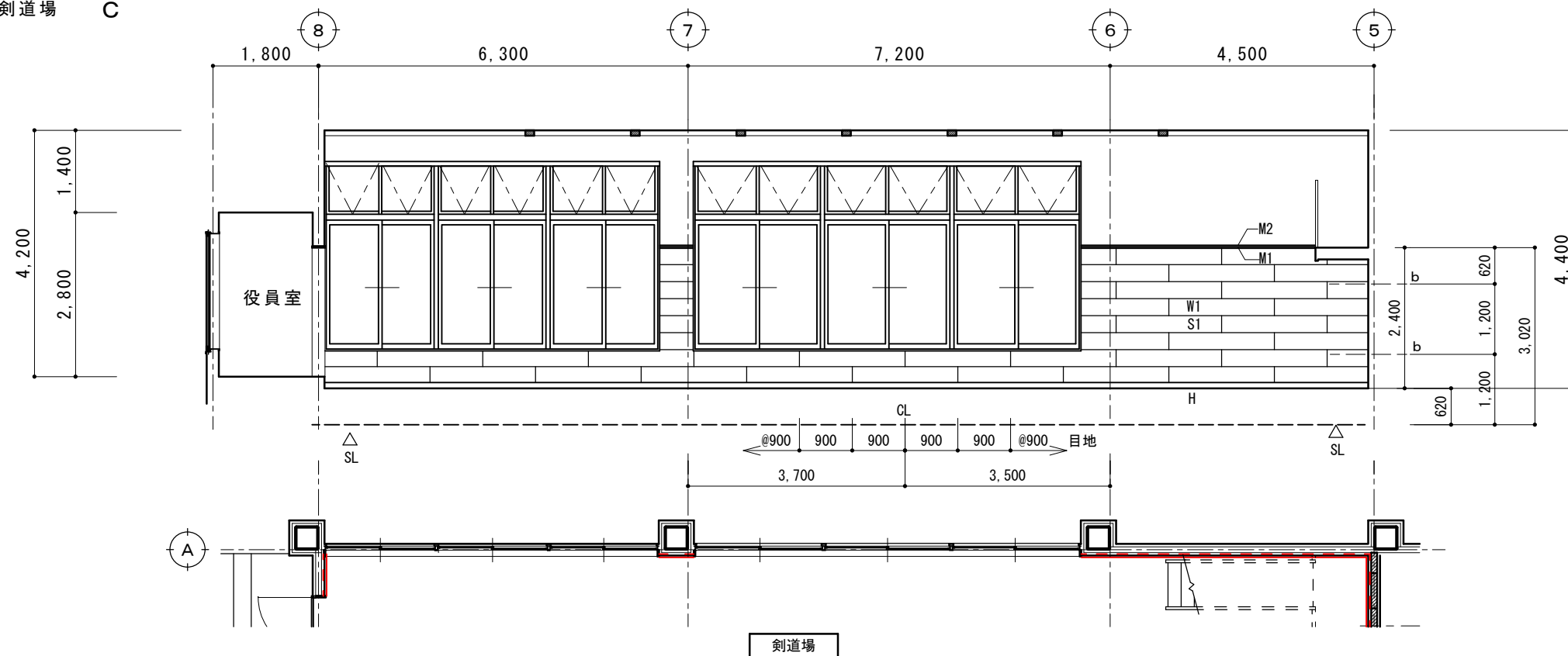
中心部コート詳細図 S=1/20

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（剣道場）コートライン図	縮尺 1/100 図番 A : 1-29
					承認		



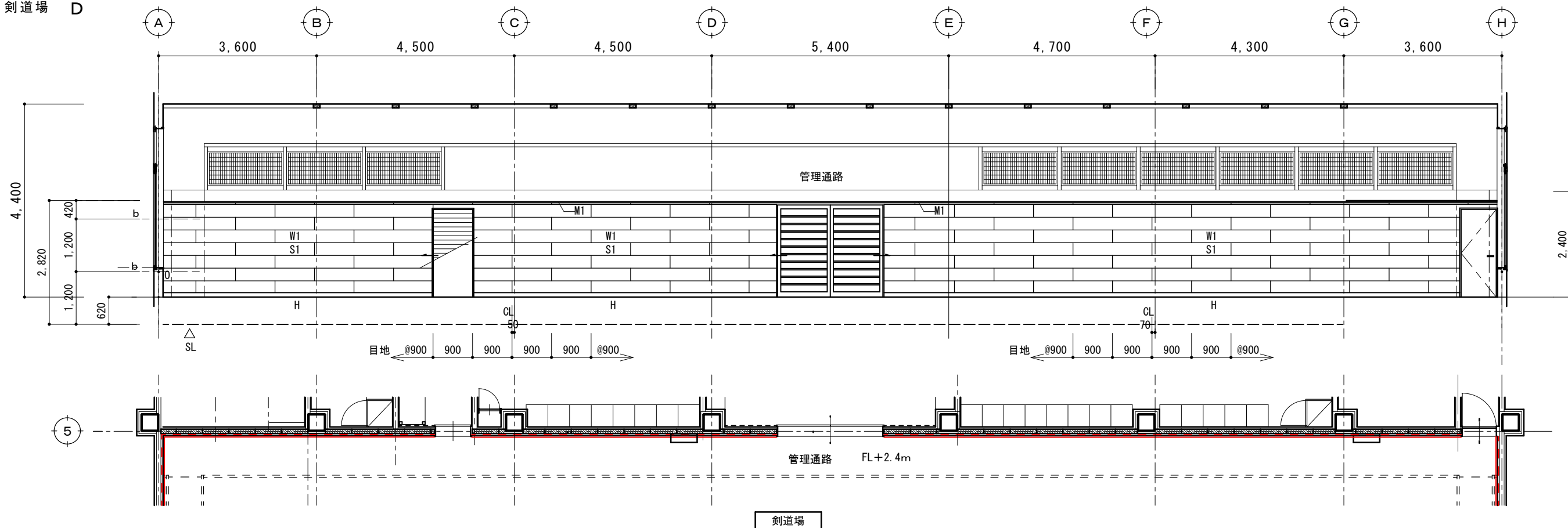
摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁展開図 1	縮尺 1/100 図番 A : 1-30
				承認		

剣道場 C

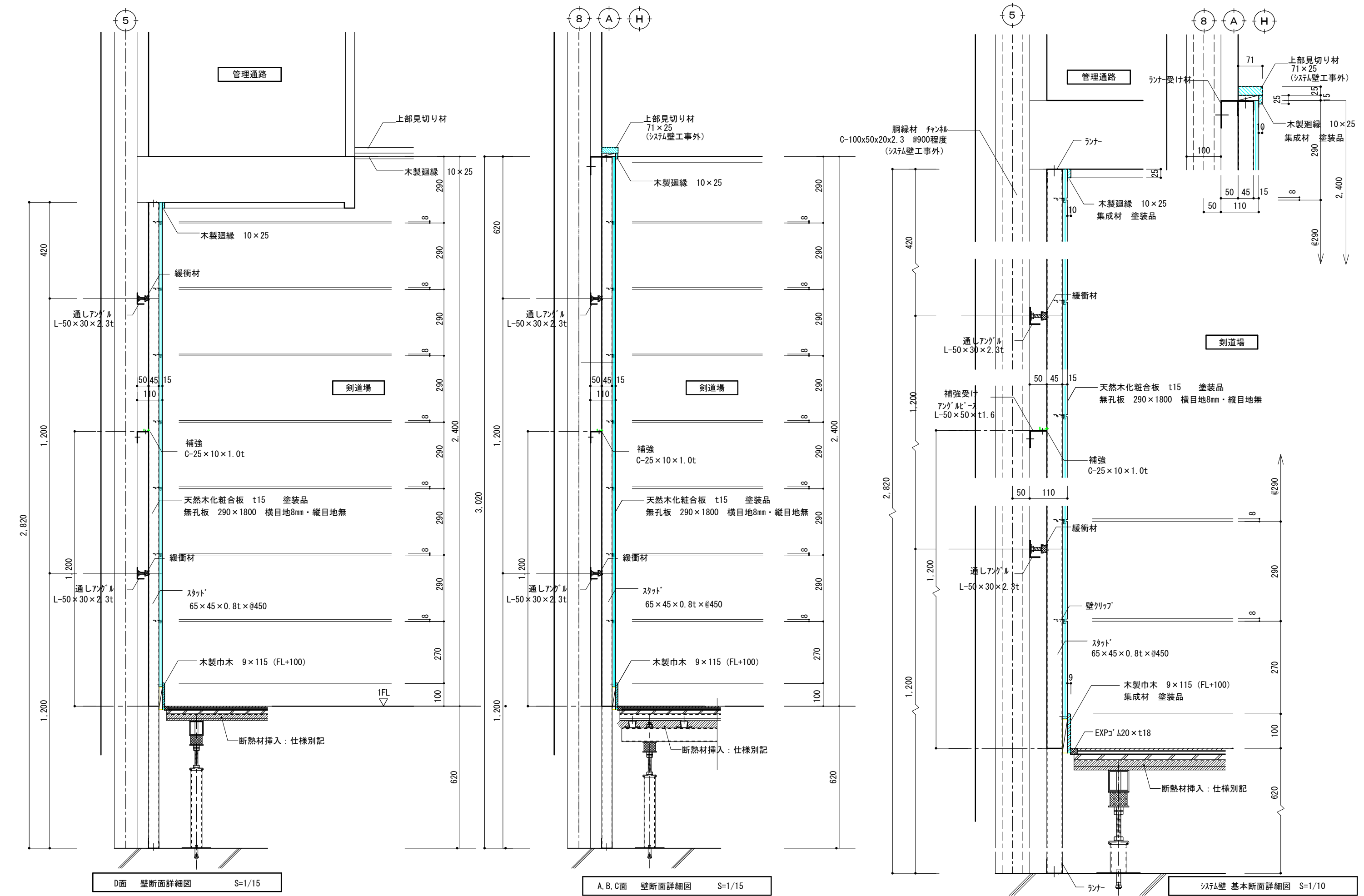


凡 例	W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無
	M1	木製廻縁 10×25 集成材材7塗装品
	M2	上部見切り材 71×25 (システム壁工事外)
	H	木製巾木 9×115 (FL+100) 集成材材7塗装品
	D	木製出隅 35×35×t7 集成材材7塗装品
	O	木製押縁 15×7 集成材材7塗装品
	S1	スリット 65×45×0.8t×φ450
	b	緩衝材 調整木 巾径9

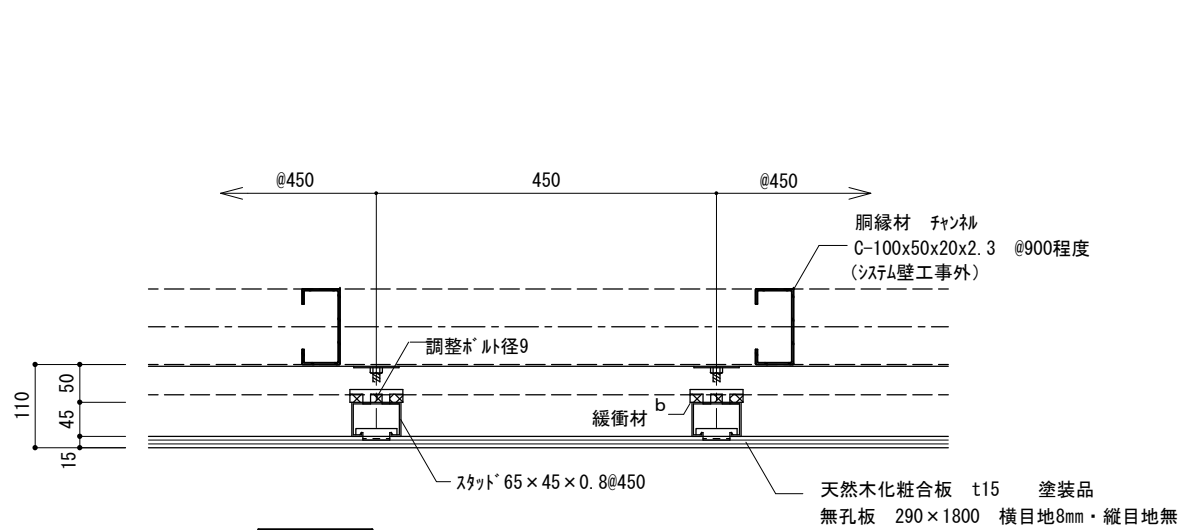
剣道場 D



摘要 		T I M E	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 10px; height: 10px;"></div> <div style="width: 10px; height: 10px;"></div> <div style="width: 10px; height: 10px;"></div> <div style="width: 10px; height: 10px;"></div> </div>	承認	図面名称	A棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁展開図 2	図番	A：1-31

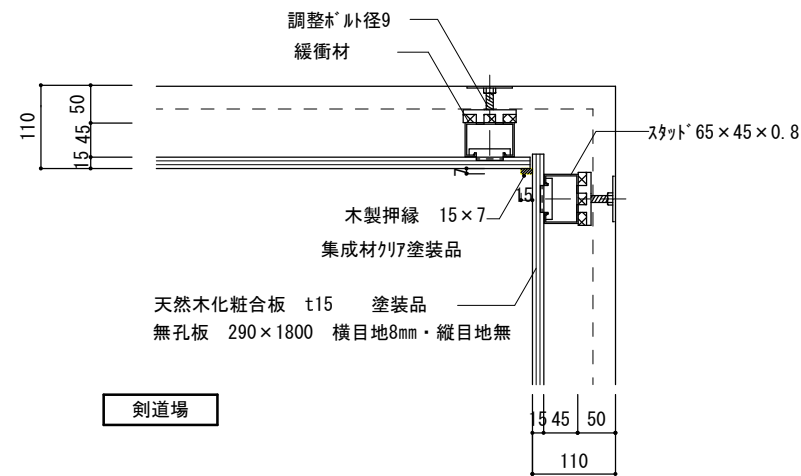


摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 15
					承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁詳細図 1	図番 A：1-32



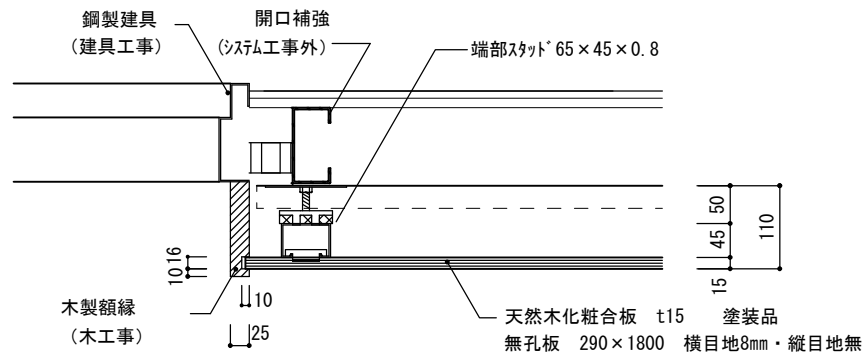
剣道場

共通 システム壁 基本平面詳細図 S=1/10



剣道場

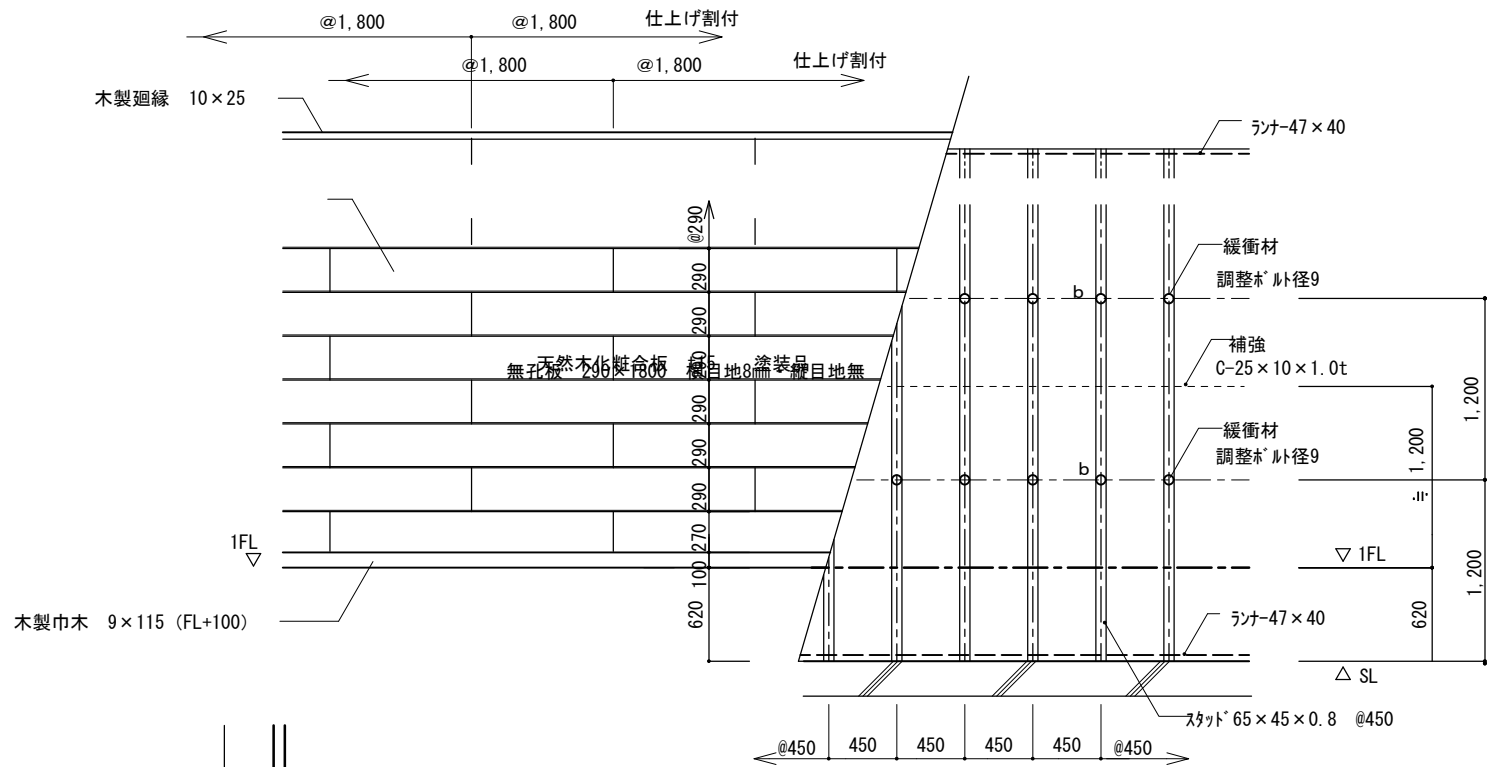
共通 入隅廻り平面詳細図 S=1/10



木製額縁

共通 出入口廻り 平面詳細図 S=1/10

剣道場



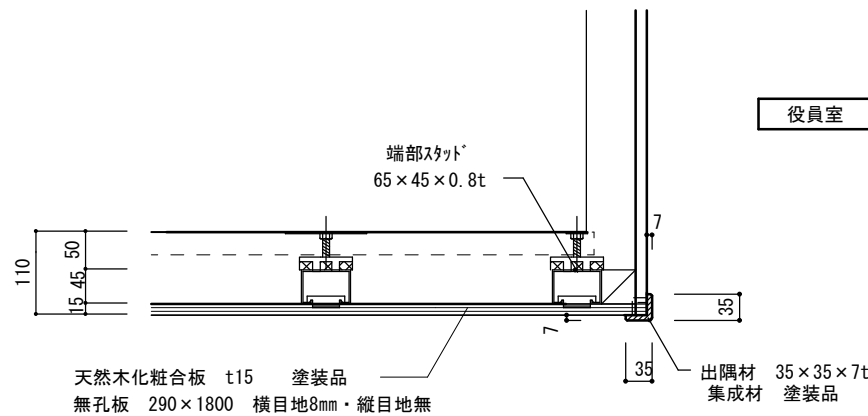
木製巾木 9x115 (FL+100)

役員室

スタット 65x45x0.8

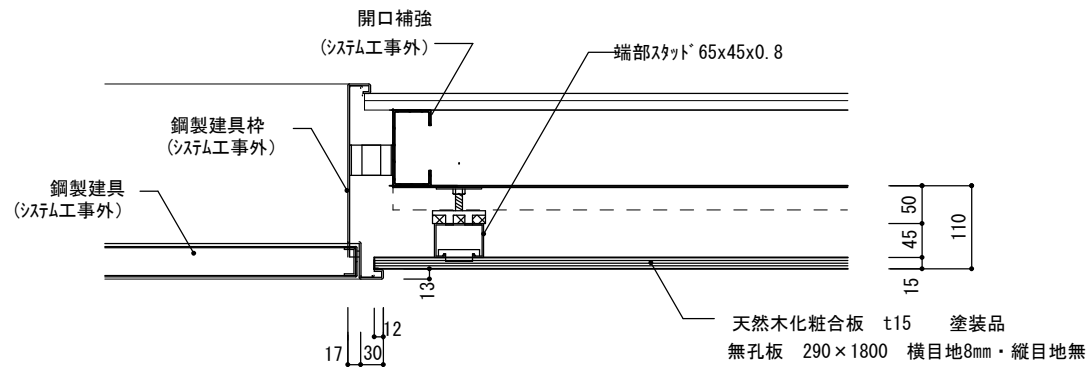
基本割付図 S=1/50

(A1)



剣道場

共通 出隅納り図 S=1/10

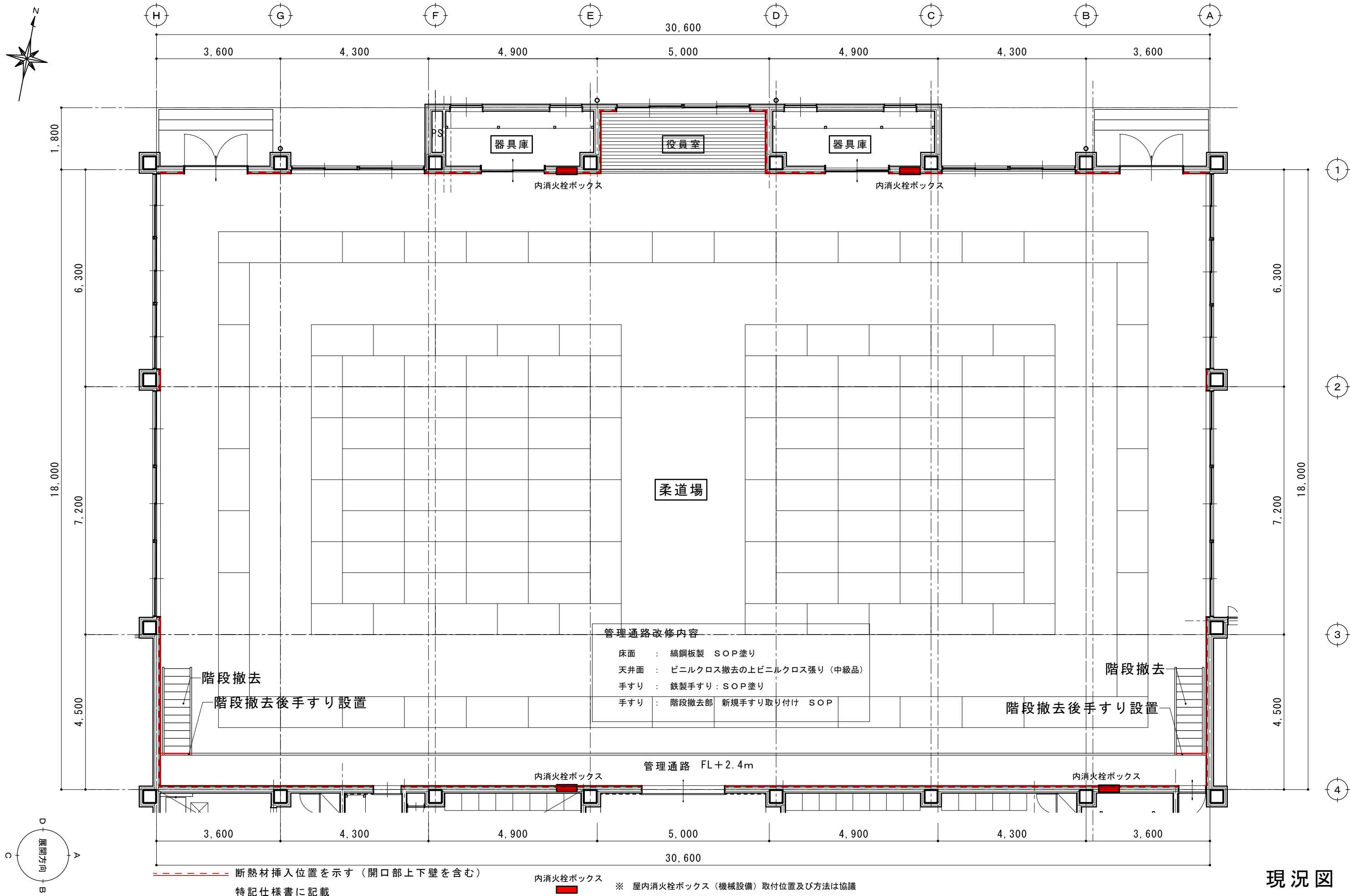


鋼製建具

共通 出入口廻り 平面詳細図 S=1/10

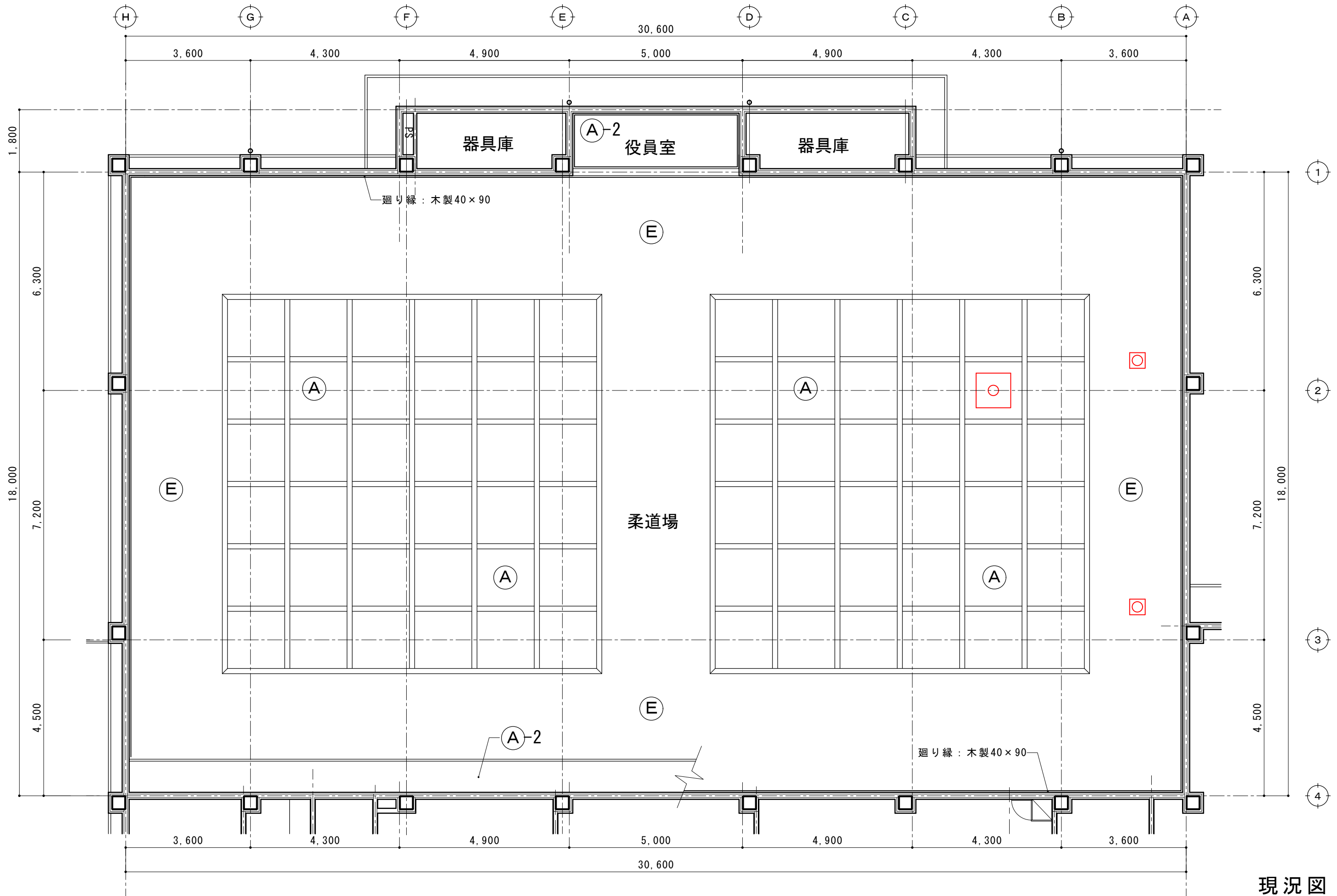
剣道場

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
					承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）鋼製システム壁詳細図 2	図番 A : 1-33



現況図

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）現況平面図	図番 A：1-34



現況図

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）現況天井伏図	図番 A：1-35

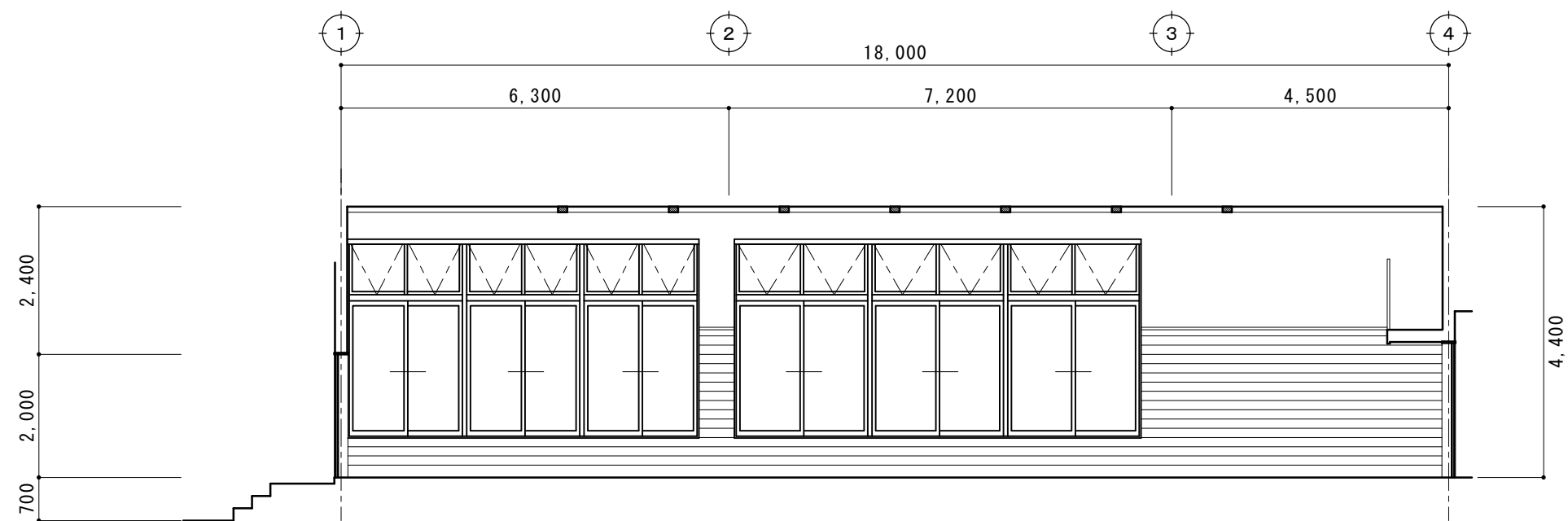
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
柔道場 役員室 改修なし (クロス張替)	既存	樹脂製アジャスターフロアー（H600） 大型積層床材 t18 柔道用畳敷き	木製 H：200	腰壁：木製胴縁の上、難燃化粧合板 t12横張（難燃） 腰上：木製胴縁の上、GBD t12.5 ビニルクロス張り	LGS下地 格子内：GBR9.5の上ビニルクロス張り 周囲部：GBR9.5の上岩綿吸音板張り	木製 40×90	
	撤去	樹脂製アジャスターフロアー（H600） 撤去 大型積層床材 t18 撤去 柔道用畳敷き 撤去（柔道畳320帖）	木製 撤去 H：200	腰壁：木製胴縁の上、 撤去なし 難燃化粧合板 t12横張 撤去 腰上：木製胴縁の上、 撤去なし GBD t12.5 ビニルクロス張り 撤去	LGS下地 撤去 格子内：GBR9.5の上ビニルクロス張り 撤去 周囲部：GBR9.5の上岩綿吸音板張り 撤去	木製 撤去	床：御影石部分撤去
	改修	鋼製床下地（詳細図参照）の上針葉樹合板 t15捨て張り 大型積層フローリング t18（詳細図参照）工場半塗装品 ポリッシャー掛ノ上水性ウレタン塗装1回 EXPゴム18×20 剣道場ライン 2面 柔道用畳敷き（全面） 断熱材挿入 仕様：詳細図参照	タモ集成材 H：110	腰壁：衝撃吸収壁下地 スタッド：65×45 t0.8 @450 調整ボルト 天然木化粧合板 t15（難燃） 出隅・入隅：タモ集成材 腰上：GBD t12.5（新設） ビニルクロス張り（中級品） 断熱材挿入 仕様：詳細図参照	LGS下地 新設 格子内：GBR9.5の上ビニルクロス張り 新設 周囲部：GBR9.5の上岩綿吸音板張り 新設 断熱材挿入 仕様：詳細図参照	木製 新規 40×90 WP塗装	消火栓ボックス取付（開口工事：建築） 床点検口アルミ枠600×600 6箇所 床換気口アルミ枠スライド開閉 メッシュ付200×1000 10台
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
器具庫	既存	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし	
	撤去						
	改修						

天井伏図リスト

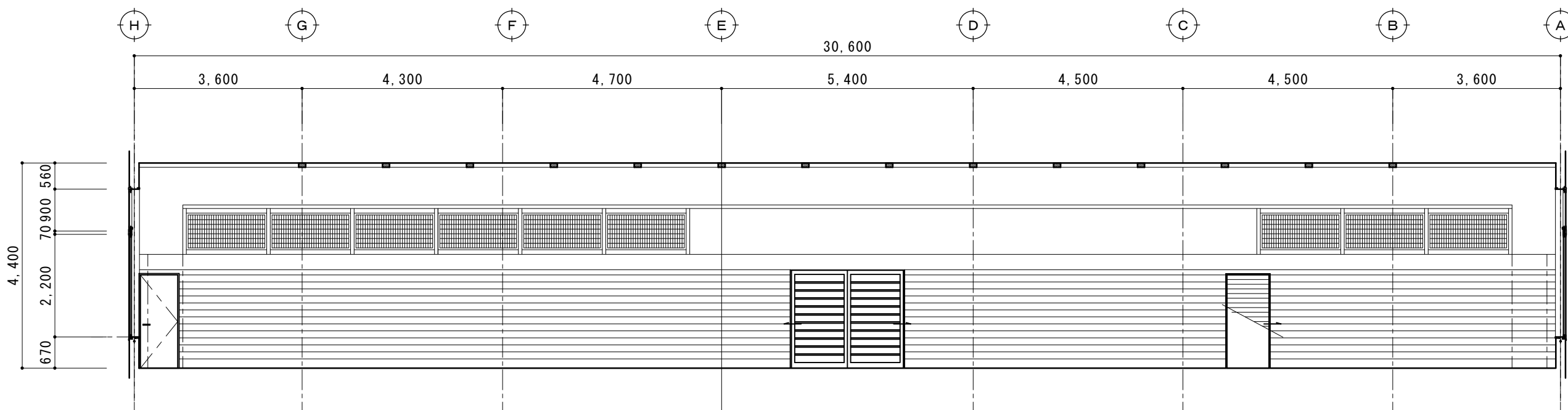
天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考	天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
Ⓐ	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90（金物吊り）			Ⓔ	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90（金物吊り）	撤去 撤去なし			撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁	（全撤去） （撤去無）	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90（金物吊り）	新規 既存	木部：UC塗装		改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁（既存使用）	新規 新規	

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
Ⓐ-2	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	ビニルクロス張り	撤去 撤去なし	
	改修	ビニルクロス張り	新規 既存	

摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
								承認	図面名称 A 棟 内部改修（柔道場）改修内容・天井伏図リスト



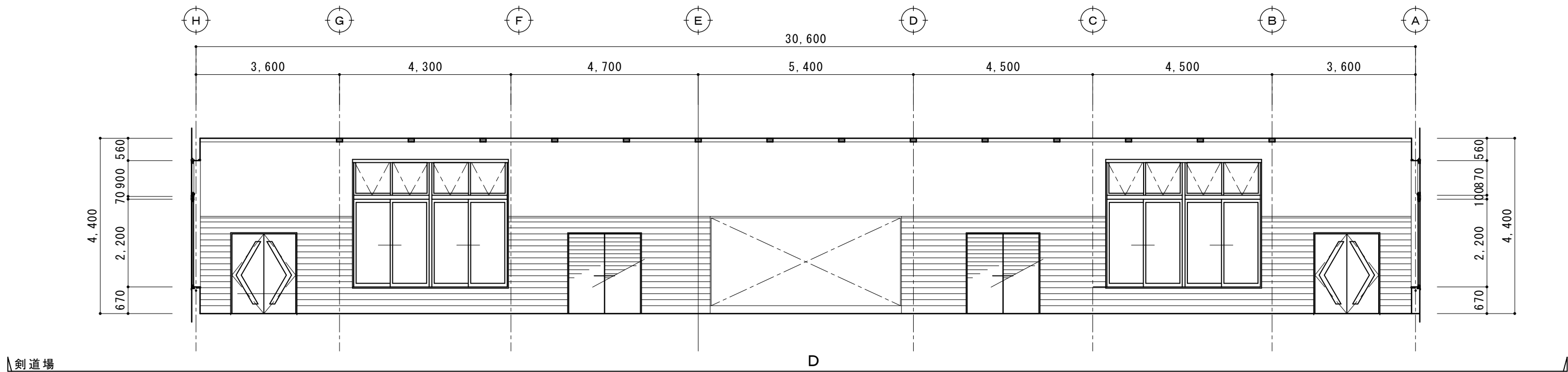
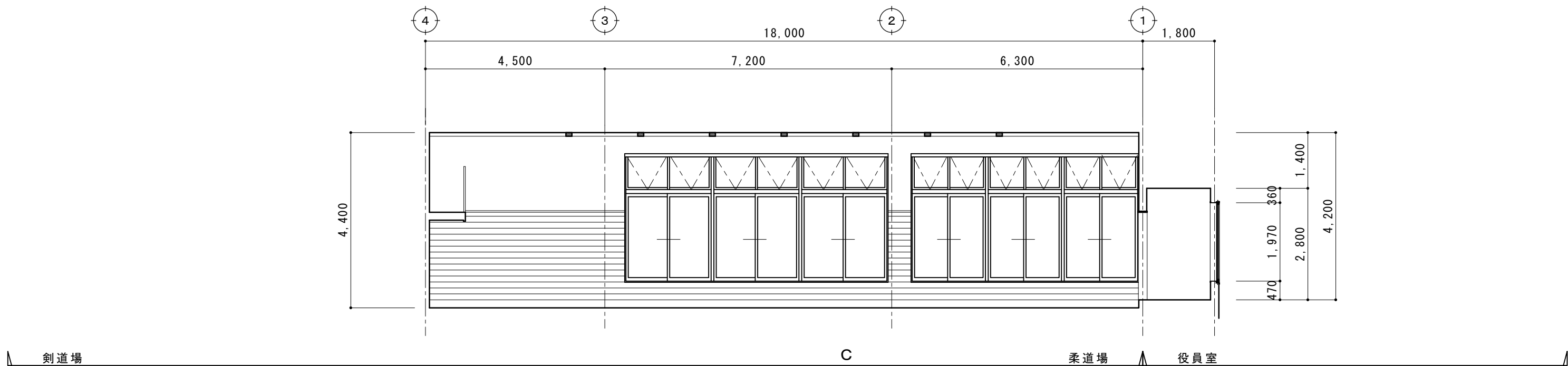
A



B

現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）現況展開図 1	図番 A : 1-37



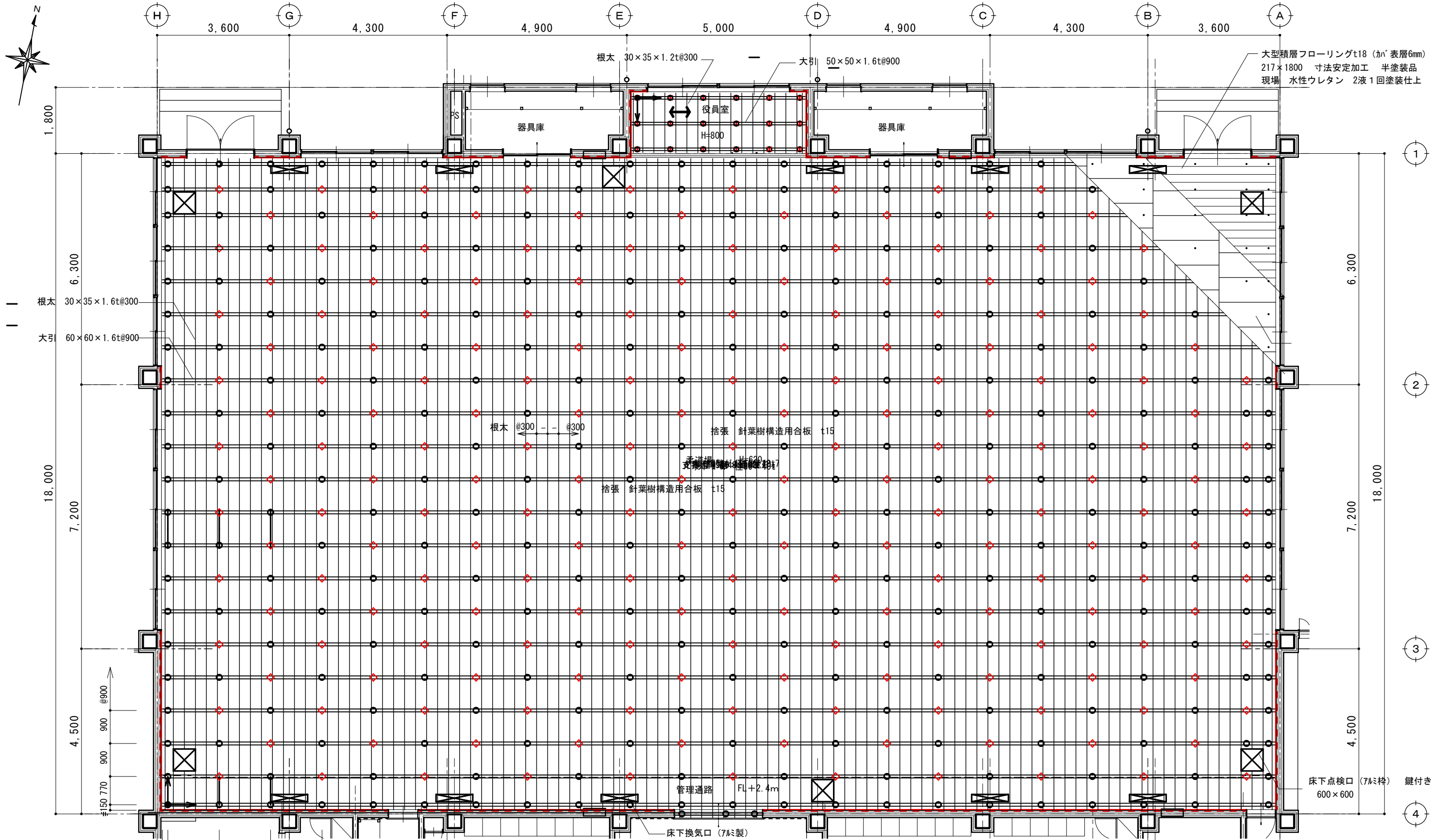
現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）現況展開図 2	図番 A : 1-38



現況図

摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
								承認	図面名称 A 棟 内部改修（柔道場）現況展開図 3



床仕上及び地下仕様

柔道場
役員室

大型積層フローリングt18 (かゝ表層6mm)
217×1800 寸法安定加工 半塗装品
現場 水性ウレタン 2液1回塗装仕上

周囲
換気口、点検口

EXPt' Δ20×t18
EXPt' Δ15×t18

機器類

床下点検口 (7/8寸枠) 鍵付き 計6台
床下換気口 (7/8寸製) 200×1000 スライド開閉式、メッシュ付 計10台

鋼製床下仕様

鋼製下地割付基準
フローリング張方向

床伏図 S=1/100 (A1)

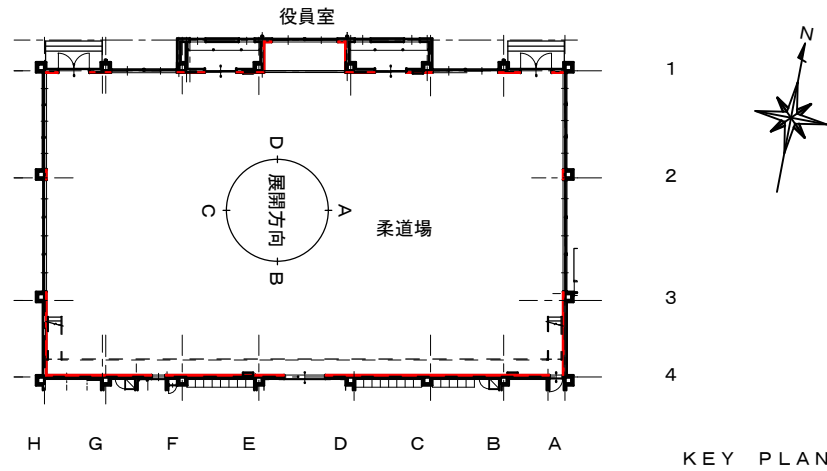
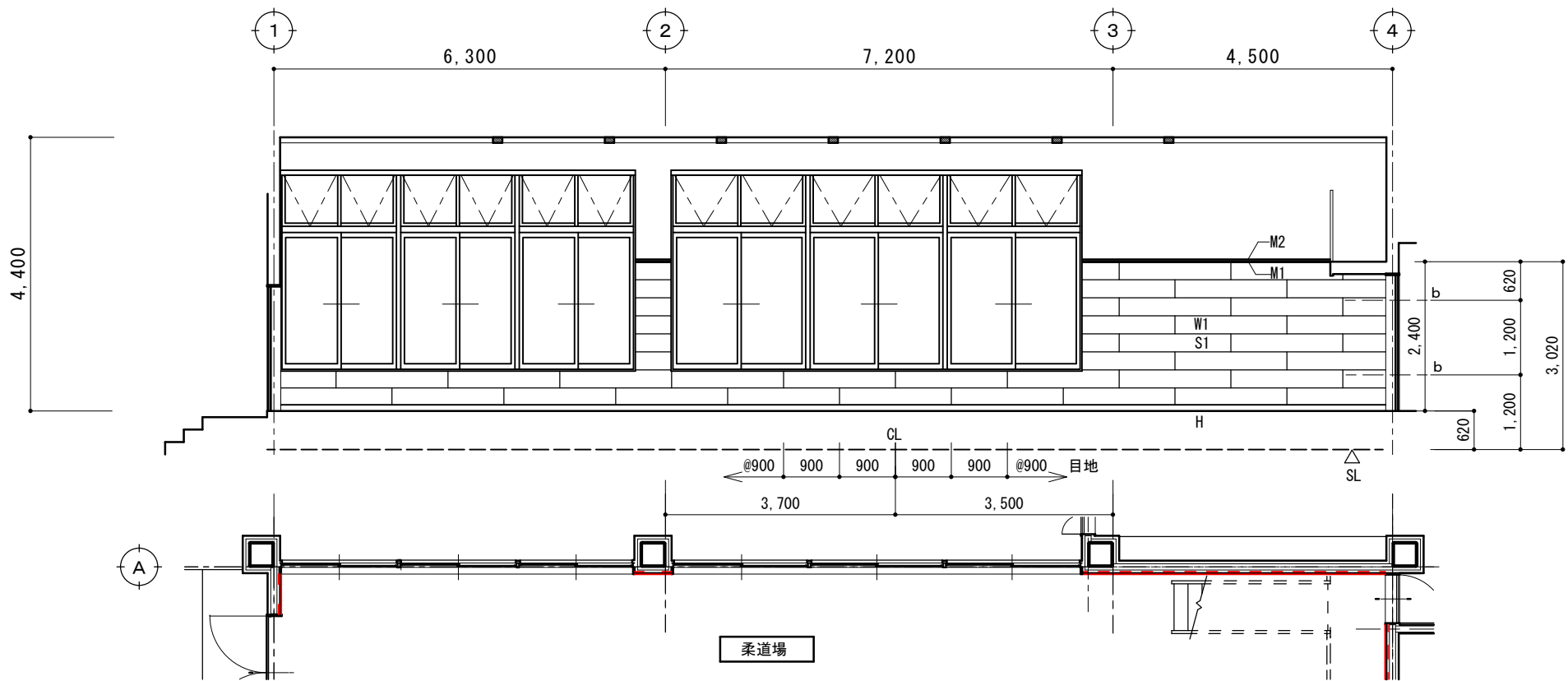
柔道場
H=620
外周付近

根太 30×35×1.6t@300
大引 60×60×1.6t@900
柔道場用2重コイルスプリング径60×60t
ホークアンカー径12.7 (オールアンカー固定)

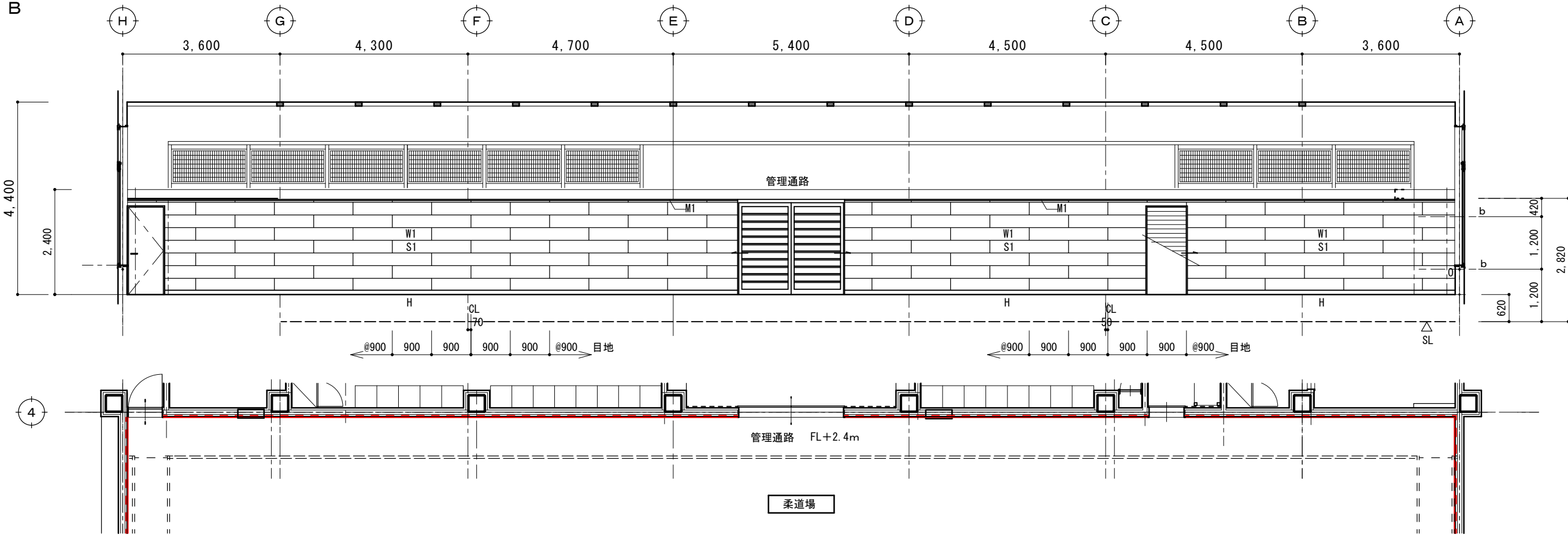
役員室
H=800

根太 30×35×1.2t@300
大引 50×50×1.6t@900
バウンドゴム 無し
支持台 34φ×2.3t @900×900
ホークアンカー径12.7 (オールアンカー固定)

摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修 (柔道場) 鋼製床システム平面図	図番 A : 1-40

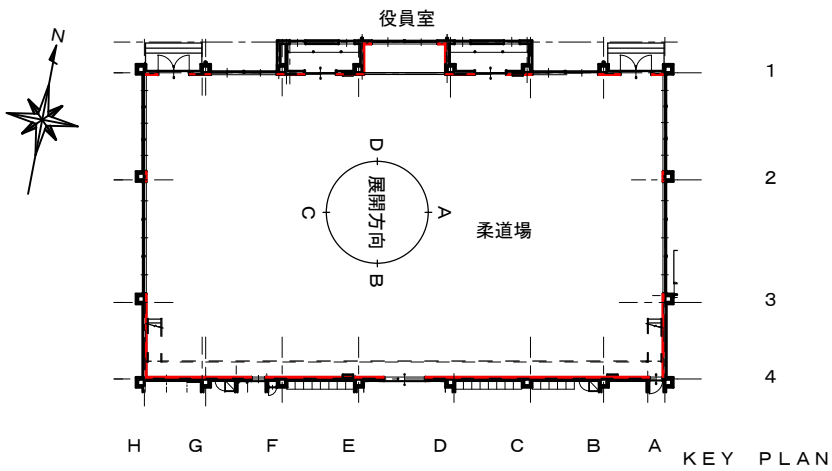
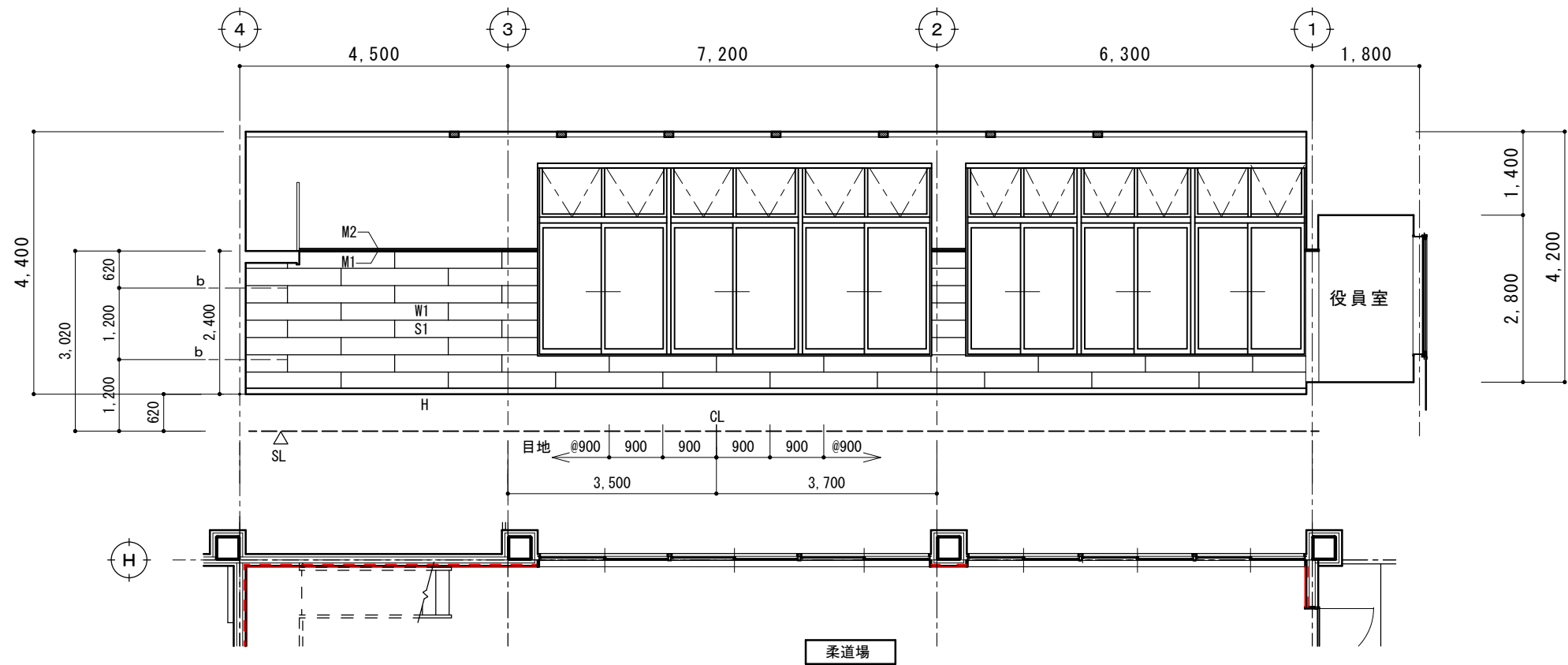


凡 例	W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無
	M1	木製廻縁 10×25 集成材材7塗装品
	M2	上部見切り材 71×25 (システム壁工事外)
	H	木製巾木 9×115 (FL+100) 集成材材7塗装品
	D	木製出隅 35×35×t7 集成材材7塗装品
	O	木製押縁 15×7 集成材材7塗装品
	S1	スリット 65×45×0.8t×@450
	b	緩衝材 調整ボルト径9



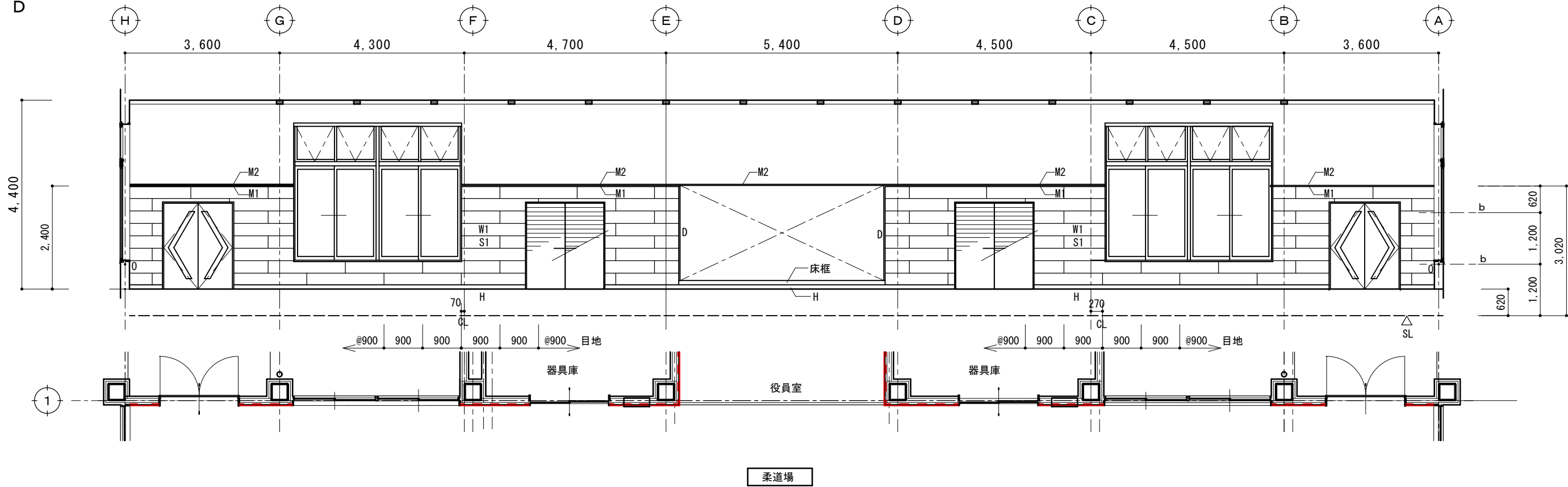
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
					承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁展開図 1	図番 A : 1-42

剣道場 C

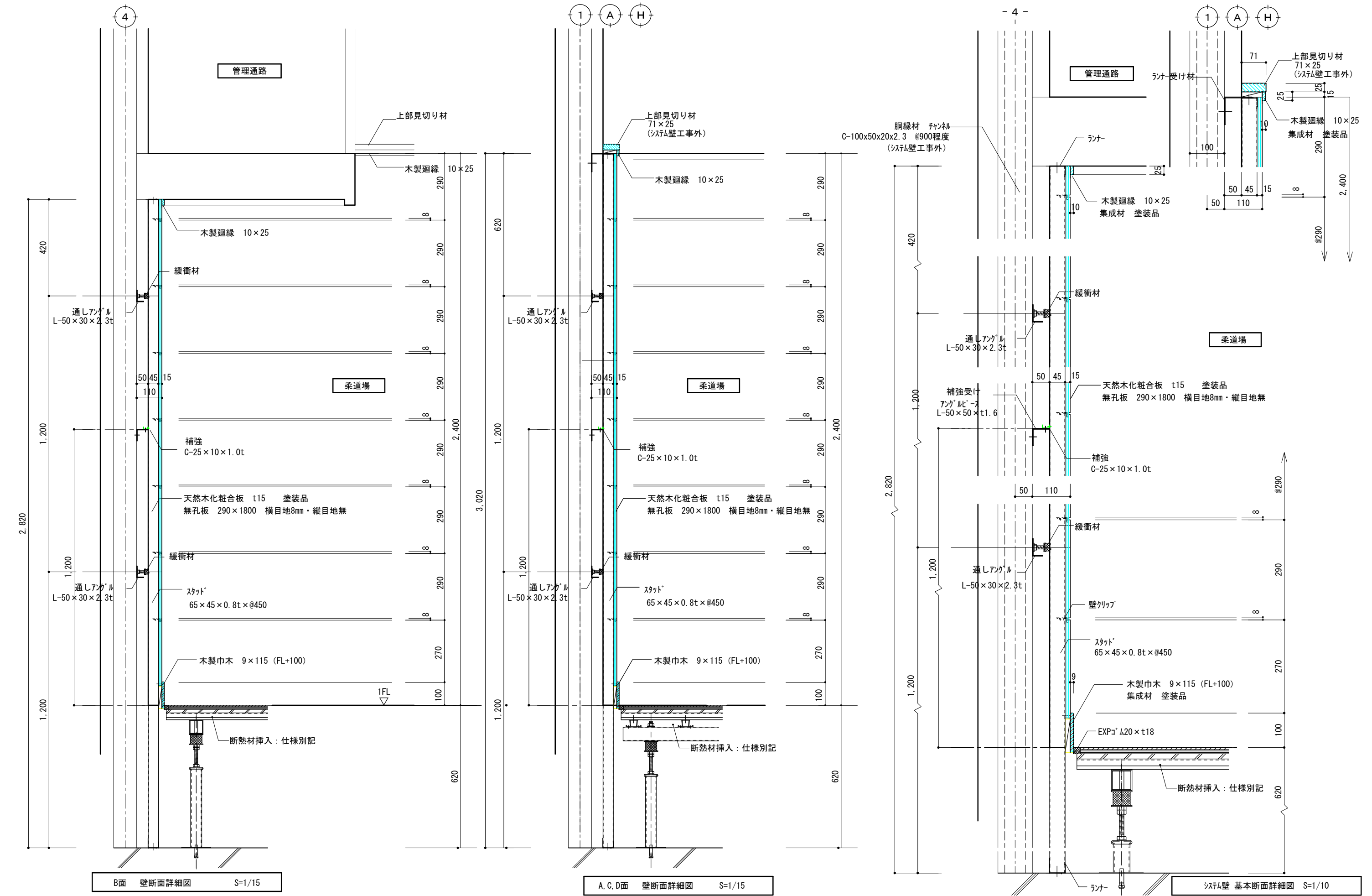


凡 例	W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無
	M1	木製廻縁 10×25 集成材ｸﾘｱ塗装品
	M2	上部見切り材 71×25 (ｼｽﾃﾑ壁工事外)
	H	木製巾木 9×115 (FL+100) 集成材ｸﾘｱ塗装品
	D	木製出隅 35×35×t7 集成材ｸﾘｱ塗装品
	O	木製押縁 15×7 集成材ｸﾘｱ塗装品
	S1	ｽﾀｯﾄﾞ 65×45×0.8t×@450
	b	緩衝材 調整ﾎﾙﾄﾞ径9

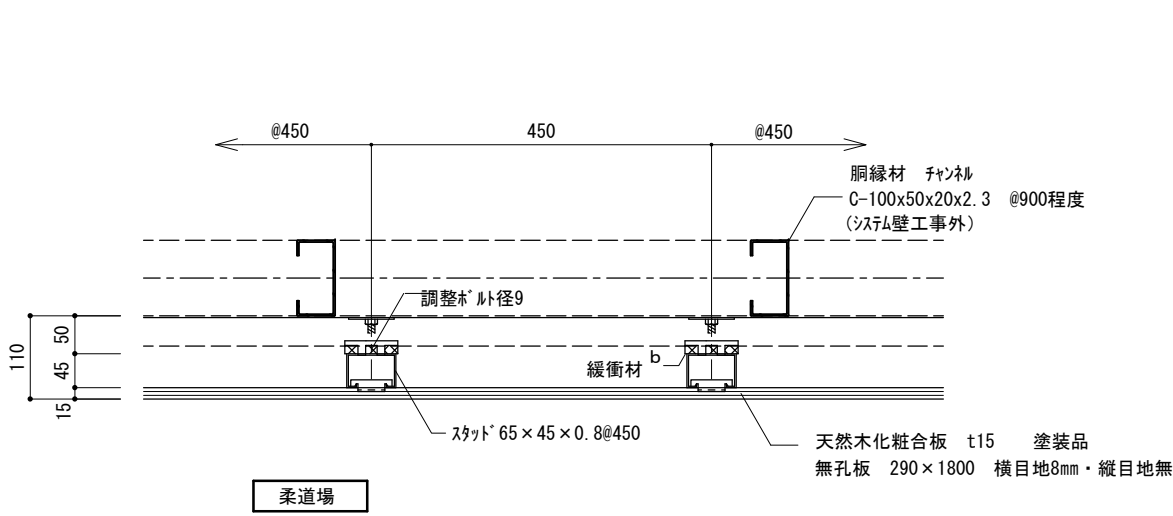
剣道場 D



摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁展開図 2	図番 A : 1-43

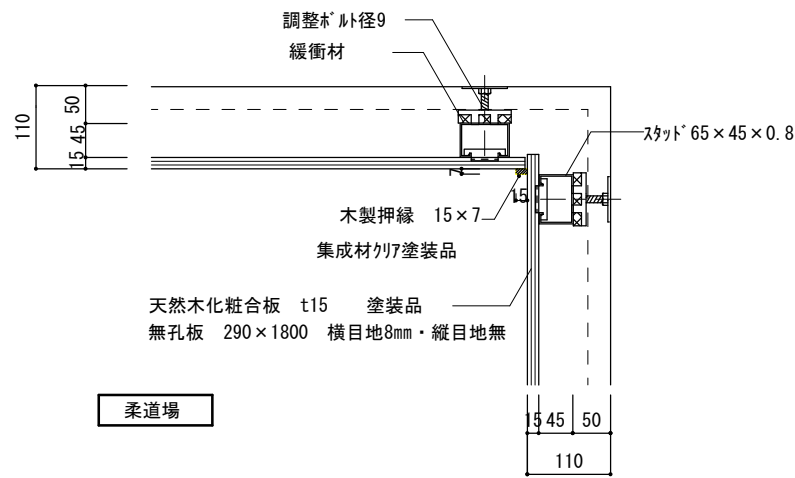


概要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 15
					承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁詳細図 1	図番 A：1-44



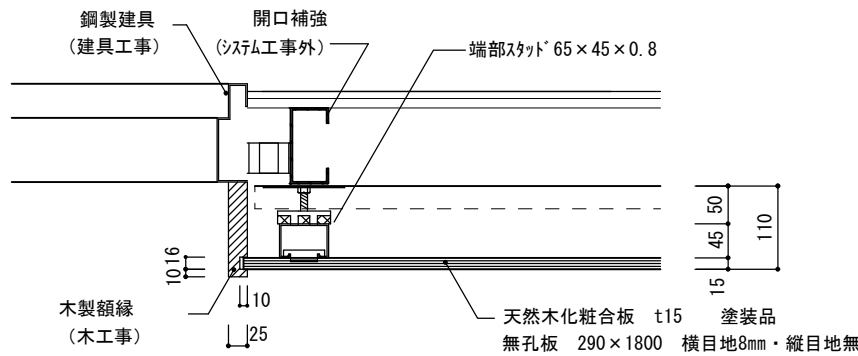
柔道場

共通 システム壁 基本平面詳細図 S=1/10



柔道場

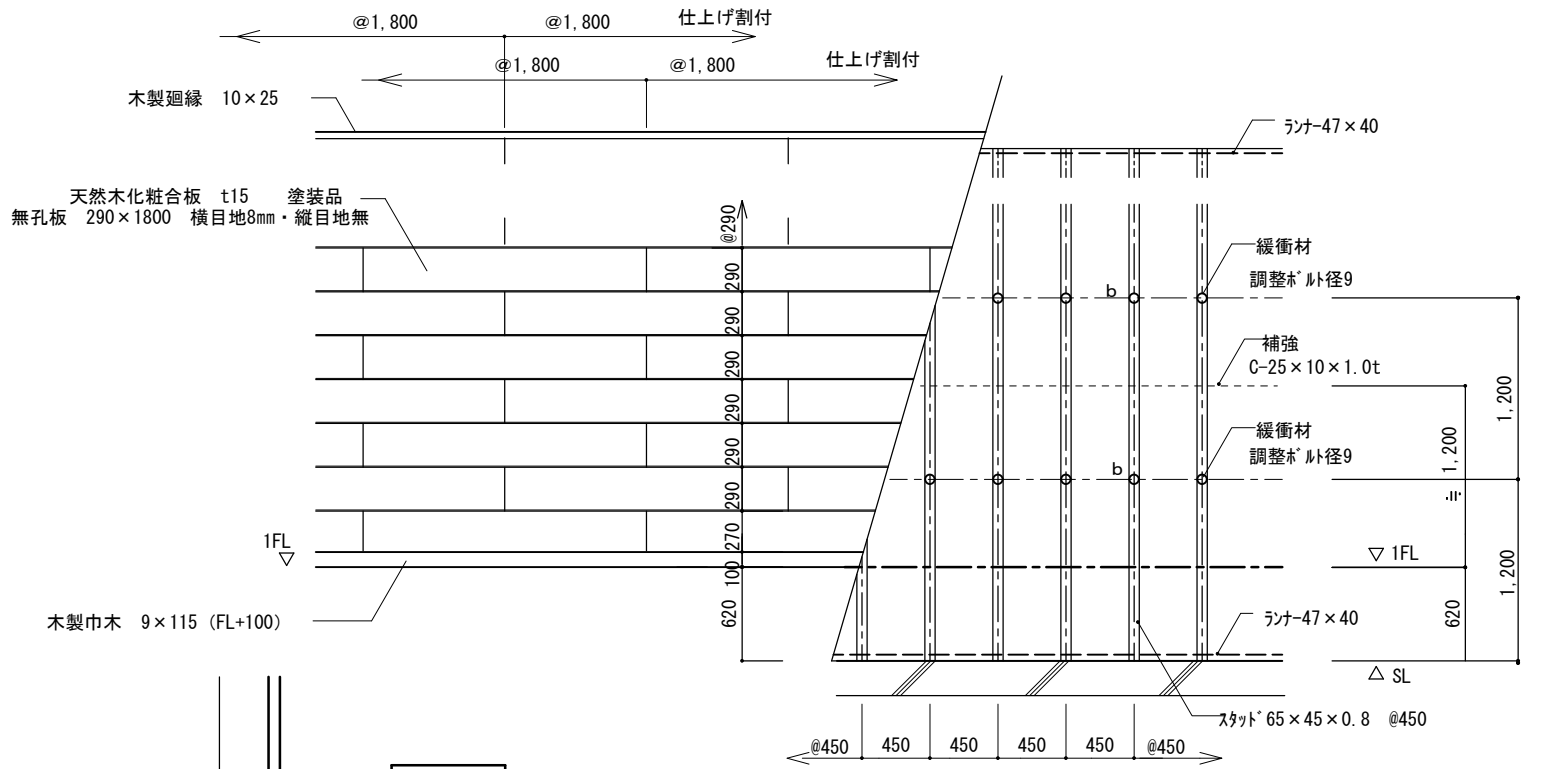
共通 入隅廻り平面詳細図 S=1/10



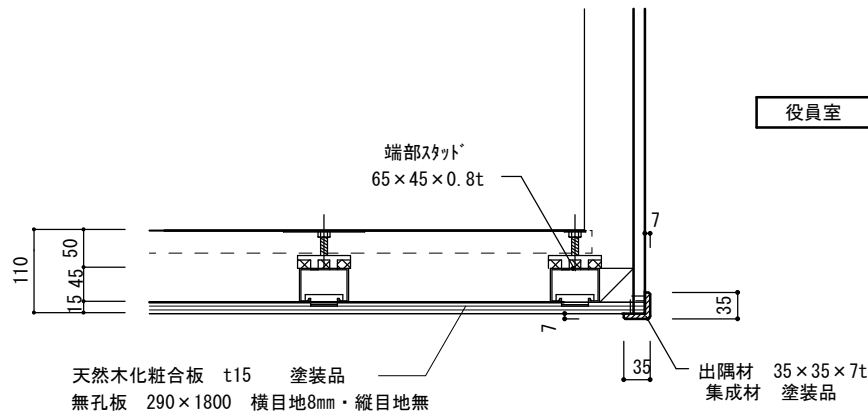
木製額縁

共通 出入口廻り 平面詳細図 S=1/10

柔道場



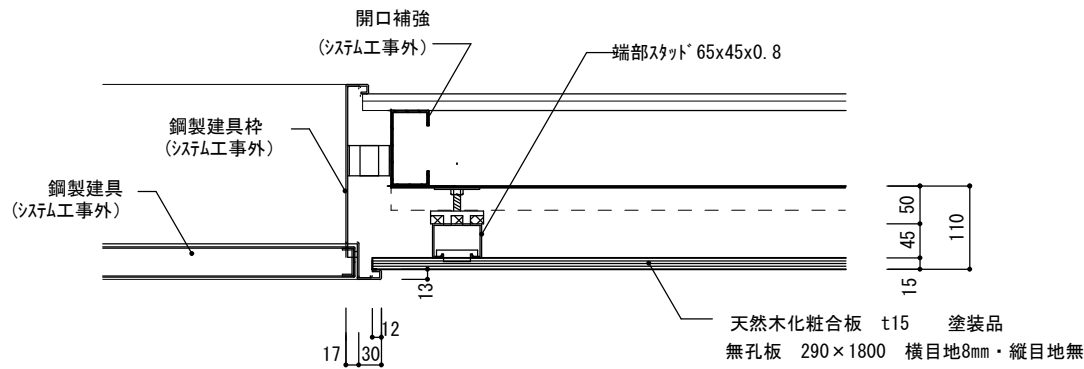
基本割付図 S=1/50 (A1)



役員室

柔道場

共通 出隅納り図 S=1/10

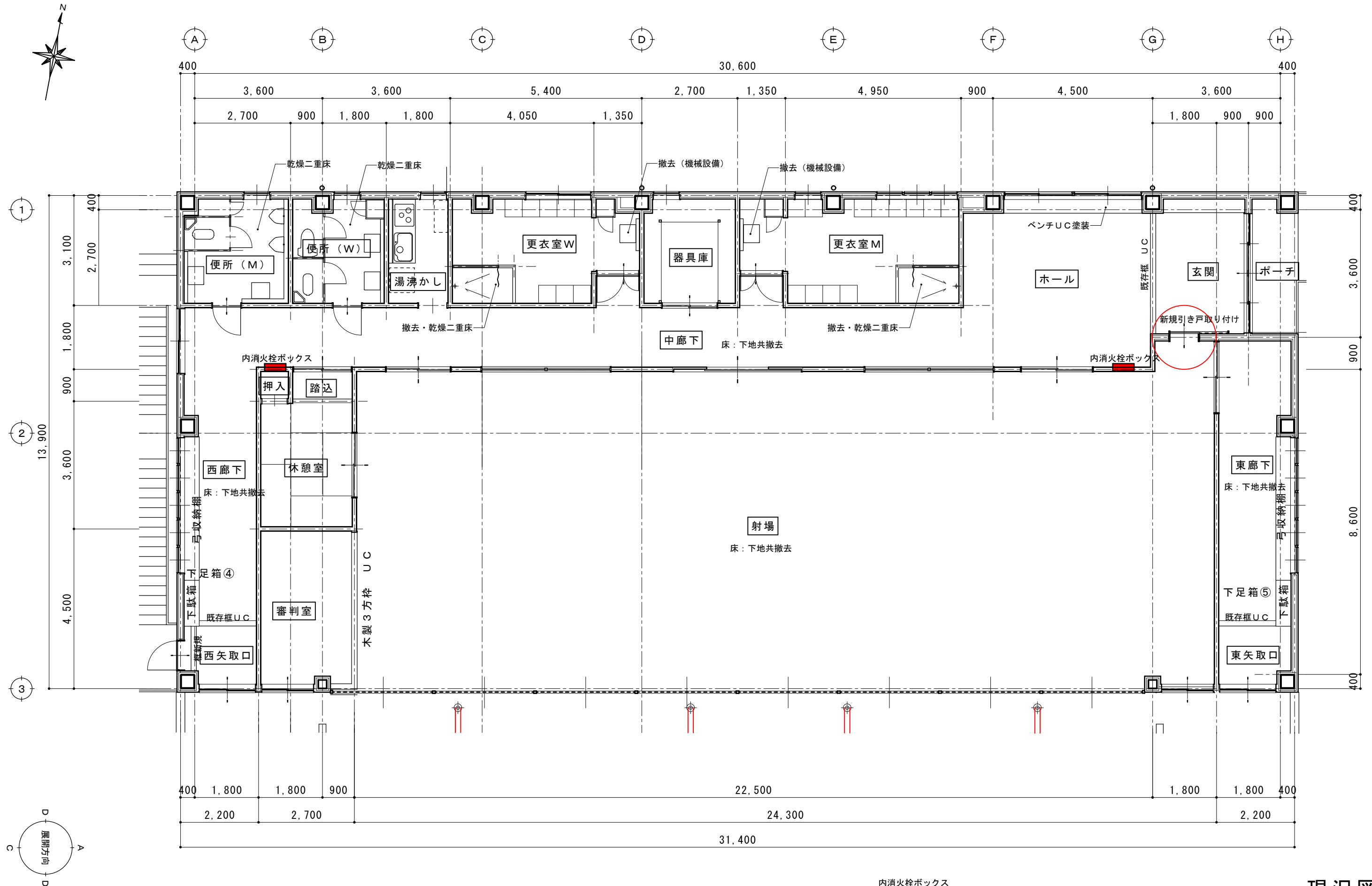


鋼製建具

共通 出入口廻り 平面詳細図 S=1/10

柔道場

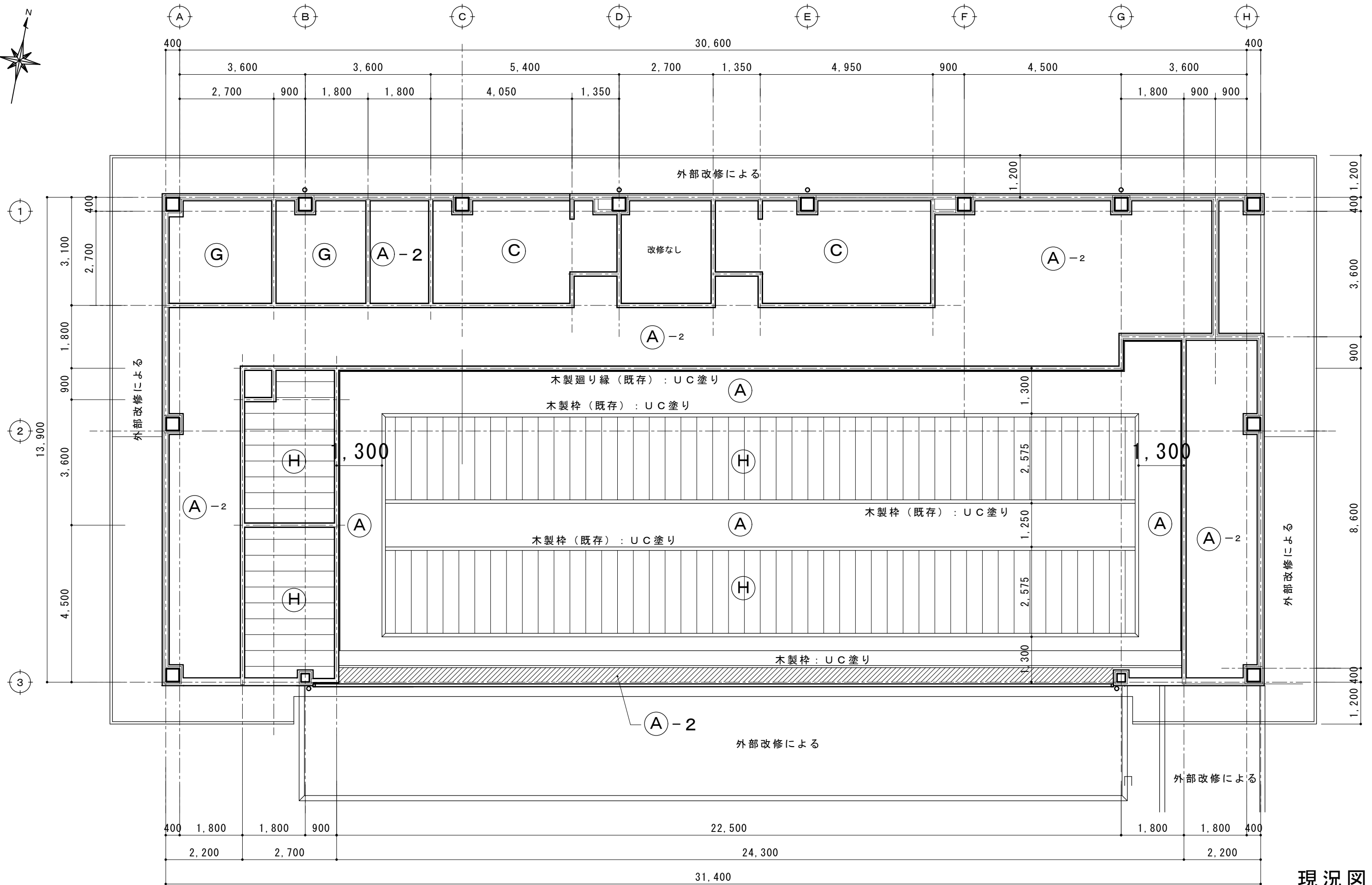
概要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
					承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）鋼製システム壁詳細図 2	図番 A : 1-45



内消火栓ボックス
※ 屋内消火栓ボックス（機械設備）取付位置及び方法は協議

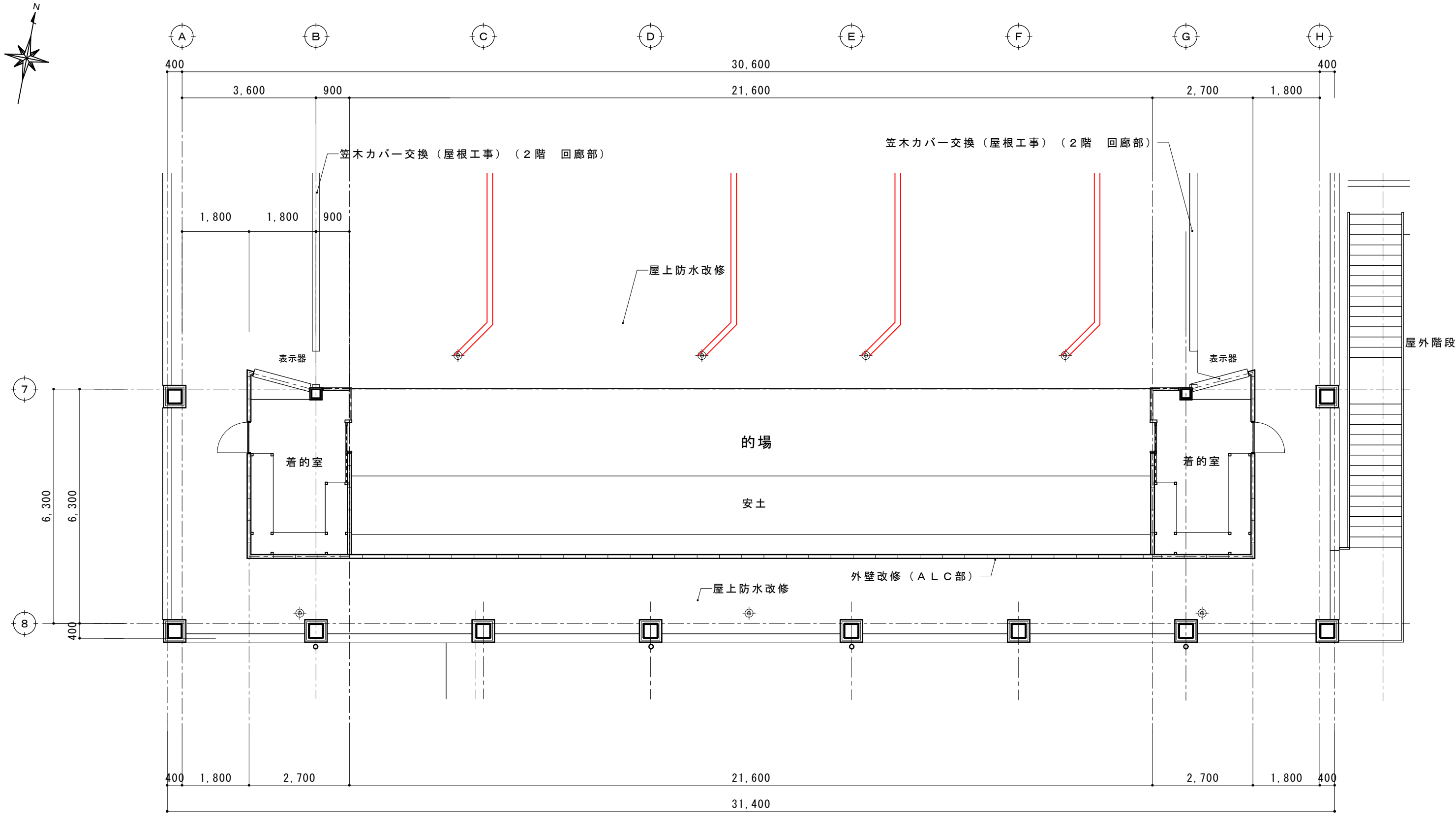
現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（2階射場廻り）現況平面図	図番 A：1-46



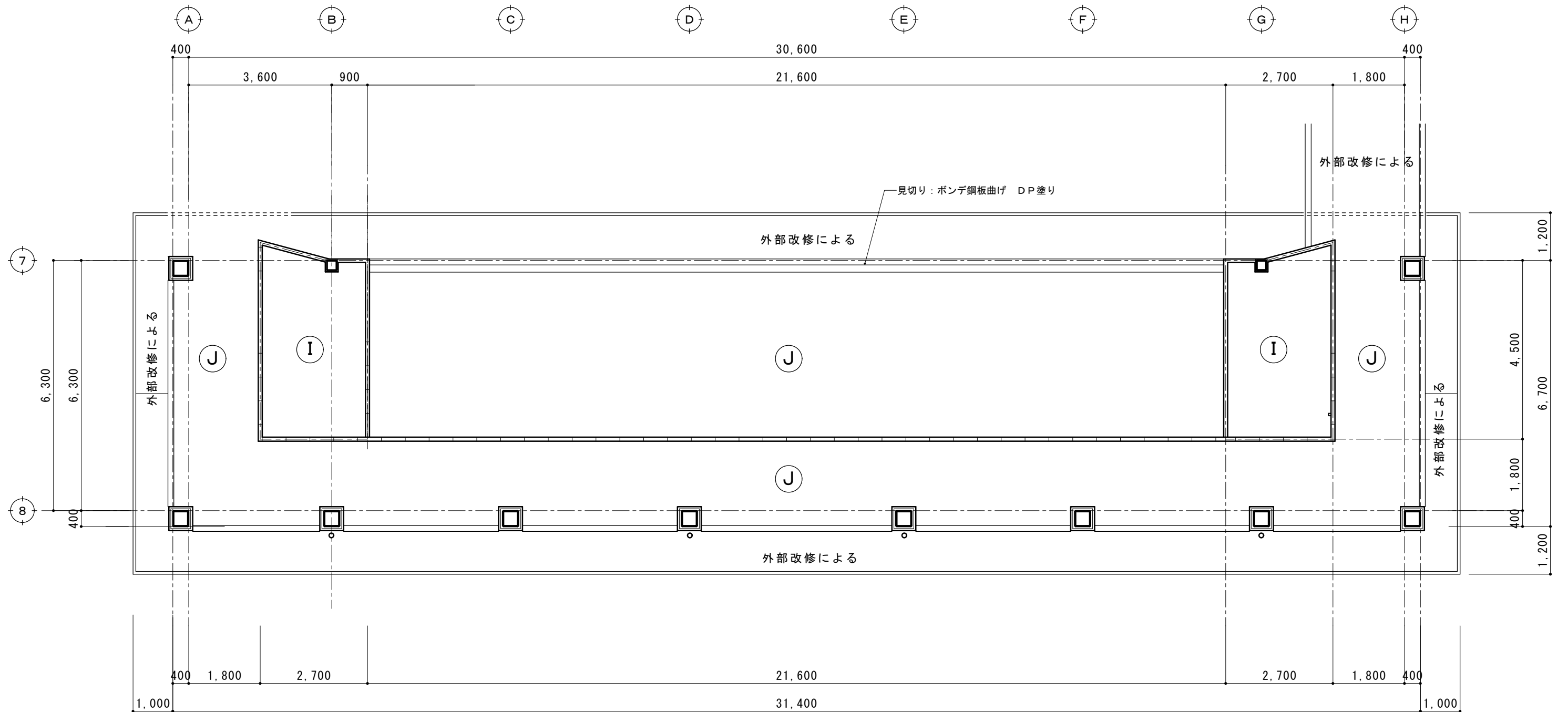
現況図

摘要 		T I M E	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; height: 40px;"> <div style="width: 10px; height: 100%;"></div> <div style="width: 10px; height: 100%;"></div> <div style="width: 10px; height: 100%;"></div> <div style="width: 10px; height: 100%;"></div> </div>	承認	図面名称	A棟 内部改修（2階射場廻り）現況天井伏図	図番	A：1-47



現況図

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
						承認	図面名称 A棟 内部改修（2階射場廻り）現況平面図	図番 A：1-48



現況図

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
						承認	図面名称 A棟 内部改修（2階的場廻り）現況天井伏図	図番 A：1-49

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
Ⓐ	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り ビニルクロス張り	(撤去なし) (撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		木部：UC塗装
Ⓐ _{ー2}	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り ビニルクロス張り	(撤去) (撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り (中級品)		木部：UC塗装
Ⓒ	既存	LGS下地 フレキシブルボード t6 AEP塗装 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 フレキシブルボード t6 アスベストあり 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		

天井記号		天井下地・仕上 (撤去の別)	撤去の別	備考
Ⓔ	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
Ⓕ	既存	LGS下地 W450化粧石膏ボード 木製見切縁・木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 W450化粧石膏ボード 木製見切縁・木製廻り縁	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り (敷き目板調) 木製見切縁・木製廻り縁 UC塗装		木部：UC塗装
Ⓖ	既存	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 (19型) GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
Ⓙ	既存	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 (25型) ケイカル版 t6 AEP		

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認	図面名称 A棟 内部改修 (2階的場廻り) 天井改修リスト	図番 A : 1-50

室 名		床	巾 木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 玄 関	既 存	タ イ ル 張 り 150×150	タ イ ル 張 り 150×150	下 地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	下 地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	塩 ビ 製	
	撤 去	タ イ ル 張 り 150×150 撤 去 な し		下 地：L G S 撤 去 な し G B R12.5 撤 去 な し（破 損 個 所 撤 去） ビニルクロス 撤 去	下 地：L G S 撤 去 な し G B R12.5 撤 去 な し（破 損 個 所 撤 去） ビニルクロス 撤 去	塩 ビ 製 撤 去	
	改 修			G B R12.5 破 損 個 所 修 理 ビニルクロス 中 級 品 張 り 出隅：木製コーナービート H：1,800 U C 塗 装	ビニルクロス 中 級 品 張 り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	射 場 へ の 出 入 口：新 規 引 き 戸 設 置

室 名		床	巾 木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 ホ ー ル 中 廊 下 西 廊 下 東 廊 下	既 存	木造床組 H：250 フロアーパネル t 12	木 製 H100 SOP塗り	下 地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	L G S 下 地 G B R9.5 ビニルクロス	塩 ビ 製	
	撤 去	木造床組 H：250 撤 去 フロアーパネル t 12 撤 去 上がりかまち：既存 U C 塗 装	木 製 H100 撤 去 な し	下 地：L G S 撤 去 な し G B R12.5 撤 去 な し（破 損 個 所 撤 去） ビニルクロス 撤 去	L G S 下 地 撤 去 G B R9.5 撤 去 ビニルクロス 撤 去	塩 ビ 製 撤 去	
	改 修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t 20＋耐水ラワン合板 t 12 単層フローリングノード t 15	木 製 H100 SOP塗り	G B R12.5 破 損 個 所 修 理 ビニルクロス 中 級 品 張 り 出隅：木製コーナービート H：1,800 U C 塗 装	L G S 下 地 G B R9.5 ビニルクロス 中 級 品 張 り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	

室 名		床	巾 木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 西 矢 取 口 東 矢 取 口	既 存	100角磁器質タイル張り	タイル張り 100×10	下 地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	L G S 下 地 G B R9.5 ビニルクロス	塩 ビ 製	下 足 箱 ④ ⑤
	撤 去	 上がりかまち：既存 U C 塗 装	撤 去 な し	下 地：L G S 撤 去 な し G B R12.5 撤 去 な し（破 損 個 所 撤 去） ビニルクロス 撤 去	L G S 下 地 撤 去 G B R9.5 撤 去 ビニルクロス 撤 去	塩 ビ 製 撤 去	下 足 箱 ④ ⑤ 撤 去
	改 修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t 20＋耐水ラワン合板 t 12 長尺塩ビシート t 2.0張り	既存のまま	G B R12.5 破 損 個 所 修 理 ビニルクロス 中 級 品 張 り 出隅：木製コーナービート H：1,800 U C 塗 装	L G S 下 地 G B R9.5 ビニルクロス 中 級 品 張 り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	下 足 箱 新 ④ 新 ⑤ 設 置

室 名		床	巾 木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 射 場	既 存	木造床組 H：250 フロアーパネル t 12	木 製 H：100	下 地：L G S 腰壁：化粧合板張り F L＋2,400まで 壁 ：G B R12.5 ビニルクロス		木 製	
	撤 去	木造床組 H：250 撤 去 フロアーパネル t 12 撤 去	撤 去 な し	下 地：L G S 撤 去 な し 腰壁：化粧合板張り F L＋2,400まで 撤 去 な し 壁 ：G B R12.5（破 損 個 所 撤 去）ビニルクロス張り 撤 去	撤 去 部 分 あり	木 製 撤 去 な し	
	改 修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t 20＋耐水ラワン合板 t 12 単層フローリングノード t 15	既存 U C 塗 装	腰壁：化粧合板張り 破 損 個 所 補 修 壁 ：G B R12.5（破 損 個 所 修 理）ビニルクロス張り（中級品） 出隅：木製コーナービート H：1,800 U C 塗 装	天 井 伏 図 参 照	木 製 U C 塗 装	

室 名		床	巾 木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 更 衣 室 M 更 衣 室 W	既 存	木造床組 H：250の上合板張り 長尺塩ビシート張り t 2.0 シャワーブース部：磁器タイル張り	ソフト巾木 H：100	下 地：L G S 壁 ：G B R12.5 ビニルクロス	L G S 下 地 G B R9.5 フレキシブルボード t 6（アスベストあり）	塩 ビ 製	
	撤 去	木造床組 H：250の上合板張り 撤 去 な し シャワーブース部：磁器タイル張り 撤 去 な し	ソフト巾木 撤 去	 壁 ：G B R12.5（破 損 個 所 撤 去）ビニルクロス張り全撤去	L G S 下 地 G B R9.5 撤 去 フレキシブルボード t 6（アスベストあり）撤 去	塩 ビ 製 撤 去	
	改 修	木造床組 H：250の上合板張り【既存】 現状床の上、合板 t 5.5張り 長尺塩ビシート張り t 2.0 シャワーブース部：磁器タイル張りの上乾燥二重床・合板張り・長尺塩ビシート	ソフト巾木 H：100 新 設	壁 ：G B R12.5（破 損 個 所 修 理）ビニルクロス張り（中級品） 出隅：木製コーナービート H：1,800 U C 塗 装	L G S 下 地 G B R9.5 撤 去 G B D9.5 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
						承認		

室 名		床	巾木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 器 具 庫	既 存	木造床組 H：250の上合板張り 長尺塩ビシート張り t 2.0	ソフト巾木 H：100	下地：L G S G B R12.5 A E P 塗装	L G S 下地 G B D9.5 一部 G B R9.5 A E P 塗装	塩 ビ 製	
	撤 去	改修なし	改修なし	改修なし	L G S 下地 改修なし	塩 ビ 製	
	改 修	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	

室 名		床	巾木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 湯 沸 室	既 存	木造床組 H：250 フローア－パネル t 12	木製 H100 S O P	下地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	L G S 下地 G B R9.5 ビニルクロス	塩 ビ 製	
	撤 去	木造床組 H：250 撤去なし フローア－パネル t 12 撤去なし	木製 H100 撤去なし	下地：L G S 撤去なし G B R12.5 撤去なし（破損個所修理） ビニルクロス 撤去	L G S 下地 撤去 G B R9.5 撤去 ビニルクロス 撤去	塩 ビ 製 撤去	
	改 修	現状床の上、合板 t 5.5張り 長尺塩ビシート張り t 2.0	木製 H100 S O P 塗り	壁 ： G B R12.5（破損個所修理）ビニルクロス張り（中級品）	L G S 下地 G B R9.5 ビニルクロス 中級品張り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製 新設	

室 名		床	巾木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 休 憩 室	既 存	木造床組 H：400 合板 t 12 タタミ敷	木製 畳寄せ	下地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	L G S 下地 杉桤石膏ボード t 9	木 製	
	撤 去	木造床組 H：400 撤去なし 合板 t 12 撤去なし タタミ敷 撤去なし	木製 畳寄せ 撤去なし	下地：L G S 撤去なし G B R12.5 撤去なし（破損個所修理） ビニルクロス 撤去	L G S 下地 撤去 杉桤石膏ボード t 9 撤去	木 製 撤去	
	改 修	タタミ：表替え（2等 C 2）	既存のまま	壁 ： G B R12.5（破損個所修理）ビニルクロス張り（中級品）	L G S 下地 G B R9.5 ビニルクロス 中級品張り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	

室 名		床	巾木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 踏 込	既 存	木造床組 H：250 フローア－パネル t 12	木製	下地：L G S G B R12.5 ビニルクロス	L G S 下地 杉桤石膏ボード t 9	木 製	
	撤 去	木造床組 H：250 撤去なし フローア－パネル t 12 撤去なし	木製 撤去なし	下地：L G S 撤去なし G B R12.5 撤去なし（破損個所修理） ビニルクロス 撤去	L G S 下地 撤去 杉桤石膏ボード t 9 撤去	木 製 撤去	
	改 修		既存のまま	壁 ： G B R12.5（破損個所修理）ビニルクロス張り（中級品）	L G S 下地 G B R9.5 ビニルクロス 中級品張り 天 井 伏 図 参 照	塩 ビ 製	

室 名		床	巾木	腰 壁 壁	天 井	廻 り 縁	備 考
2 階 押 入	既 存	木造床組 H：400 合板 t 5.5	雑巾摺				
	撤 去	木造床組 H：400 撤去なし 合板 t 12 撤去なし	雑巾摺 撤去なし				
	改 修	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし 天 井 伏 図 参 照		

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
						承認		

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2 階 審判室	既存	木造床組 H：250 フローア－パネル t 12	ソフト巾木	下地：L G S G B R 12. 5 ビニルクロス	L G S 下地 杉桎石膏ボード t 9	木製	
	撤去	木造床組 H：250 撤去 フローア－パネル t 12 撤去	ソフト巾木 撤去	下地：L G S 撤去なし G B R 12. 5 撤去なし（破損個所修理） ビニルクロス 撤去	L G S 下地 撤去 杉桎石膏ボード t 9 撤去	木製 撤去	
	改修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t 20＋耐水ラワン合板 t 12 単層フローリングノード t 15	ソフト巾木 新設	壁：G B R 12. 5（破損個所修理）ビニルクロス張り（中級品）	L G S 下地 G B R 9. 5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	

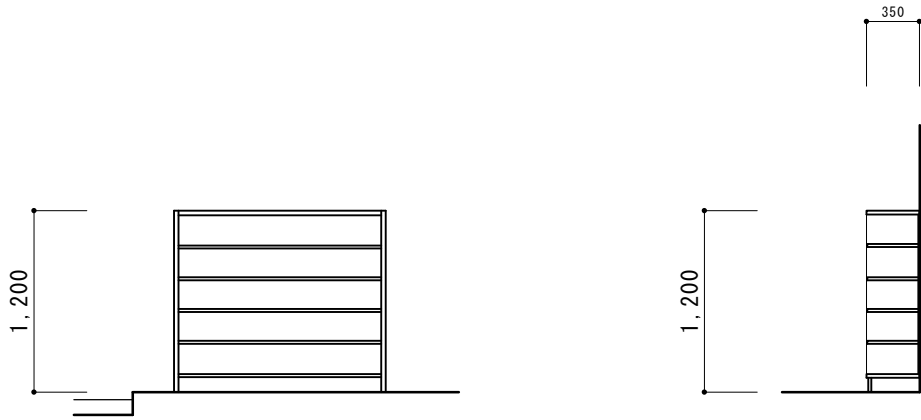
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
	既存					塩ビ製	
	撤去					塩ビ製	
	改修		ソフト巾木 h 100		天井伏図参照	塩ビ製	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2 階 的場	既存	均しモルタルの上 シート防水 t 1. 2 人工芝張り		シート防水 t 1. 2 の上トップコート 一部 A L C t 100 の上吹付	L G S 下地 フレキシブルボード t 6（アスベストあり）撤去	塩ビ製	
	撤去	均しモルタルの上 撤去なし シート防水 t 1. 2 撤去 人工芝張り 撤去		シート防水撤去	L G S 下地 撤去 フレキシブルボード t 6（アスベストあり）撤去	塩ビ製 撤去	安土 撤去（場内仮置き）
	改修	（屋上防水改修による）			L G S 下地 25 型 セメント版 t 6 目透かし張り E P G 塗装	塩ビ製	防水工事完了後安土再構築（防水改修参照）

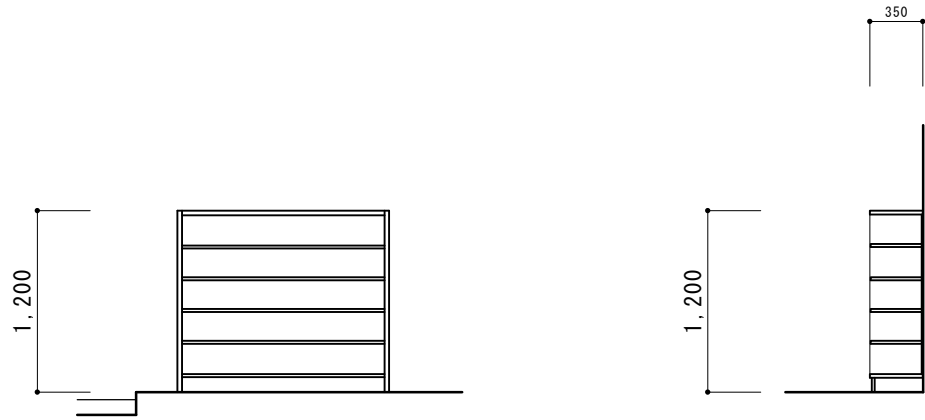
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2 階 着的室	既存	モルタル金コテ仕上げ	ソフト巾木	下地：L G S G B R 12. 5 A E P 塗装	L G S 下地 石膏ボード t 9 A E P 塗装	塩ビ製	
	撤去		ソフト巾木 撤去なし	下地：L G S 撤去なし G B R 12. 5 撤去なし（破損個所修理）	L G S 下地 撤去 石膏ボード t 9 A E P 塗装 撤去	塩ビ製撤去	
	改修	改修なし	既存のまま	壁：G B R 12. 5（破損個所修理）A E P 塗装	L G S 下地 G B D 9. 5 新規 新規	塩ビ製新設	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
	既存						
	撤去						
	改修						

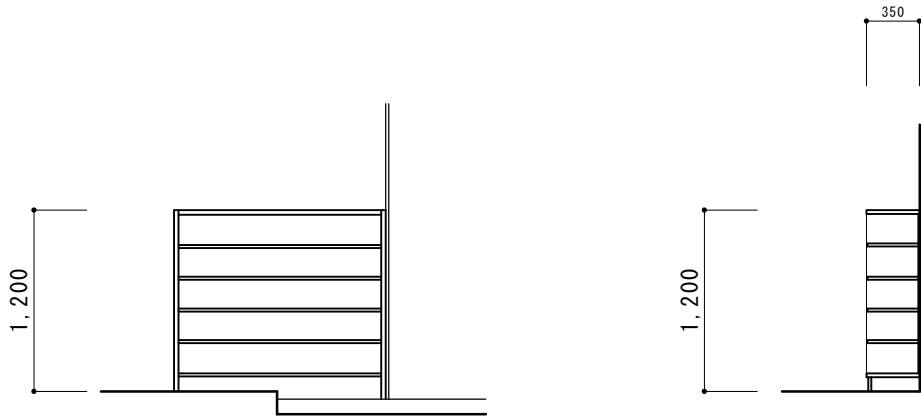
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
						承認		



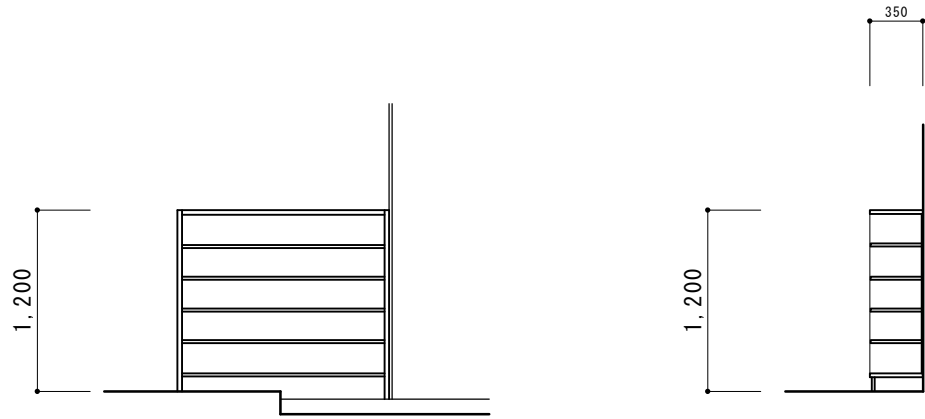
改修



下駄箱 ④	撤去	化粧合板フラッシュ	下駄箱 新④	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-----------	--------	----	---------------

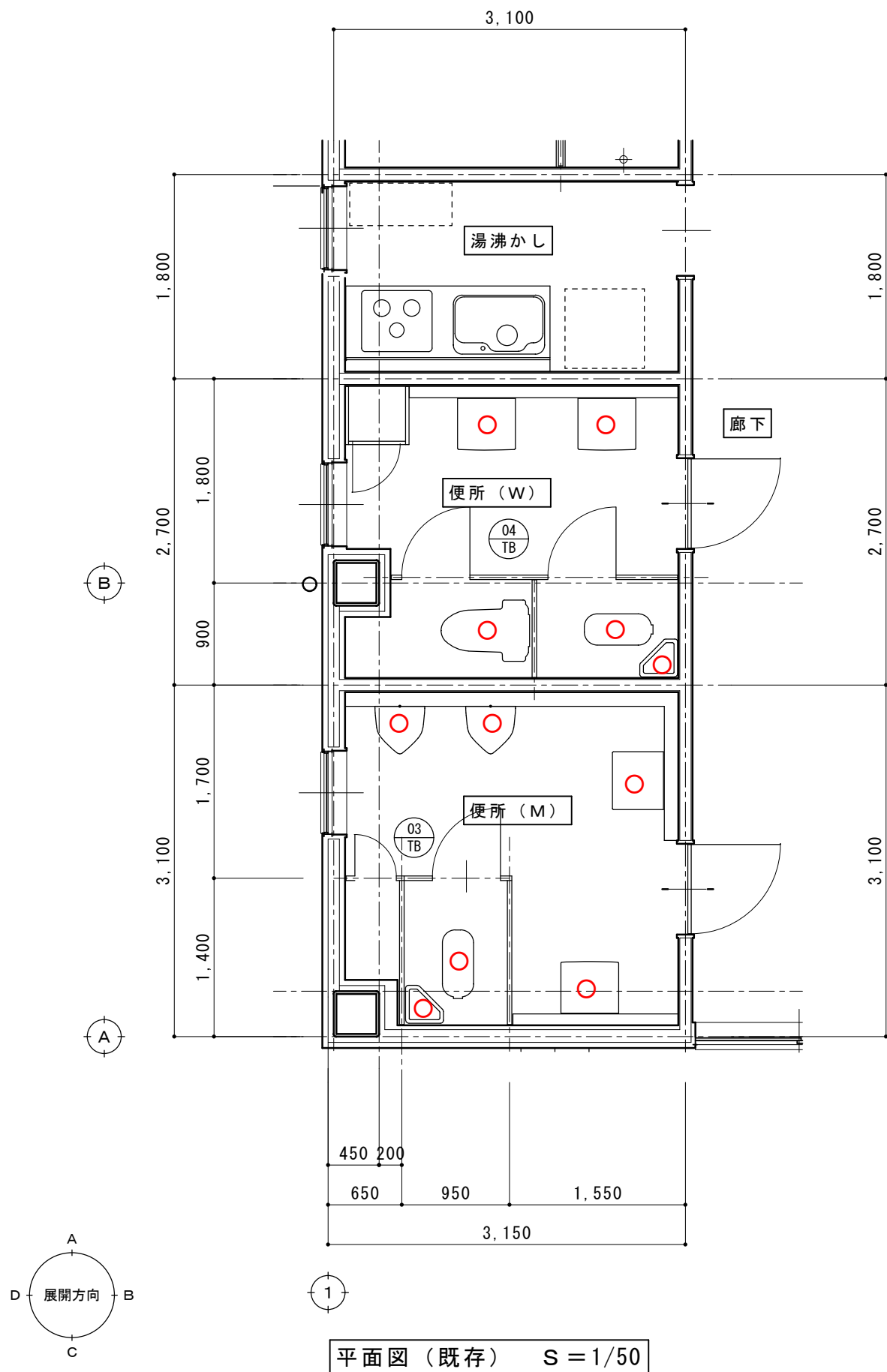


改修



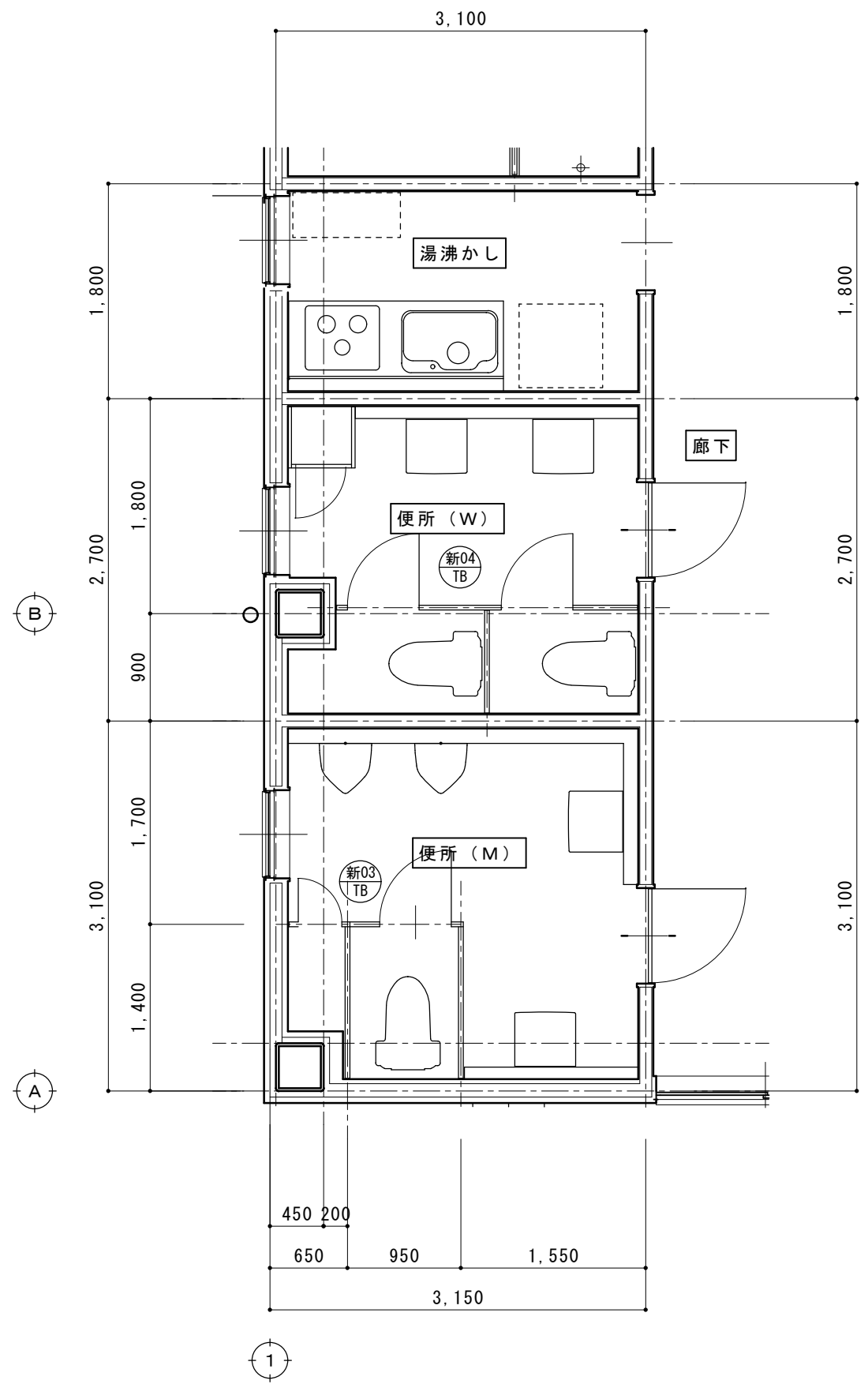
下駄箱 ⑤	撤去	鋼製家具（オープン棚）	下駄箱 新⑤	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-------------	--------	----	---------------

摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
			承認	図面名称 A棟 内部改修（2階矢取口）家具図	図番 A：1-54



平面図（既存） S = 1/50

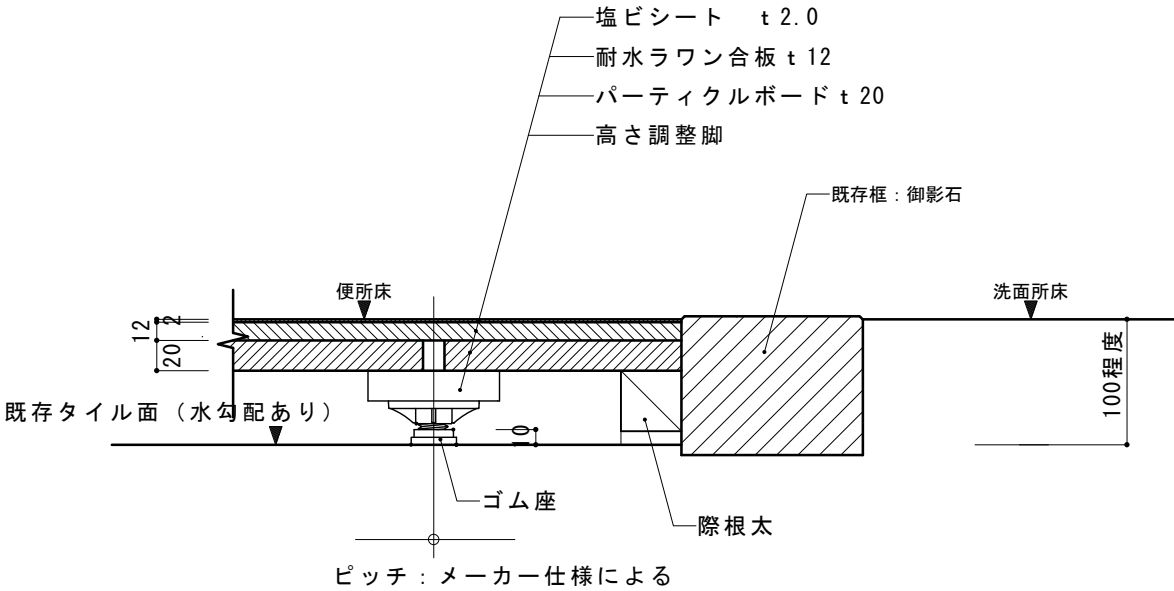
改修



平面図（改修） S = 1/50

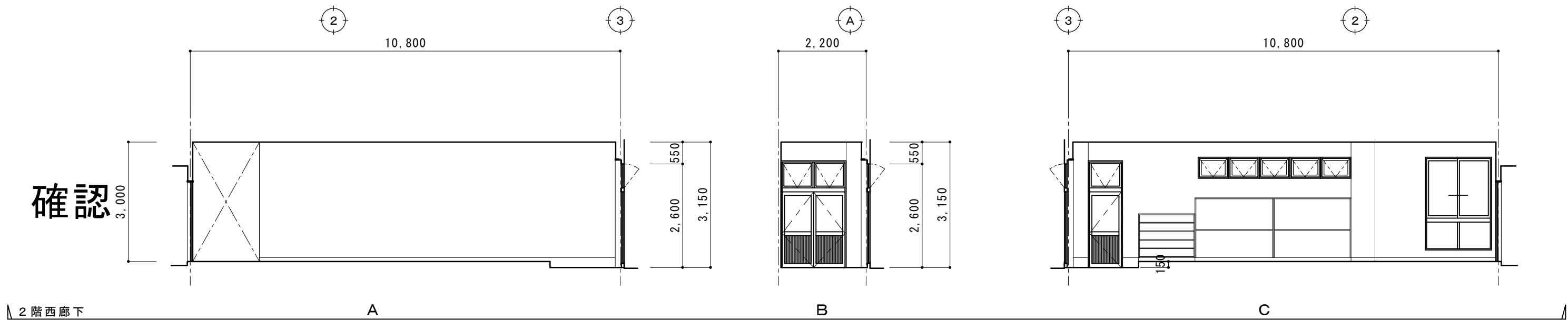
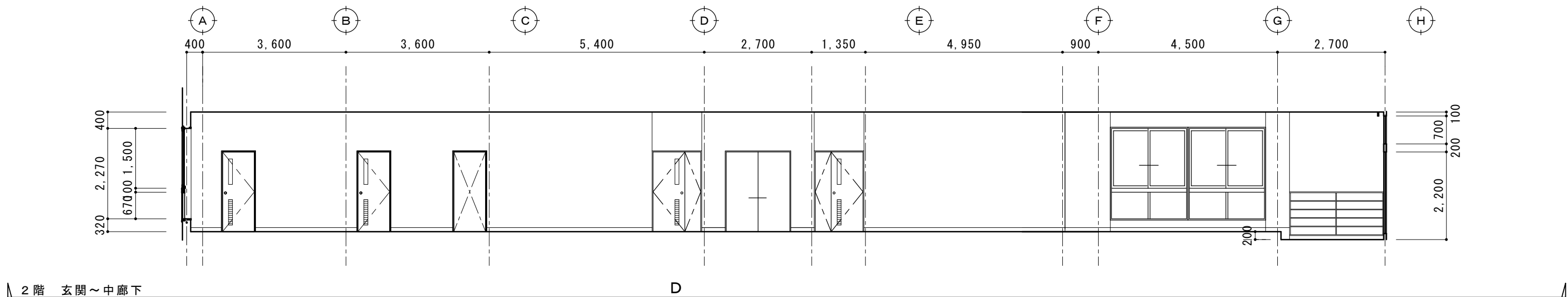
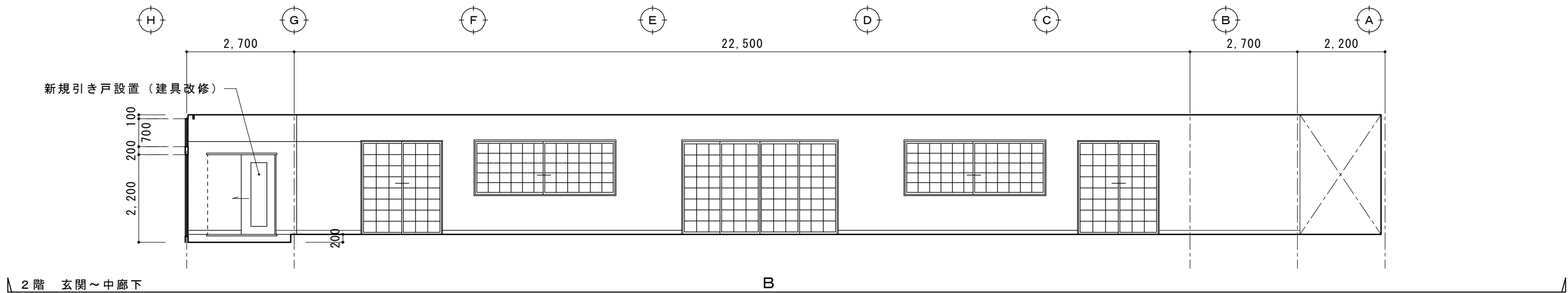
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
					承認	図面名称 A棟 内部改修（2階便所・湯沸かし）平面図	図番 A : 1-55

室名		床	巾木	壁	天井	天井高さ	備考
2階 便所（W・M）	既存	モルタル＋防水下地 100角磁器質タイル張り		LGS＋メタルラスの＋モルタル塗りの上 陶器質タイル張り（200×100）	LGS＋GBR9.5の上 ビニルクロス張り	2,500	<div>12TB</div> 撤去改修（機械設備）
	撤去	モルタル＋防水下地（撤去無） 100角磁器質タイル張り（撤去無）		LGS＋メタルラスの＋モルタル塗りの上（撤去無） 陶器質タイル張り（200×100）（浮いている部分のみ撤去）	LGS＋GBR9.5の上（撤去） ビニルクロス張り（撤去）		<div>12TB</div> 撤去 既存床下点検口（アルミ枠）600角：蓋撤去
	改修	乾燥二重床（仕様：別図記載） ビニル床シート張り	ビニル巾木h100	化粧ケイカル版張りt6.0 目地：シーリング（MS2）	LGS＋GBD9.5	2,400	<div>新12TB</div> 新設 床下点検口（アルミ枠）600角
2階 洗面所（W・M）	既存	モルタル金鍍押さえの上 ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木h100	LGS＋GBR12.5の上 ビニルクロス張り	LGS＋GBR9.5の上 ビニルクロス張り	2,400	
	撤去	モルタル金鍍押さえの上（撤去無） ビニル床シート張り t2.0（撤去）	ビニル巾木h100（撤去）	LGS＋GBR12.5の上（撤去無） ビニルクロス張り（撤去）	LGS＋GBR9.5の上（撤去） ビニルクロス張り（撤去）		
	改修	ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木h100	ビニルクロス張り（中級品）	LGS＋GBD9.5	2,400	



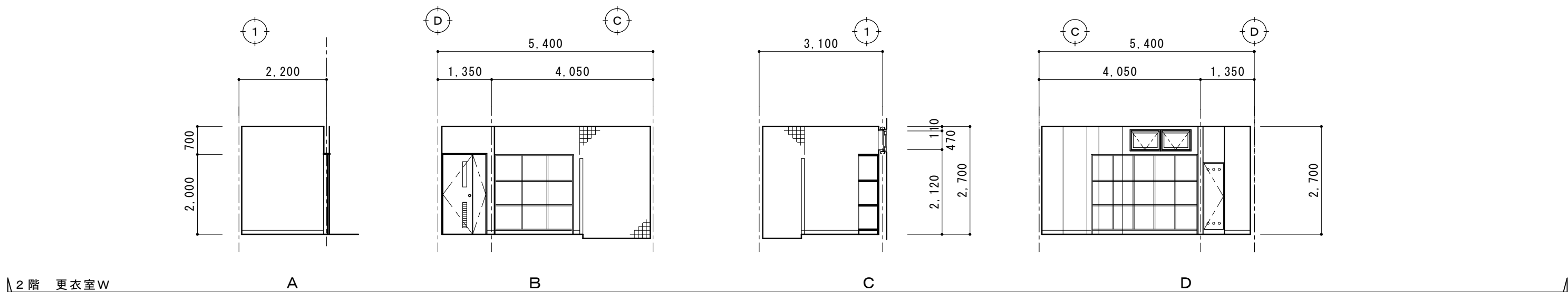
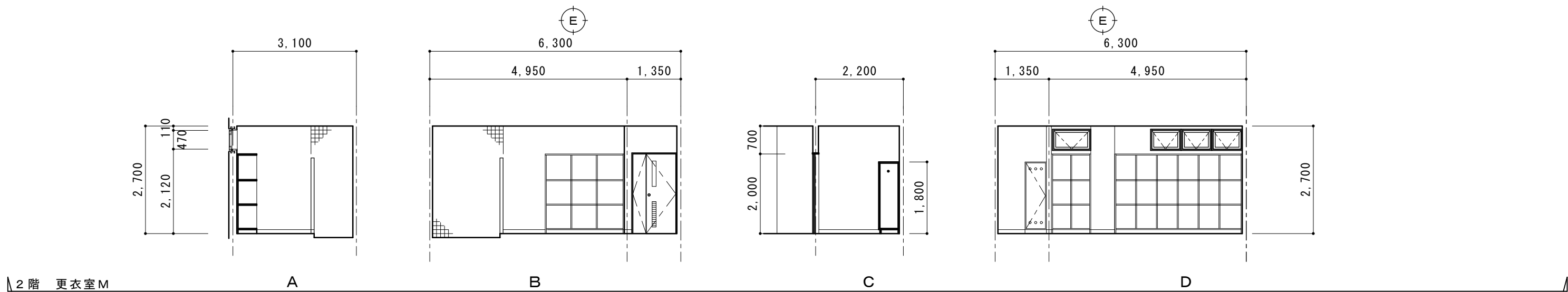
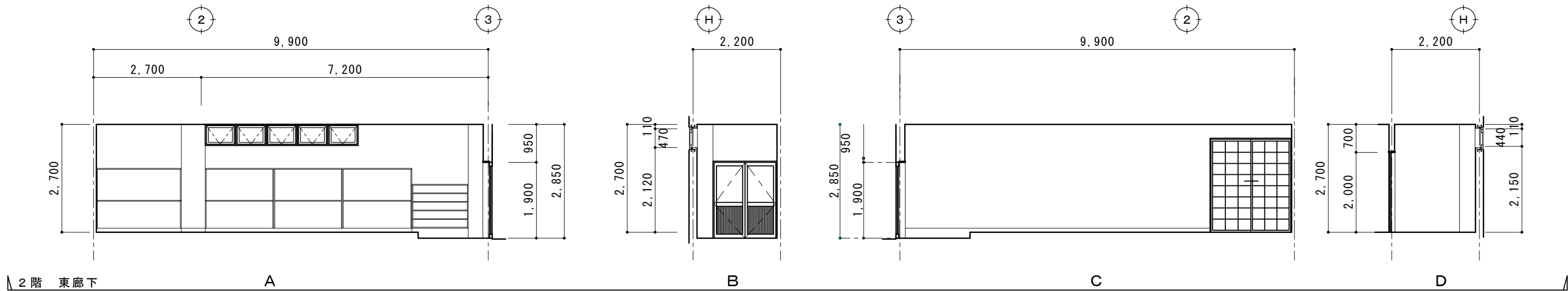
乾燥二重床 詳細図 S=1/5

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（2階トイレ・湯沸かし）改修内容	縮尺 1/ 5
								図番 A：1-56
						承認		



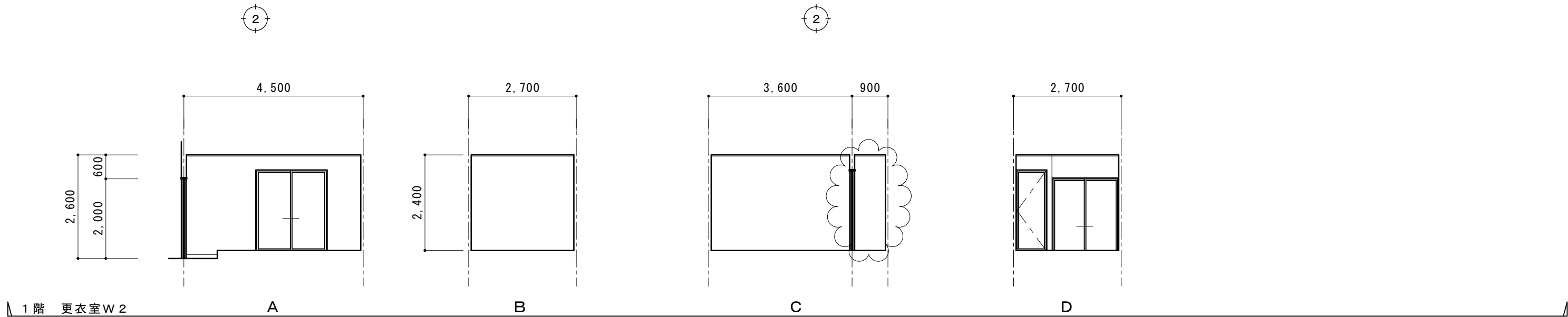
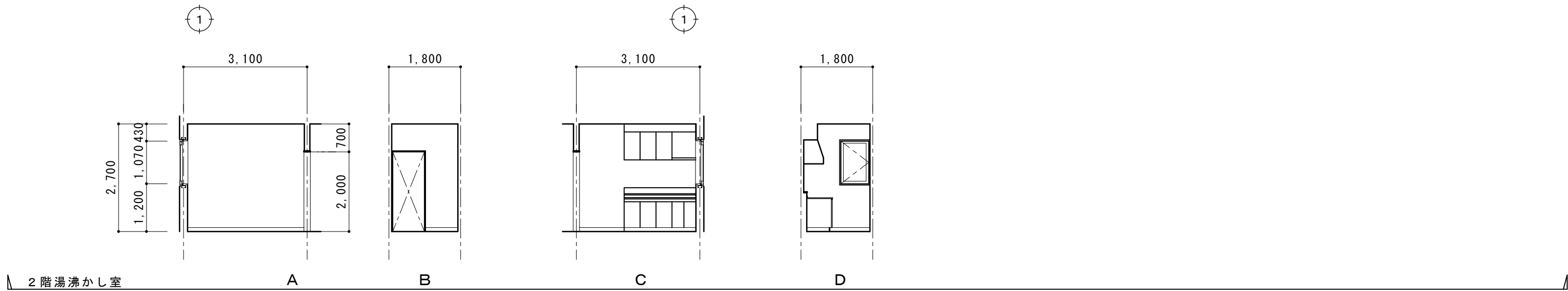
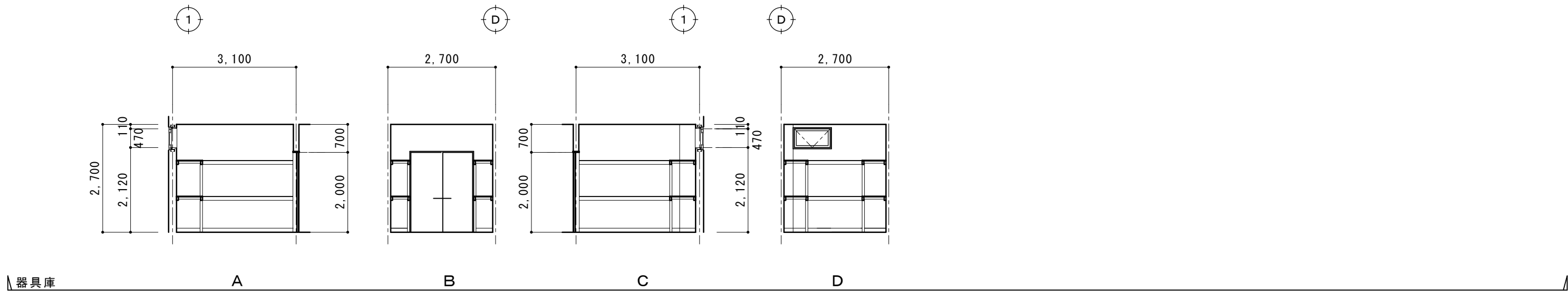
現況図

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（2階廊下）現況展開図 1	図番 A：1-57

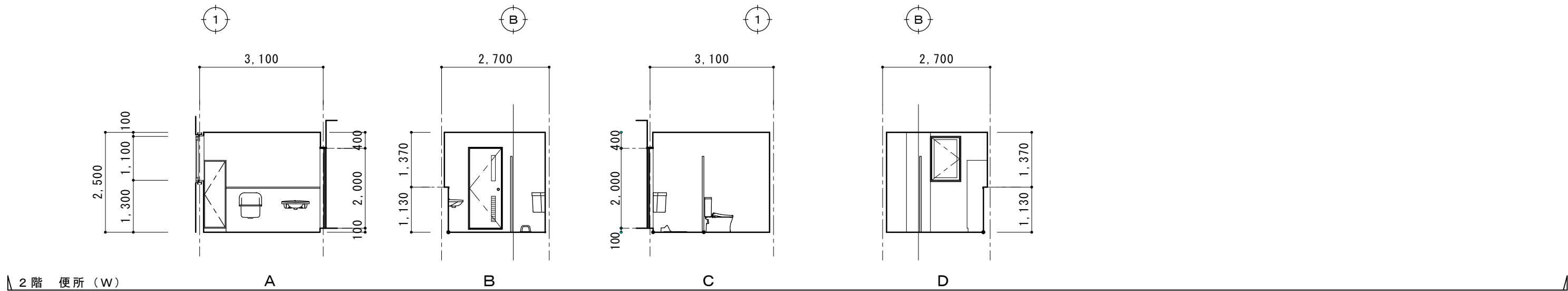


現況図

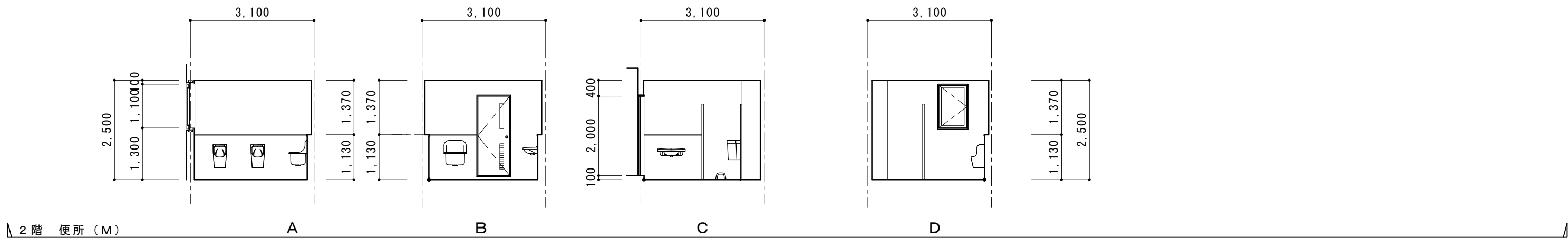
摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（2階更衣室・廊下）現況展開図 2	図番 A : 1-58



現況図							
A : 1-58							
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
						図面名称 A 棟 内部改修（2階湯沸かし室他）現況展開図 3	図番 A : 1-59



2階 便所 (W) A B C D

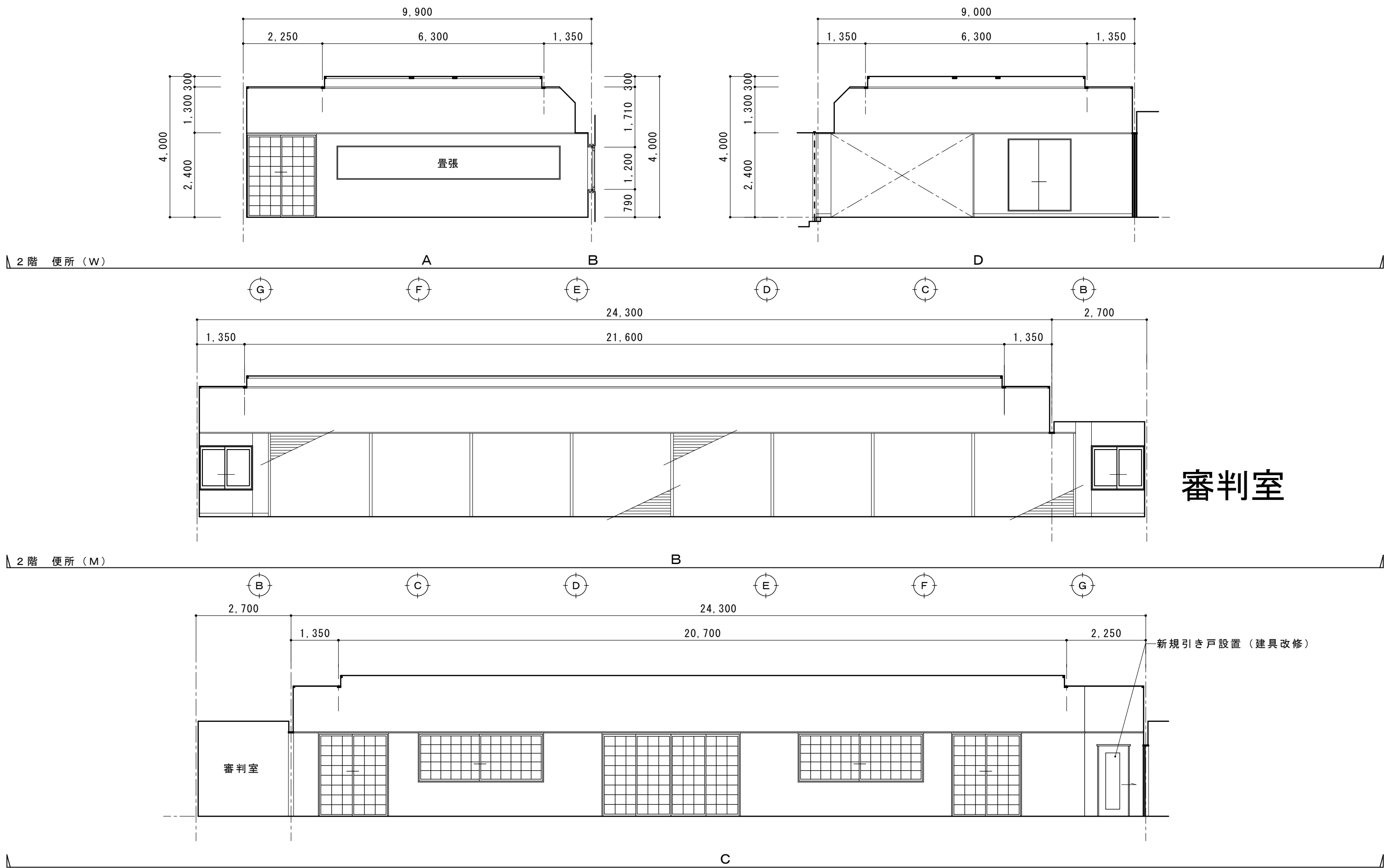


2階 便所 (M) A B C D

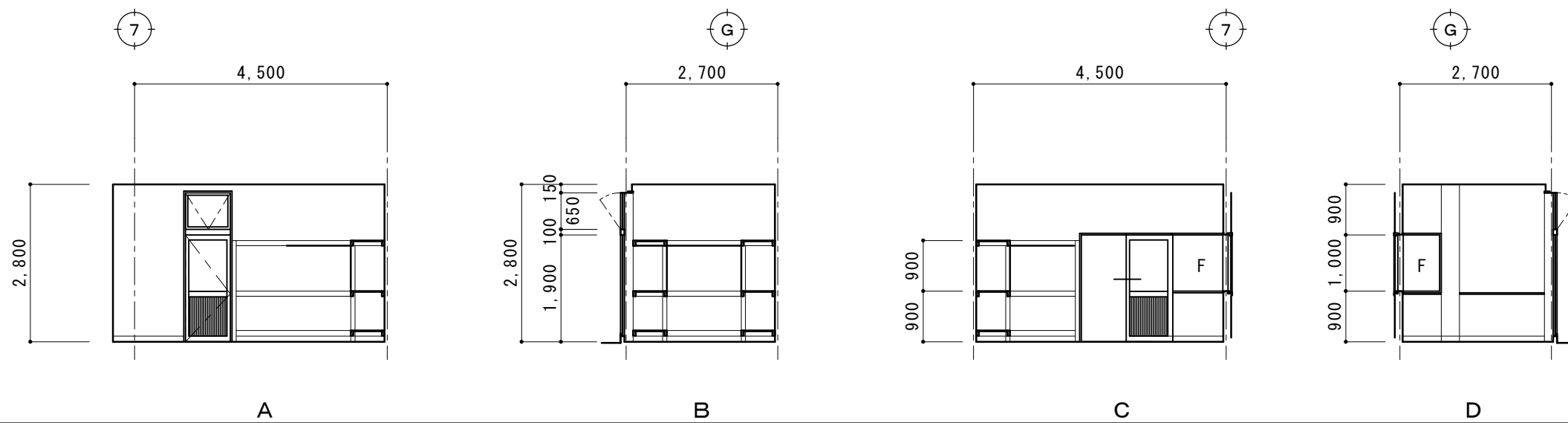
A B C D

現況図

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 内部改修（2階更男女便所）現況展開図 4	縮尺 1/100
								図番 A : 1-60
						承認		



摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				承認	図面名称 A棟 内部改修（2階射場）現況展開図 5	図番 A：1-61



2階 着の室

A

B

C

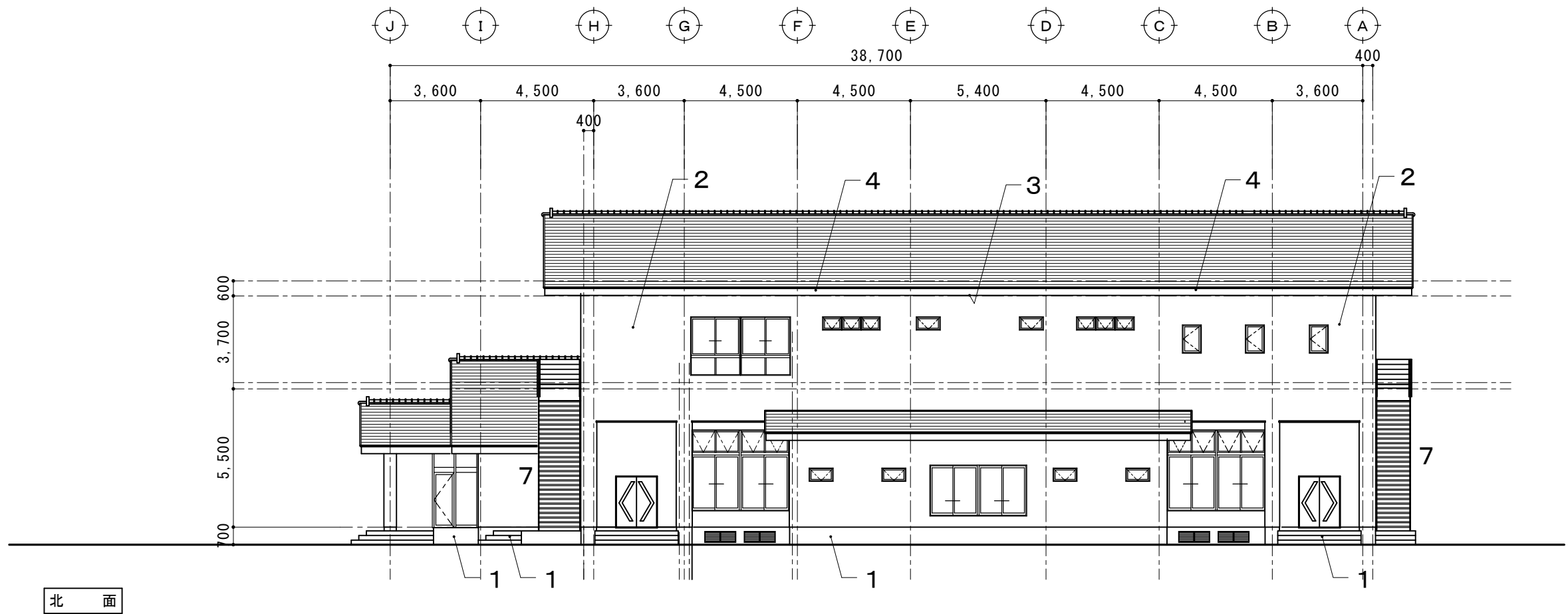
D

2階 便所 (M)

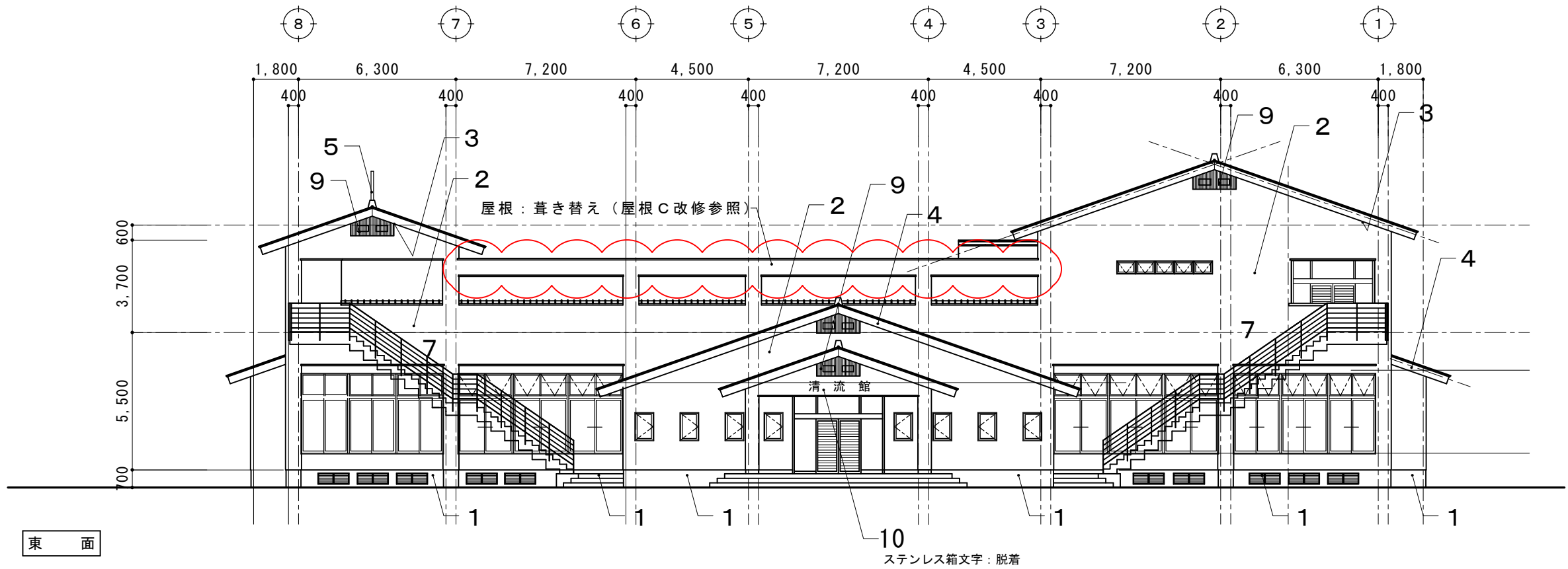
現況図

摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
							承認		

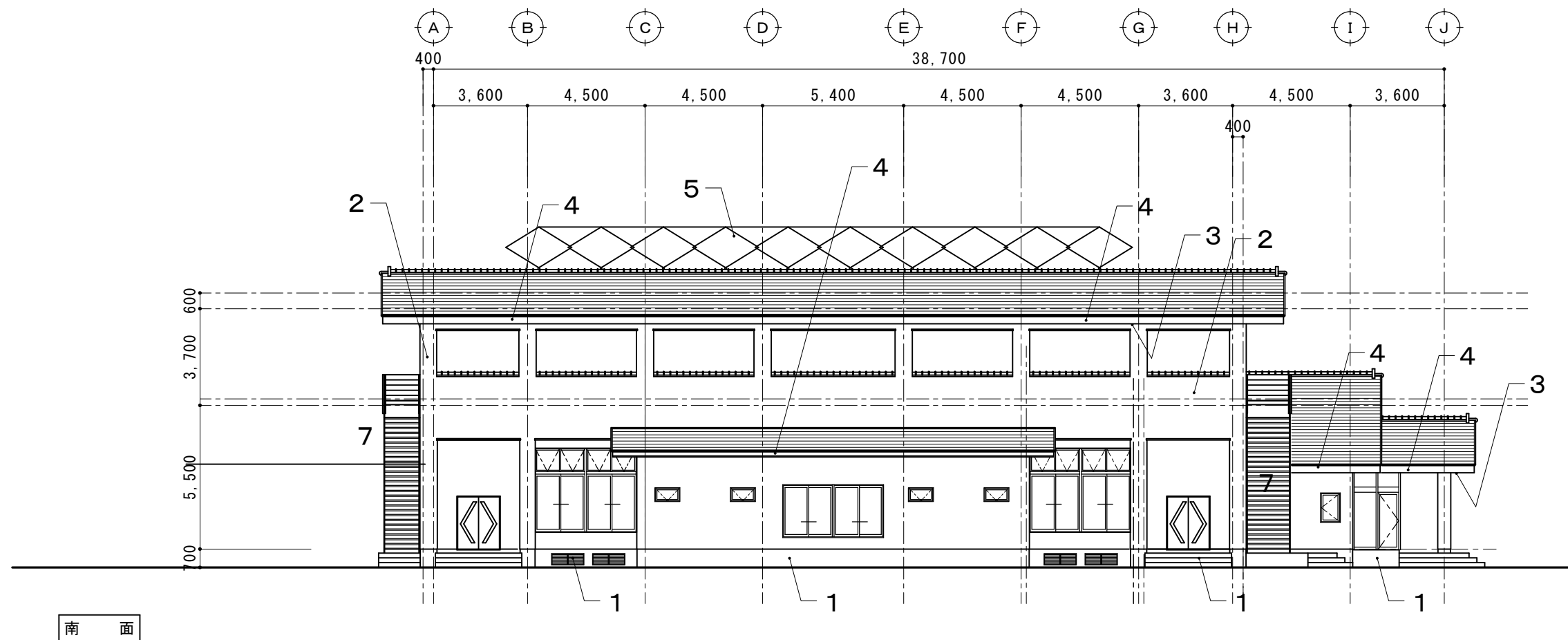
※ 事前調査概要				※ 補修概要（Ａ棟）				
以下の部分において、目視による確認・打診・マーキング・計測・図面記入を行い報告する				１ 基礎部・階段１階踊り場部分				
外壁・基礎部（仕上げ）・軒天・破風・笠木・屋外階段（１階踊り場含む）				１）モルタル浮き補修（注入工法が可能な部分ラック補修				
※ アスベスト含有建材事前調査の結果（以下項目以外で、該当の可能性のある部分については本工事にて検証する事）				注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（一般部：９本/㎡ 狭幅部：５本/㎡）		10	㎡	
				２）クラック補修				
採取箇所及び 建材・試料名称		定性分析結果		コメント		50	㎡	
		石綿の有無	石綿の種類			20	㎡	
Ａ棟（武道場） 外壁リシン吹付		有	Chr	5-50% 下地調整材から確認		３）モルタル浮き補修（注入工法が不可能な部分浮きモルタル撤去の上樹脂モルタル金コテ押さえ		
Ａ棟（武道場） 外部サッシュ廻りシーリング		無				狭幅部（床下換気口開口上部等）		
Ａ棟（武道場） １階ホール 床長尺シート		無				広幅部（屋外階段１階踊り場含む等）		
Ａ棟（武道場） １階ホール ソフト巾木		無				４）基礎部全面		
Ａ棟（武道場） １階ホール 壁紙＋ボード材		無				ポリマーセメント系基礎巾木用塗材		
Ａ棟（武道場） １階剣道場 天井・岩綿吸音板		無				５）タイル浮き部・欠損部		
Ａ棟（武道場） ２階矢取口 防水シート		無				タイル撤去の上張替え		
Ａ棟（武道場） ２階トイレ 壁 タイル＋目地材		無				２ 外壁部（押し出しセメント版 ｔ60）（塗装下地調整材からアスベスト確認）		
Ａ棟（武道場） ２階更衣室 天井 ボード材		有	Chr	1-5% ボード材から確認		施工箇所	現況仕上	
Ｂ棟（スポーツ練習場） 外壁リシン吹付		無				外壁	改修内容	
Ｂ棟（スポーツ練習場） 外部サッシュ廻りシーリング		無					押し出しセメント版 ｔ60	
Ｃ棟（遠的場・射場） 外壁リシン吹付		有	Chr	5-50% 下地調整材から確認			うす付け仕上げ塗材（弾性リシン）	下地処理（水洗い工法）
Ｃ棟（遠的場・射場） サッシュ廻りシーリング		無						劣化部塗膜除去の上C-1
Ｈ棟（屋外便所） 内部壁仕上げ塗材		無				防水型複層塗材E		
Ｈ棟（屋外便所） 内部天井・ボード材		有	Chr、Amo	5-50% 下地調整材から確認		３ 軒天部		
						軒天	ケイカル版 ｔ6	
							AEP塗装	
ステンレス箱文字：300角程度 脱着 清流館				４ 破風・鼻隠し		破風・鼻隠し	ボンデ銅板 ｔ1.0	
						矢道立上り笠木	ウレタン塗装	
				５ その他鉄部		その他鉄部		
						的場屋根上防矢スクリーン：ウレタン塗装	D P 塗装（B 種 ３級）	
				６ シーリング		シーリング		
						窓周り・版間・版端末シーリング 全撤去	窓周り・版間・版端末シーリング MS2	
				７ 屋外階段		屋外階段３箇所		
						１階踊り場 モルタル金コテ押え	上記：１ 基礎部・階段１階踊り場部分による	
						踏み面・踊り場 ： モルタル金コテ押え	改修なし	
						鉄部（手すり共） ： SOP塗り	D P 塗装（B 種 ３級）	
				８ 木製矢切格子		木製	WP 塗装	



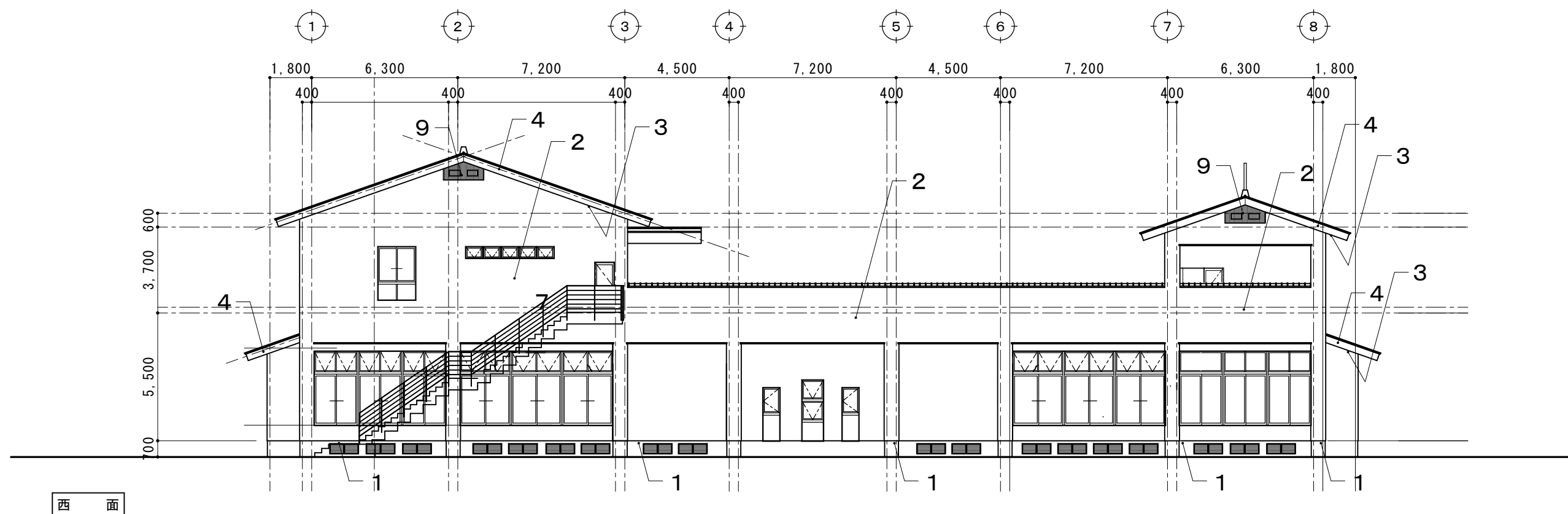
- 1 基礎部改修・階段1階踊り場改修
- 2 外壁部改修
- 3 軒天部改修
- 4 破風・鼻隠し改修
- 5 その他鉄部改修
- 6 シーリング改修
- 7 屋外階段改修
- 8 木製矢切格子改修



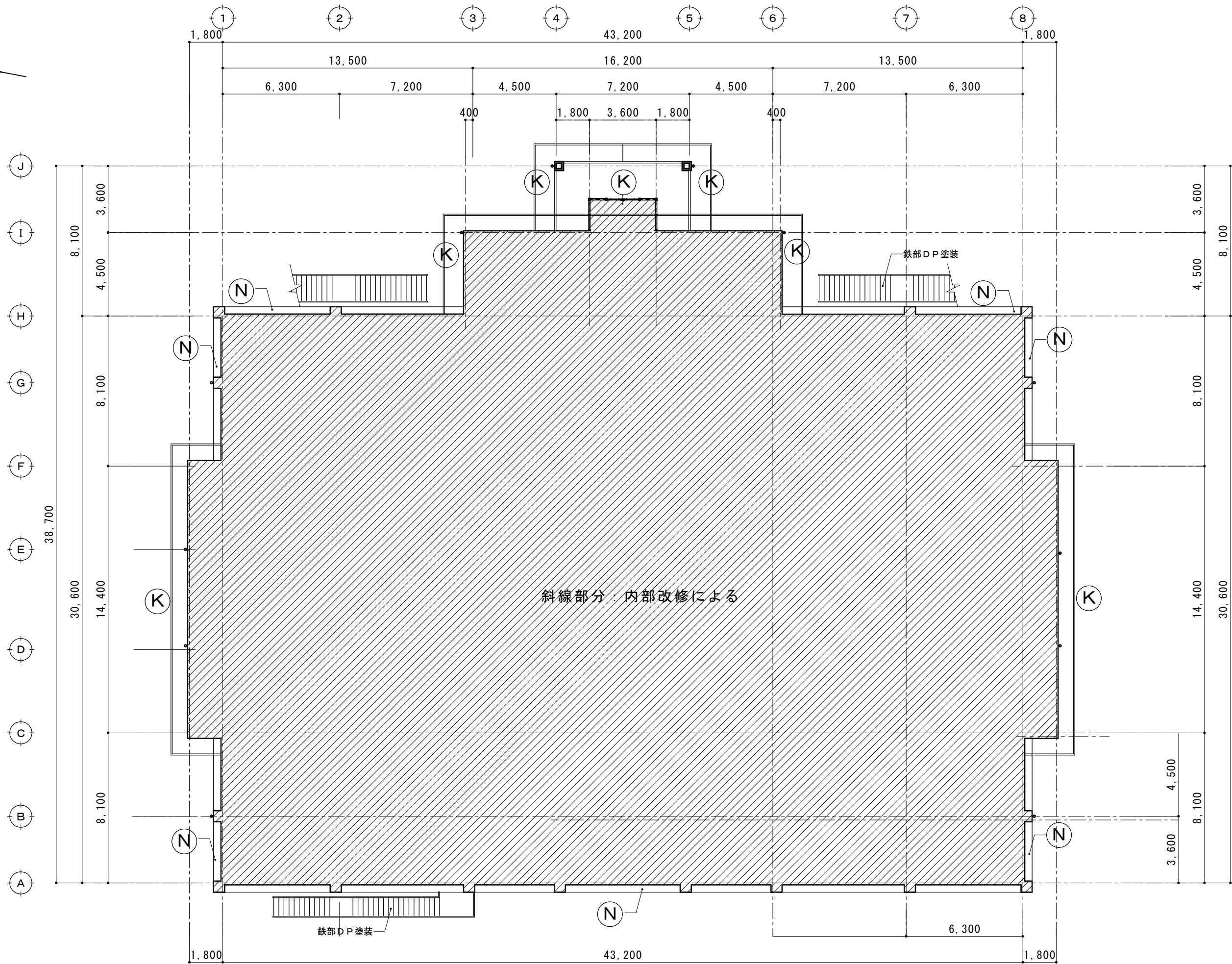
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 A棟 外部改修 立面図1（改修概要）	図番 A：2-02



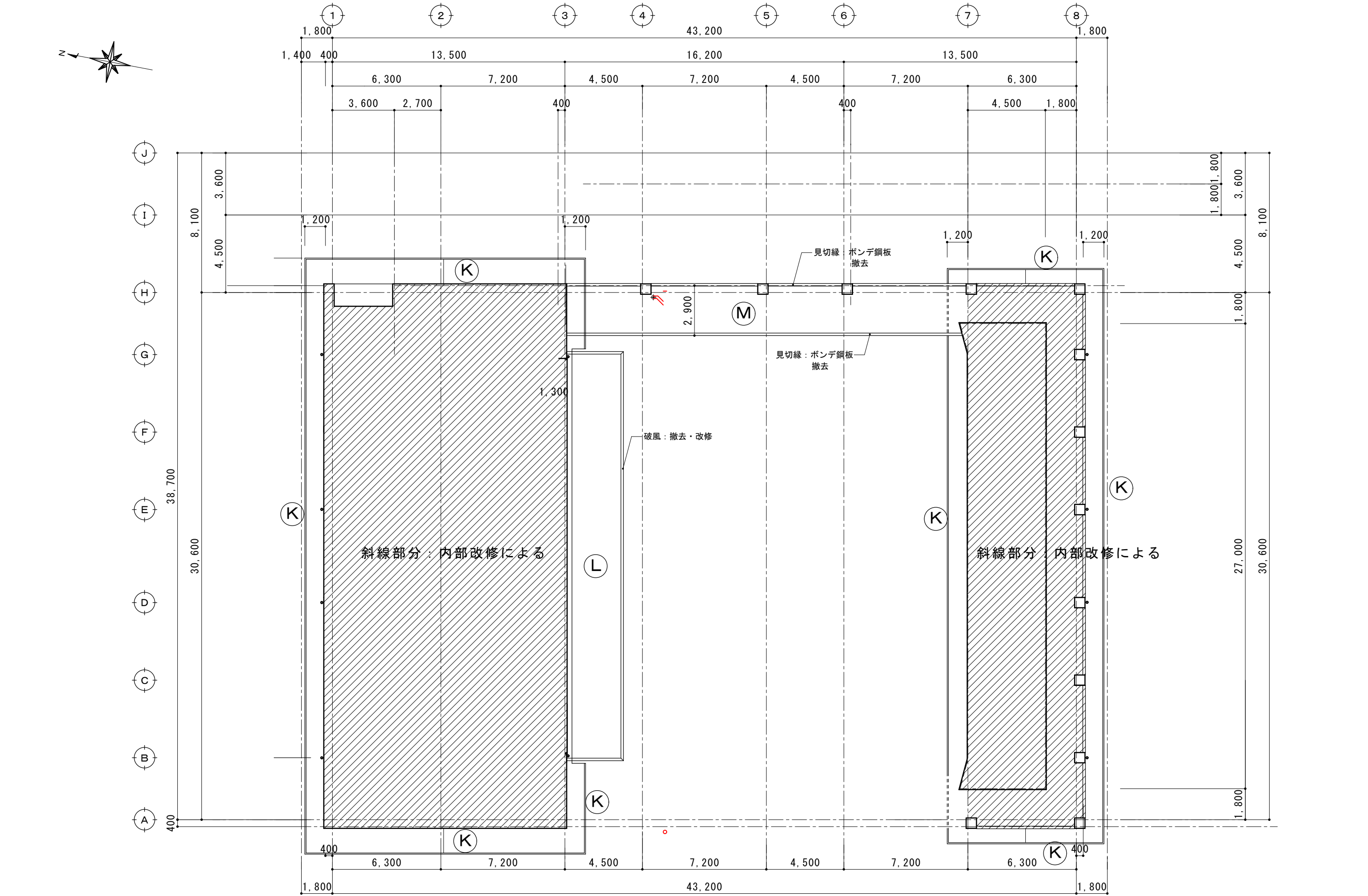
- 1 基礎部改修・階段1階踊り場改修
- 2 外壁部改修
- 3 軒天部改修
- 4 破風・鼻隠し改修
- 5 その他鉄部改修
- 6 シーリング改修
- 7 屋外階段改修
- 8 木製矢切格子改修



摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 A棟 外部改修立面図2（改修概要）	図番 A：2-03



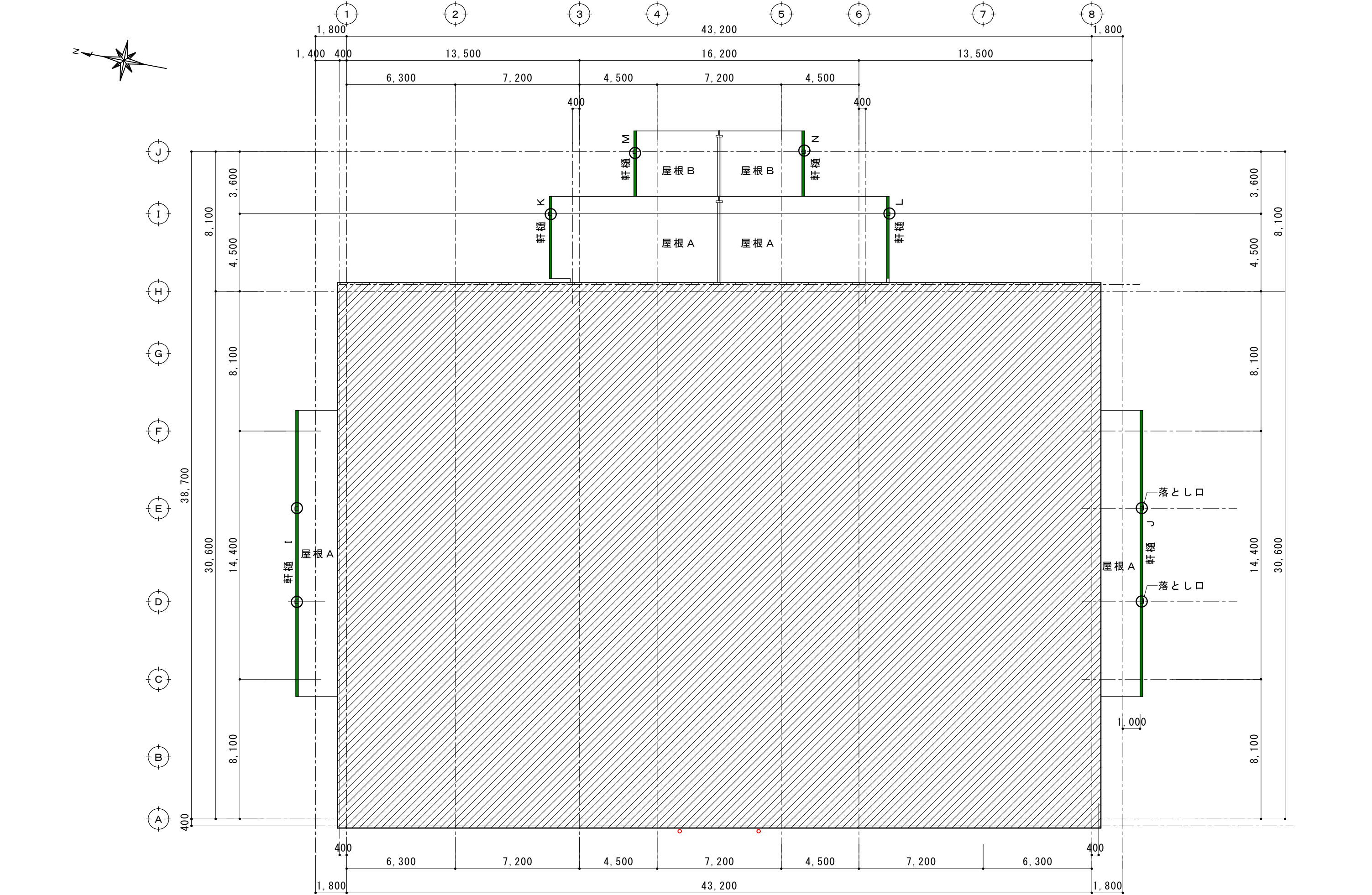
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 A棟 外部改修（軒天） 1階天井伏図	図番 A：2-04



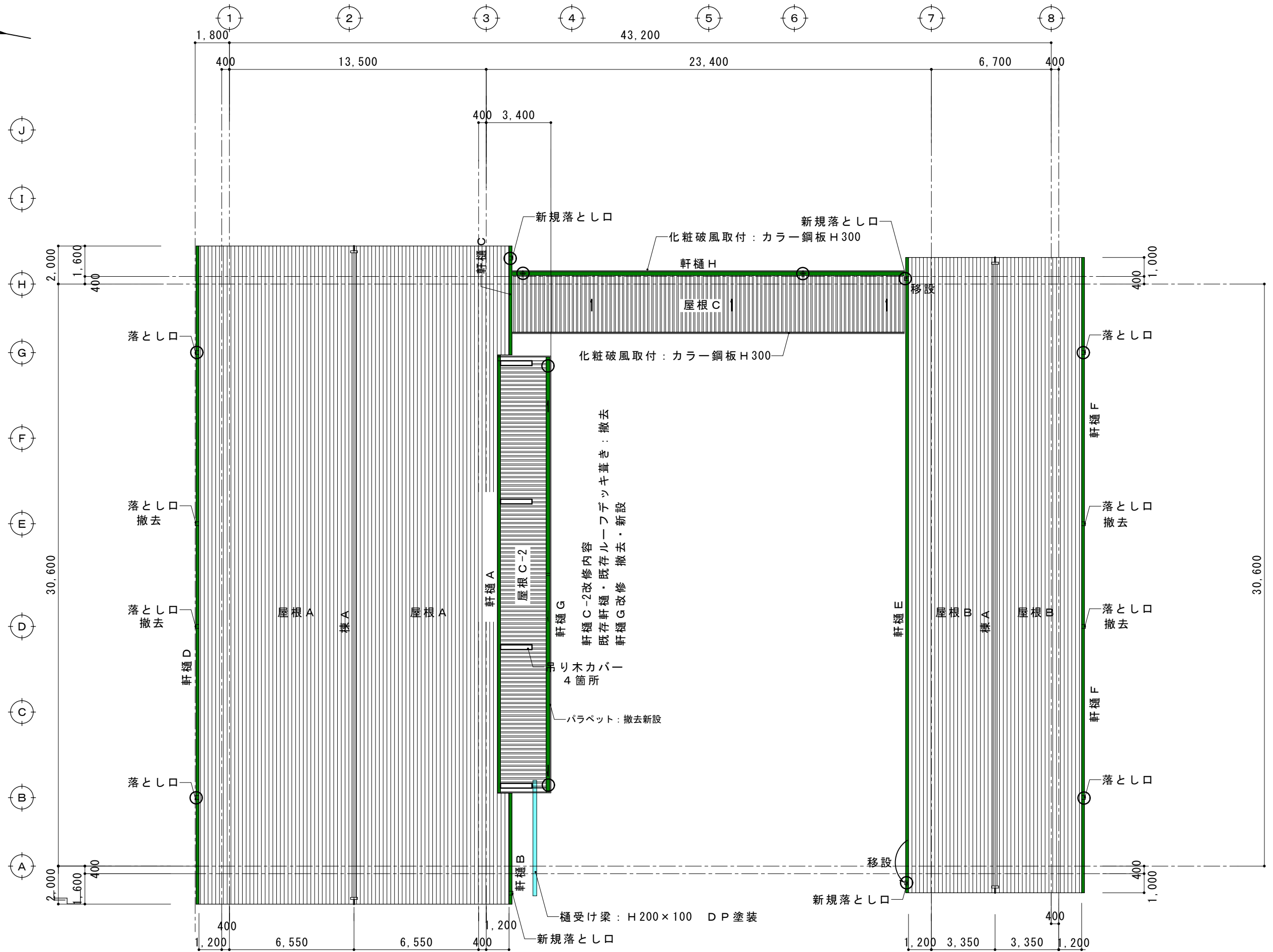
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
						承認	図面名称 A棟 外部改修（軒天） 2階天井伏図	図番 A：2-05

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
㊦	既存	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁		
	撤去	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁	（撤去無） 破損部補修	事前調査・報告による数量確認
	改修	A E P 塗装		破風・鼻隠し：D P 塗装
㊧	既存	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁		
	撤去	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁	（撤去） （撤去）	破風板（ボンデ銅板）撤去
	改修	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁	（新設） （新設）	天井点検口（アルミ枠 450×450） 破風板（アルミパネル）新設 下地鉄骨胴縁改修 内装改修に計上
㊨	既存	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁		
	撤去	L G S下地（25型） ケイカル版 t 6 A E P 塩ビ天井見切縁	（撤去） （撤去）	
	改修	屋根葺き替え 鉄部表し（D P 塗装：B 種 3 級）		屋根 C 改修図参照 破風・鼻隠し：D P 塗装
㊩	既存	外壁改修と同じ		
	撤去	外壁改修と同じ		
	改修	外壁改修と同じ		

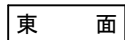
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A 棟 外部改修（軒天） 改修リスト	縮尺
						承認		図番 A ： 2-06



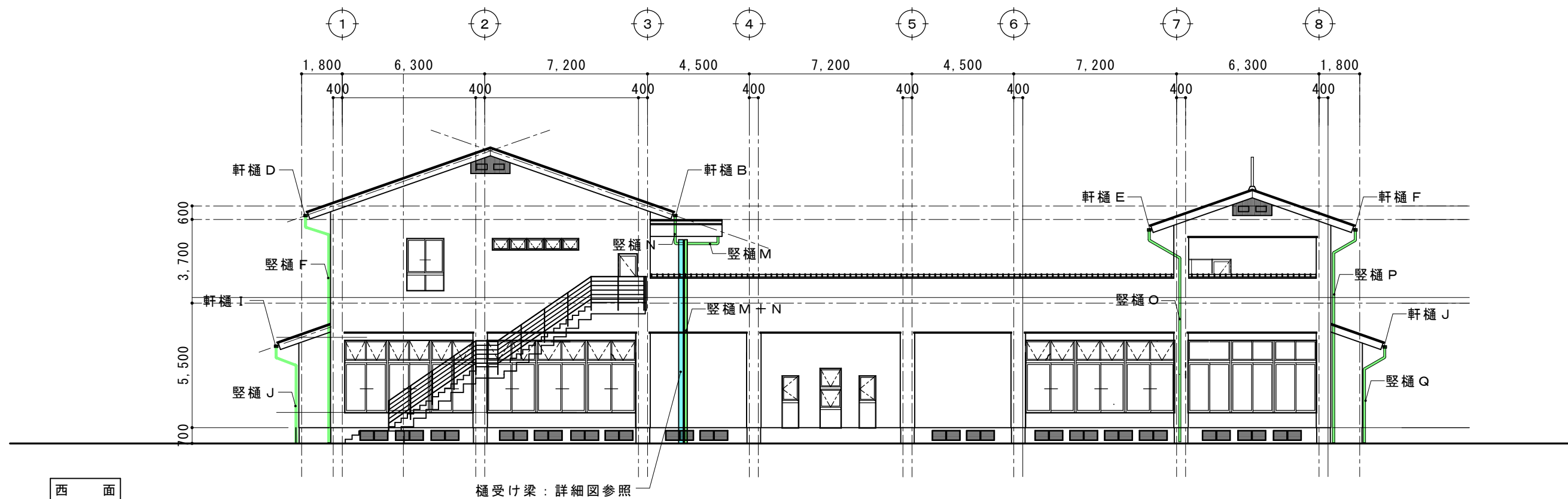
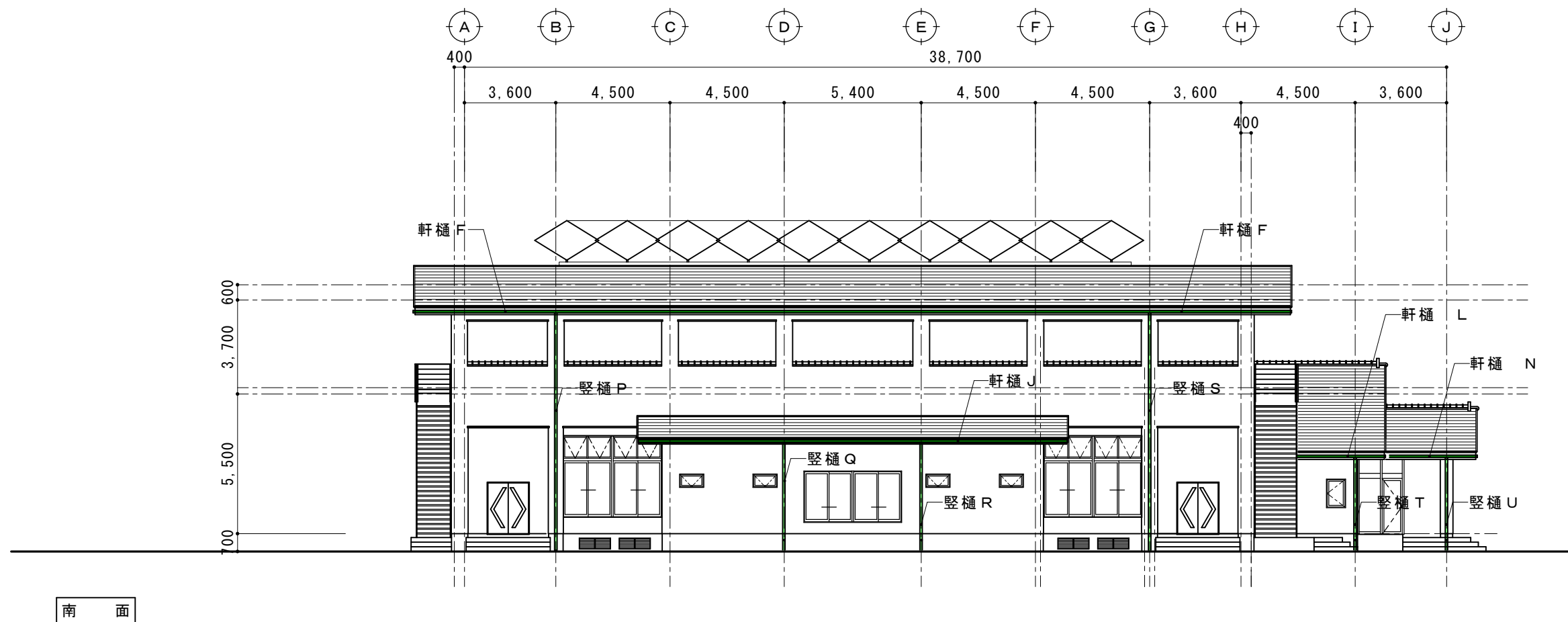
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 A棟 外部改修（屋根） 1階屋根伏図	図番 A：2-07



摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
		<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>			
		承認			



摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
						承認		



摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
				承認	図面名称 A棟 外部改修（屋根） 立面図2（樋改修）	図番 A：2-10

屋根改修リスト

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 A	塩ビ被覆鋼板 t 0.4 角ハゼー文字葺き	撤去しない	カラー G L 鋼板 t 0.4カバー工法
	アスファルトルーフィング22kg	撤去しない	裏面断熱材付 t 25
	木毛パーライトセメント版 t 25	撤去しない	屋根部分詳細図参照
	金属シングル垂木@455	撤去しない	
	雪止め L-4×50×50	撤去	雪止め L-4×50×50 受け金具 @490
			詳細図参照

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 B	塩ビ被覆鋼板 t 0.4 角ハゼー文字葺き	撤去しない	カラー G L 鋼板 t 0.4カバー工法
	アスファルトルーフィング22kg	撤去しない	断熱材無
	木毛パーライトセメント版 t 25	撤去しない	屋根部分詳細図参照
	金属シングル垂木@455	撤去しない	
	雪止め L-4×50×50	撤去	雪止め L-4×50×50 受け金具 @490
			詳細図参照

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 C			屋根葺き方向変更（別図参照）
	ルーフデッキ葺き t 0.8	撤去	ルーフデッキ葺き t 0.8
	ポリエチレンフィルム裏張り	撤去	裏張り：なし
	水下側パラペット：押し出しセメント版 t 60	撤去	化粧破風板 h 300
	水上側パラペット：ボンデ鋼板 t 1.0 ウレタン塗装	撤去	化粧破風板 h 300
			詳細図参照

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 C-2			軒樋改修のため撤去葺き替え
	ルーフデッキ葺き t 0.8	撤去	ルーフデッキ葺き t 0.8
	ポリエチレンフィルム裏張り	撤去	裏張り：不燃エース t 4
	パラペット：ボンデ鋼板 t 1.0 ウレタン塗装	撤去	パラペット：アルミパネル t 2.0（下地胴縁腐食部改修）
	同上・下地 C 鋼	改修	撤去部分造り替え・C-100×50×20×2.3
			詳細図参照

屋根（棟）改修リスト

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
棟 A	棟瓦 一辺のし	撤去	棟包み：屋根同材
	棟包み：カラー鋼板	撤去	補強：溶融亜鉛メッキ鋼板 t 1加工
			詳細図参照

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
					図面名称 A 棟 外部改修（屋根）屋根改修リスト	図番 A：2-11
				承認		

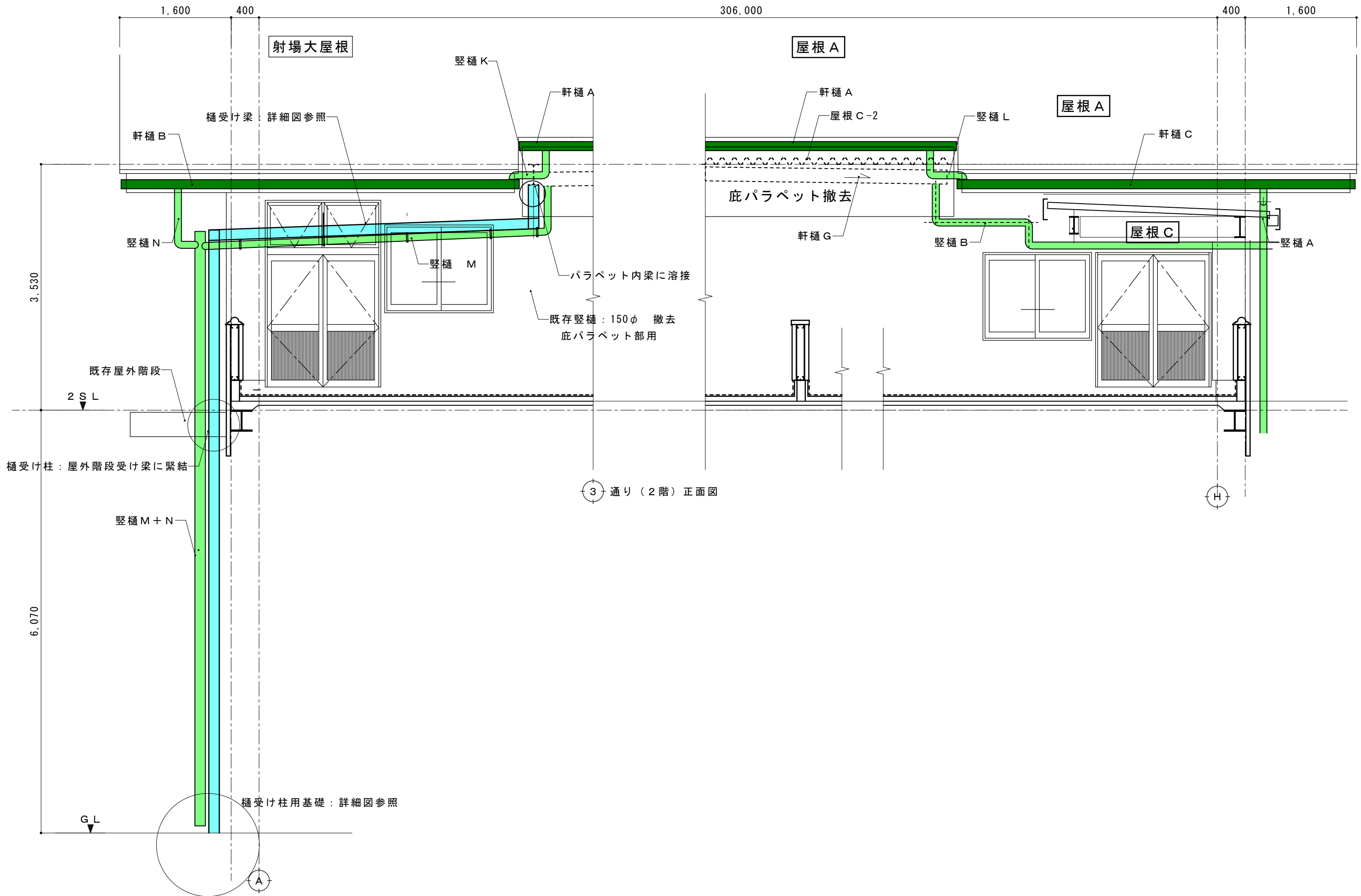
軒樋改修リスト

記号	仕様	落とし口	位置		撤去・更新の別
軒樋 A	落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	2	2階 3通り		新設
	軒樋B・Cに結合する VP100φ				
軒樋 B	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	1	2階 3通り		撤去・更新
軒樋 C	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	1	2階 3通り		撤去・更新
軒樋 D	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	2	2階 1通り		撤去・更新
軒樋 E	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	2	2階 7通り		撤去・更新
軒樋 F	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	2	2階 8通り		撤去・更新
軒樋 G	既存内樋撤去 新規内樋（ ）水勾配変更	1	2階 3通り 庇		撤去・更新
軒樋 H	既存内樋撤去 取付位置変更（新設）	2	2階 H通り 渡り廊下		撤去・新設
軒樋 I	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	2	1階 1通り 北		撤去・更新
軒樋 J	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	2	1階 8通り 南		撤去・更新
軒樋 K	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	1	1階 3通り 北		撤去・更新
軒樋 L	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	1	1階 3通り 南		撤去・更新
軒樋 M	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	1	1階 3通り 北		撤去・更新
軒樋 N	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーＧＬ鋼板 t0.5	1	1階 3通り 南		撤去・更新

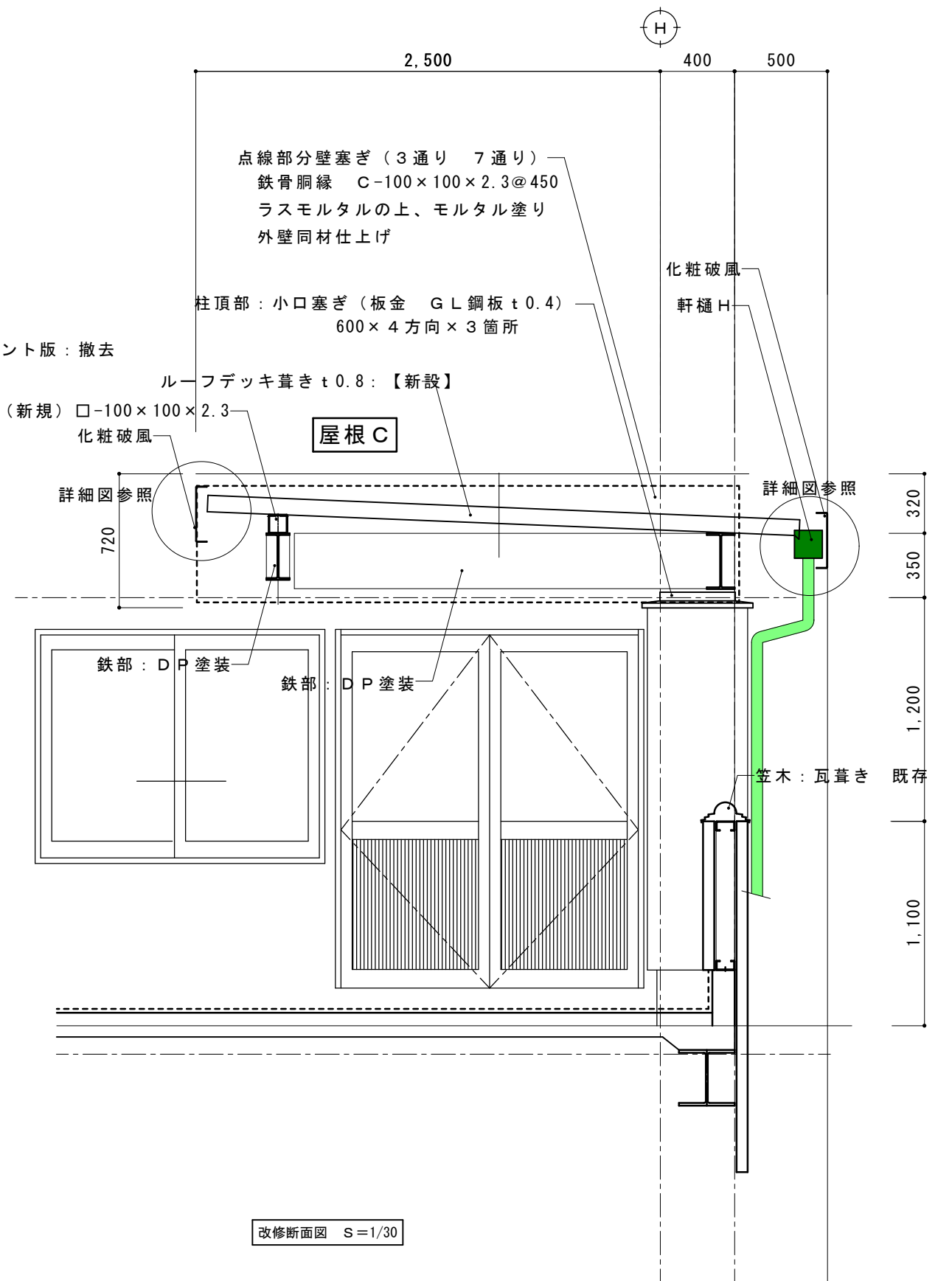
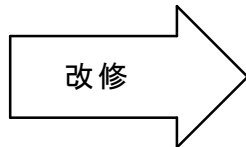
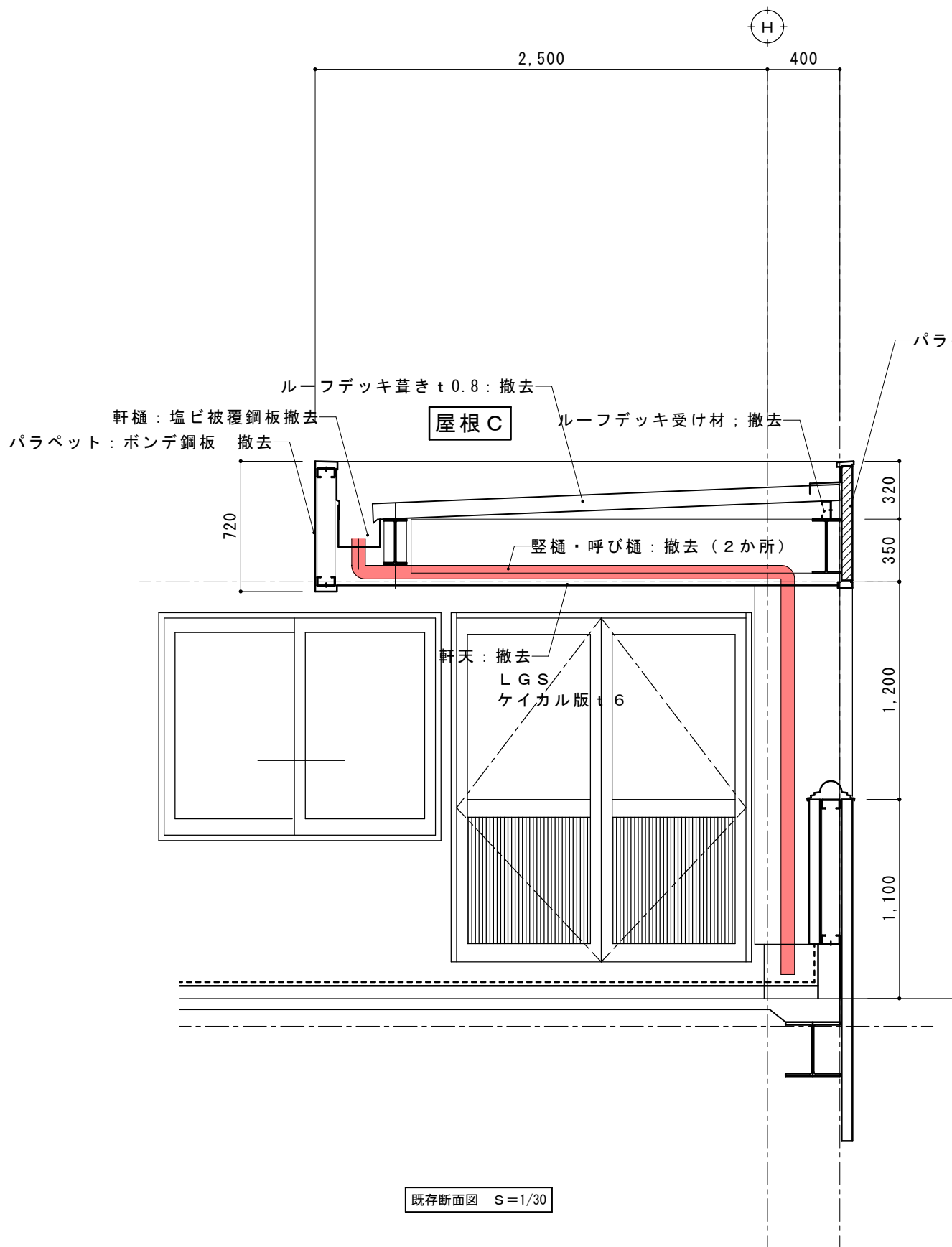
竖樋改修リスト

記号	仕様		位置		撤去・更新の別
竖樋 A	カラーVP 100φ		軒樋 C		新設
竖樋 B	カラーVP 100φ		軒樋 H		新設
竖樋 C	カラーVP 100φ		軒樋 H		新設
竖樋 A＋B	カラーVP 125φ		H通り		新設
竖樋 D	カラーVP 100φ		軒樋 E		新設
竖樋 C＋D	カラーVP 125φ				
竖樋 E	VP100φ → カラーVP 100φ		軒樋 D		撤去・更新
竖樋 F	VP100φ → カラーVP 100φ		軒樋 D		撤去・更新
竖樋 G	VP 100φ		軒樋 G		撤去
竖樋 H	VP 100φ		軒樋 H		撤去
竖樋 I	VP 150φ → カラーVP 100φ		軒樋 I		撤去・更新
竖樋 J	VP 150φ → カラーVP 100φ		軒樋 J		撤去・更新
竖樋 K	カラーVP 100φ		軒樋 A		新設
竖樋 L	カラーVP 100φ		軒樋 A		新設
竖樋 M	カラーVP 100φ		軒樋 G		新設
竖樋 N	カラーVP 100φ		軒樋 B		新設
竖樋 M＋N	カラーVP 125φ 竖樋受け柱設置（別図参照）		A通り		新設
竖樋 O	VP 100φ → カラーVP 100φ		軒樋 E		撤去・更新
竖樋 P	VP 100φ → カラーVP 100φ		軒樋 F		撤去・更新
竖樋 Q	VP 150φ → カラーVP 100φ		軒樋 J		撤去・更新
竖樋 R	VP 150φ → カラーVP 100φ		軒樋 J		撤去・更新
竖樋 S	VP 100φ → カラーVP 100φ		軒樋 F		撤去・更新
竖樋 T	VP 100φ → カラーVP 125φ		軒樋 L		撤去・更新
竖樋 U	VP 100φ → カラーVP 100φ		軒樋 N		撤去・更新
竖樋 V	VP 100φ → カラーVP 125φ		軒樋 K		撤去・更新
竖樋 W	VP 100φ → カラーVP 100φ		軒樋 M		撤去・更新
竖樋 X	VP 100φ		2階 3通り		撤去
竖樋 Y	VP 100φ		2階 3通り		撤去
竖樋 Z	VP 150φ		2階 3通り		撤去

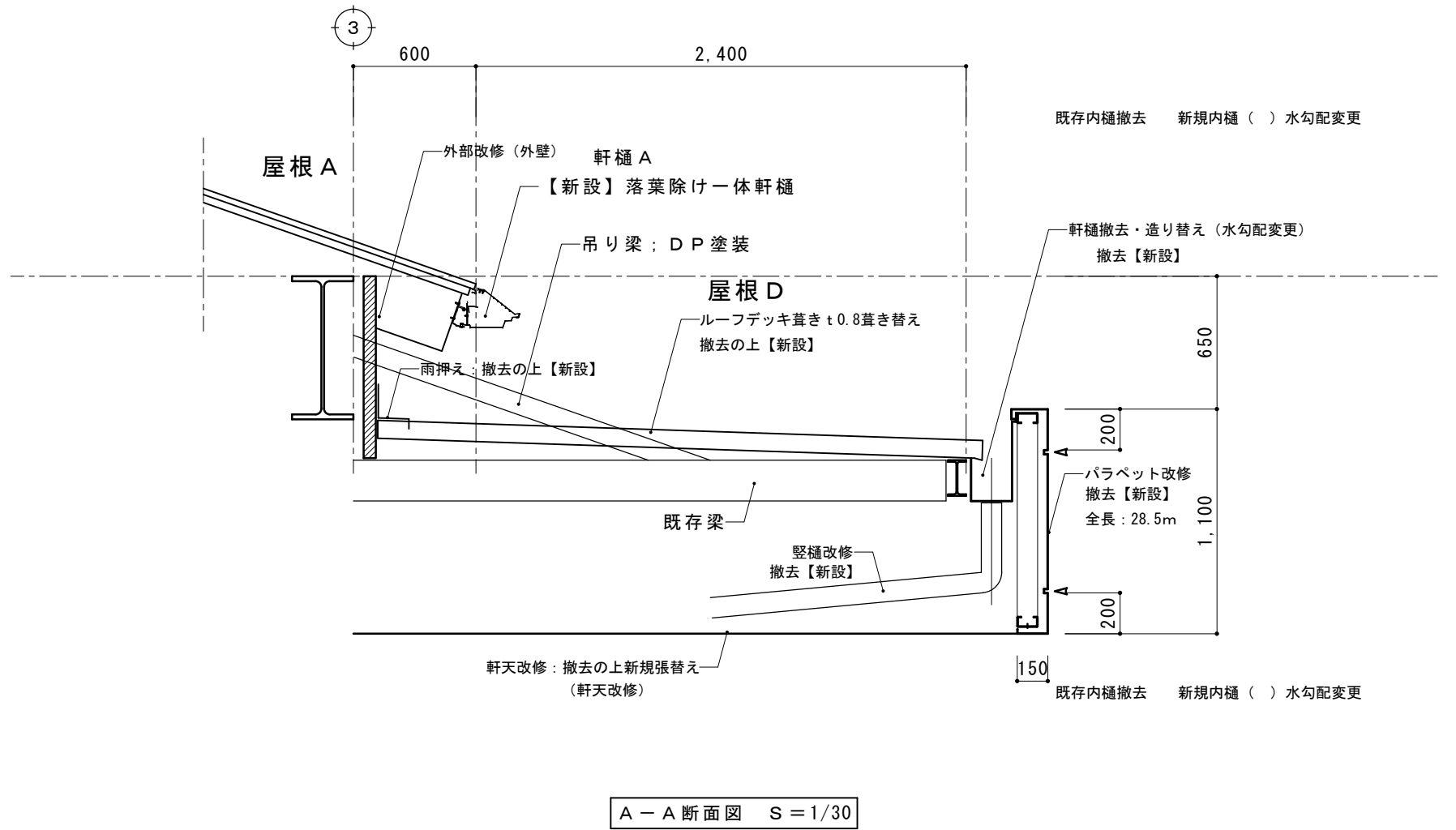
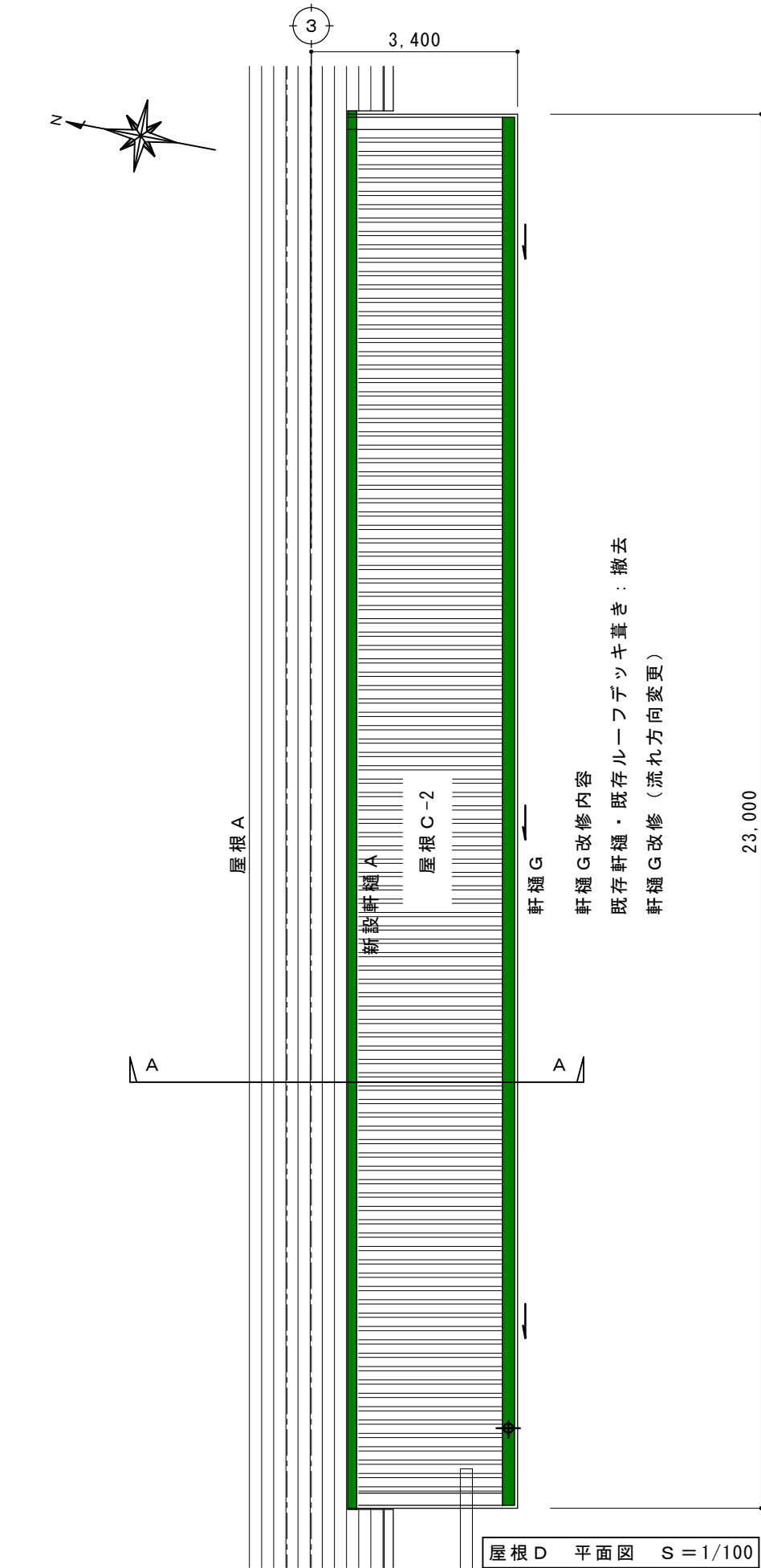
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 外部改修（屋根）軒樋・竖樋改修リスト	縮尺 図番 A：2-12
					承認		



摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50	
						図面名称 A 棟 外部改修（屋根）2 階 3 通り軒樋改修図 2	図番 A : 2-14	

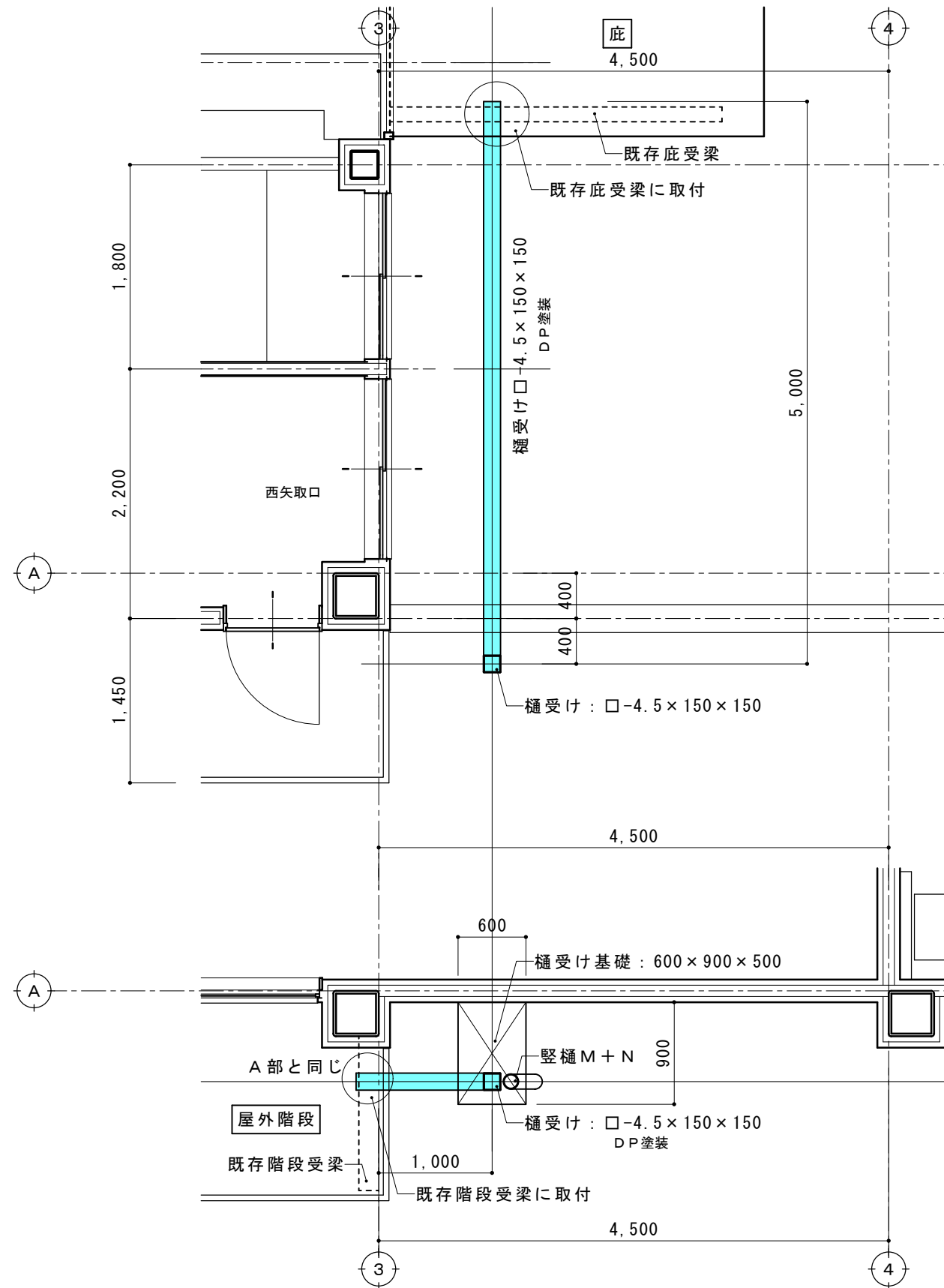


摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 30
					承認	図面名称 A棟 外部改修（屋根）屋根C改修詳細図	図番 A : 2-15



記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 D			軒樋改修のため撤去葺き替え
	ルーフデッキ葺き t 0.8	撤去	ルーフデッキ葺き t 0.8
	ポリエチレンフィルム裏張り	撤去	裏張り: 不燃シート t 4
	パラペット: ボンデ鋼板 t 1.0 ウレタン塗装 28.5m	撤去	パラペット: ボンデ鋼板 t 1.0 DP塗装 28.5m
	同上・下地C鋼	劣化部分撤去 20mを見込む	撤去部分造り替え・C-100×50×20×2.3 @600程度
			詳細図参照

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 30
						承認	図面名称 A 棟 外部改修（屋根）屋根 C - 2 改修詳細図	図番 A : 2-16



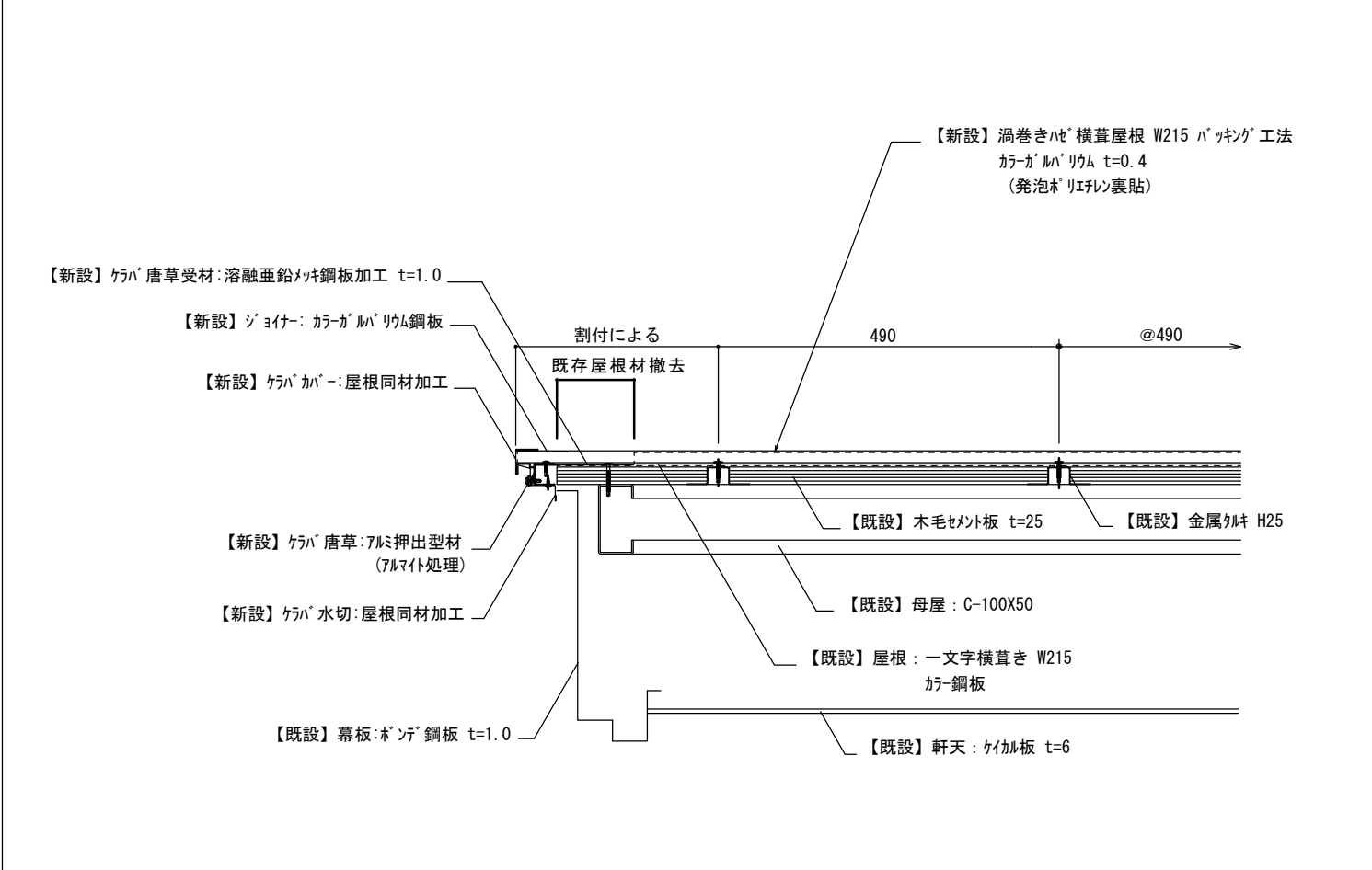
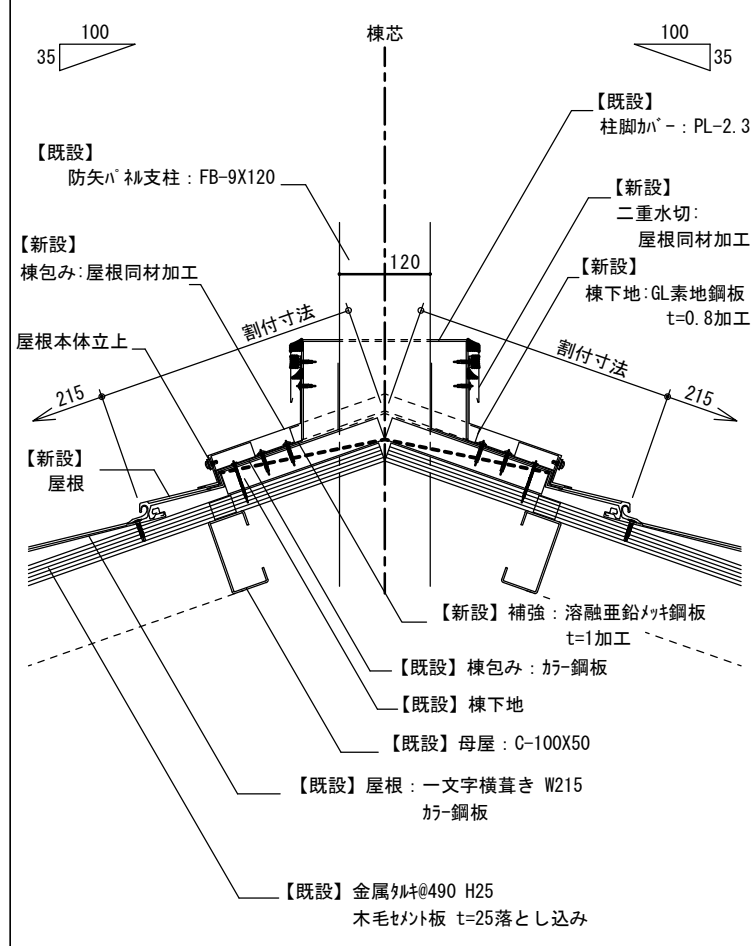
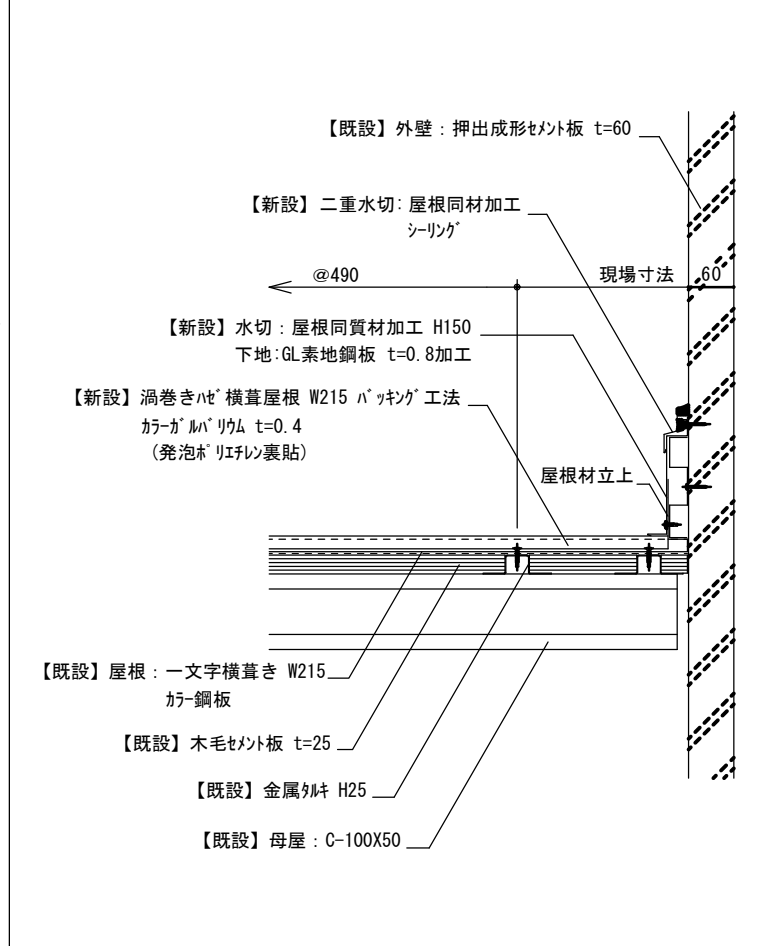
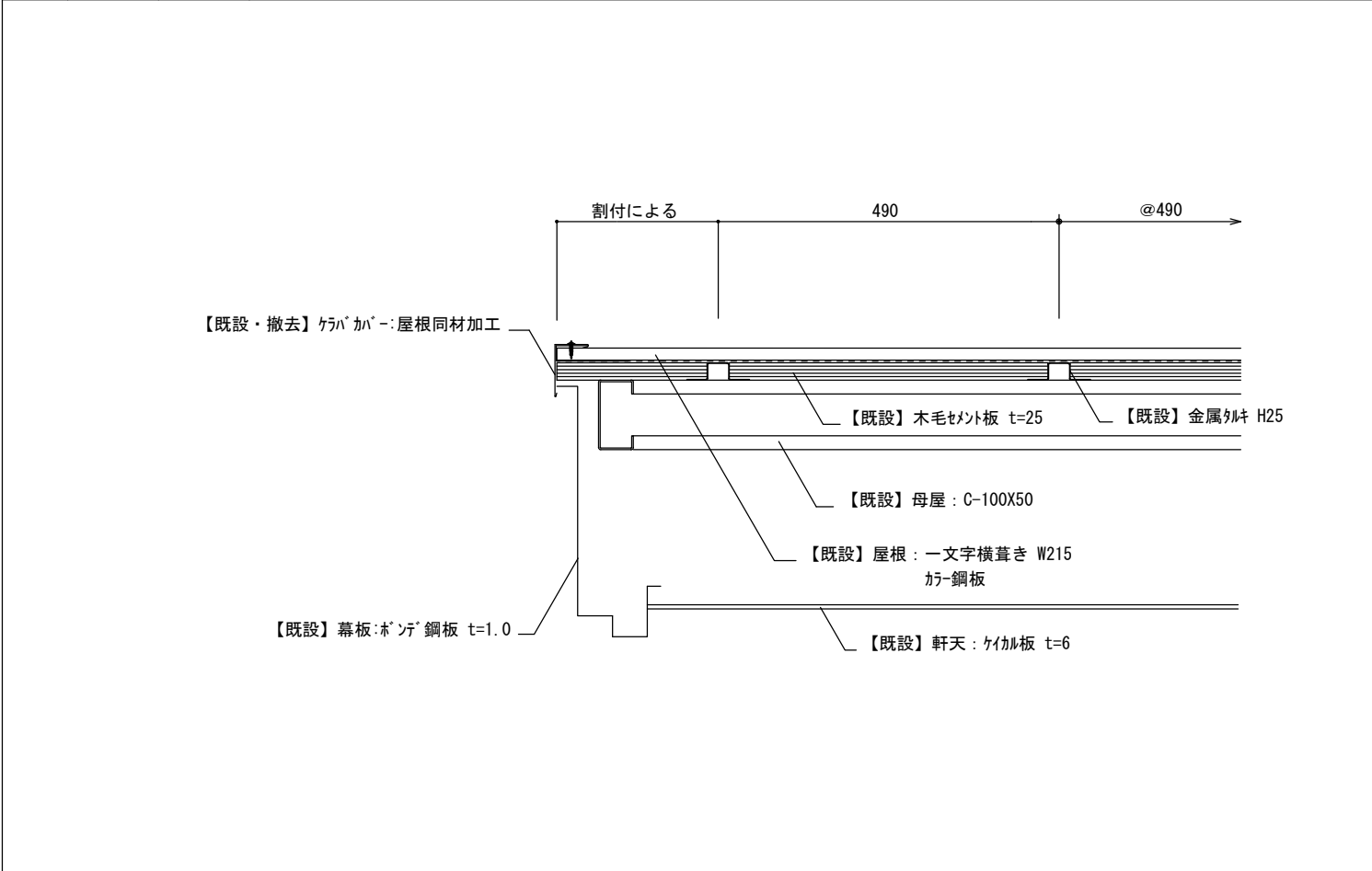
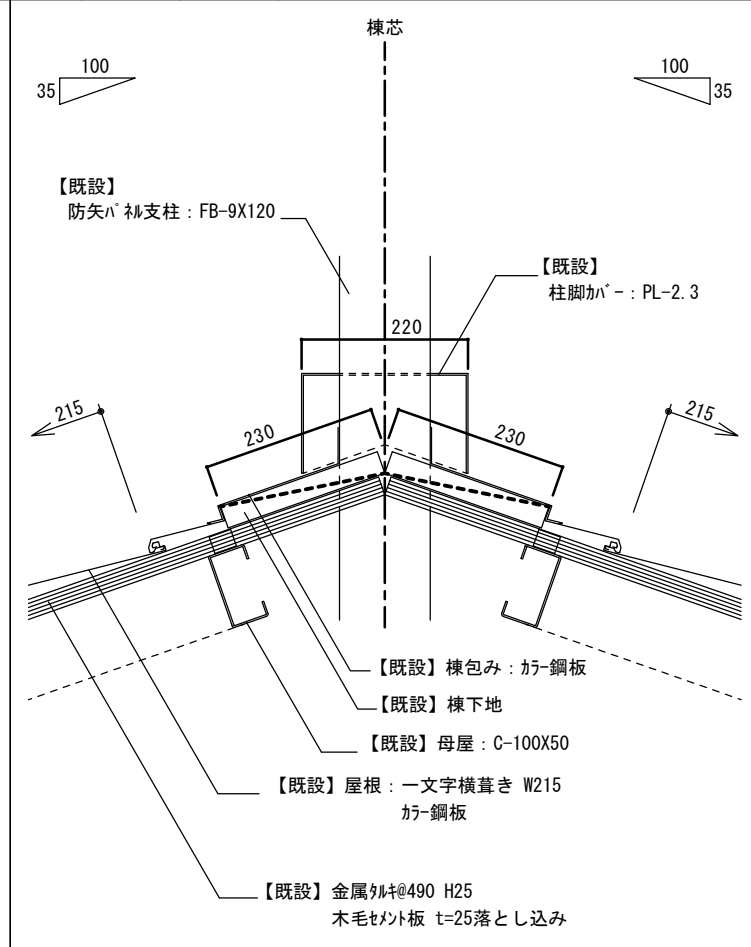
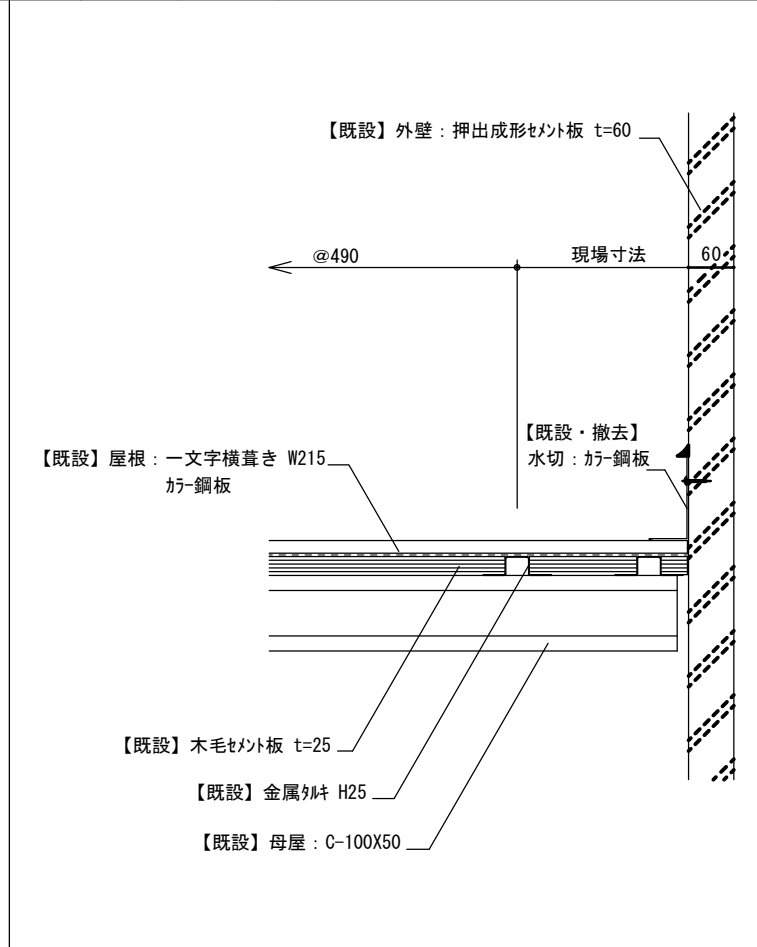
2階平面図

□ □-4.5×150×150
鉄部見え係：DP塗装

1階平面図

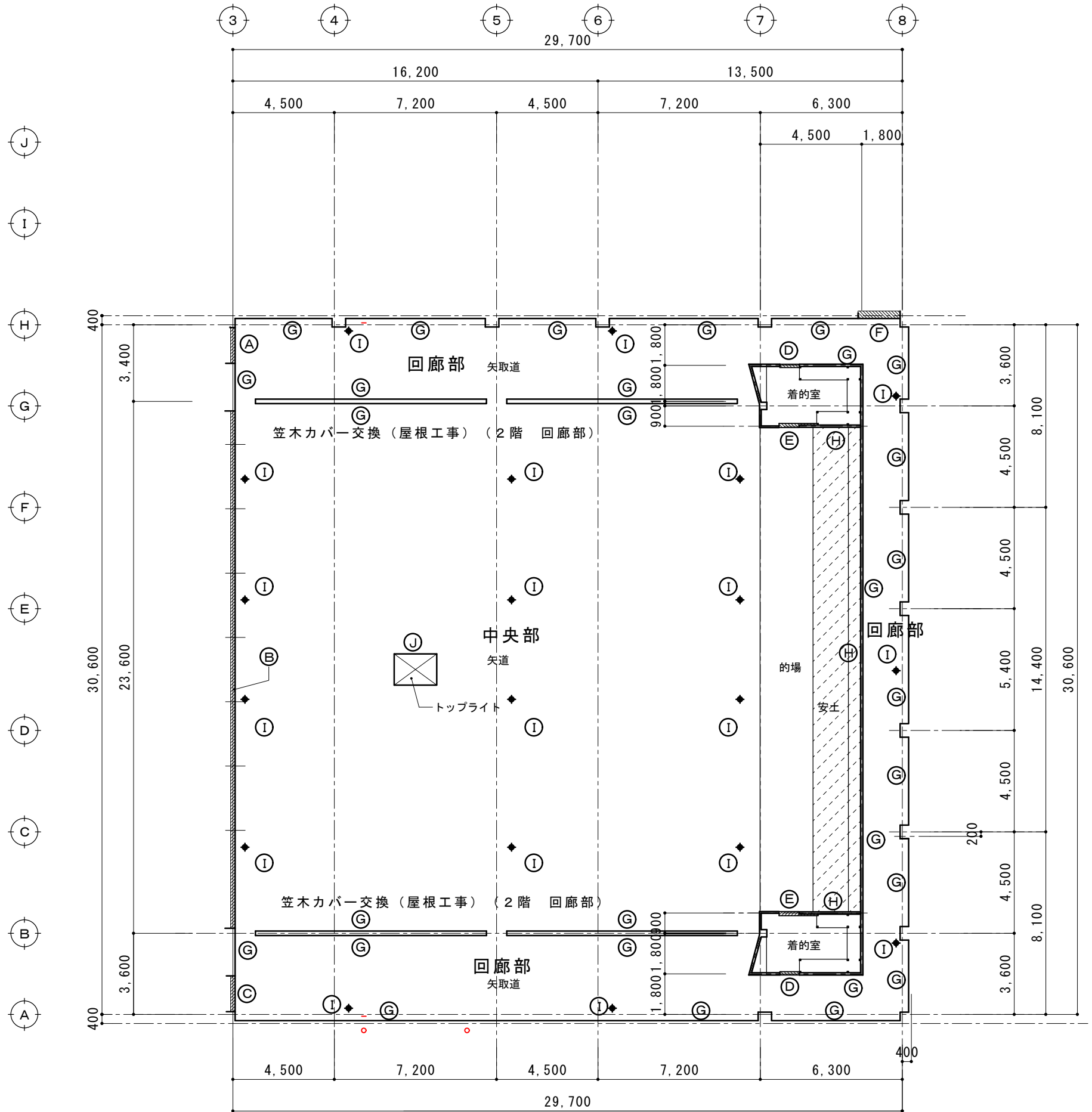
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
					承認	図面名称 A棟 外部改修（屋根）縦樋M+N受け・取付平面図	図番 A：2-17

A棟屋根A改修後ケラバ部分詳細図				A棟屋根A改修後流れ側外壁取り合い部分詳細図			
A棟屋根A改修前ケラバ部分詳細図				A棟屋根A改修前流れ側外壁取り合い部分詳細図			
摘要				T I M E		作成者	
				承認		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	
						図面名称 A棟 外部改修（屋根）屋根A詳細図 2	
						縮尺 1/ 50	
						図番 A：2-20	

A棟 屋根B 改修後 ケラバ部分 詳細図				A棟 屋根B 改修後 棟 防矢パネル取り合い部分 詳細図				A棟 屋根B 改修後 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図				
												
A棟 屋根B 改修前 ケラバ部分 詳細図				A棟 屋根B 改修前 棟 防矢パネル取り合い部分 詳細図				A棟 屋根B 改修前 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図				
												
摘要				T I M E		作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）				縮尺 1/ 10
								図面名称 A棟 外部改修（屋根）屋根B詳細図 2				図番 A：2-22
						承認						

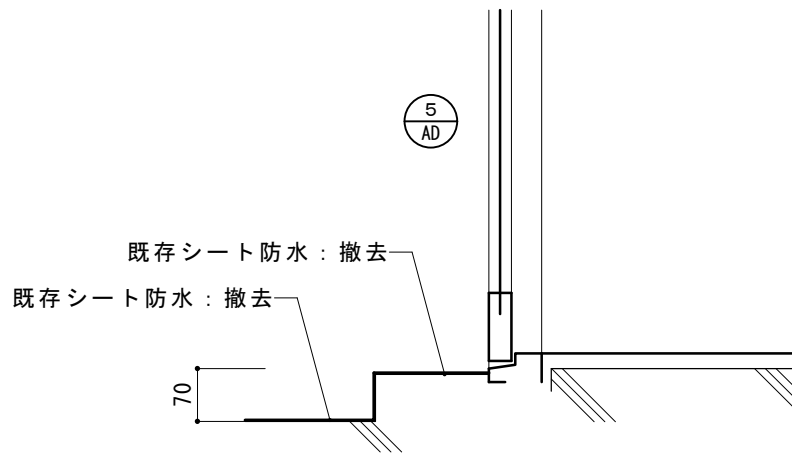
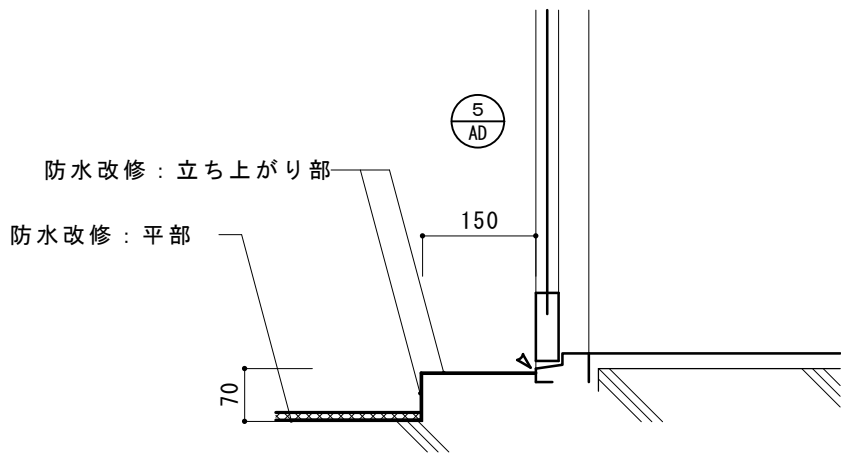
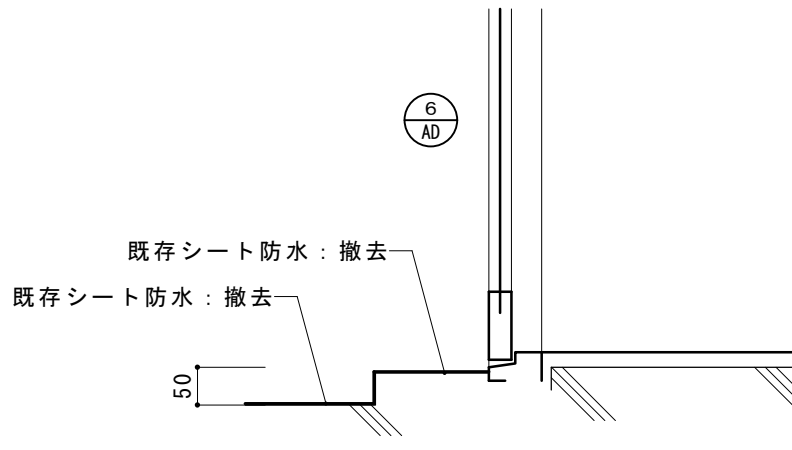
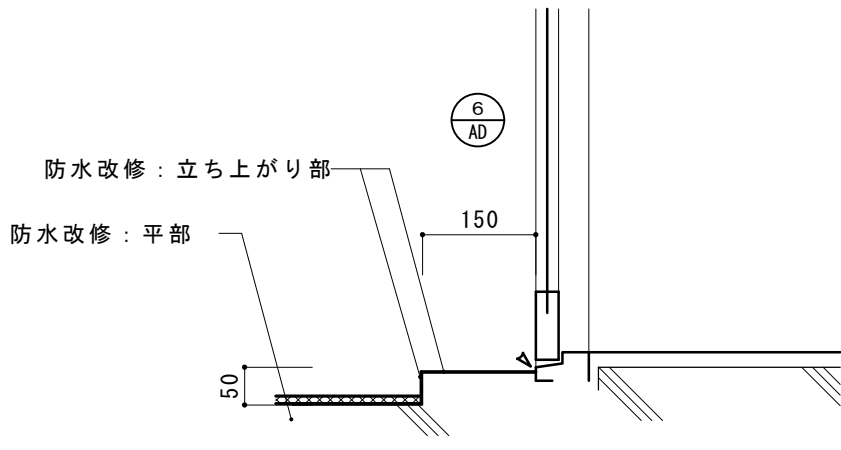
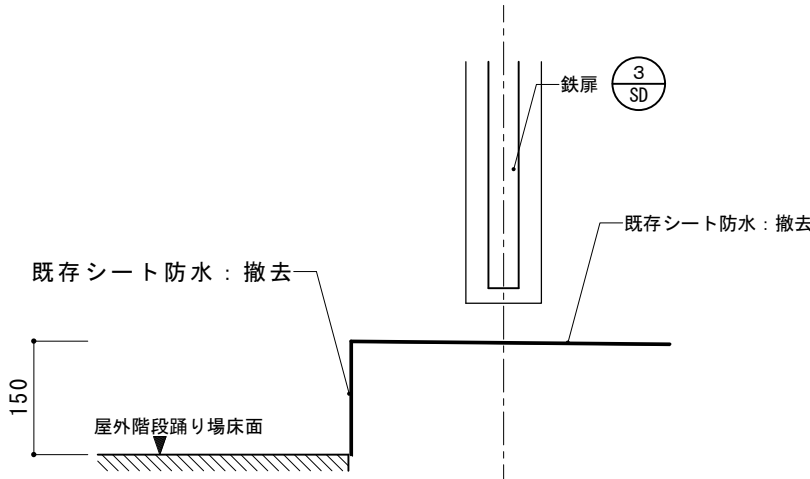
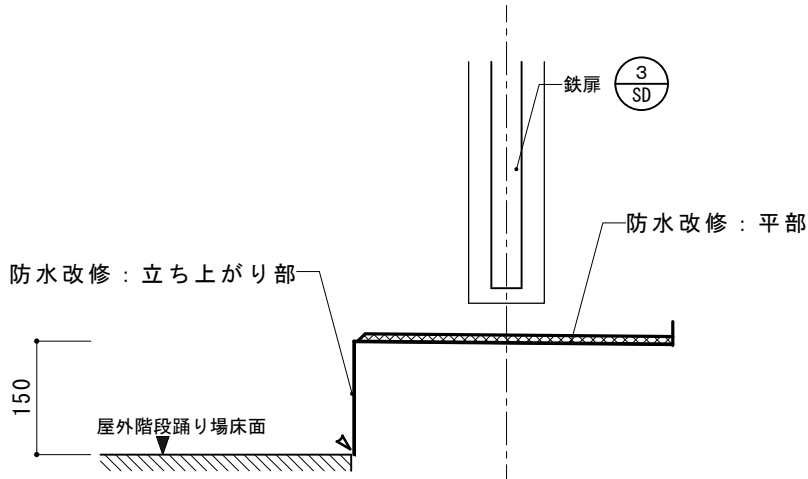


- | | | | |
|---|------------|------------|--------------|
| Ⓐ | 3通り | G－H間 | ドア下立ち上がり部 |
| Ⓑ | 3通り | B－G間 | シャッター下立ち上がり部 |
| Ⓒ | 3通り | A－B間 | ドア下立ち上がり部 |
| Ⓓ | 着的室（2箇所） | ドア下立ち上がり部 | |
| Ⓔ | 着的室（2箇所） | 引き戸下立ち上がり部 | |
| Ⓕ | H通り | 屋外階段出口部 | |
| Ⓖ | 壁際立ち上がり部 | | |
| Ⓗ | 安土土部分立ち上がり | | |
| Ⓘ | ルーフドレン | | |
| Ⓙ | トップライト | | |

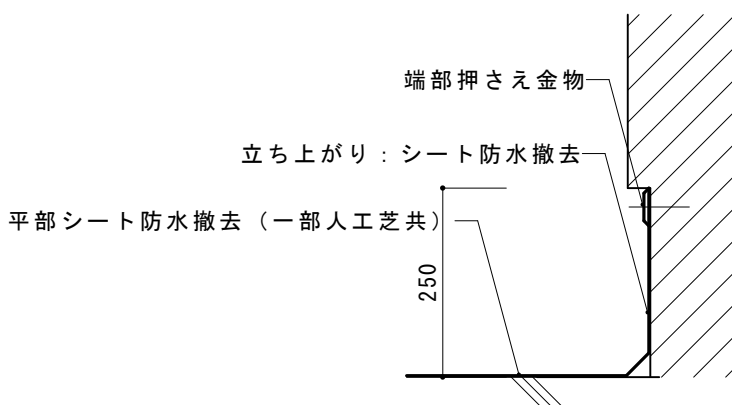
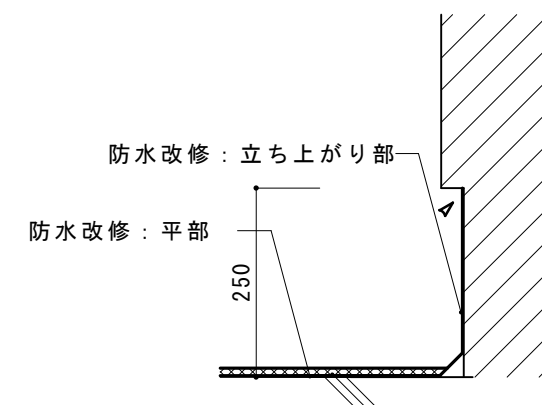
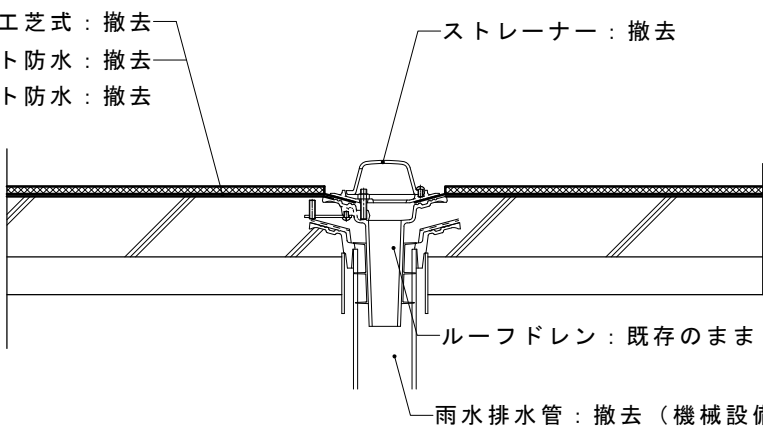
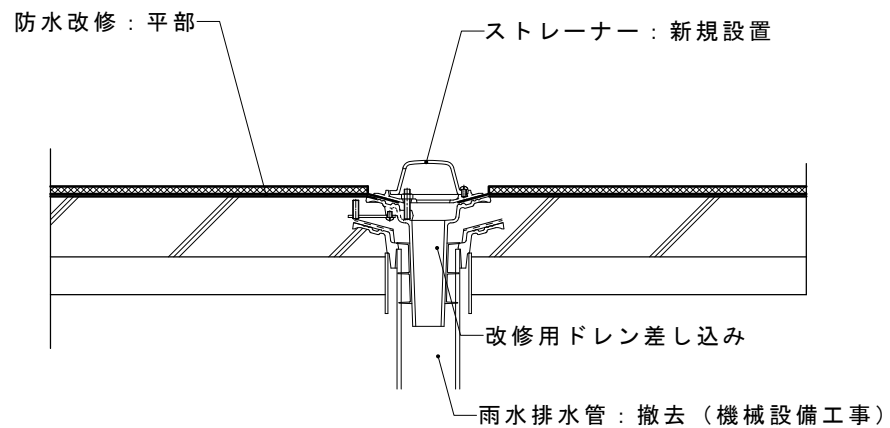


摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 外部（屋上防水改修） 2階屋上防水伏図	縮尺 1/200 図番 A：2-26
						承認		

既存屋上防水仕様			改修屋上防水仕様：ウレタン塗膜防水＋ゴムチップ舗装（ＡＢＣ商会カラートップＳＲ同等品）　ＪＩＳ　Ａ 6021に適合		
<div>中央部</div> <div>人工芝張り 塩ビシート防水（機械固定） アルミ押さえ金物 コンクリートスラブ</div> <div>撤去 撤去 撤去</div> <div>周囲回廊部</div> <div>ゴムシート防水（密着） アルミ押さえ金物 コンクリートスラブ</div> <div>撤去 撤去</div>			<div>改修</div> <div><div>平部（中央部・回廊部共）</div><div>弾性モルタル（ゴムチップ） 弾性プライマー 防水保護層 防水材（３） 防水材（２） 防水材（１）＋補強クロス 水性プライマー</div><div>11mm</div><div>立ち上がり部（中央部・回廊部共）</div><div>防水保護層 防水材（３） 防水材（２） 防水材（１）＋補強クロス 水性プライマー</div><div>2 mm</div></div>		
① ③ 詳細図　　S＝1/10			3 通り　　G－H間　　A－B間ドア下立ち上がり部		
既存図			L：1.6m　× 2 箇所		
<div>改修</div>			<div>改修図</div>		
② 詳細図　　S＝1/10			3 通り　　B－G間　　シャッター下立ち上がり部		
既存図			L：22.8m		
<div>改修</div>			<div>改修図</div>		
摘要				T I M E	
				作成者	
				承認	
				工事名称　石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	
				図面名称　A 棟　外部（屋上防水改修）2 階屋上防水改修リスト 1	
				縮尺　1/　10	
				図番　A：2-27	

④	詳細図 S = 1/10	着的室（2箇所） ドア下立ち上がり部	既存図	L : 0.8m 2箇所	改修図
			改修		
⑤	詳細図 S = 1/10	着的室（2箇所） 引き戸下立ち上がり部	既存図	L : 0.8m 2箇所	改修図
			改修		
⑥	詳細図 S = 1/10	3通り屋外階段出口	既存図	L : 1.5m	改修図
			改修		

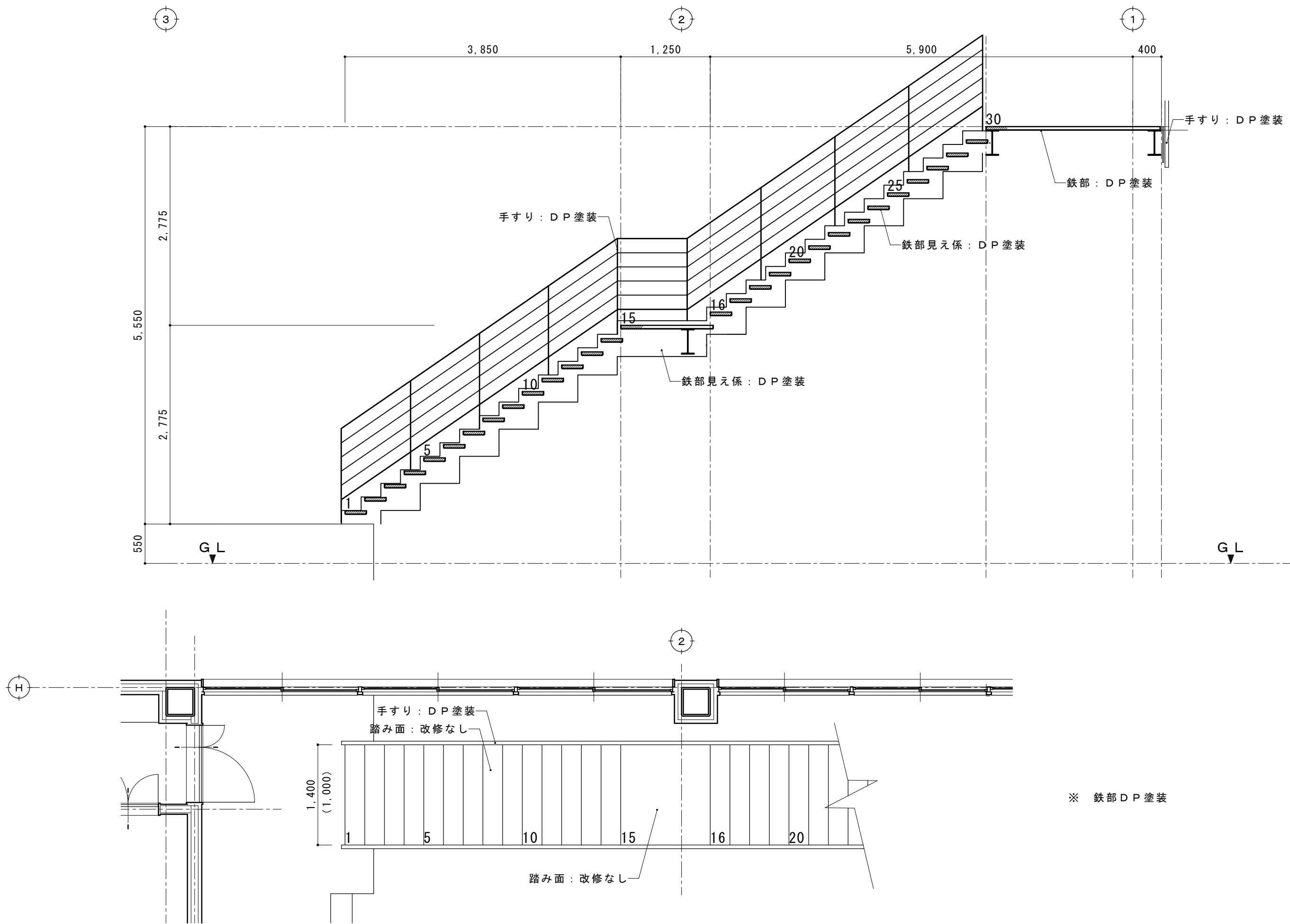
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
						承認	図面名称 A棟 外部（屋上防水改修）2階屋上防水改修リスト2	図番 A : 2-28

③ 詳細図 S = 1/10		立ち上がり一般部	既存図	L : 1.5m	改修図
		改修			
		既存図	改修図		
① 詳細図 S = 1/10		ルーフドレン 19箇所	既存図		改修図
<p>※人工芝は中央部のみ</p> <p>人工芝式: 撤去 塩ビシート防水: 撤去 回廊部はゴムシート防水: 撤去</p> 		改修			

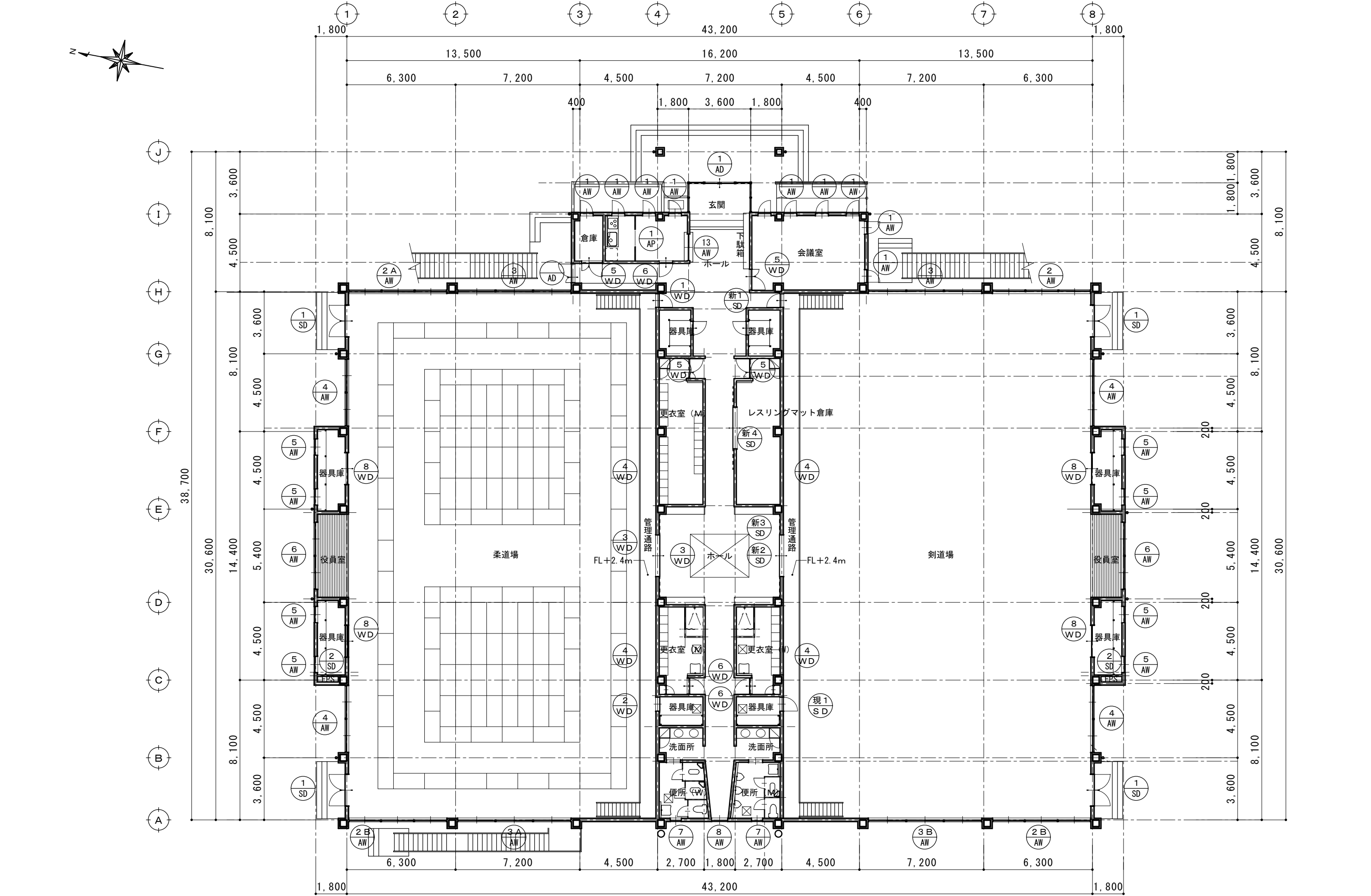
摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
								承認	図面名称 外部（屋上防水改修） 2階屋上防水改修リスト3

Technical cross-section diagram of a basement wall and floor. The diagram shows a sloped wall on the left and a stepped wall on the right. The floor is composed of 'デッキスラブコンクリート' (Deck Slab Concrete) and '増し打ちコンクリート' (Pumped Concrete). The wall is labeled '壁: ALC t100' (Wall: ALC t100). Various waterproofing and repair areas are indicated with labels like '防水改修: 立ち上がり部' (Waterproofing Repair: Vertical Part) and '防水端部: シーリング押さえ' (Waterproofing End: Sealing Stop). Dimensions are provided for wall height (750, 600, 500, 160) and width (400, 500). A note indicates '既存安土: 搬入(成型) 28 m3' (Existing Retaining Wall: Transport (Forming) 28 m3).

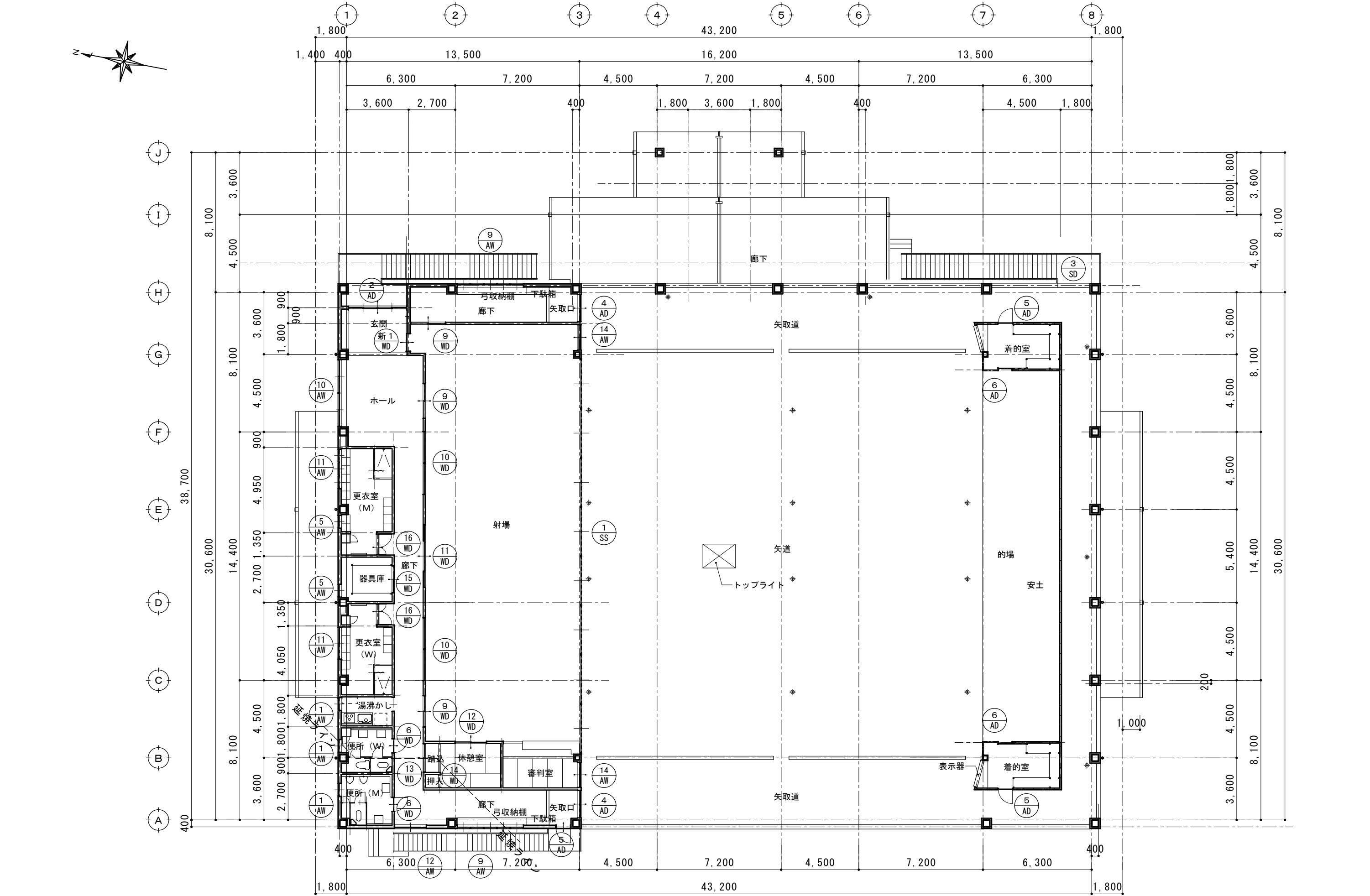
摘要 		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
							図面名称 A棟 外部（屋上防水改修）2階屋上防水改修リスト4	図番 A：2-30
						承認		



摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
						承認	図面名称 A 棟 外部改修 階段詳細図	図番 A : 2-31



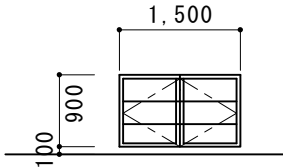
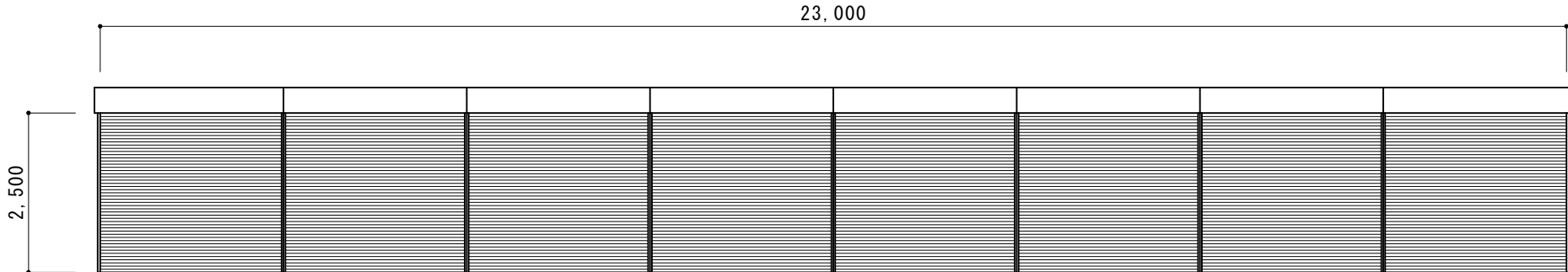
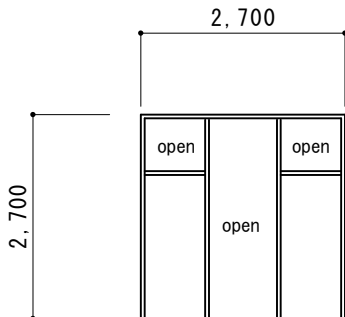
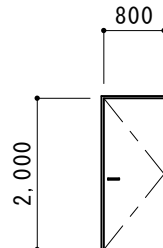
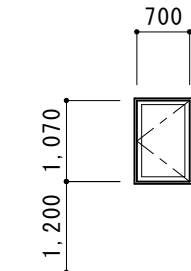
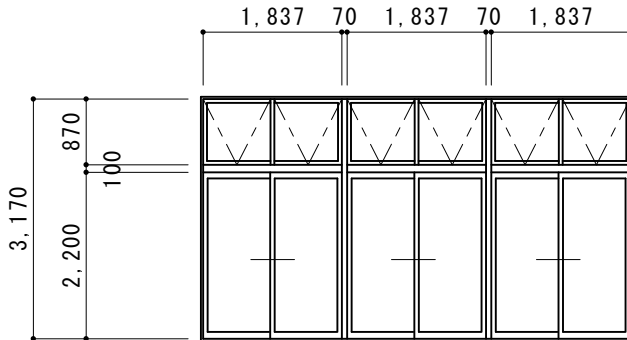
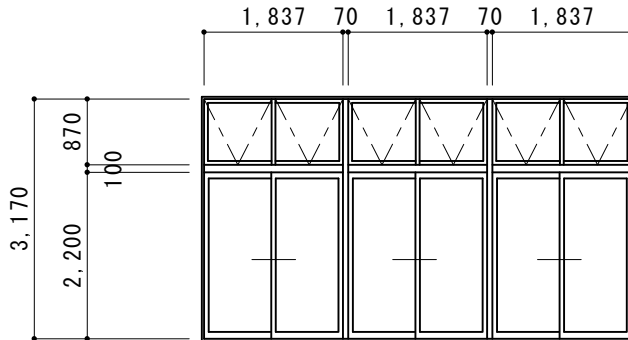
摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 A棟 建具改修 1階建具配置図	図番 A-3-01

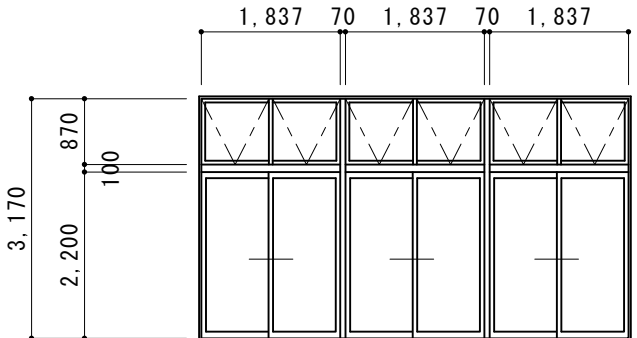
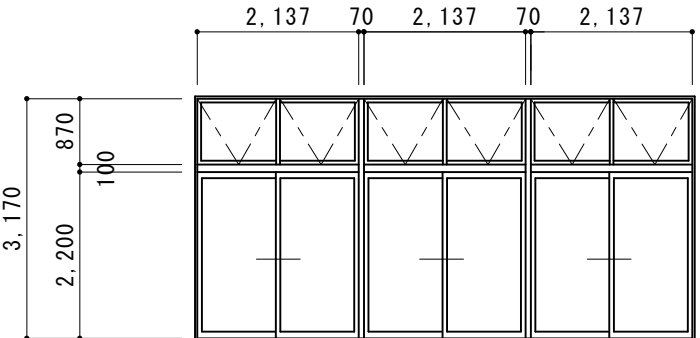
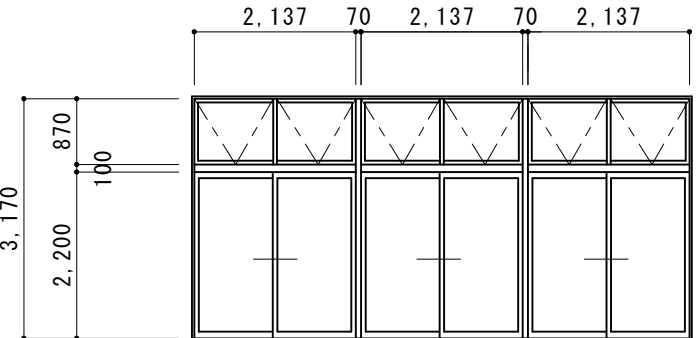
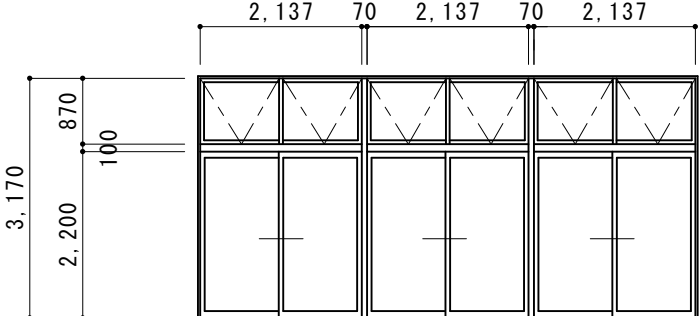
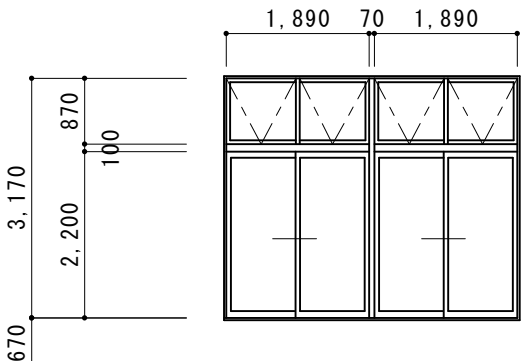
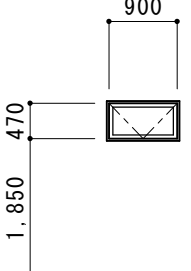
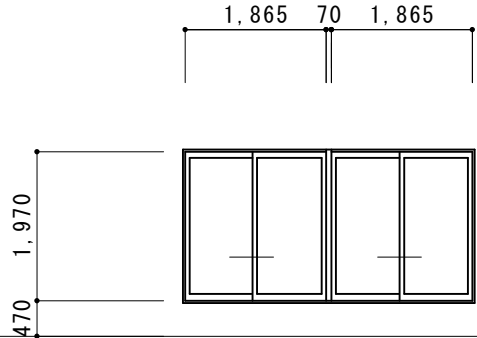
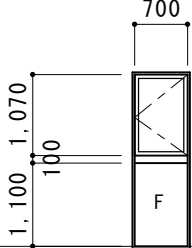
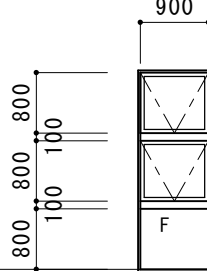


摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 A棟 建具改修 2階建具配置図	図番 A-3-02

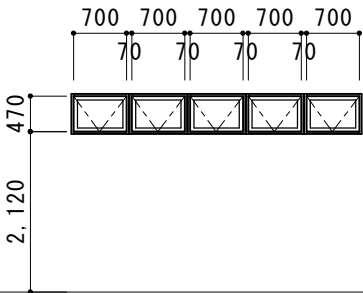
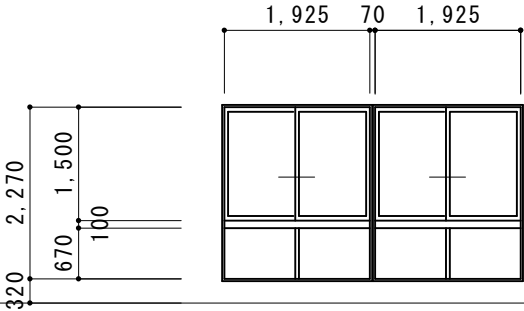
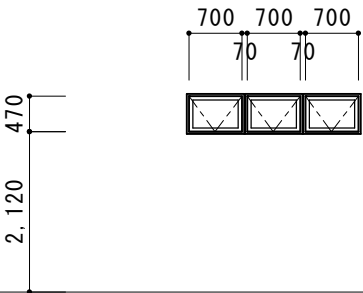
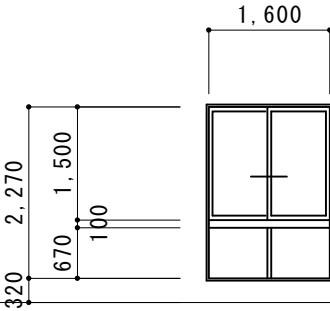
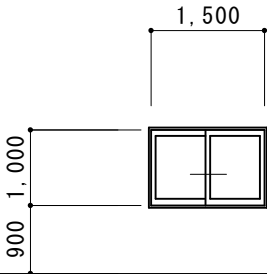
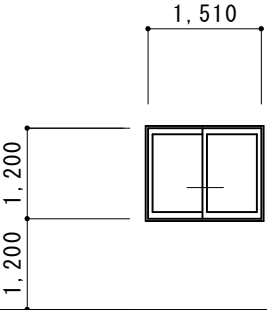
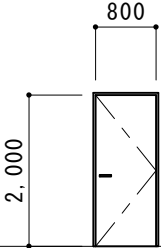
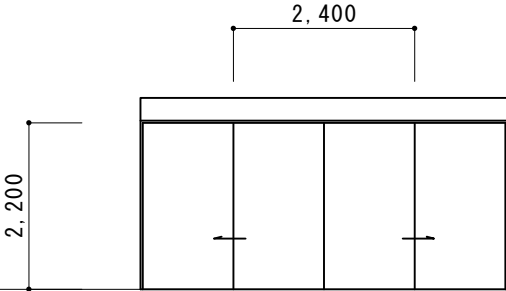
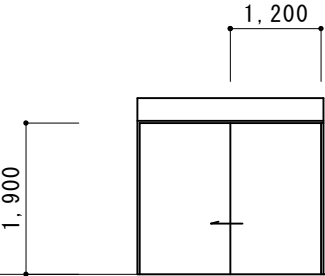
A D - 1			既存仕様			アルミ引き戸（自動ドア）			A D - 2			既存仕様			アルミ引き戸（自動ドア）			A D - 3			既存仕様			アルミ親子ドア											
1 箇所			改修内容			建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装			1 箇所			改修内容			建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装			1 箇所			改修内容			建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装											
<div><div>平面図</div><div></div><div>姿図</div><div>1 階玄関</div></div>									<div><div></div><div>2 階玄関</div></div>									<div><div></div><div>1 階玄関廊下</div></div>																	
A D - 4 A D - 4´			既存仕様			アルミドア DC シリンダー錠			A D - 5			既存仕様			アルミドアOP DC シリンダー錠			A D - 6			既存仕様			アルミドアOP DC シリンダー錠											
各 1 箇所			改修内容			AW4：建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え AW4´：建具取り換え 額縁：OP塗装			3 箇所			改修内容			建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装			2 箇所			改修内容			建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装											
<div><div>A D - 4</div><div></div></div>									<div><div>A D - 4´</div><div></div><div>撤去</div><div>新設</div><div>コンクリートかさ上げ（内装）</div><div>2 階廊下（東西）</div></div>									<div><div></div><div>2 階着的室 2階廊下</div></div>									<div><div></div><div>2 階着的室</div></div>								
A G - 1			既存仕様			アルミ製ガラリ（F I X）			S D - 1			既存仕様			スチールドアOP DC シリンダー錠			S D - 2			既存仕様			スチールドアOP											
38箇所			改修内容			AW4：建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え			4 箇所			改修内容			DP塗装 額縁：UC塗装			2 箇所			改修内容			DP塗装 額縁：UC塗装											
<div><div></div><div>1 階 柔道場 剣道場</div></div>									<div><div></div><div>1 階 柔道場 剣道場</div></div>									<div><div></div><div>P S</div></div>																	

摘要						T I M E		作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）				縮尺 1/100	
										図面名称 A棟 建具改修 建具表 1（金属製建具）				図番 A-3-03	
								承認							

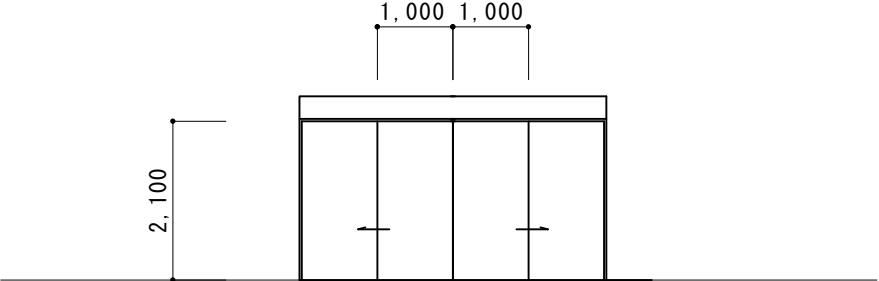
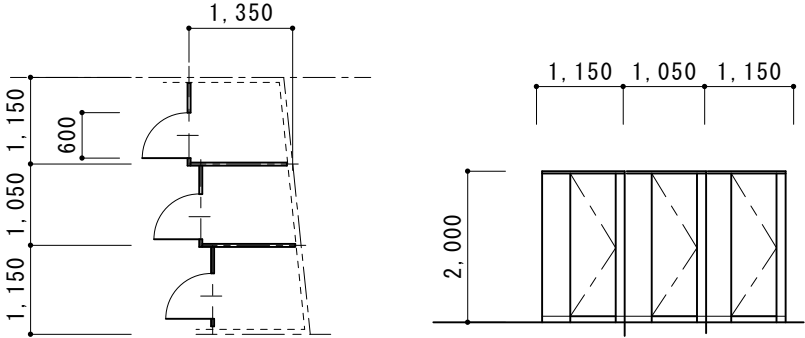
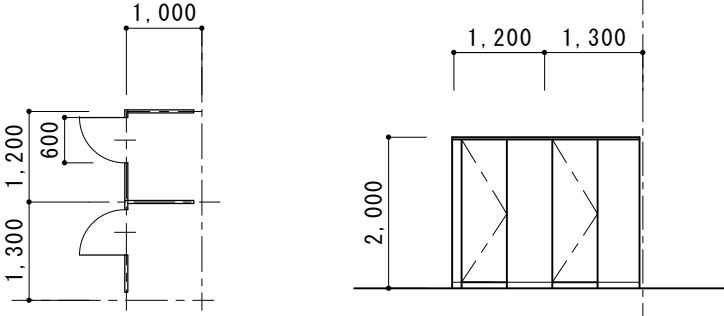
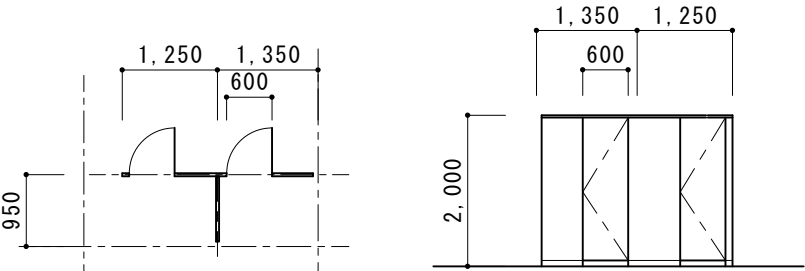
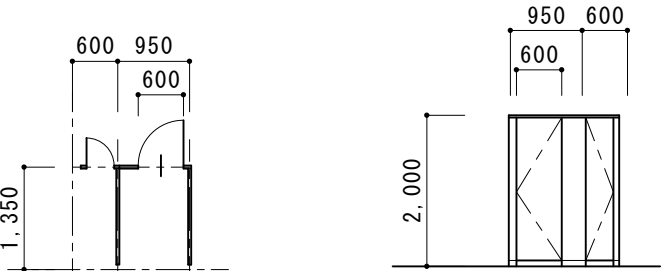
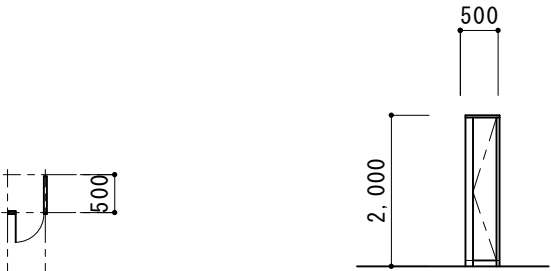
S D－3		既存仕様	スチール製格子戸　O P		S S－1		既存仕様	8 連 軽 量 ス チ ー ル シ ャ ッ タ ー							
1 箇 所		改 修 内 容	D P 塗 装　動作確認の上調整		1 箇 所		改 修 内 容	全撤去の上新規取付 軽量スチールシャッター　天井内収まり							
<div></div>					<div></div> <div>2 階　射 場</div>										
A P－1		既存仕様	アルミパーテーション					S D－現 1	既存仕様	型開きスチールドア					
1 箇 所		改 修 内 容						1 箇 所	改 修 内 容	両 面 ・ 枠 共　O P 塗 り					
<div></div>					<div></div> <div>剣道場器具庫</div>										
A W－1		既存仕様	アルミ型開き窓　ハンドル　アームストッパー他		A W－2		既存仕様	アルミ　欄間外倒し　引き違い段窓　PWC6.8		A W－2 A	既存仕様	アルミ　欄間外倒し　引き違い段窓　PWC6.8			
12箇 所		改 修 内 容	建具清掃　建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：O P 塗 装		1 箇 所		改 修 内 容	建具清掃　建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C 塗 装 遮光カーテン（3,000×3,200）2 台 × 1 か 所　撤去・新設 網戸：950×2,200　張替え		1 箇 所		改 修 内 容	建具清掃　建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C 塗 装 遮光カーテン（3,000×3,200）2 台 × か 所 所　撤去・新設 網戸：950×2,200　張替え		
<div></div> <div>1 階 会 議 室　湯 沸 か し 室　2 階 便 所</div>					<div></div> <div>1 階　剣 道 場</div>					<div></div> <div>1 階　柔 道 場</div>					
摘 要						T I M E		作 成 者		工 事 名 称　石和清流館整備工事（建築主体）（債務）			縮 尺　1/100		
										図 面 名 称　A 棟　建具改修　建具表 2（金属製建具）			図 番　A－3-04		
										承認					

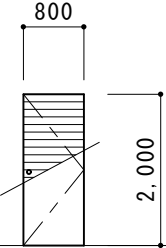
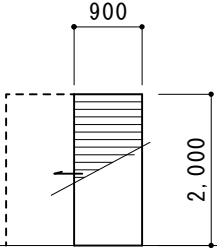
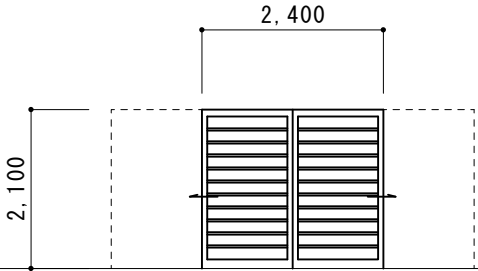

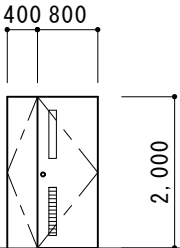
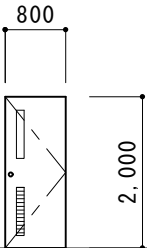
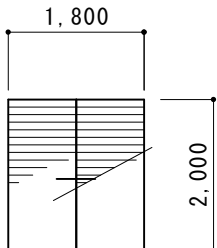
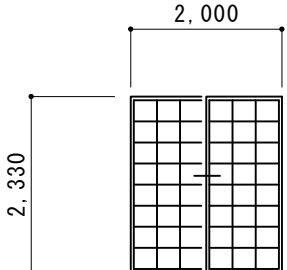
A W－2 B	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	A W－3	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	A W－3 A	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8
2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C塗装 遮光カーテン（3,000×3,200）2台×2か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×2張替え	2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C塗装 遮光カーテン（3,400×3,200）2台×2か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×2張替え	1 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C塗装 遮光カーテン（3,400×3,200）2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×1 張替え
								
1 階 柔道場 剣道場			1 階 柔道場 剣道場			1 階 柔道場		
A W－3 B	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	A W－4	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	A W－5	既存仕様	アルミ 外倒窓 PWC6.8
1 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C塗装 遮光カーテン（3,400×3,200）2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×1張替え	4 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C塗装 遮光カーテン（2,000×3,200）2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 1本×4張替え	10箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：O P塗装
								
1 階 剣道場			1 階 剣道場 柔道場			1 階 柔道条剣道場 器具庫 2 階更衣室		
A W－6	既存仕様	アルミ引き違いき窓 クレセント他 PW6.8	A W－7	既存仕様	アルミ 片開き F I X 段窓 F 4	A W－8	既存仕様	アルミ 外倒し 引き違い段窓 F4
2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：U C塗装	2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：O P塗装	1 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：O P塗装
								
1 階 柔道条剣道場 役員室			1 階 便所			1 階 廊下突き当り		

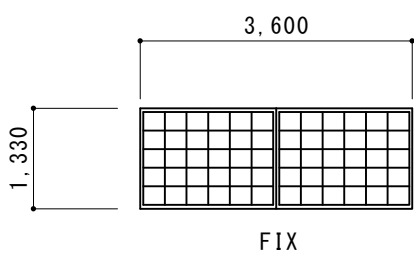
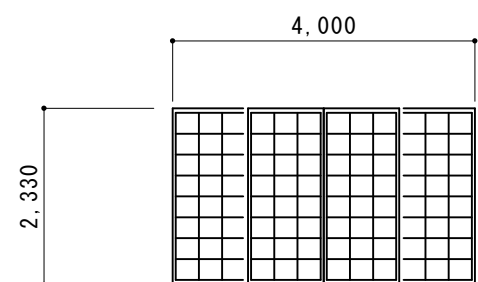
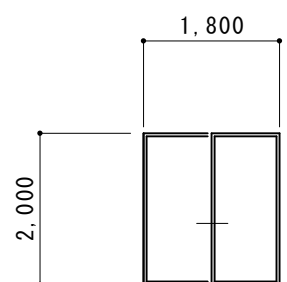
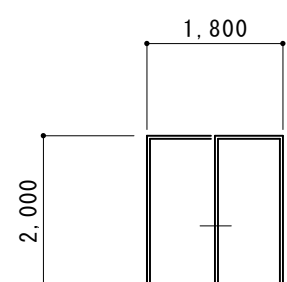
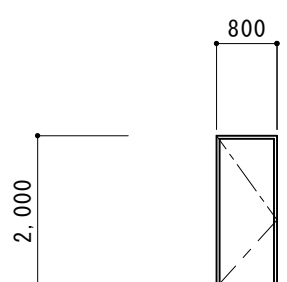
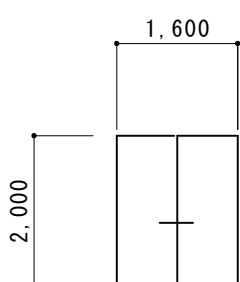
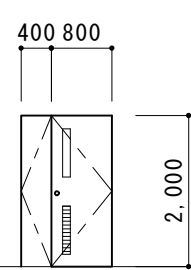
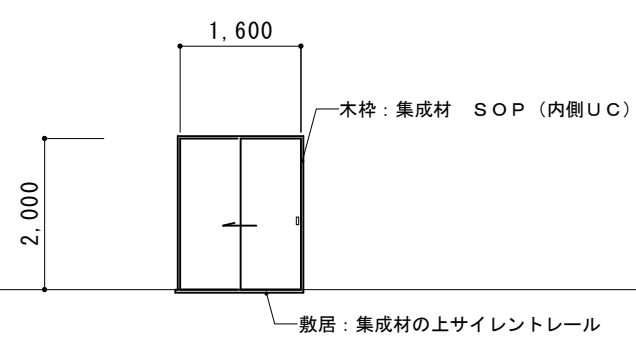
摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A 棟 建具改修 建具表 3（金属製建具）	図番 A-3-05

A W－ 9	既存仕様	アルミ 外倒し窓	A W－ 1 0	既存仕様	アルミ 引き違い段窓 F L 3 F L 5	A W－ 1 1	既存仕様	アルミ 外倒し窓
2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 網戸：950×2,200 1本×1張替え	2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装
								
2 階 廊下			2 階 ホール			2 階 更衣室		
A W－ 1 2	既存仕様	アルミ 引き違い段窓 F L 3 F L 5	A W－ 1 3	既存仕様	アルミ 引き違い窓 F L 3	A W－ 1 4	既存仕様	アルミ 外倒窓 PWC6.8
1 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	2 箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装
								
2 階 廊下			1 階 管理室カウンター			2 階 射場 審判室		
S D－新1	既存仕様	スチールドア（常時閉鎖特定防火設備）	S D－新2	既存仕様	スチール引き分け戸（常時閉鎖特定防火設備）ハンガー	S D－新3	既存仕様	スチール片引き戸（常時閉鎖特定防火設備）ハンガー
2 箇所	改修内容	既存ドア撤去の上 新設 LSD 額縁：木製額縁取付 剣道場側UC 廊下側OP	1 箇所	改修内容	既存ドア撤去の上 新設 LSD 額縁：木製額縁取付 剣道場側UC 廊下側OP	1 箇所	改修内容	管理通路への廊下から階段を設置 LSD 額縁：木製額縁取付 剣道場側UC 廊下側OP
常時閉鎖特定防火設備			常時閉鎖特定防火設備			常時閉鎖特定防火設備		
								
1 階 剣道場入り口 剣道場器具庫			1 階 剣道場入り口			1 階 剣道場入り口（廊下～管理通路へ）		

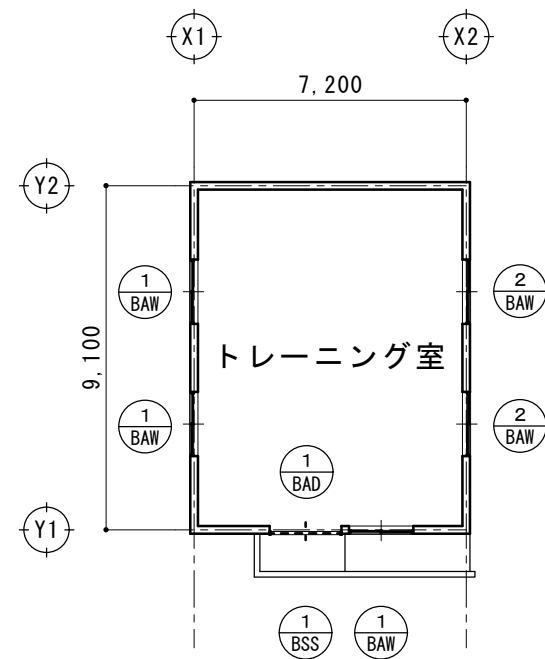
摘要				T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 建具改修 建具表4（金属製建具）	縮尺 1/100
								図番 A-3-06
						承認		

S D - 新 4	既存仕様	軽量スチール引き分け戸（アウトセット）（ハンガー）						
1 箇所	改修内容	レスリングマット倉庫						
 <p>1 階 レスリングマット倉庫</p>								
T B - 1	既存仕様	化粧鋼板（焼付） 撤去	T B - 2	既存仕様	化粧鋼板（焼付） 撤去			
1 箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式	1 箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式			
 <p>平面図 姿図</p> <p>1 階 便所（W）</p>			 <p>平面図 姿図</p> <p>1 階 便所（M）</p>					
T B - 3	既存仕様	化粧鋼板（焼付） 撤去	T B - 4	既存仕様	化粧鋼板（焼付） 撤去	T B - 5	既存仕様	化粧鋼板（焼付） 撤去
1 箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式	1 箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式	1 箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式
 <p>平面図 姿図</p> <p>2 階 便所（W）</p>			 <p>平面図 姿図</p> <p>2 階 便所（M）</p>			 <p>平面図 姿図</p> <p>2 階 便所（W）</p>		
概要			T I M E			作成者		
						承認		
						工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		
						図面名称 A 棟 建具改修 建具表 5（トイレ・ス）		
						縮尺 1/100		
						図番 A-3-07		

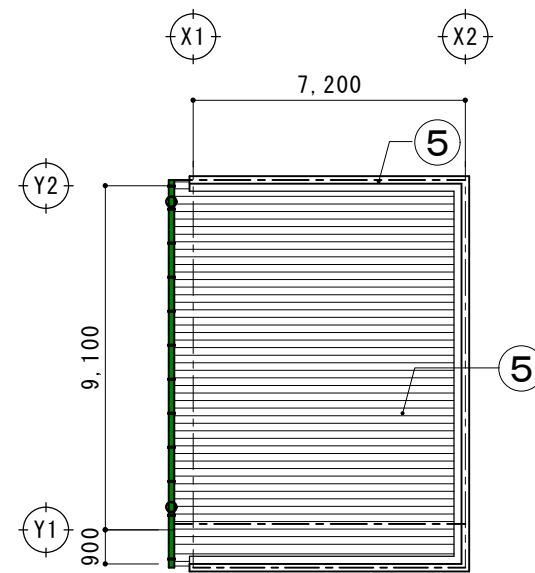
W D - 1			既存仕様	木製フラッシュ片開き戸 両面合板張り	W D - 2			既存仕様	木製フラッシュ片引き戸 両面合板張り	W D - 3			既存仕様	木製引き分け格子戸
1箇所			改修内容	撤去 4方枠：UC塗装 新設：両面シナ合板 t5.5 UC・SOP DC 握り玉 附属品一式	1箇所			改修内容	4方枠：SOP塗装 SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	1箇所			改修内容	建具・4方枠：UC塗装 廊下側SOP SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車
<div>見込み35</div> <div></div>					<div></div> <div></div>					<div></div> <div></div>				
柔道場					1階器具庫					1階柔道場				
W D - 4			既存仕様	木製フラッシュ引き分け戸 両面合板張り	W D - 5			既存仕様	木製フラッシュ親子開き戸 両面合板張り	W D - 6			既存仕様	木製フラッシュ片開き戸 両面合板張り
4箇所			改修内容	改修なし 4方枠取り換え：UC	4箇所			改修内容	撤去 新設：両面シナ合板 t5.5 UC 4方枠：SOP DC 握り玉 附属品一式	4箇所			改修内容	撤去 新設：両面シナ合板 t5.5 UC 4方枠：SOP DC 握り玉 附属品一式
<div></div> <div></div>					<div></div> <div></div>					<div></div> <div></div>				
剣道場 柔道場					1階更衣室					1階更衣室 2階便所				
			既存仕様		W D - 8			既存仕様	木製フラッシュ引き違い戸 両面合板張り	W D - 9			既存仕様	木製引き違い障子
			改修内容		4箇所			改修内容	4方枠：UC塗装 SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	3箇所			改修内容	4方枠 UC塗装（内側SOP） SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車
					<div></div> <div></div>					<div></div> <div></div>				
					1階 柔道場 剣道場 器具庫					2階射場				
摘要					T I M E		作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）					縮尺 1/100
									図面名称 A棟 建具改修 建具表6（木製建具）					図番 A-3-08
							承認							

WD-10	既存仕様	木製引き違い障子	WD-11	既存仕様	木製4本建て引き分け障子	WD-12	既存仕様	木製引き違い戸襖
2箇所	改修内容	建具・4方枠：UC塗装（内側SOP）	1箇所	改修内容	建具・4方枠 UC塗装（内側SOP） SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	1箇所	改修内容	片面襖紙張替え SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車
								
2階射場			2階射場					
WD-13	既存仕様	木製引き違い戸襖	WD-14	既存仕様	木製片開き戸襖	WD-15	既存仕様	木製フラッシュ引き違い戸
1箇所	改修内容	片面襖紙張替え SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	1箇所	改修内容	片面襖紙張替え	1箇所	改修内容	4方枠 UC塗装（内側SOP） SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車
								
2階休憩室			2階休憩室			2階器具庫		
WD-16	既存仕様	木製フラッシュ親子開き戸 両面合板張り	WD-新1					
2箇所	改修内容	撤去 3方枠 SOP 新設：両面シナ合板 t5.5 UC DC握り玉 附属品一式	1箇所	新設	木製アウトセット片引き戸 両面シナ合板 t5.5 UC SUS製サイレントレール 再サイレント戸車			
								
2階更衣室								

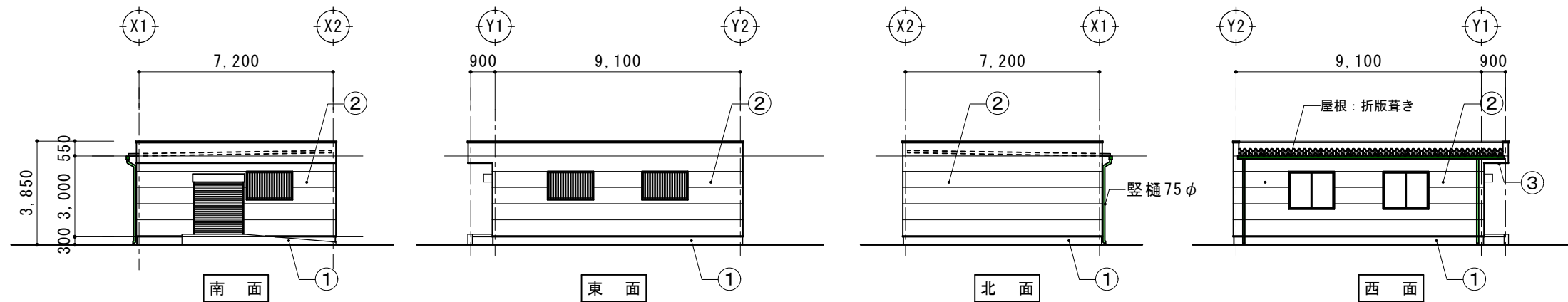
摘要		TIME		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 A棟 建具改修 建具表7（木製建具）	縮尺 1/100 図番 A-3-09
				承認		



平面図 S = 1/200



屋根伏図 S = 1/200



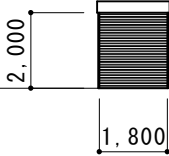
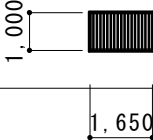
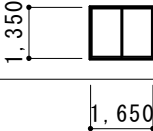
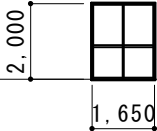
立面図 S = 1/200

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 B棟（スポーツ練習場）既存図	図番 B-01

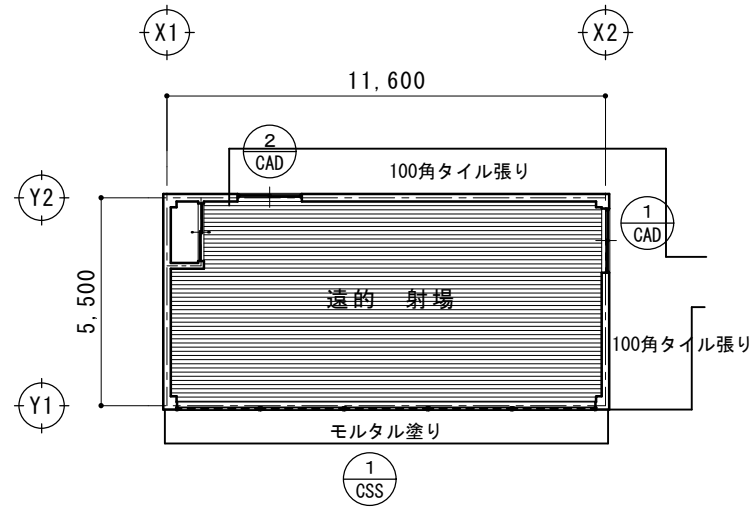
事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

改修内容								AS：アスベスト調査の結果							
	部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基礎部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし （事前調査により必要があれば改修）		⑥	建 具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング（MS2）	
②	外 壁 部	○	窯業系サイディング 吹付塗装	有	水洗い工法	防水型複層塗材E			そ の 他						
③	軒天部	○	ケイカル版 t6 AEP塗装			AEP塗装【新】									
④	破風・鼻隠し								内装改修						
⑤	屋根・樋														

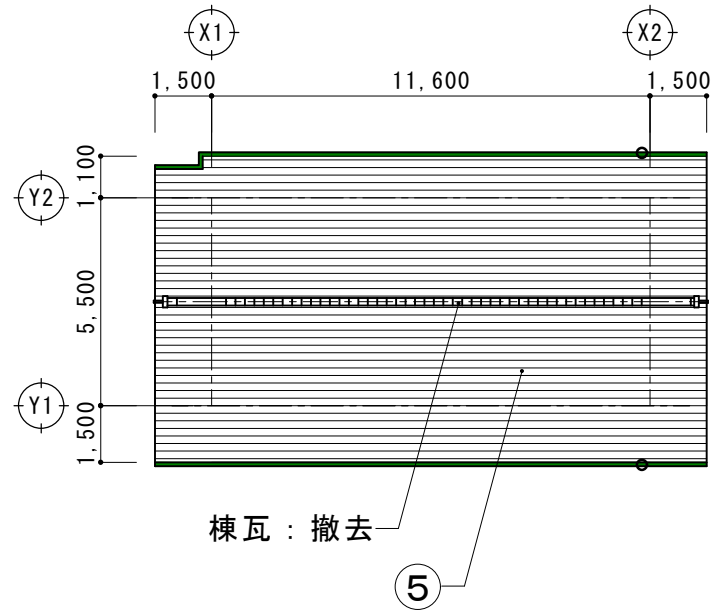
建 具 表 S = 1/200

<div>1 BSS</div>	既存仕様	軽量スチールシャッター	<div>1 BAW</div>	既存仕様	面付アルミ引き違窓	<div>2 BAW</div>	既存仕様	アルミ引き違窓	<div>1 BAD</div>	既存仕様	アルミ引き違窓
1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	3箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	2箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）		改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）
											

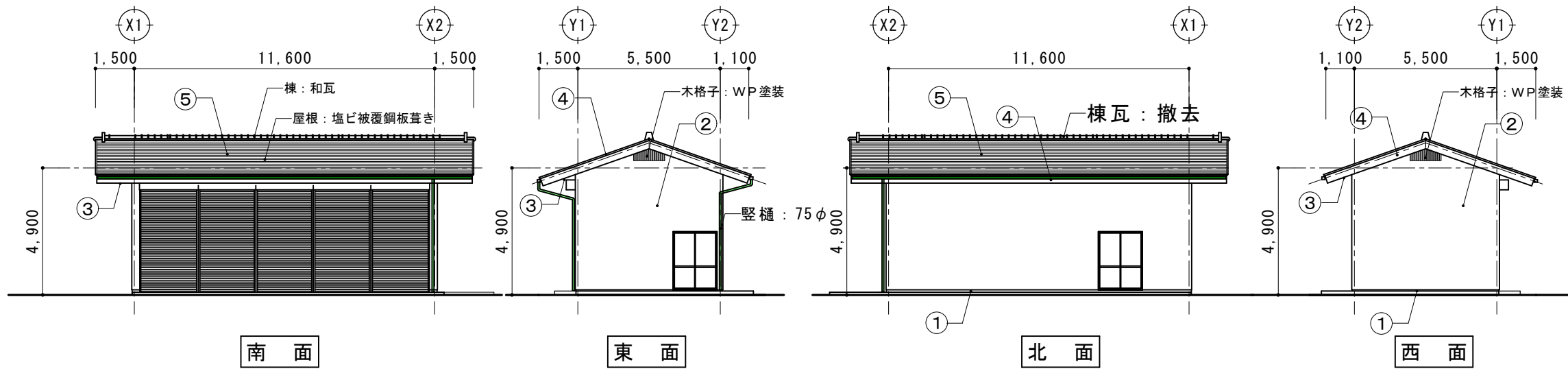
摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 B棟 （スポーツ練習場）改修内容	縮尺 図番 B-02
			承認		



平面図 S = 1/200



屋根伏図 S = 1/200



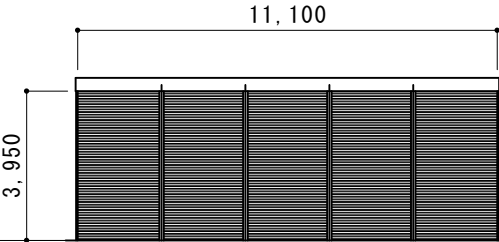
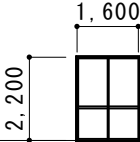
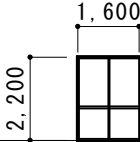
立面図 S = 1/200

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 C棟 （遠的場・射場）既存図	縮尺 1/200 図番 C-01
					承認		

事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

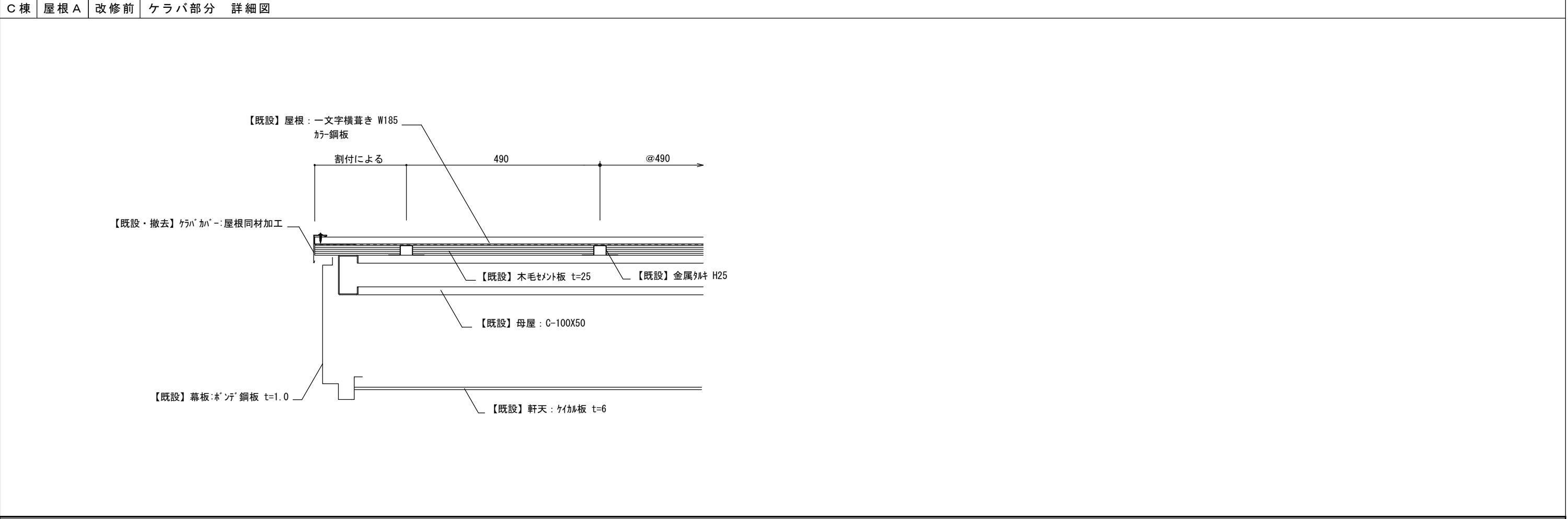
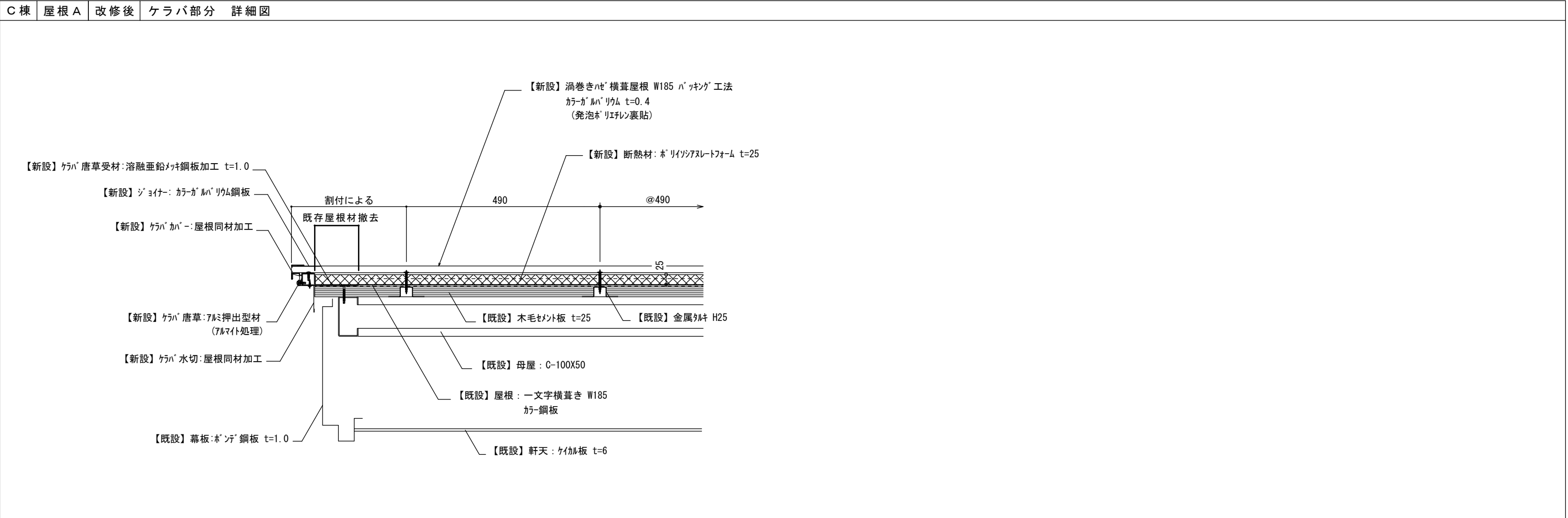
改修内容								AS：アスベスト調査の結果							
	部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基 礎 部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし （事前調査により必要があれば改修）		⑥	建 具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング（MS 2）	
②	外 壁 部	○	押し出しセメント版 t 60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材E シーリング（MS 2）		⑦	そ の 他 木 製 矢 切 格 子					WP 塗装	
③	軒 天 部	○	ケイカル版 t 6 A E P 塗装			A E P 塗装【新】									
④	破 風 ・ 鼻 隠 し	○	ボンデ鋼板 S O P 塗装		撤去なし 撤去なし	D P P 塗装			内 装 改 修					シャッター取り換え廻り木製見切縁	
⑤	屋 根 ・ 樋		塩ビ被覆鋼板 t 0.4 一文字葺き 軒樋・ 竖樋 棟：瓦葺		撤去 撤去	カラー G L 鋼板 t 0.4カバー工法 断熱材付 詳細図参照 屋根同材									

建具表 S=1/200

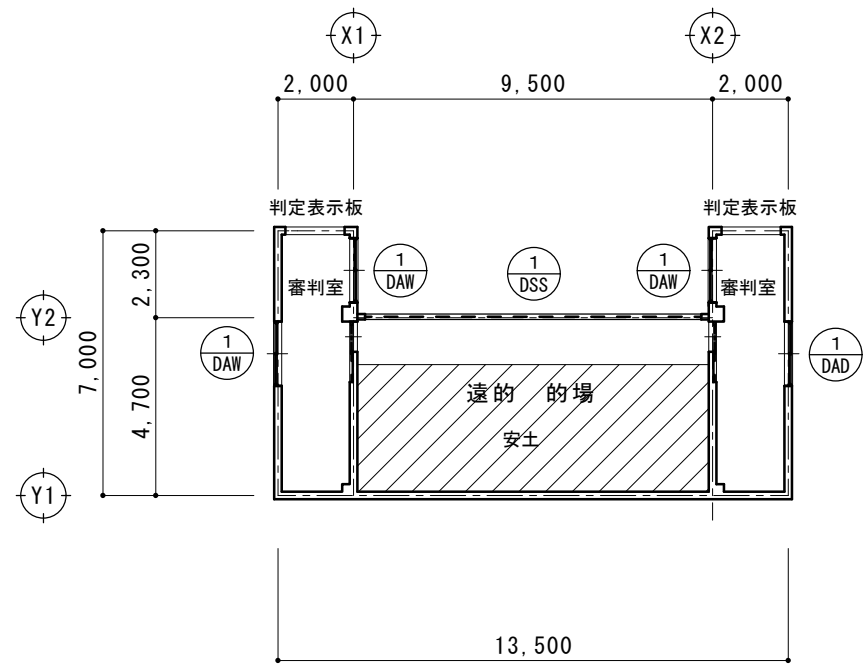
<div>1</div> <div>CSS</div>	既存仕様	軽量スチールシャッター	<div>1</div> <div>CAD</div>	既存仕様	アルミ引き戸	<div>2</div> <div>CAD</div>	既存仕様	アルミ引き建窓			
1箇所	改修内容	全撤去の上【新設】 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	1箇所	改修内容	撤去の上カバー工法による交換 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）			
											
軽量スチールシャッター スチールケース 移動中柱											

摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 C棟 （遠の場・射場）改修内容	縮尺 図番 C-02
				承認		

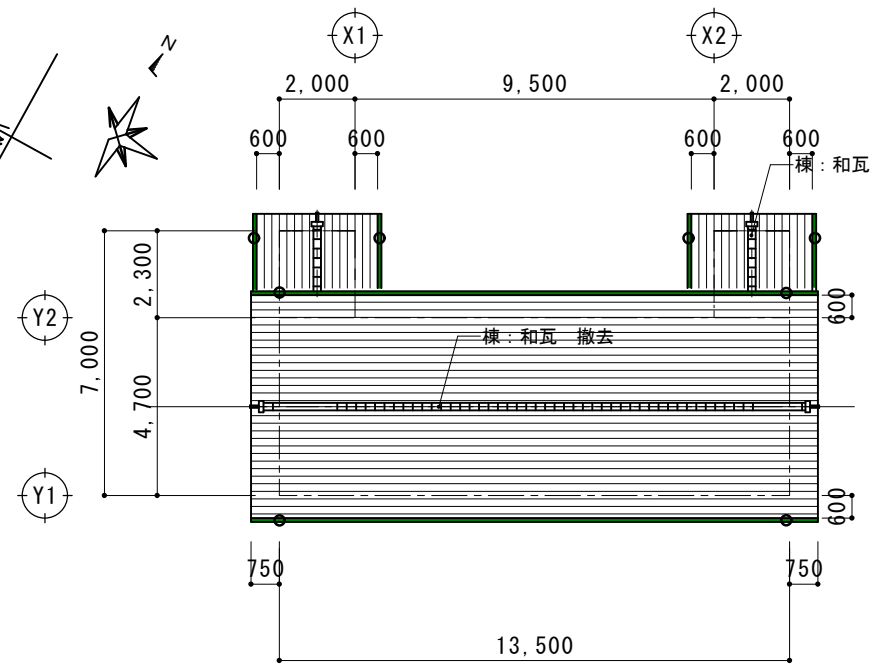
C棟	屋根A	改修後	軒先部分	詳細図	C棟	屋根A	改修後	棟部分	詳細図	
C棟	屋根A	改修前	軒先部分	詳細図	C棟	屋根A	改修前	棟部分	詳細図	
摘要					T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		縮尺 1/ 10
								図面名称 C棟 （遠の場・射場）屋根改修図 1		図番 C-03
					承認					



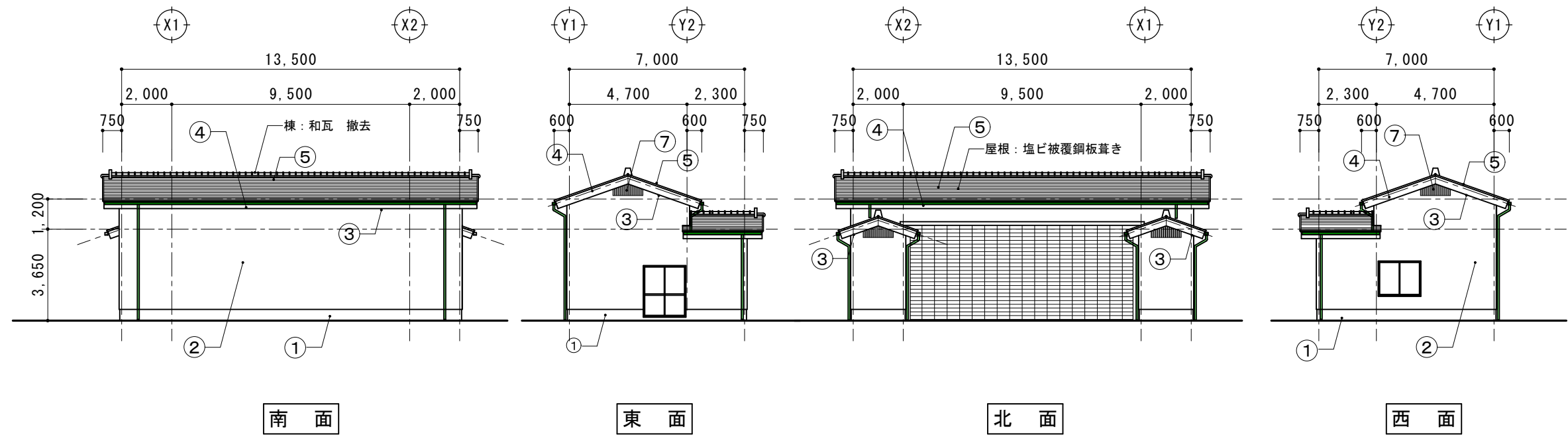
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 B棟 （スポーツ練習場）屋根改修図 2	縮尺 1/ 10
								図番 C-04
						承認		



平面図 S = 1/200



屋根伏図 S = 1/200



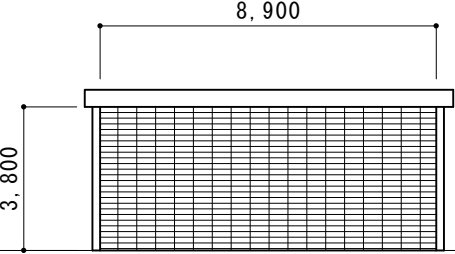
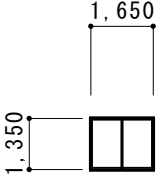
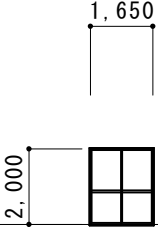
立面図 S = 1/200

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 D棟 （遠の場・の場）既存図	図番 D-01

事前調査概要	的場安土改修内容
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	既存安土取り壊し（材再使用）
調査対象部分	おがくず混合の上、表面成型
下図表に示す他	

改修内容								AS：アスベスト調査の結果							
	部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基 礎 部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし （事前調査により必要があれば改修）		⑥	建 具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング（MS 2）	
②	外 壁 部	○	押し出しセメント版 t 60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材 E シーリング（MS 2）		⑦	そ の 他 木 製 矢 切 格 子					WP 塗装	
③	軒 天 部	○	ケイカル版 t 6 A E P 塗装			A E P 塗装【新】									
④	破 風 ・ 鼻 隠 し	○	ボンデ鋼板 S O P 塗装		撤去なし 撤去なし	D P P 塗装			内 装 改 修		シャッター上天井 L G S の 上 化 粧 合 板 W600×延長9. 4m		撤去 撤去	シャッター上天井 L G S の 上 化 粧 合 板【新規】 W600×延長9. 4m	
⑤	屋 根 ・ 樋		塩ビ被覆鋼板 t 0. 4 一文字葺き 軒樋・ 竖樋 棟：瓦葺		撤去 撤去	カラー G L 鋼板 t 0. 4カバ－工法 断熱材なし 詳細図参照 屋根同材									

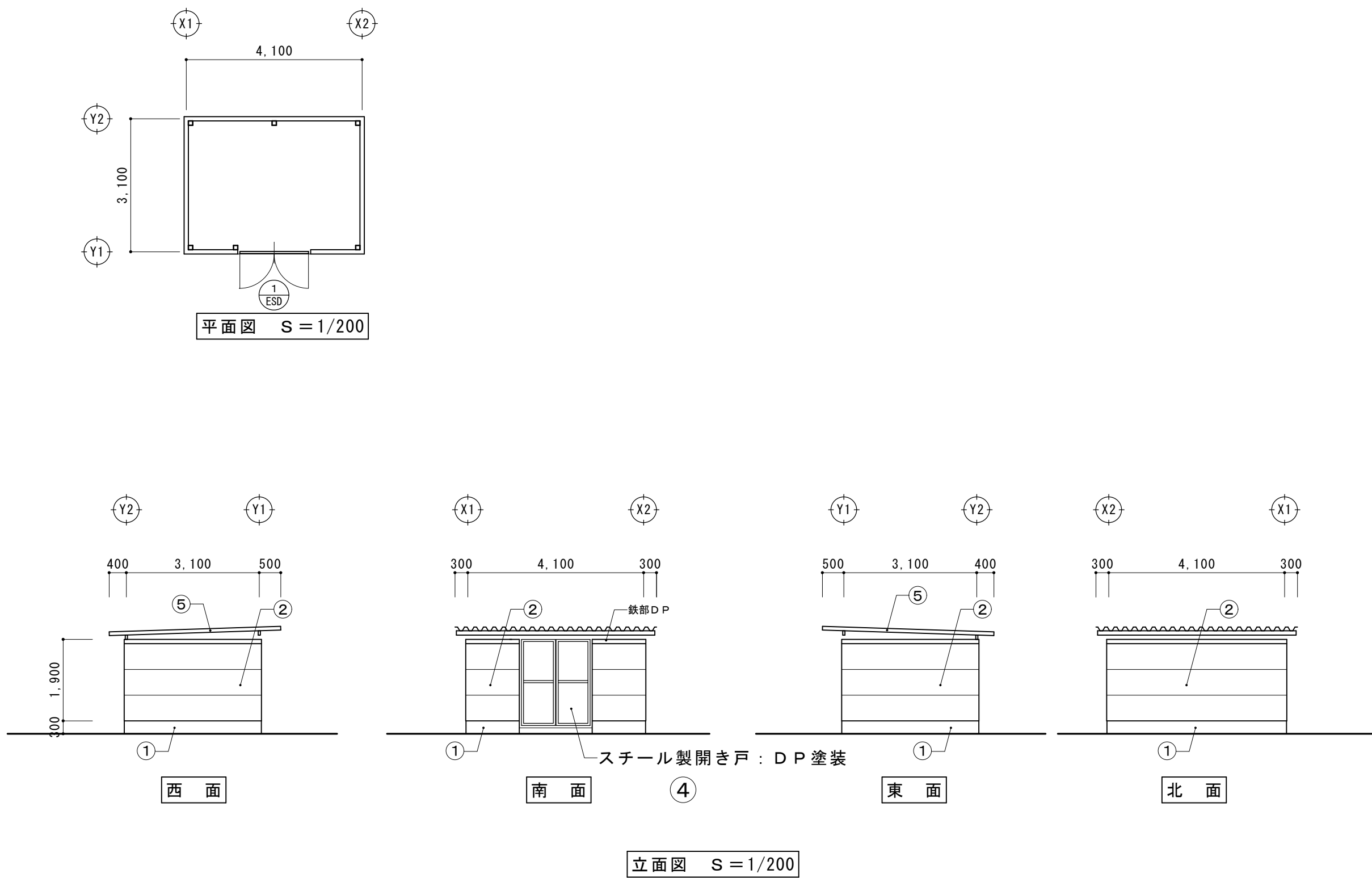
建具表 S=1/200

<div>1 DSS</div>	既存仕様	電動スチールグリルシャッター	<div>1 DAW</div>	既存仕様	アルミ引き違窓	<div>1 DAD</div>	既存仕様	アルミ引き違戸			
1箇所	改修内容	全撤去の上・電動ステンレスグリルシャッター	3箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）			
											

摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			承認	図面名称 D棟 （遠の場・的場）改修内容	図番 D-02

D棟屋根B改修後軒先部分詳細図					D棟屋根B改修後棟部分詳細図				
D棟屋根B改修前軒先部分詳細図					D棟屋根B改修前棟部分詳細図				
概要					T I M E				
					作成者				
					承認				
					工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）				
					図面名称 D棟（遠の場・の場）屋根改修図 1				
					縮尺 1/ 10				
					図番 D-03				

D棟 屋根B 改修後 ケラバ部分 詳細図				D棟 屋根B 改修後 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図							
D棟 屋根B 改修前 ケラバ部分 詳細図				D棟 屋根B 改修前 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図							
概要				T I M E		作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		縮尺 1/ 10	
								図面名称 D棟 （遠の場・的場）屋根改修図 2		図番 D-04	
						承認					



摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
						承認	図面名称 E棟（倉庫）既存図	図番 E-01

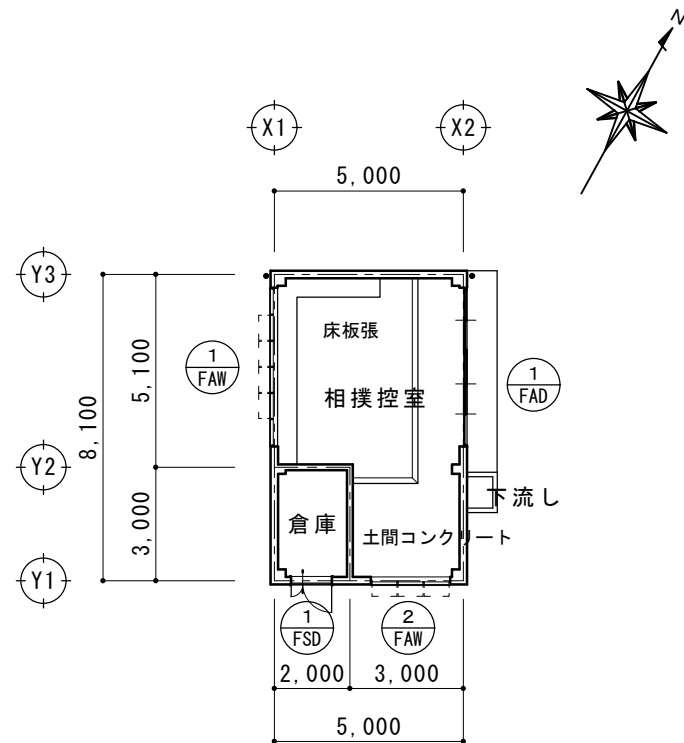
事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

改修内容								AS：アスベスト調査の結果							
	部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基 礎 部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	モルタル浮き部あり 撤去の上樹脂モルタル塗り（500×200程度）		⑥	建 具	○	鉄扉　○P塗装 建具周囲シーリング		撤去	DP塗装 建具周囲シーリング（MS2）	
②	外 壁 部	○	窯業系サイディング 吹付塗装	有	水洗い工法	防水型複層塗材E		⑦	外部 鉄部見え係	○				DP塗装	
③	軒天部	○	ルーフデッキ葺き			DP塗装									
④	破風・鼻隠し	○													
⑤	屋 根 ・ 樋		ルーフデッキ葺き 軒樋・竖樋		撤去なし	改修なし 改修なし									

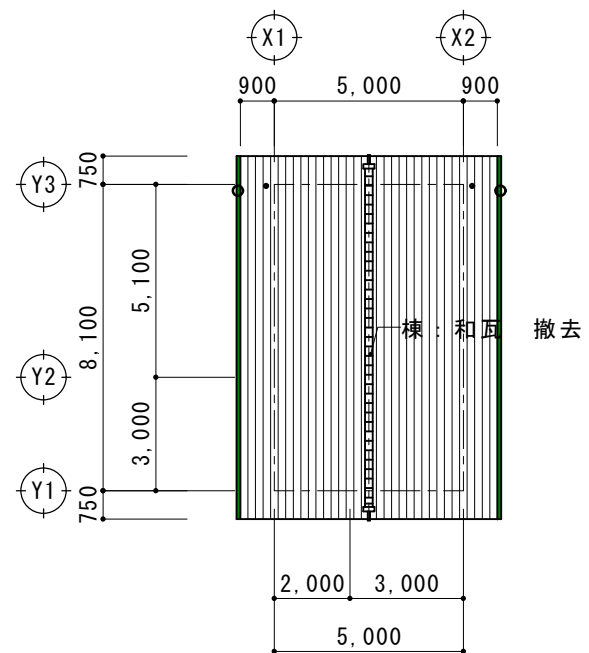
建具表　S＝1/200

<div>1 ESD</div>	既存仕様	スチール製ドア		既存仕様			既存仕様				
1箇所	改修内容	DP塗装（両面）		改修内容			改修内容				
<div><div><div>1,600</div><div>2,000</div><div>パンチングメタル</div></div></div>											

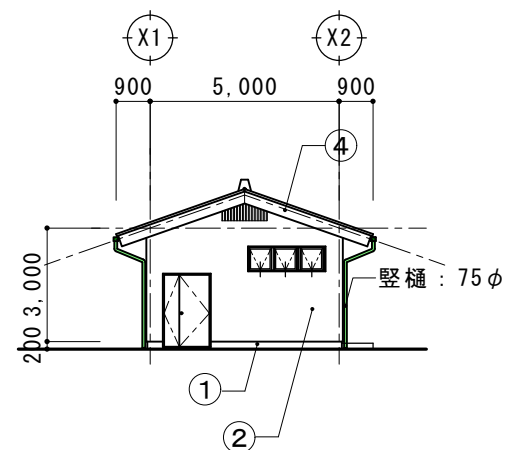
摘要		T I M E	作成者	工事名称　石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			承認	図面名称　E棟　（倉庫）改修内容	図番　E-02



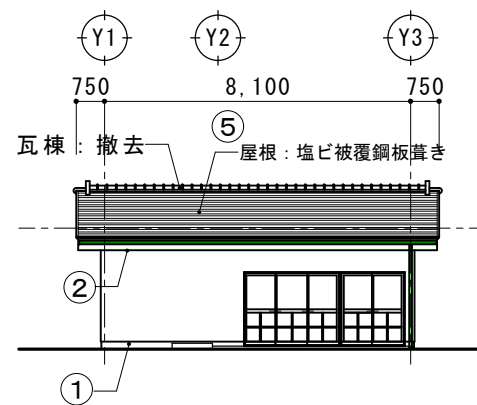
平面図 S = 1/200



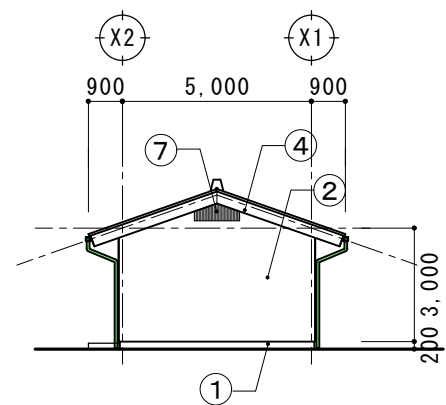
屋根伏図 S = 1/200



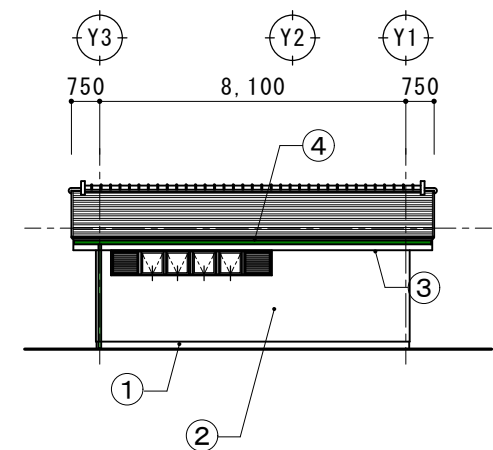
南面



東面



北面



西面

立面図 S = 1/200

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
						承認	図面名称 F 棟 （相撲控室）既存図	図番 F -01

事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

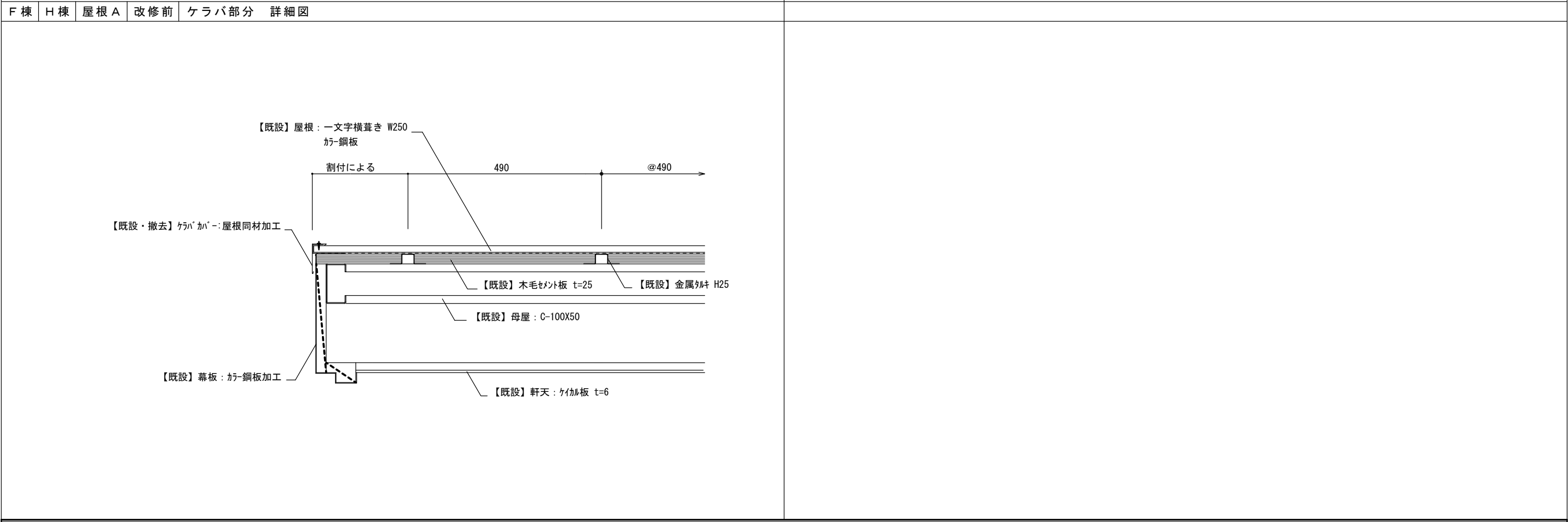
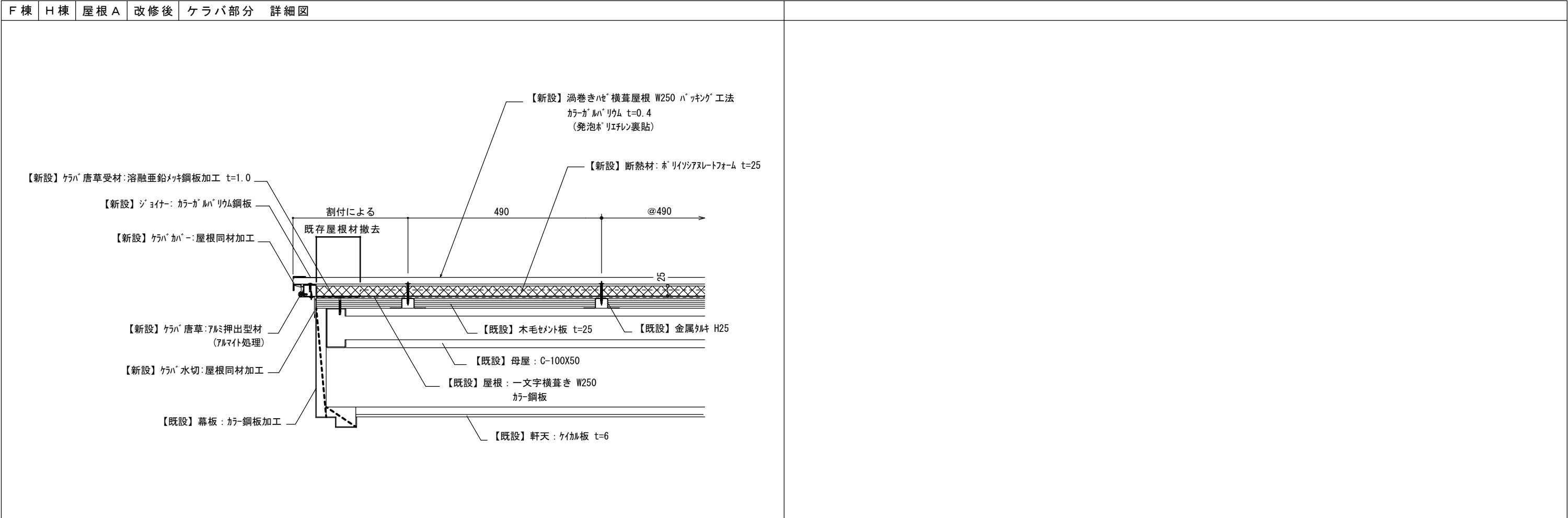
改修内容								AS：アスベスト調査の結果							
	部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基 礎 部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし （事前調査により必要があれば改修）		⑥	建 具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング（MS 2）	
②	外 壁 部	○	押し出しセメント版 t 60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材E シーリング（MS 2）		⑦	そ の 他 木 製 矢 切 格 子					WP 塗装	
③	軒 天 部	○	ケイカル版 t 6 A E P 塗装			A E P 塗装【新】									
④	破 風 ・ 鼻 隠 し	○	ボンデ鋼板 S O P 塗装		撤去なし 撤去なし	D P P 塗装			内 装 改 修		シャッター上天井 L G S の 上 化 粧 合 板 W600×延長9. 4m		撤去 撤去	シャッター上天井 L G S の 上 化 粧 合 板【新規】 W600×延長9. 4m	
⑤	屋 根 ・ 樋		塩ビ被覆鋼板 t 0. 4 一文字葺き 軒樋・ 竖樋 棟：瓦葺		撤去 撤去	カラーG L 鋼板 t 0. 4カバー工法 断熱材あり 詳細図参照 屋根同材									

建具表 S=1/200

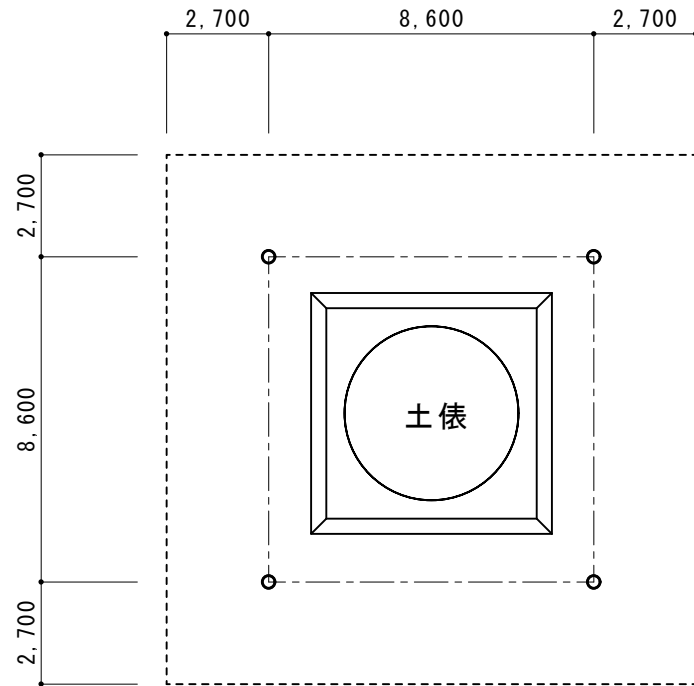
<div>1 FAD</div>	既存仕様	アルミ製2連引き違い戸	<div>1 FAW</div>	既存仕様	アルミ外倒し窓	<div>2 FAW</div>	既存仕様	アルミ外倒し窓	<div>2 FSD</div>	既存仕様	スチール製親子開きドア
1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）	1箇所	改修内容	DPP塗装 建具周囲シーリング撤去・打ち換え（MS2）

摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			承認	図面名称 F棟（相撲控室）改修内容	図番 F-02

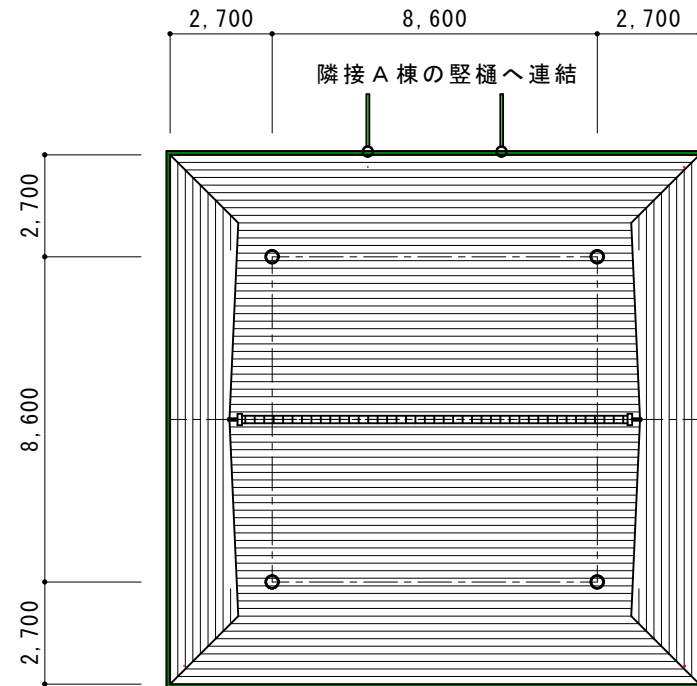
F棟 H棟 屋根 A 改修後 軒先部分 詳細図					F棟 H棟 屋根 A 改修後 棟部分 詳細図							
F棟 H棟 屋根 A 改修前 軒先部分 詳細図					F棟 H棟 屋根 A 改修前 棟部分 詳細図							
摘要					T I M E		作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		縮尺 1/ 10	
									図面名称 F棟 （相撲控室）屋根改修図 1		図番 F -03	
							承認					



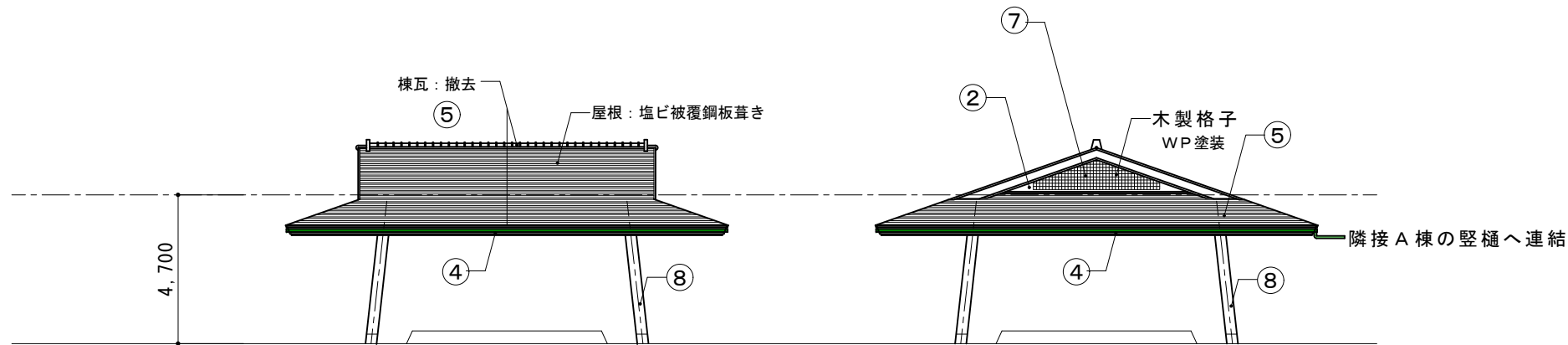
摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
								承認	図面名称 F 棟 （相撲控室）屋根改修図 2



平面図 S = 1/200



屋根伏図 S = 1/200



南 面

東 面

立面図 S = 1/200

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 G 棟 （相撲場）既存図	図番 G-01

事前調査概要	土俵改修内容
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	既存土俵掘り起こし締固め
調査対象部分	簡易俵作成・据付 72
下図表に示す他	仕切り板塗装

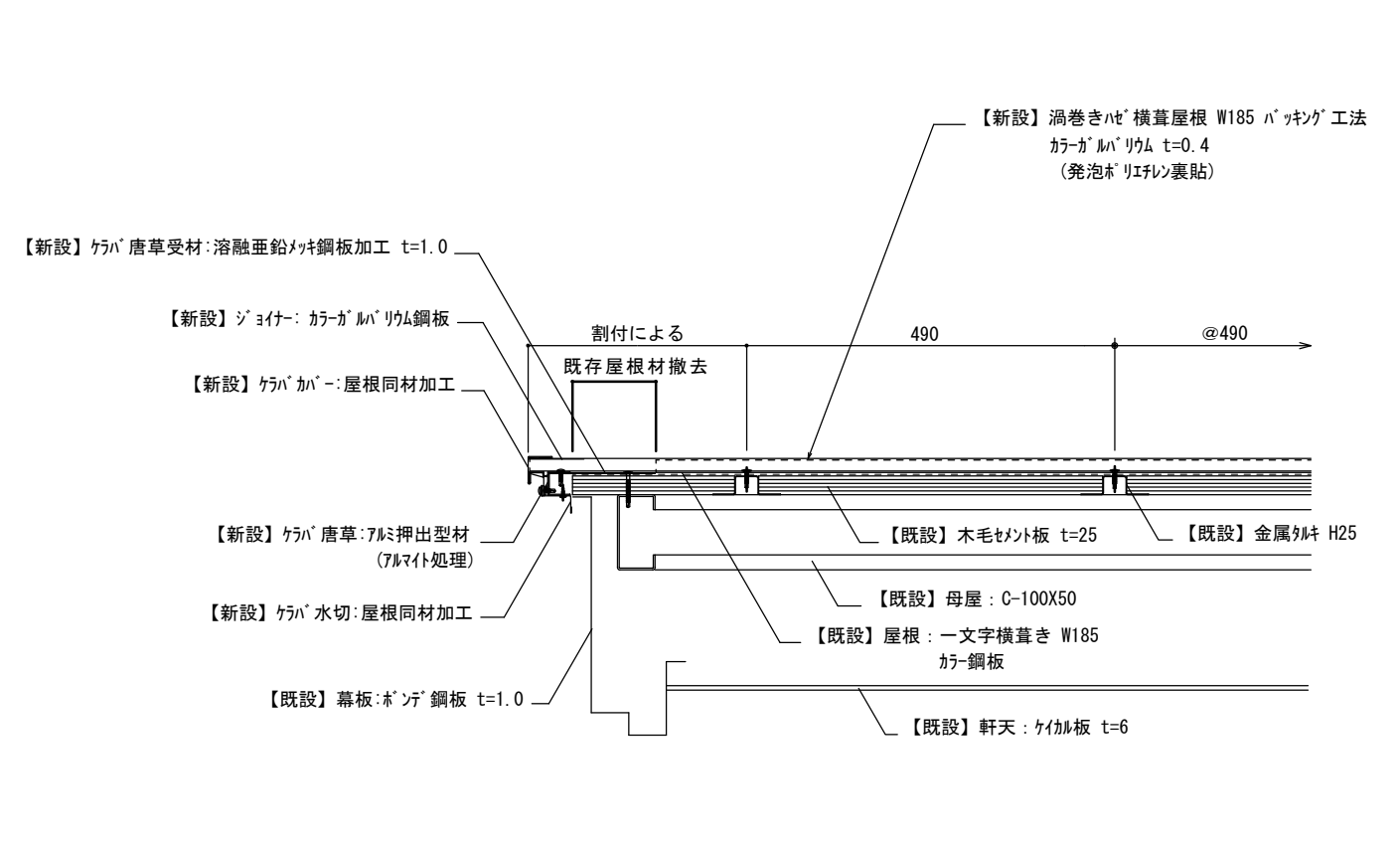
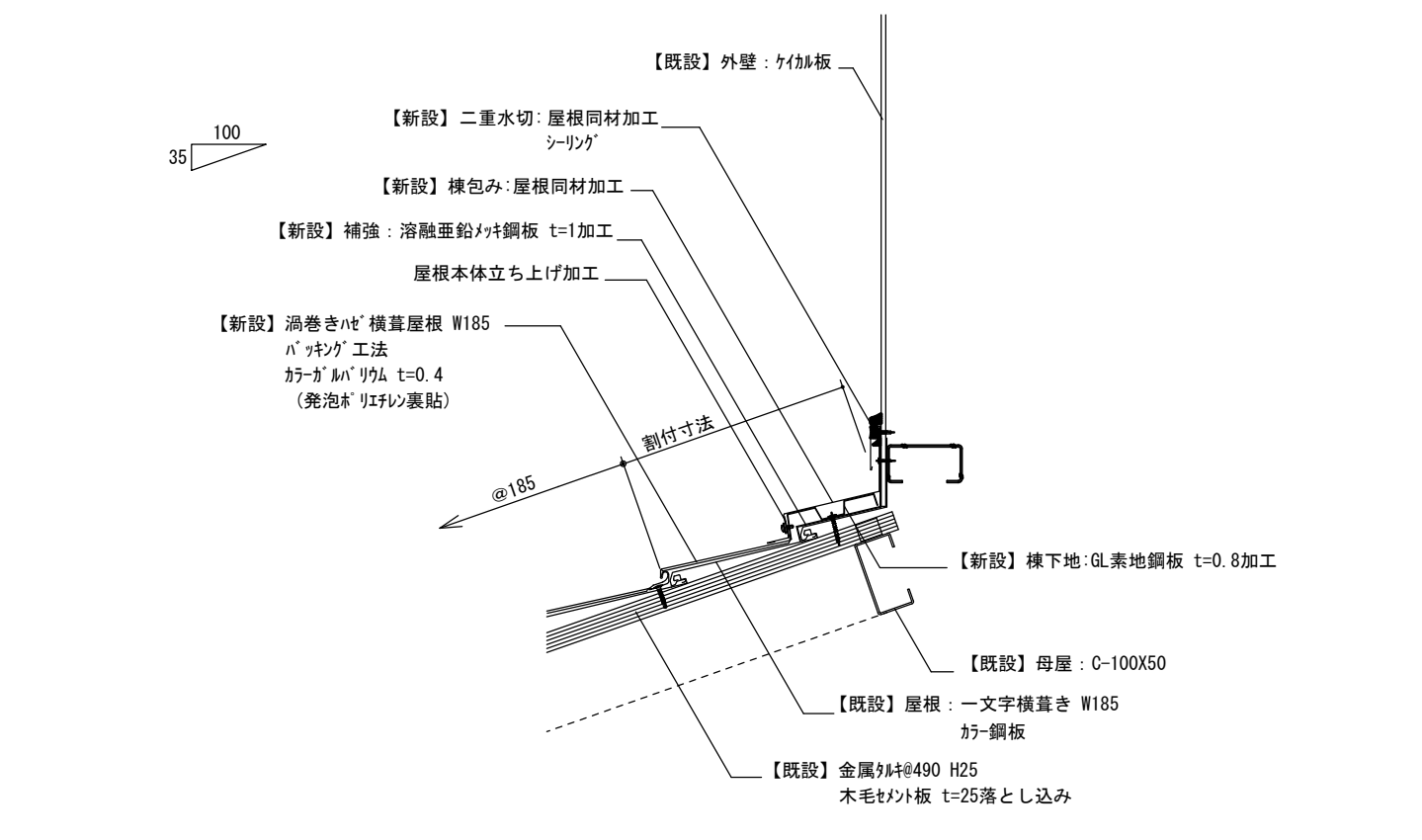
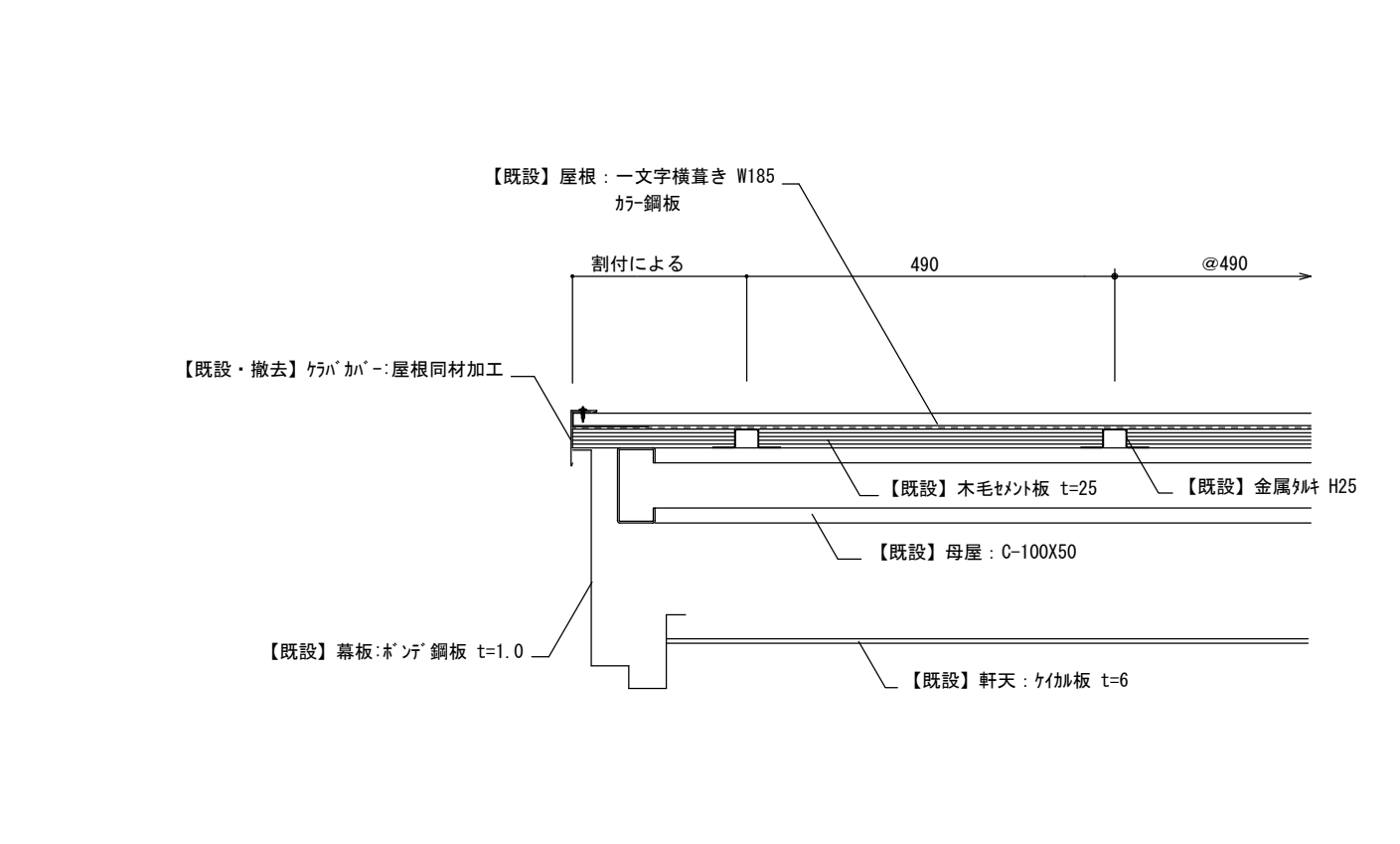
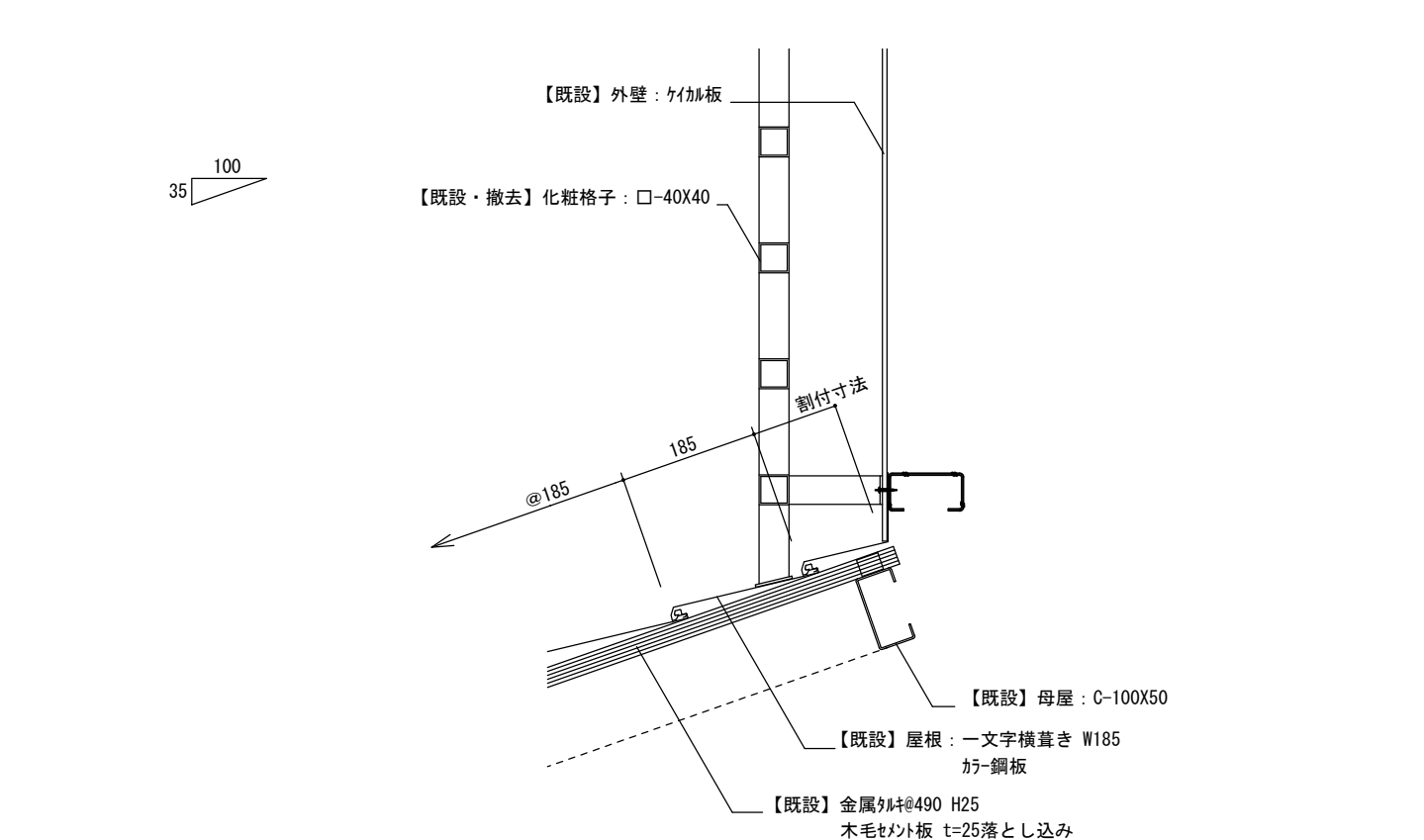
改修内容AS：アスベスト調査の結果								改修内容AS：アスベスト調査の結果							
	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①								⑥	建具						
②								⑦	その他 木製矢切格子					WP塗装	
③	軒天部	○	LGS天井下地（全面）土俵上共 ケイカル版 t6（全面）土俵上共 AEP塗装 土俵上共		撤去 撤去	LGS天井下地（25型） 土俵上共 ケイカル版 t6 土俵上共 AEP塗装【新】 土俵上共		⑧	その他 鉄骨柱					WP塗装	
④	破風・鼻隠し	○	ボンデ鋼板 SOP塗装		撤去なし 撤去なし	DPP塗装			内装改修		軒天と同じ			DP塗装	
⑤	屋根・樋		塩ビ被覆鋼板 t0.4 一文字葺き 軒樋・堅樋 棟；瓦葺		撤去 撤去	カラーGL鋼板 t0.4カバー工法 断熱材なし 詳細図参照 屋根同材									

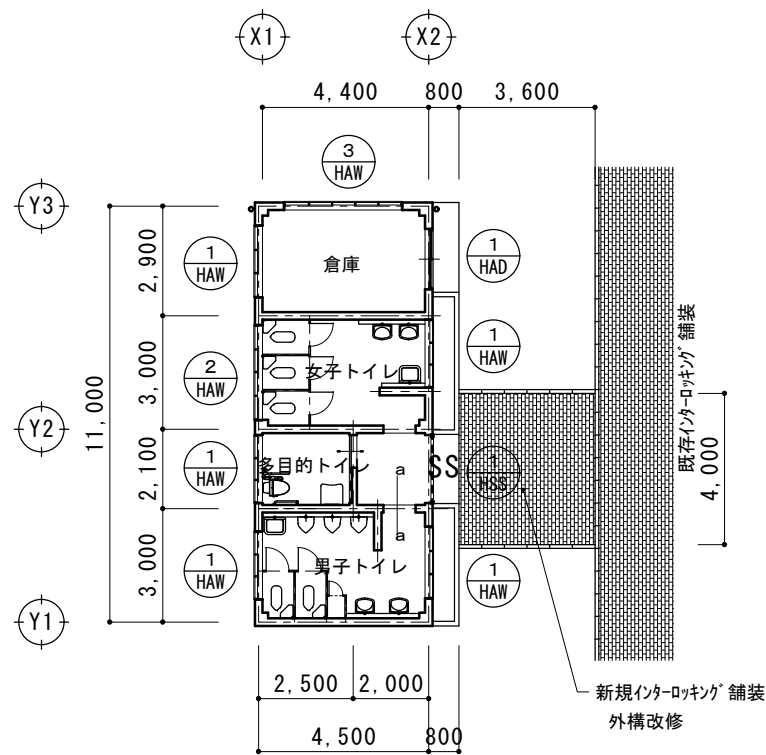
建具表 S = 1/200

	既存仕様			既存仕様			既存仕様			既存仕様	
	改修内容			改修内容			改修内容			改修内容	

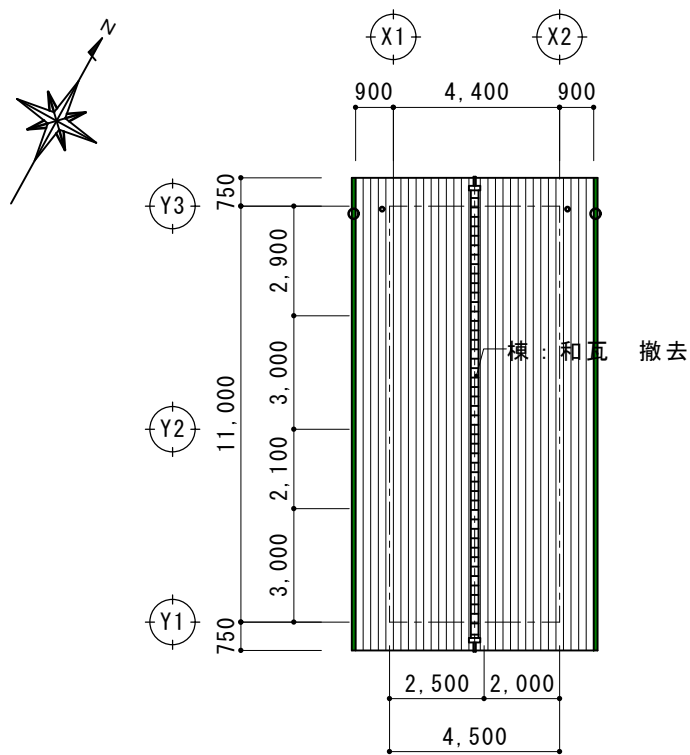
摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
							承認		

G棟 屋根B 改修後 軒先部分 詳細図					G棟 屋根B 改修後 棟部分 詳細図					
G棟 屋根B 改修前 軒先部分 詳細図					G棟 屋根B 改修前 棟部分 詳細図					
摘要					T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		縮尺 1/ 10
								図面名称 G棟 （相撲場）屋根改修図 1		図番 G-03
							承認			

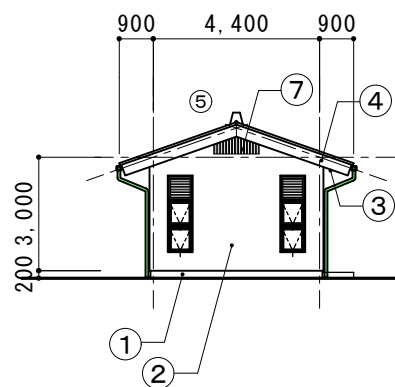
G棟 屋根B 改修後 ケラバ部分 詳細図				G棟 屋根B 改修後 水上 外壁取り合い部分 詳細図							
											
G棟 屋根B 改修前 ケラバ部分 詳細図				G棟 屋根B 改修前 水上 外壁取り合い部分 詳細図							
											
摘要				T I M E		作成者		工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		縮尺 1/ 10	
						承認					



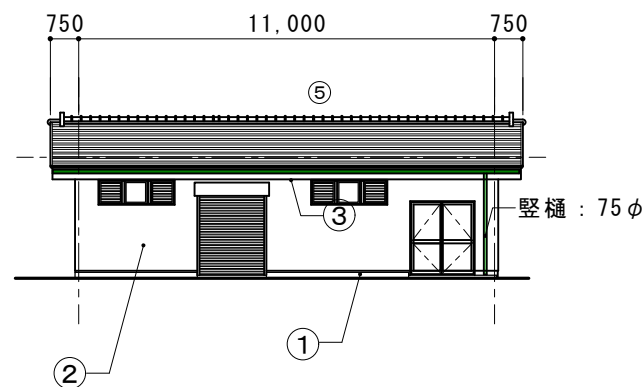
平面図 S = 1/200



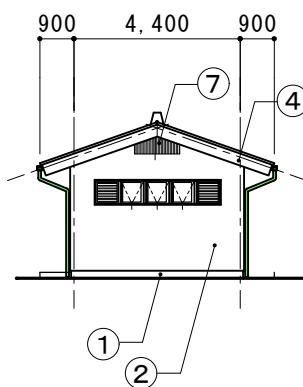
屋根伏図 S = 1/200



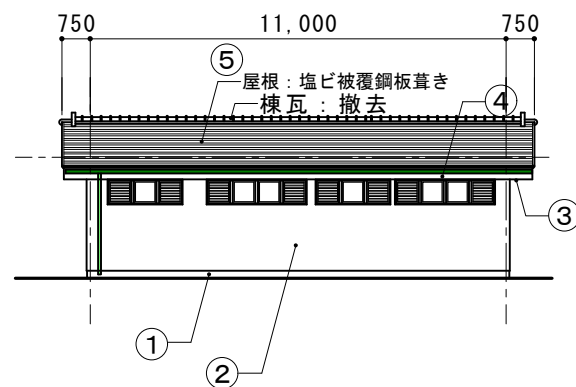
南面



東面



北面



西面

立面図 S = 1/200

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
					承認	図面名称 H棟 （屋外便所）既存図	図番 H-01

事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

改修内容								AS：アスベスト調査の結果							
	部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS		部 位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基 礎 部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし （事前調査により必要があれば改修）		⑥	建 具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング（MS 2）	
②	外 壁 部	○	押し出しセメント版 t 60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材E シーリング（MS 2）		⑦	そ の 他 木 製 矢 切 格 子					WP 塗装	
③	軒 天 部	○	ケイカル版 t 6 A E P 塗装			A E P 塗装【新】									
④	破 風 ・ 鼻 隠 し	○	ボンデ鋼板 S O P 塗装		撤去なし 撤去なし	D P P 塗装			内 装 改 修		シャッター上天井 L G S の 上 化 粧 合 板 W600×延長9. 4m		撤去 撤去	シャッター上天井 L G S の 上 化 粧 合 板【新規】 W600×延長9. 4m	
⑤	屋 根 ・ 樋		塩ビ被覆鋼板 t 0. 4 一文字葺き 軒樋・ 竖樋 棟：瓦葺		撤去 撤去	カラー G L 鋼板 t 0. 4カバー工法 断熱材あり 詳細図参照 屋根同材									

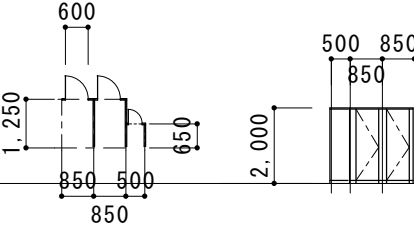
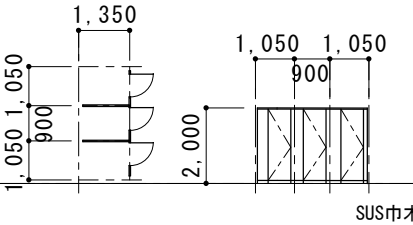
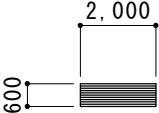
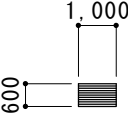
建具表 S=1/200

<div><div>1</div><div>HAD</div></div>	既存仕様	アルミ製観音開き戸	<div><div>1</div><div>HSS</div></div>	既存仕様	軽量スチールシャッター	<div><div>1</div><div>HAW</div></div>	既存仕様	アルミ外倒し窓	<div><div>2</div><div>HAW</div></div>	既存仕様	アルミ外倒し窓	<div><div>3</div><div>HAW</div></div>	既存仕様	アルミ外倒し窓
1箇所	改修内容	ガラス交換（1箇所） 建具周囲シーリング撤去 打ち換え（MS 2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え（MS 2）	5箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え（MS 2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え（MS 2）	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え（MS 2）
<div>ガラス交換：6.8mm網入りガラス</div> <div><div>1,650</div><div>1,900</div><div></div></div>			<div><div>1,800</div><div>2,100</div><div></div></div>			<div><div>1,800</div><div>600</div><div></div></div>			<div><div>2,650</div><div>600</div><div></div></div>			<div><div>3,300</div><div>600</div><div></div></div>		

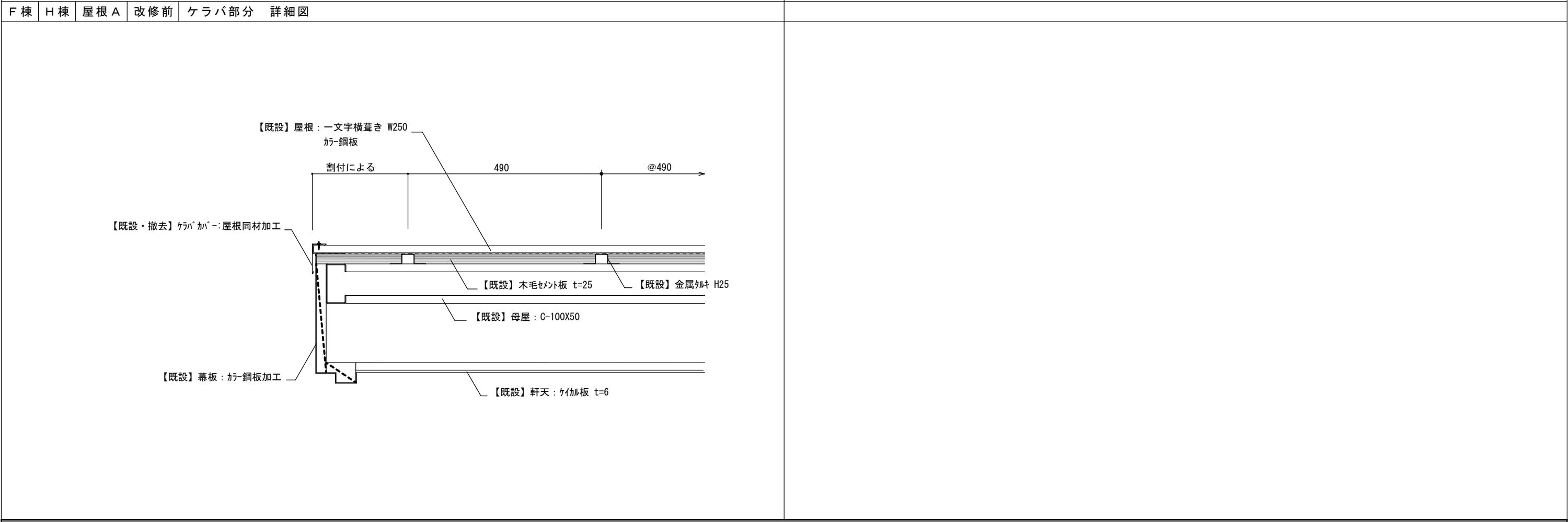
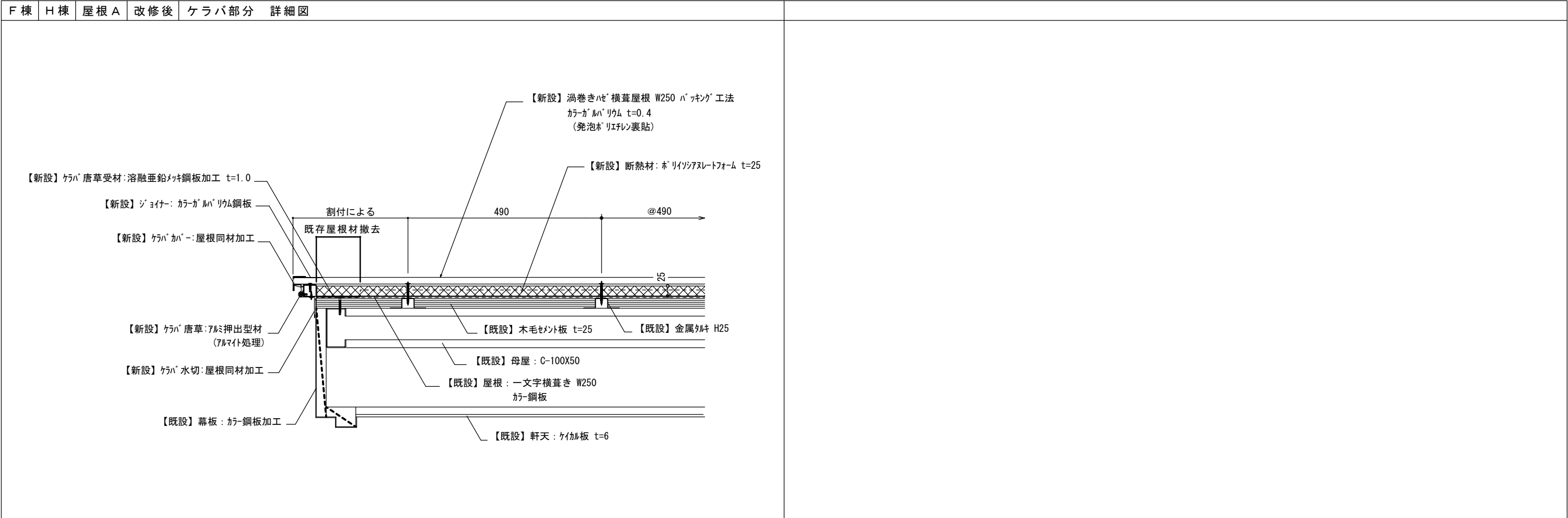
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
						承認	図面名称 H 棟 （屋外便所）改修内容	図番 F -02

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
男子トイレ	既存	100角磁器タイル張り	100角タイル張り H：100	窯業系サイディング張りの上吹付タイル 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m 小便前3.2m×1.1m	L G S下地 ケイカル版 t 6 E P塗装	塩ビ製	
	撤去	床タイル全面撤去	巾木タイル 全撤去	全面水洗い ひび割れ部シーリング 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m撤去 小便前3.2m×1.1m撤去	撤去なし	撤去なし	
	改修	モルタル下地の上、100角磁器質タイル張り	モルタル下地 タイル張り H：100	サイディング部 防水型複層塗材 E 一部タイル張り：磁器質タイル100角 洗面前2.1m×0.9m 小便前3.2m×1.1m	A E P塗装		
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
多目的トイレ	既存	100角磁器タイル張り		窯業系サイディング張りの上吹付タイル 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m S K前1.4m×1.1m	L G S下地 ケイカル版 t 6 E P塗装	塩ビ製	
	撤去	撤去なし 水洗い	撤去・改修なし	全面水洗い 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m 撤去 S K前1.4m×1.1m 撤去	撤去なし	撤去なし	
	改修			サイディング部 防水型複層塗材 E 一部タイル張り：磁器質タイル100角 洗面前2.1m×0.9m S K前1.4m×1.1m	A E P塗装		
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
女子トイレ	既存	100角磁器タイル張り	100角タイル張り H：100	窯業系サイディング張りの上吹付タイル	L G S下地 ケイカル版 t 6 E P塗装	塩ビ製	
	撤去	床タイル全面撤去	巾木タイル 全撤去	全面水洗い ひび割れ部シーリング	撤去なし	撤去なし	
	改修	モルタル下地の上、100角磁器質タイル張り	モルタル下地 タイル張り H：100	防水型複層塗材 E	A E P塗装		

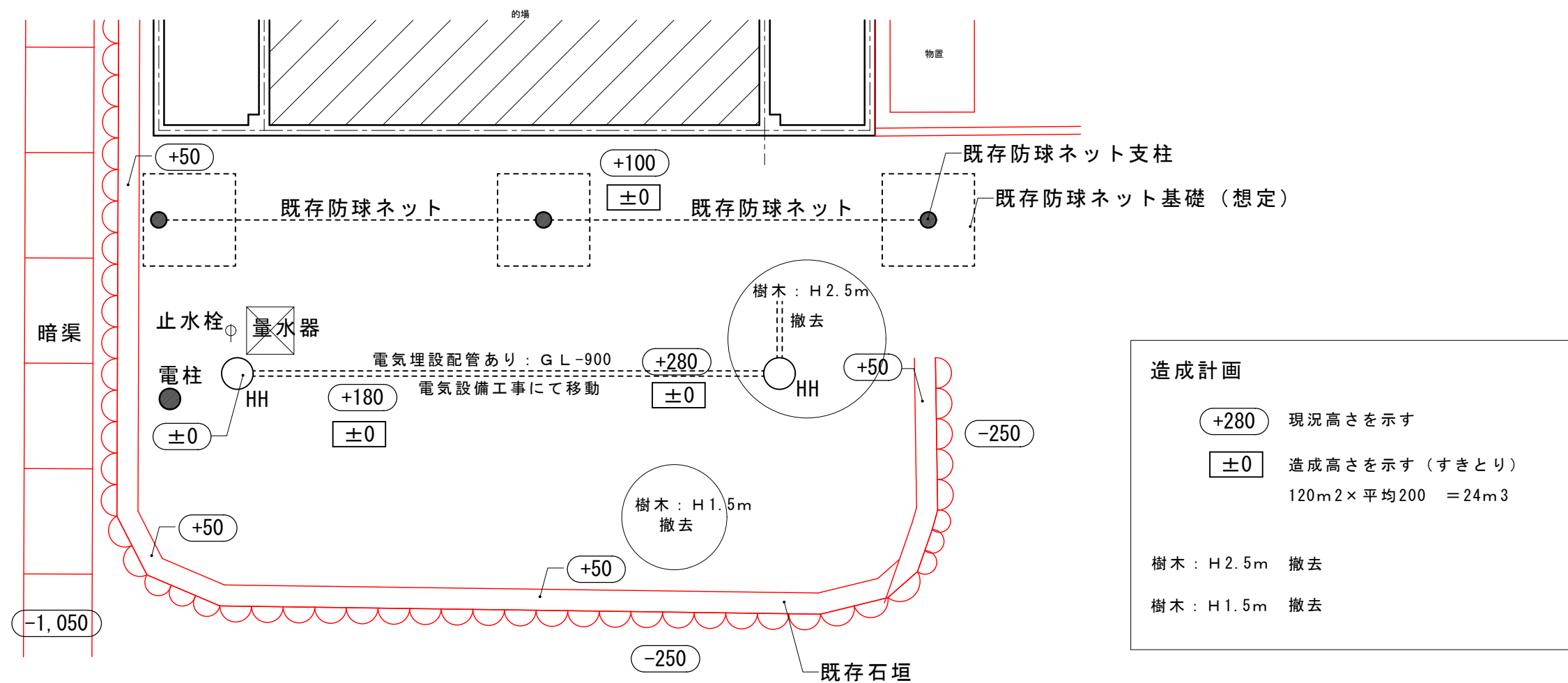
建具表 S = 1/200

<div>1</div> <div>HTB</div>	既存仕様	トイレブース（男子トイレ）	<div>2</div> <div>HTB</div>	既存仕様	トイレブース（女子トイレ）	スチール製格子			
1箇所	改修内容	既存撤去 新規設置 メラミン化粧合板 付属品一式	1箇所	改修内容	既存撤去 新規設置 メラミン化粧合板 付属品一式	各2箇所	改修内容	S O P塗り	
									

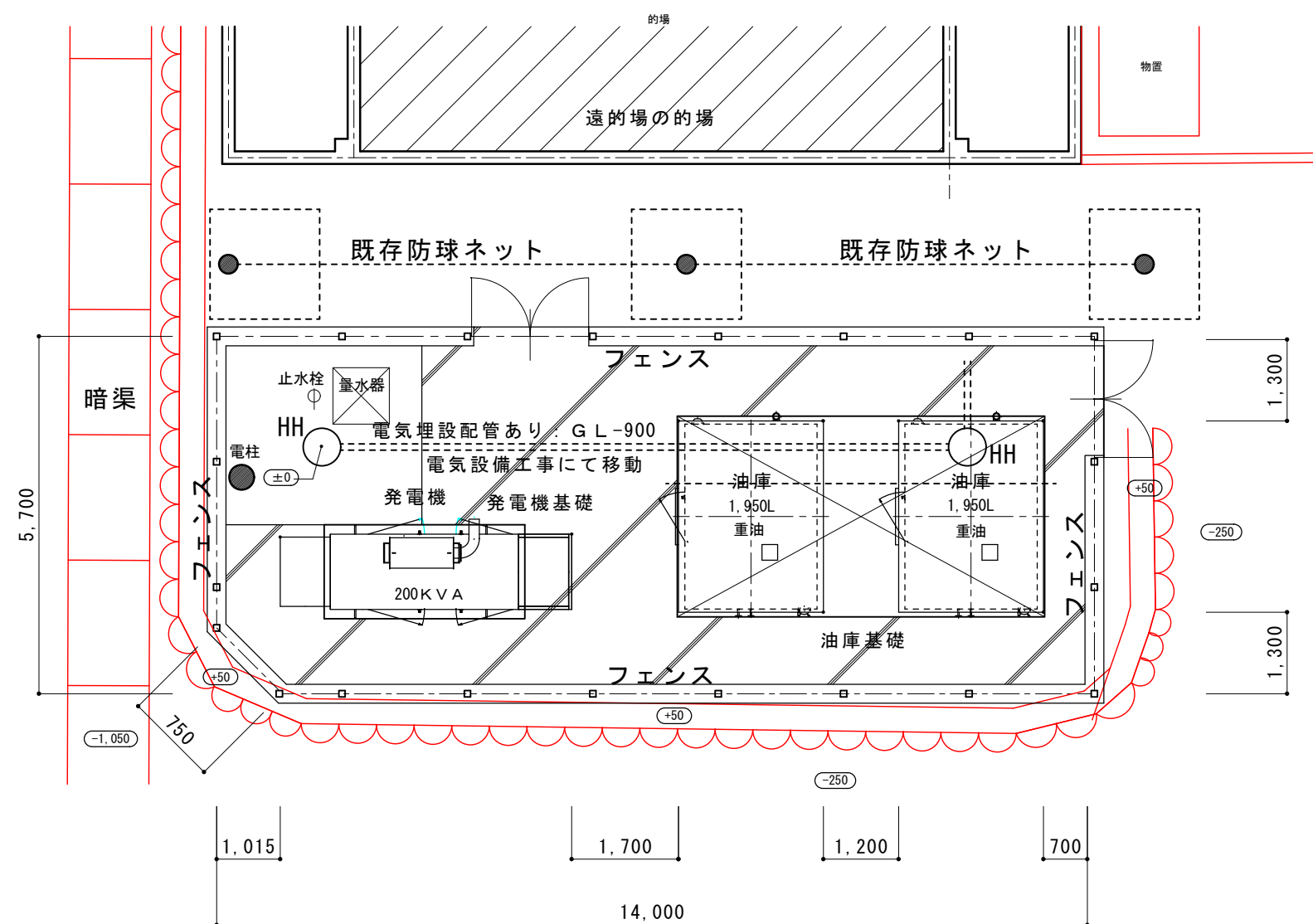
摘要		TIME		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
				承認	図面名称 H棟（屋外便所）内装改修	図番 H-03



摘要		T I M E					作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 10
		承認							



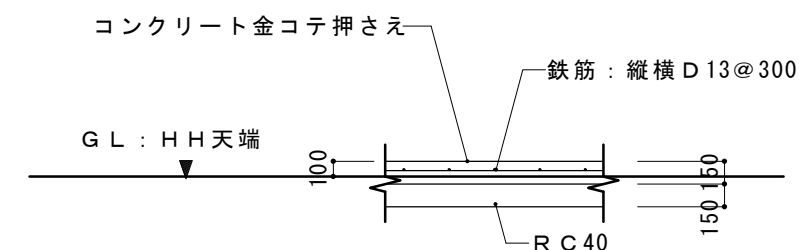
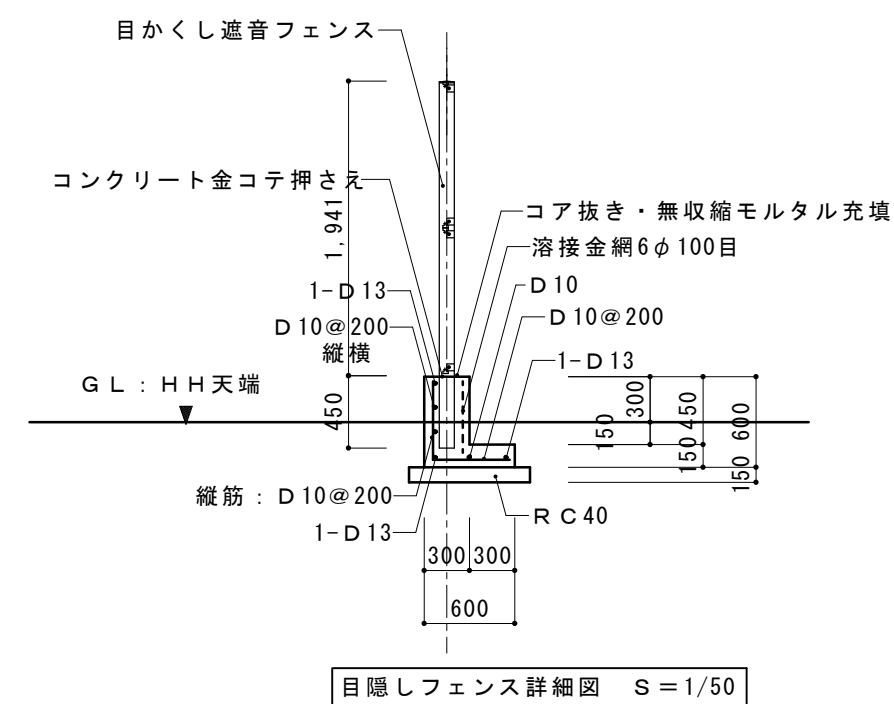
摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
						承認	図面名称 外構改修 基礎リスト（機械基礎A）現況図	図番 A：5-02



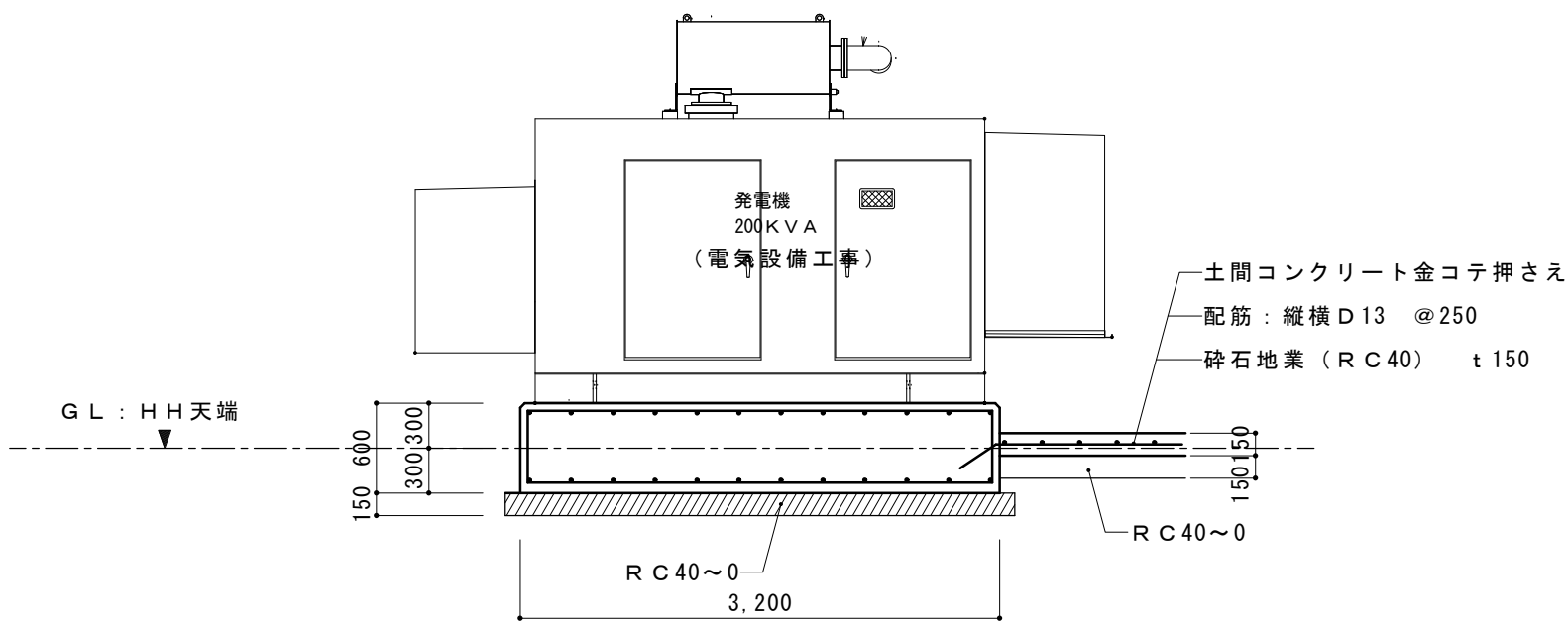
使用材料

鉄筋 : S D 2 9 5 A

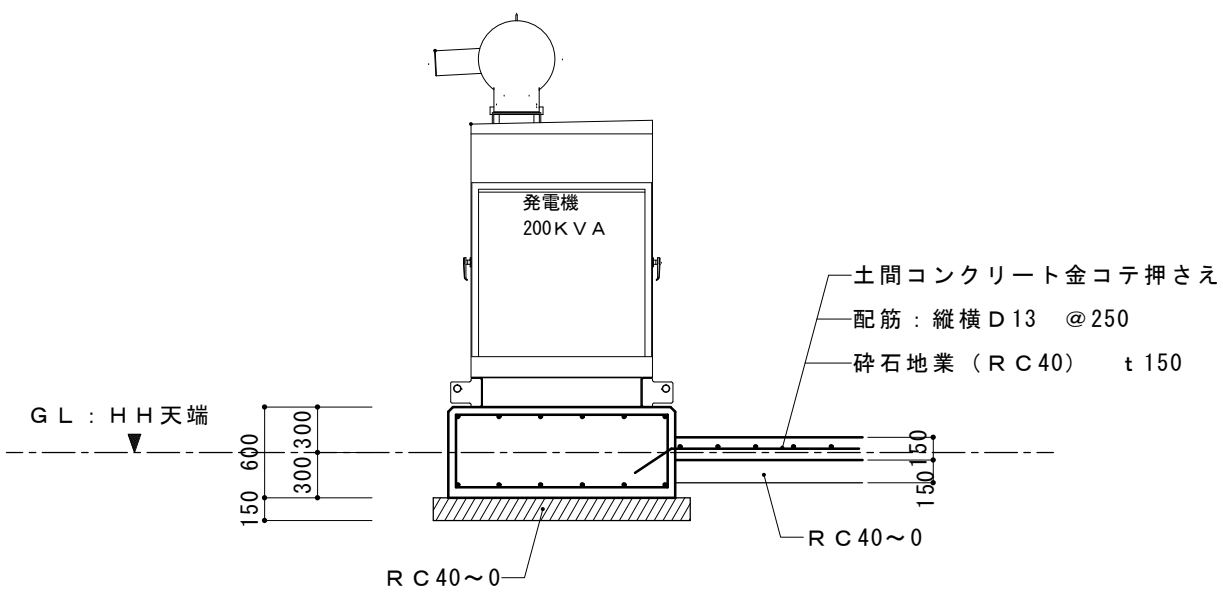
コンクリート : 24-15-25



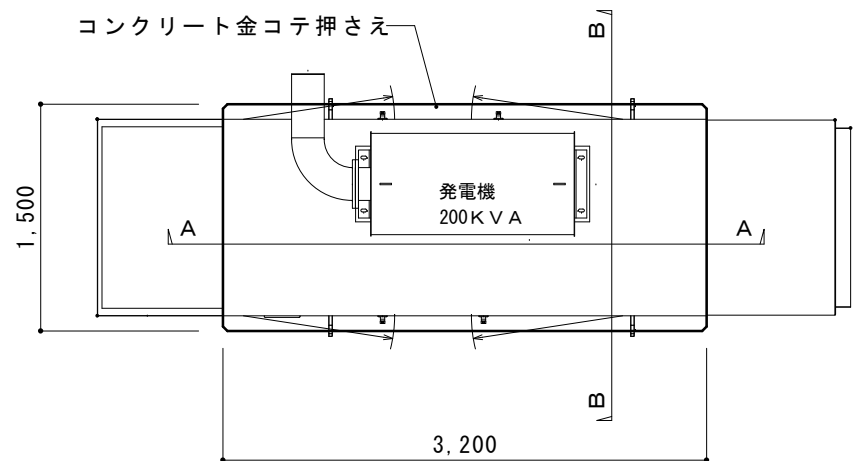
摘要 	T・L・A・W・R	T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
				図面名称 外構改修 基礎リスト（機械基礎A）配置計画図	図番 A：5-03
		承認			



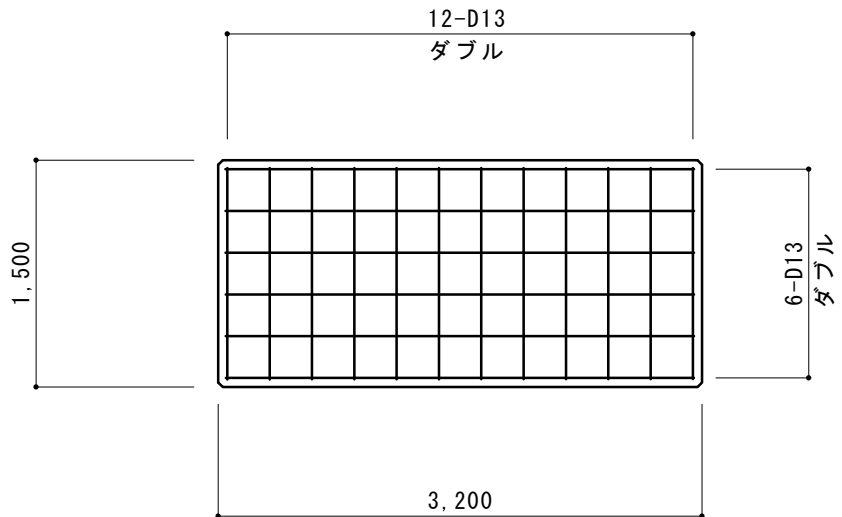
発電機基礎 A-A 断面図 S = 1/50



発電機基礎 B-B 断面図 S = 1/50



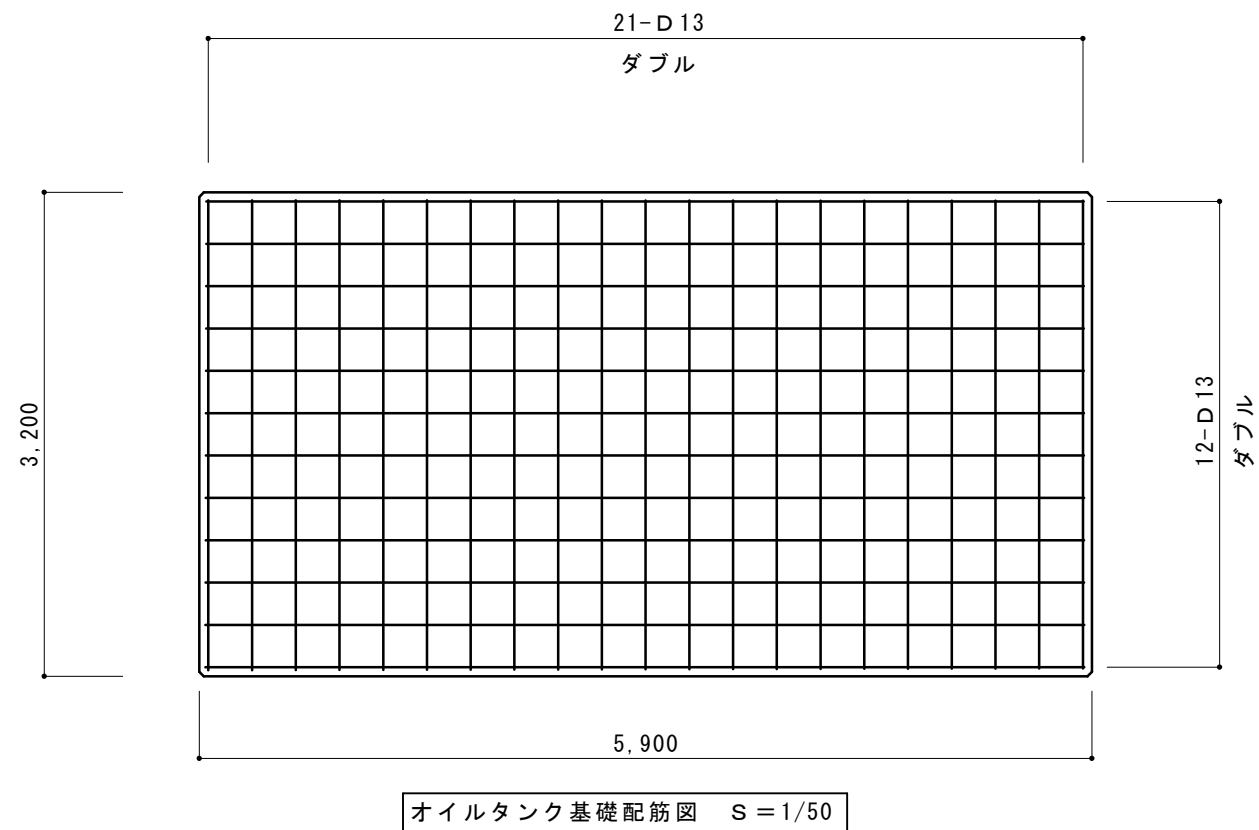
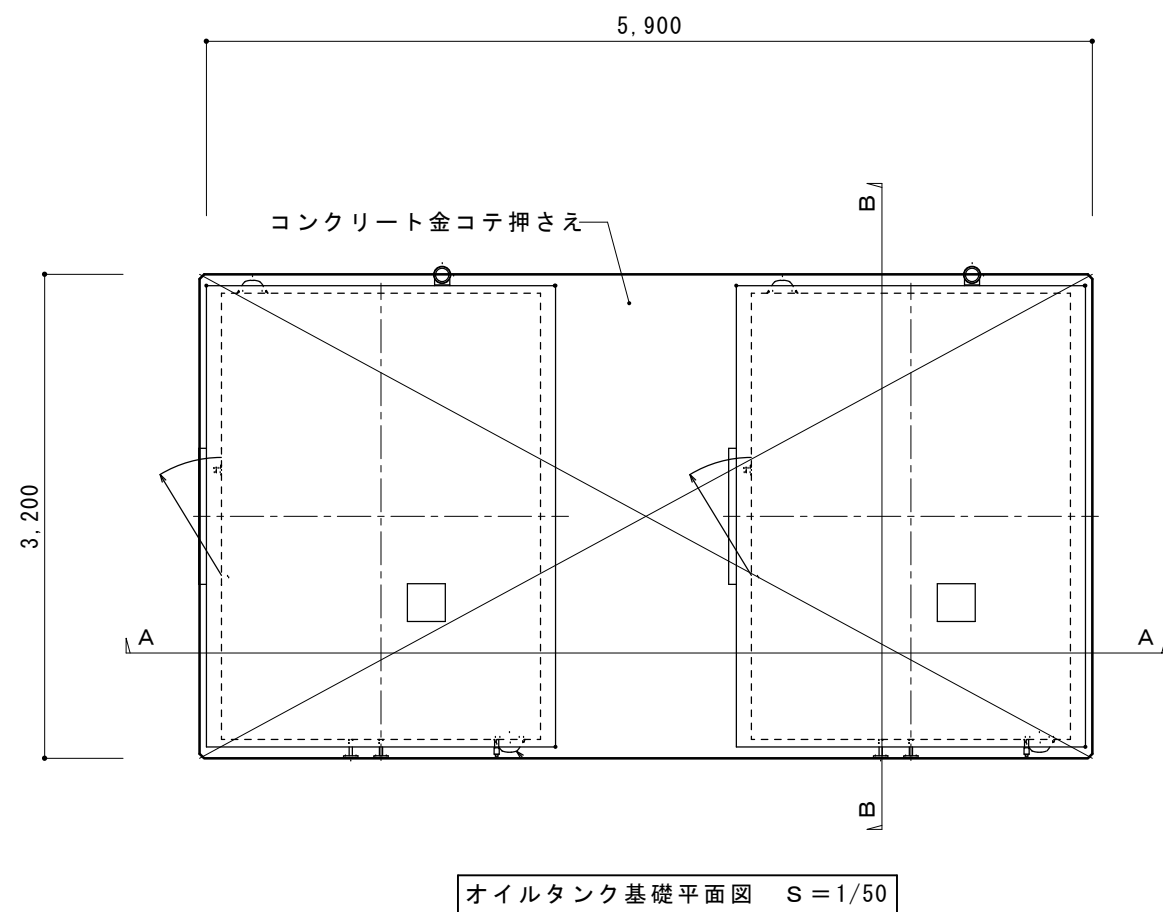
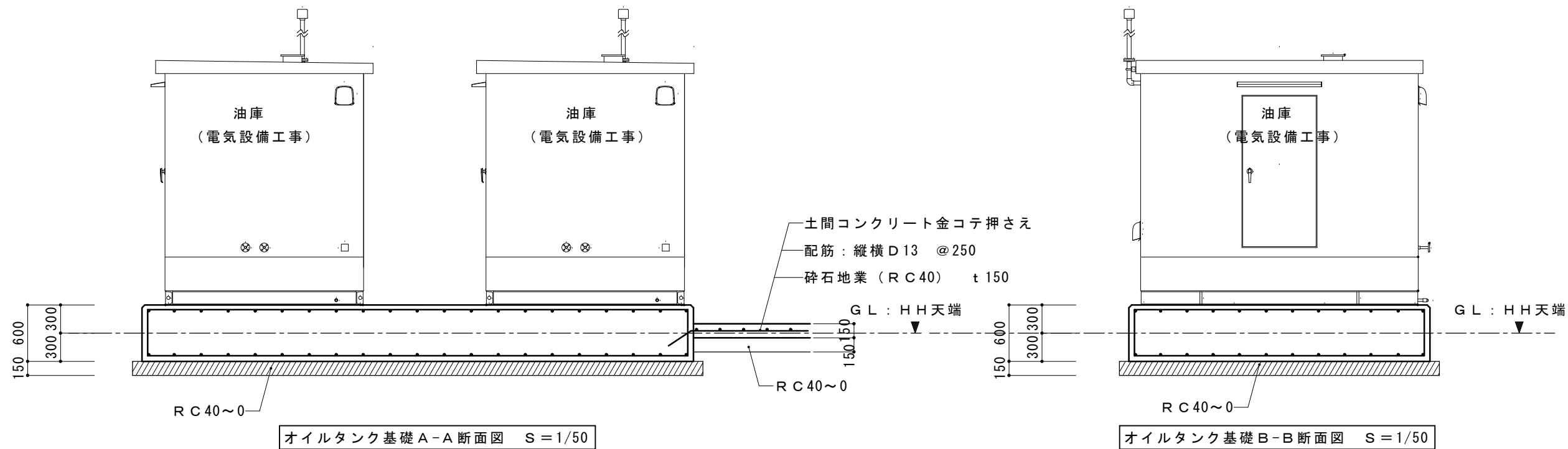
発電機基礎平面図 S = 1/50



発電機基礎配筋図 S = 1/50

使用材料
鉄筋 : SD295A
コンクリート : 24-15-25

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100 1/50
					承認	図面名称 外構改修 基礎リスト（機械基礎 A）発電機基礎	図番 A : 5-04

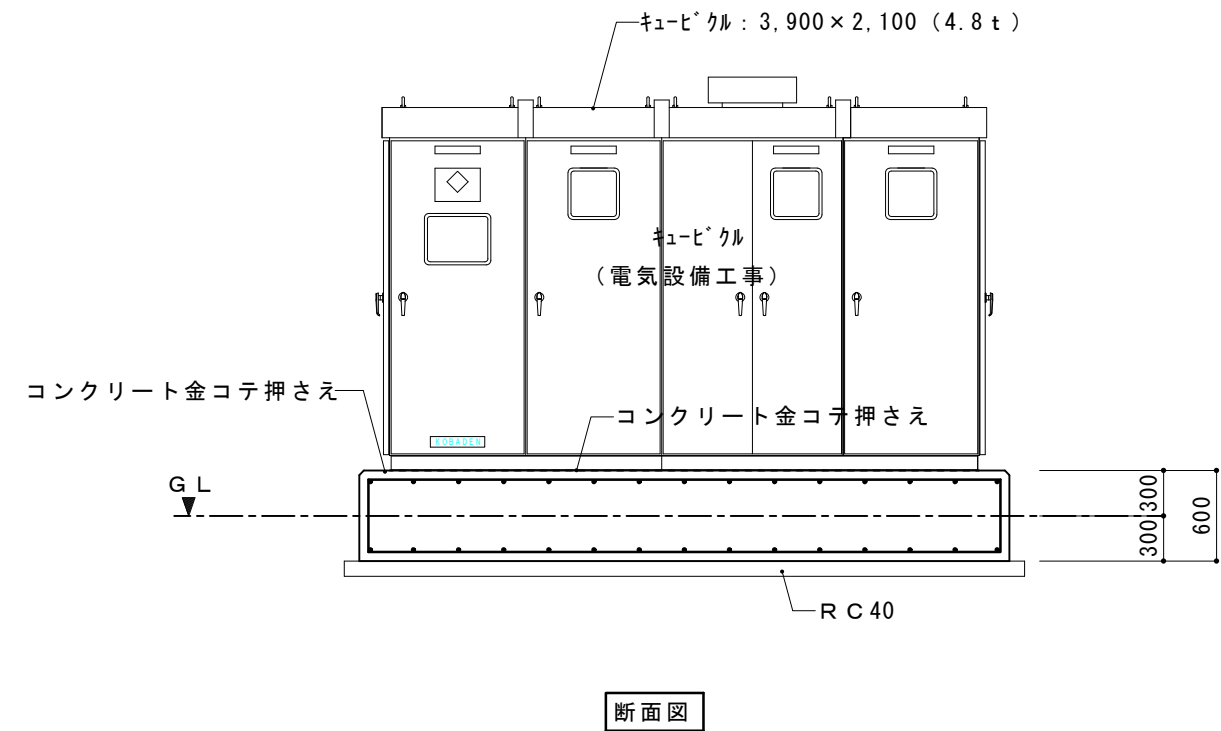
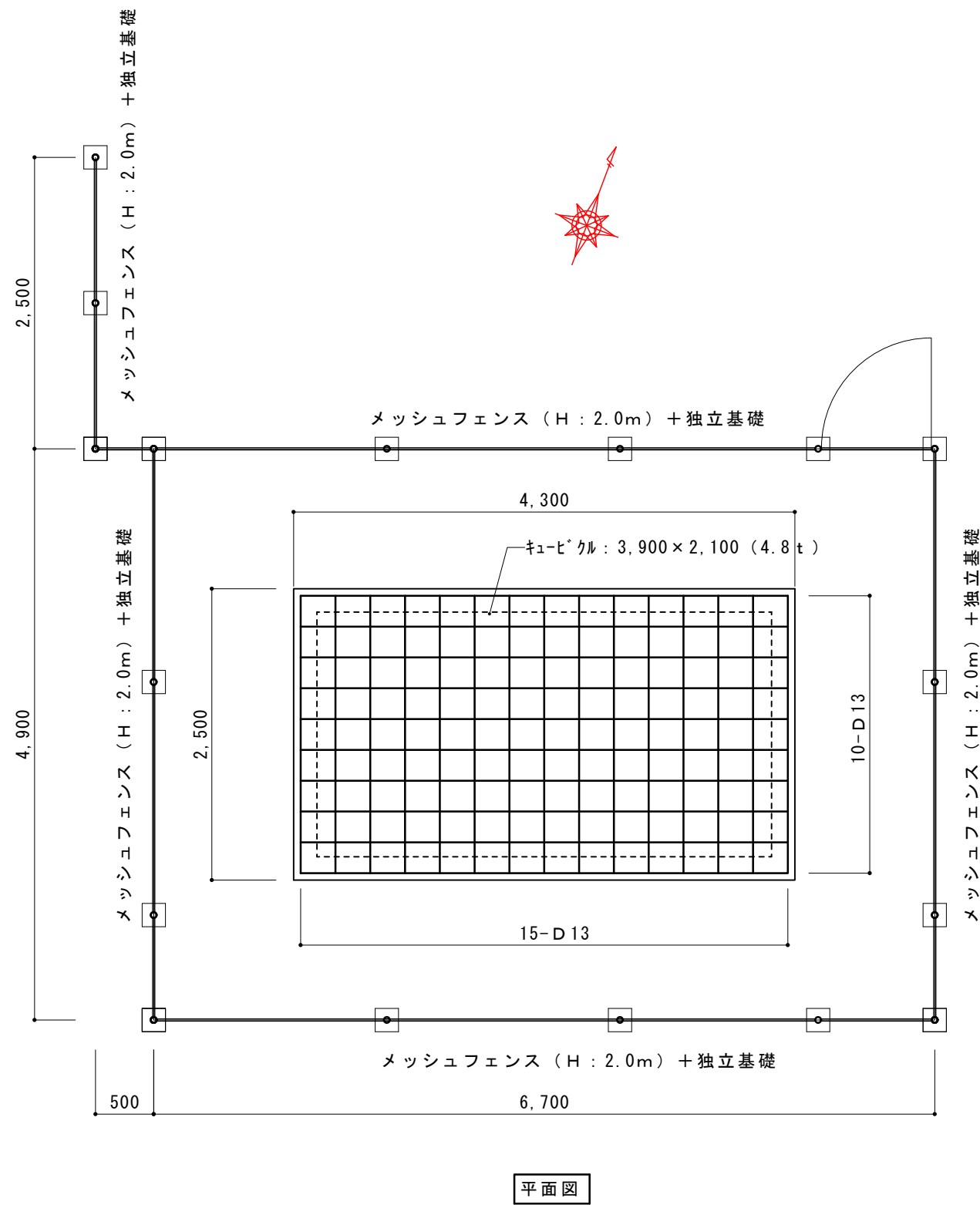


使用材料

鉄筋 : S D 2 9 5 A

コンクリート : 24-15-25

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/ 50
					承認	図面名称 外構改修 基礎リスト (機械基礎 A) 油庫基礎	図番 A : 5-05



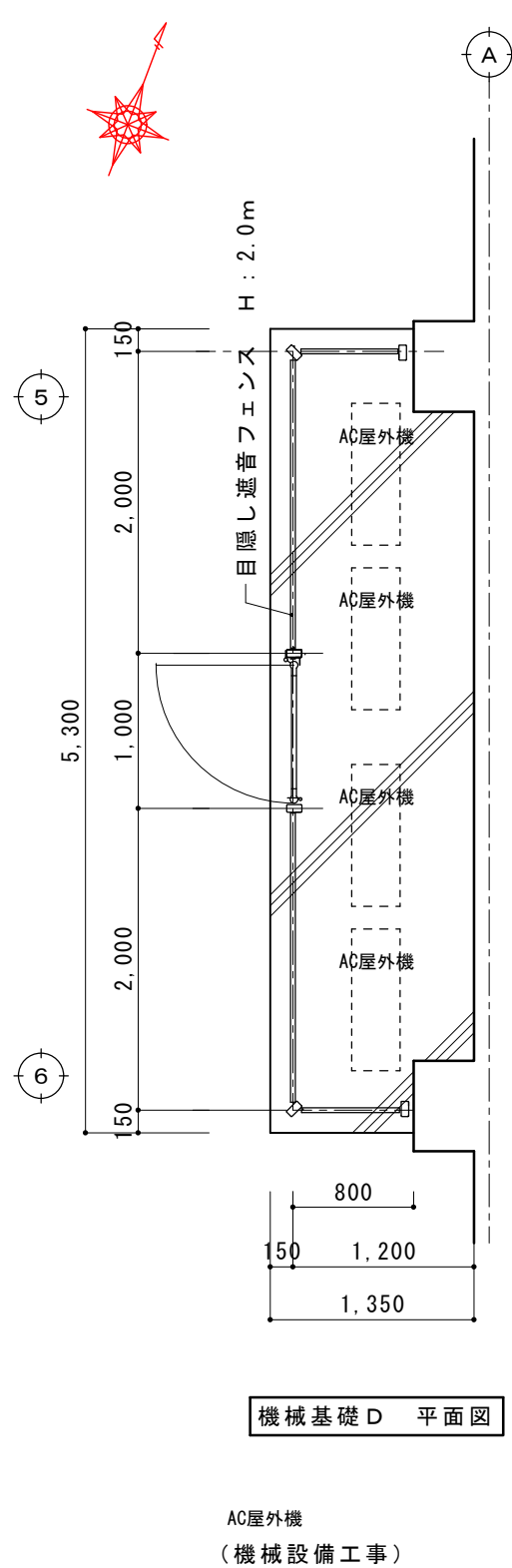
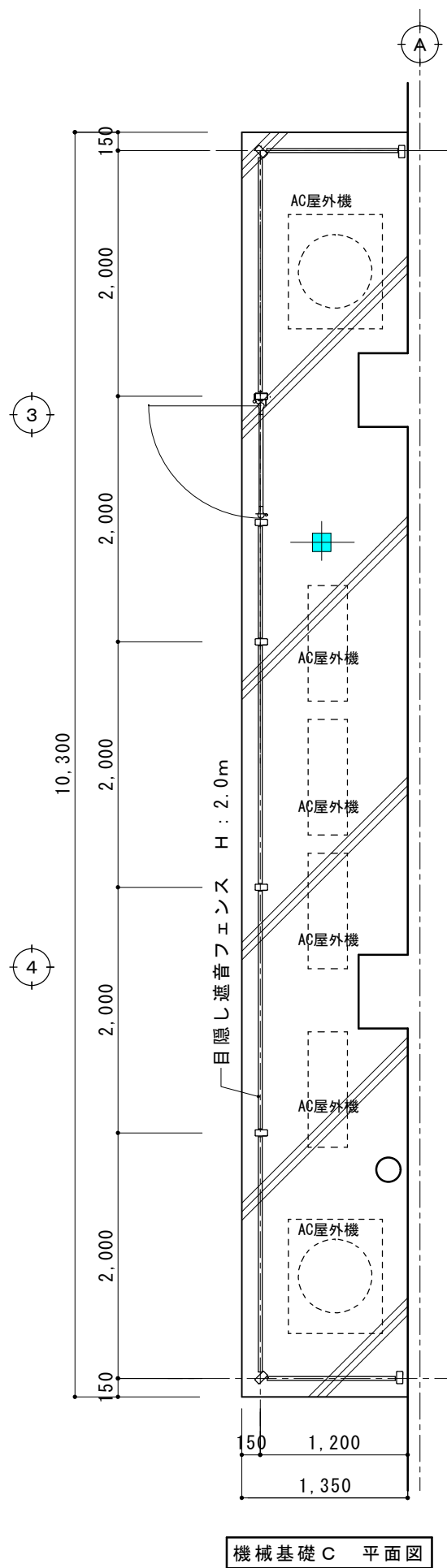
使用材料

鉄筋 : S D 2 9 5 A

コンクリート : 24-15-25

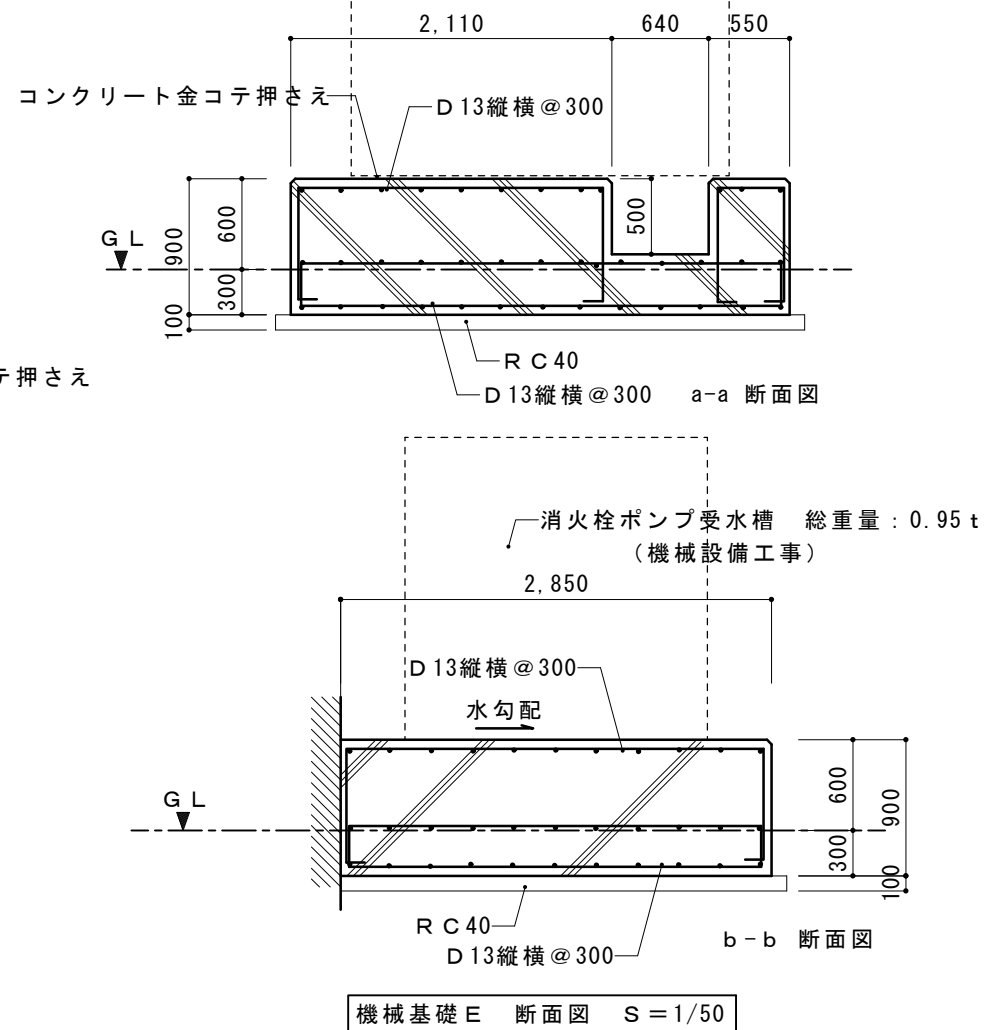
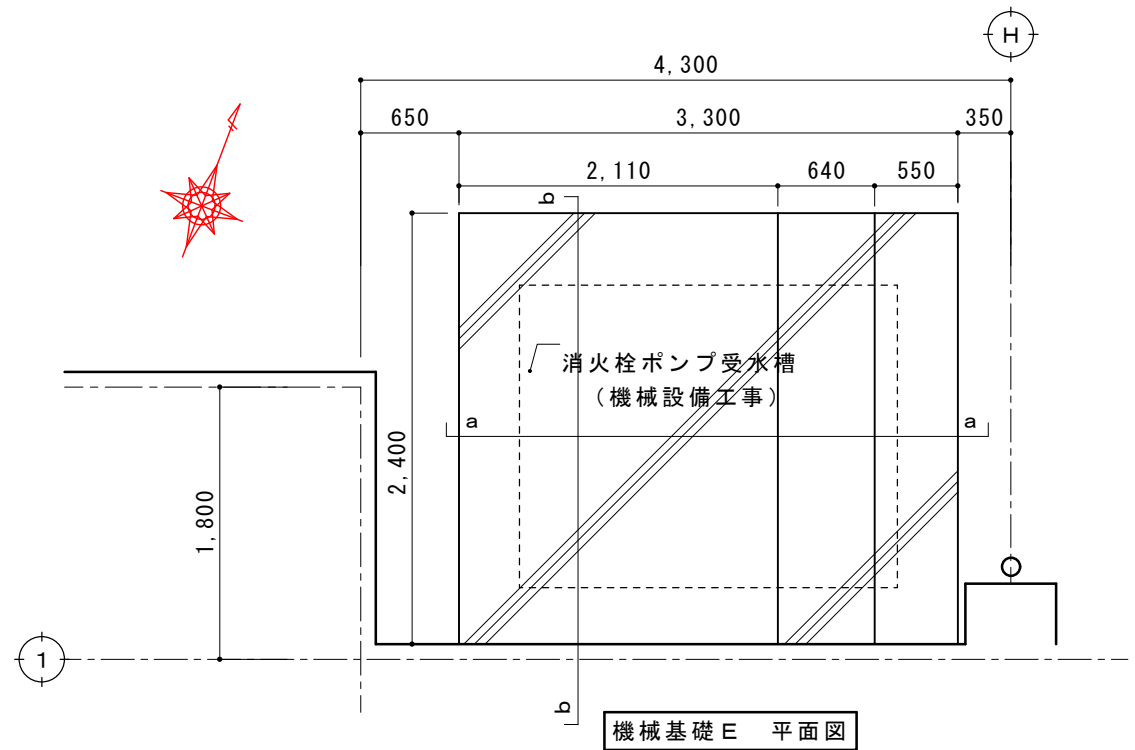
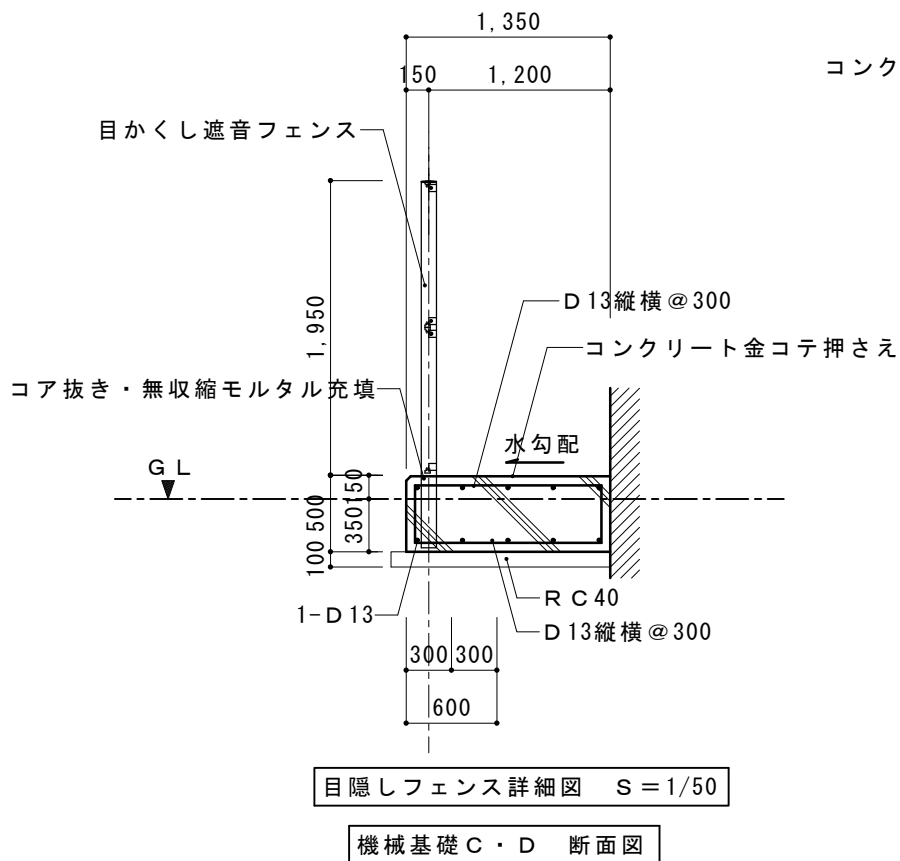
キュービクル基礎詳細図 S = 1/50

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
						承認	図面名称 外構改修 基礎リスト（機械基礎B）	図番 A : 5-06

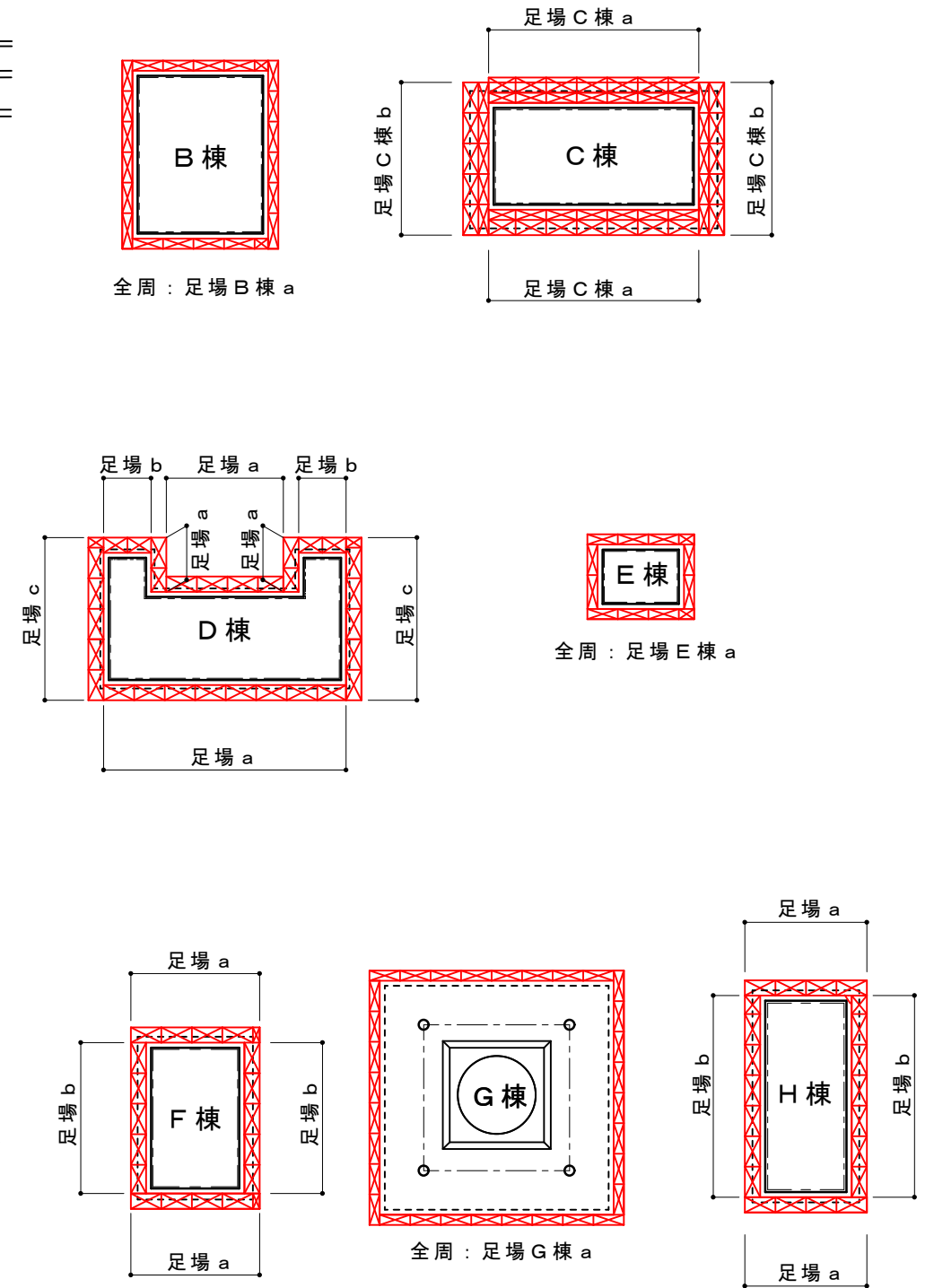
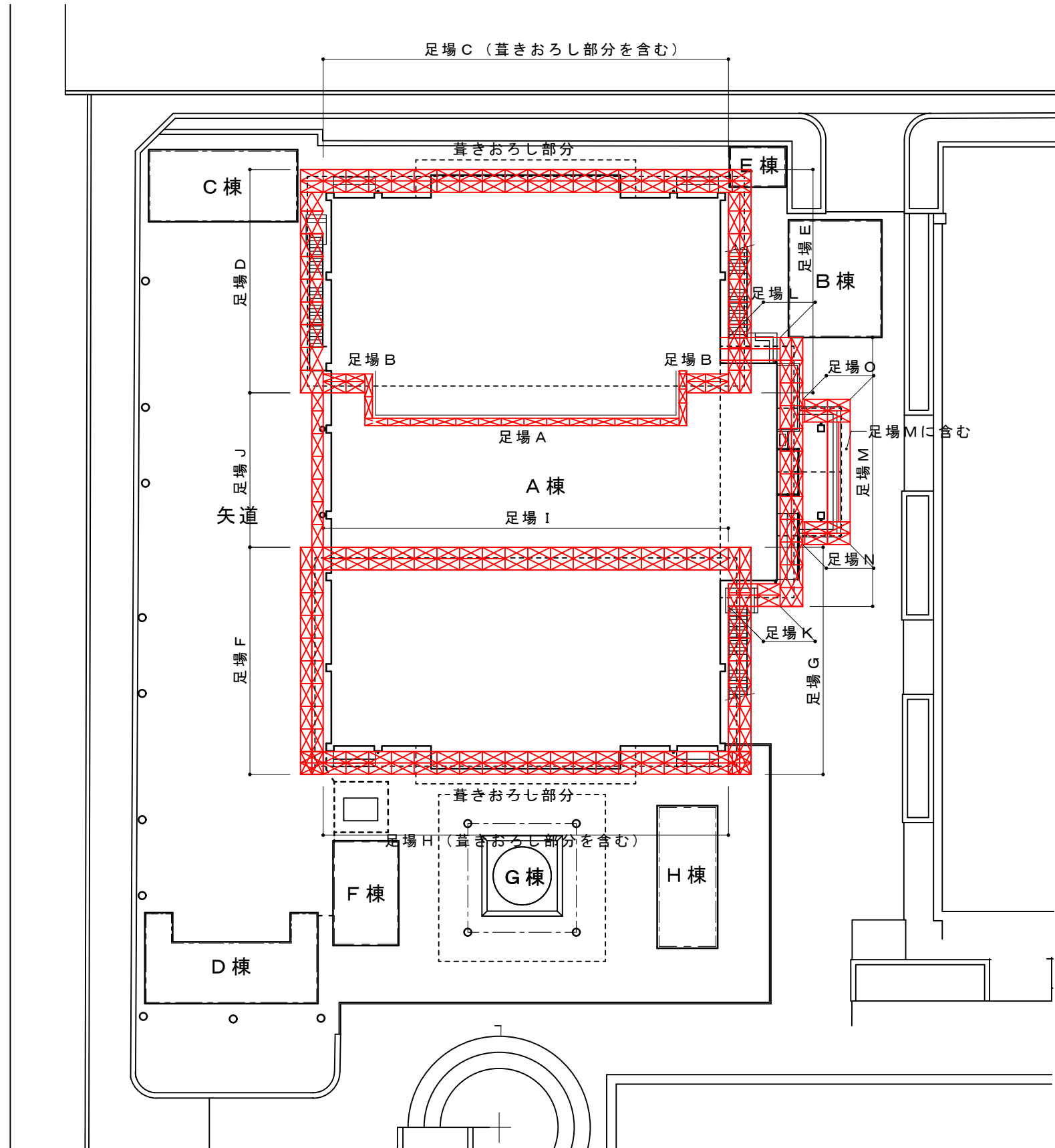


AC屋外機
(機械設備工事)

使用材料
鉄筋 : S D 2 9 5 A
コンクリート : 24-15-25



摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/ 50
					承認	図面名称 外構改修 基礎リスト (機械基礎 C・D・E)	図番 A : 5-07



共通仮設（見込み）

仮設間仕切り（見込み）L G S 100+ G B R t 12.5両面張り 100m²

交通誘導員 100人（見込み）

摘要		T I M E			作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/400
					承認	図面名称 仮設計画図（外部足場）	図番

A 棟

記号・位置	足場の種類	建地幅	高さ	掛け長さ
足場 A	くさび緊結足場（手すり先行）	600	3.5	33.3 m
足場 B	くさび緊結足場（手すり先行）	600	3.5	6.5 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.5	6.5 m
足場 C	くさび緊結足場（手すり先行）	900	9.8	32.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	9.8	32.0 m
足場 D	くさび緊結足場（手すり先行）	900	10.5	17.5 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	10.5	17.5 m
足場 E	くさび緊結足場（手すり先行）	900	10.5	17.5 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	10.5	17.5 m
足場 F	くさび緊結足場（手すり先行）	900	11.9	18.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	11.9	18.0 m
足場 G	くさび緊結足場（手すり先行）	900	11.9	18.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	11.9	18.0 m
足場 H	くさび緊結足場（手すり先行）	900	9.8	32.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	9.8	32.0 m
足場 I	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.5	32.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.5	32.0 m
足場 J	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.5	7.5 m
足場 K	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	4.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	4.0 m
足場 L	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	4.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	4.0 m
足場 M	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	21.3 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	21.3 m
足場 N	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	4.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	4.0 m
足場 O	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	3.7 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.9	3.7 m

B C D E F G H 棟

記号・位置	足場の種類	建地幅	高さ	掛け長さ
足場 B 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	600	3.8	38.2 m
足場 C 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	600	4.5	24.6 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	4.5	24.6 m
足場 C 棟 b	くさび緊結足場（手すり先行）	600	5.5	18.0 m
	くさび緊結足場（手すり先行）	900	5.5	18.0 m
足場 D 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	900	4.8	27.6 m
足場 D 棟 b	くさび緊結足場（手すり先行）	900	4.0	5.6 m
足場 D 棟 c	くさび緊結足場（手すり先行）	900	5.5	19.2 m
足場 E 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	600	2.5	28.2 m
足場 F 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.0	14.4 m
足場 F 棟 b	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.7	17.8 m
足場 G 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	600	3.8	57.6 m
足場 H 棟 a	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.7	14.4 m
足場 H 棟 b	くさび緊結足場（手すり先行）	900	3.0	23.8 m

				m
				m
				m
				m
				m
				m
				m
				m
				m

摘要		T I M E				作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務） 図面名称 仮設計画図（外部足場リスト）	縮尺
						承認		図番